

# 足立区教育委員会会議録

会議名	平成28年第10回足立区教育委員会定例会					
開会月日	平成28年10月31日(月)	場所	教育委員会室			
会議時間	(開会) 午前・ <span style="border: 1px solid black;">午後</span> 3時00分 ~ (閉会) 午前・ <span style="border: 1px solid black;">午後</span> 3時49分					
休憩時間	①(休憩) 午前・午後 時 分 ~ (再会) 午前・午後 時 分 ②(休憩) 午前・午後 時 分 ~ (再会) 午前・午後 時 分					
委員 の 出席	教育長	定野 司	出席	委員	杉田 直子	出席
	委員	小川 清美	出席	委員	小池 康之	出席
	委員	葉養 正明	出席	出席者5名、欠席者0名		
出席 議員 の 説明	宮本 博之	学校教育部長	出席	鳥山 高章	子ども家庭部長	出席
	杉岡 淳子	教育政策課長	出席	上遠野葉子	子ども政策課長	出席
	太田 照生	学校適正配置担当課長	出席	金子 俊之	待機児ゼロ対策担当課長	出席
	向井 功至	学校経理課長	出席	松野 美幸	子ども施設整備課長	出席
	浮津 健史	教育指導課長	欠席	森田 剛	子ども施設運営課長	出席
	斎藤 一裕	学校指導担当課長	出席	千ヶ崎嘉彦	子ども施設入園課長	出席
	稲本 望	学校施設課長	出席	寺島 光大	青少年課長	出席
	山田美砂緒	学校改築担当課長	出席	今井 伸幸	こども支援センターげんき所長	出席
	渡辺 隆史	学校改築担当課長	出席	西野 知之	教育相談課長	出席
	渡邊 勇	学務課長 おいしい給食担当課長	出席	高橋 徹	こども家庭支援課長	出席
	須原 愛記	学力定着対策室長	欠席	伊藤 良久	生涯学習振興公社事務局長	出席
	森 太一	学力定着推進課長	出席	和泉 恭正	地域のちから推進部長	出席
	飯塚 尚美	就学前教育推進課長	欠席	浅見 信昭	地域文化課長	出席
				馬場 優子	こころとからだの健康づくり課長	出席
書記	清水 均	庶務係長	栗原 威夫	庶務係主査	秋元 康裕	教育政策担当係長
	田巻 正義	教育政策担当係長	佐々木 直	教育政策担当係長		
傍聴者	1名					
会議に付した議題	別紙、会議次第の通り。					

平成28年10月31日

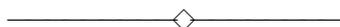
## 第10回足立区教育委員会定例会

午後3時開会

○教育長 それでは、ただいまから本年第10回足立区教育委員会定例会を開会いたします。

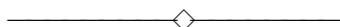
まず、本日の出席委員数ですけれども、定足数であります。よって会議は成立いたします。

それでは、これより審議に入ります。



○教育長 初めに、会議録署名員の指名をいたします。

本日の会議録署名員に小川委員、葉養委員をご指名いたしますので、よろしくお願いいたします。



○教育長 それでは日程第1、第69号議案を議題といたします。

庶務係長。

○庶務係長 日程第1、第69号議案 足立区立保育所の指定管理者の指定の送付について。

以上。

○教育長 第69号議案について、鳥山子ども家庭部長から説明をお願いいたします。

子ども家庭部長。

○子ども家庭部長 定例会資料2ページをお開きいただきたいと思います。

件名・所管部課名は記載のとおりでございます。

平成30年4月から区立園の第二期目の指定管理者となる候補者につきまして、規定に基づいて選定したところでございます。この候補者につきましては指定管理者として指定するため、本案を区議会へ提出するものでございます。

対象施設でございますが、区立東保木間保育園。指定管理者となる団体でございますけれども、社会福祉法人高砂福祉会、千葉県流山市に本部がある法人でございます。

指定期間につきましては、平成30年4月1日から平成40年3月31日までの10年間でございます。

審査経過等については記載のとおりでございます。

審査結果につきましては、3ページにございますので

覧いただきたいと存じます。

今後の方針でございますけれども、区議会の議決後、区と事業者との間で協定書を締結してまいります。

なお、本事業所につきましては現在の指定管理者でございますので、引き継ぎ保育等はないということでございます。

説明は以上でございます。よろしくお願いいたします。

○教育長 ただいま説明がありましたので、これより本案の審議に入ります。

第69号議案について、ご質問・ご意見がありましたら委員のご発言をお願いいたします。

何か質疑はありますか。よろしいですか。

(なし)

無いようですので、これより第69号議案 足立区立保育所の指定管理者の指定の送付についてを採決いたします。

本案は原案のとおり決することに賛成の方の挙手を求めます。

(賛成者挙手)

挙手全員であります。よって本案は原案のとおり議決することにいたします。



次に、日程第2、第70号議案を議題といたします。

庶務係長。

○庶務係長 日程第2、第70号議案 足立区文化財保護審議会への諮問事項について。

以上。

○教育長 第70号議案について、和泉地域のちから推進部長から説明をお願いいたします。

地域のちから推進部長。

○地域のちから推進部長 資料の5ページを開けていただきたいと思います。70号議案説明資料でございます。

こちらにつきましては諮問理由に書いてありますけれども、文化財保護条例23条から25条に基づきまして、文化財登録についての答申を得るために審議会を開催して諮問するという内容でございます。

こちらにつきましては、2 内容の(2)を見ていただ

きたいのですけれども、花畑遺跡東地区ということで、実は保木間五丁目38番地で病院建設の計画がありまして、その事前に発掘調査をした結果、古墳時代の祀りに用いられたと思われる須恵器ですとか土師器、そういうものが出てきましたので、こちらについて文化財登録したいということで審議会を開きたいということでございます。

私からは以上でございます。

○教育長 ただいま説明がありましたので、これより本案の審議に入ります。

第70号議案について、ご質問・ご意見がありましたら、委員のご発言をお願いいたします。

何か質疑はありますか。よろしいですか。

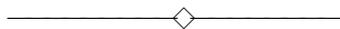
(なし)

無いようですので、これより第70号議案 足立区文化財保護審議会への諮問事項についてを採決いたします。

本案は原案のとおり決することに賛成の方の挙手を求めます。

(賛成者挙手)

挙手全員であります。よって本案は原案のとおり議決することにいたします。



次に、日程第3、教育長報告を議題といたします。

今回は足立区議会第3回定例会での主な質疑に関する報告です。

私から報告させていただきます。

就学援助の支給日の改善ということで準要保護者の場合、新入学児童生徒の学用品費等という品目があるのですけれども、これが今、7月に支給されている。これが入学時に間に合っていないのではないかと、こういうご質問です。

答弁ですけれども、中学校入学時の新入学児童生徒学用品等については、保護者の負担が大きいため援助を行う時期を改善する必要があると考えている。見直しにあたっては電算システムの改修等が課題となるが、29年度から児童が中学校に入学する前の2月末ごろに支給できるよう準備を進めると答弁させていただきました。

同様に、小学校に入学する際の入学準備金についてはどうかということですが、小学校へ入学する新1年生

については、就学援助の対象者が学齢児童生徒の保護者という法律上の課題を整理した上で根本的なシステム改修を行い、就学前に支給できるように早急に検討を進めると答弁させていただきました。

それから話題が変わりまして、小中学校の施設更新についてですけれども、新たな統合計画はどうなっているのかということで、施設更新の基準としては小・中学校とも原則として「建築年次の古い順」、「統合計画を推進する建設コストの観点から効率的・効果的な改築方法を取り入れる」等を実施基準に、適正規模・適正配置計画と連動して年間2校程度の施設更新を進めているという現状をお話しした上で、現在改定作業を行っている「足立区立小中学校の適正規模・適正配置のガイドライン」に施設更新について盛り込んでいく予定である。策定スケジュールについては年内にパブリックコメントを実施した上で、年度内に策定すると答弁させていただいております。

次に不登校専門の学校の設置についてのご要望がありました。

八王子にある高尾山学園のことなのですが、平成16年4月に高尾山学園は開園しております。小学校4年生から中学校3年生までの不登校児童生徒のための体験型の学校であり、もとの学校への復帰ではなく、同校を卒業することが前提となっている。

一方で区では、区内に不登校対策に関する検討会を設け、多方面から効果的な不登校対策を検討しているが、適応する力を育み、もとの学校への復帰を目指す現在のチャレンジ学級や別室登校などが基本であると考えていると答弁しましたけれども、再質問もありまして、どうなのかということについて、高尾山学園のような学校については今後検討していくと、このように答弁をさせていただいております。

それから、児童相談所の設置について、法改正があって、23区への移管ということができるようになったわけですが、これはどういう状況なのかということのご質問でした。

区としては、児童相談所にかかわる施設と人材と財源が一括して移管されることを前提に児童相談所の移管を考えている。

また、足立区の児童相談所の設置をする場合の大きな課

題として、「児童相談所及び一時保護所施設整備をどうするのか」、「専門性の高い福祉系の職員の確保・育成をどうするのか」、「必要とされる財源はどうか」と、課題がある。

一方で、法改正成立後、東京都は特別区からの協議に応じる姿勢を示しているものの、その考え方や方針などについては何も示していない。そのため足立児童相談所の施設を初め、関係職員及び必要財源の一括した移管についての見通しは不透明であると考えている。こうした状況の中、特別区においては副区長会のもとに児童相談所移管準備連絡調整会議を設置し、課題の抽出・整理及び移管に向けた具体化の検討、ロードマップの作成を行っている。今後整理された課題、全体のロードマップ、都との協議等を踏まえて移管準備を進めていくと。足立区としても特別区と一体となり東京都との協議に臨んでいく、このように答弁をいたしております。

最後に、基礎学力の定着についてのご質問がありました。

学力が「二の次」となっているのではないかということについて、答弁させて頂いております。

教育委員会といたしましては、子どもたちが大人になり社会に出ても、自他を大切にすることを、物事を自律的に判断し主体的に行動する「生きる力」が必要不可欠であり、それを支えるのが「基礎学力」であると考え、教育改革の柱に据えてきた。現在でもこの方針に変わりはなく、「学力は二の次」とは考えていない。

「自身の将来に夢や希望を見出せない」といった厳しい環境にある子どもたちを丁寧に支援し、世代を越えて連鎖する深刻な貧困を断ち切るために欠かせない役割を果たすのが足立区の教育である。

今後も教育委員会が強いリーダーシップを発揮し、児童1人1人の学習意欲を高め、学びを通して自らのあり方を変えていく自己学習力を育成し、基礎学力の定着を図っていくと、答弁をいたしております。

この答弁の内容についてはまたホームページにも掲載されるのでご確認をいただきたいと思っております。

私からは以上です。

続いて、各部・課からの報告事項に入ります。初めに①と②について、杉岡教育政策課長、お願いします。

教育政策課長。

○教育政策課長 お手元の報告資料の6ページをご覧ください。

件名、所管部課名は記載のとおりでございます。

平成29年度区立学校等の入学式・卒業式等の日程を定めましたので報告をさせていただきます。

1番、2番、日程等は記載のとおりでございます。お目通しくださいませ。

続きまして7ページ、ご覧ください。

件名、所管部課名は記載の通りでございます。

放課後子ども教室、小学校全校実施をしてございますけれども、夏季休業中における過ごし方を検討するために試行実施をさせていただきました。

記載のとおり、4校のうち、千寿桜小学校はこれまでに放課後子ども教室を夏休みに実施しておりますので、このとおり実施をいたしました。3校につきましては、小学校の校長会長、副校長会長のところで実施をいたしました。

実施につきましては、各学校長及び放課後子ども教室の実行委員会スタッフで日程・内容等の協議をして、記載のとおりで実施をいたしました。

実施結果と次年度の課題でございます。

まず、学校におきましては、今回、夏期講習または自主学習の見守り等に放課後子ども教室のスタッフが入りましたので非常に効果的で、学校としては引き続き来年度も実施をしてほしいというご要望の声がございます。

一方、放課後子ども教室は、本来学校の給食がある放課後に実施をいたしましたので、本来である自由遊び等が開催できなかったのも、その辺、スタッフの確保も含め課題は残っているという声でございます。

それから、全体的に放課後子ども教室だけではなく、夏休みの居場所としては児童館も夏休みに開催してございます。

それから学童も通年、居場所としては実施をしております。そういった形で町内のさまざまな夏休みの居場所について今後検討が必要であるという課題が残っております。

今後につきましては、現在、教育政策課、生涯学習振興公社、または学童を所管しております住区推進課、それから子どもの貧困対策の担当課と、今、「子どもの居場所づくり検討」をしてございますので、引き続き課題も含めて検討させていただきたいと考えております。

説明は以上でございます。

○教育長 申し遅れましたけれども、質疑については全ての報告が終わってからのしたいと思いますので、よろしく願いいたします。

次に③について、太田学校適正配置担当課長お願いします。

学校適正配置担当課長。

○学校適正配置担当課長 お手元の資料の8ページをご覧ください。

件名・所管部課名は記載のとおりでございます。

今回、このガイドラインの見直し案を作成いたしましたので、そのご報告になります。

1番で、これまでの取り組みということで、これまで取り組んできた内容が記載されてございます。

2番につきましては、適正規模・適正配置の基準の見直しということで適正規模につきましては、今まで5段階の表示をしていたものを、今回、5段階の表示を改めまして、過小、過大という優劣のつく表現は改めた形になっております。

適正規模以下であれば小規模校、以上であれば大規模校というくりにしてございます。

あと、35人学級を採用していることから、標準児童数、生徒数の引き下げを行ってございます。

また、適正配置の新基準ですが、今回新たに通学時間の基準を設けてございます。おおむね30分以内ということで、これは子どもの起床時間の調査や足立区の学校の登校時間などを勘案しまして、子どもが通学にかけられる時間から通学時間の目安を定めたものでございます。

それに伴いまして、通学距離の見直しもさせていただいております。

小学校低学年がゆっくり歩いた場合、分速40メートル、中学生がゆっくり歩いた場合分速60メートルということで、通学時間30分から計算いたしまして、通学距離の基準を小学校は800メートル以内であったものがおお

むね1,200メートル以内。中学校につきましては1,200メートル以内であったものがおおむね1,800メートル以内に変更させていただいております。

続きまして、3番の通学路の安全対策ということで、適正配置の新基準を設けたことに伴いまして、通学路の安全対策、これまでにとってきた安全対策プラス、新たな対策を(1)から(7)まで追加させていただいております。

特に(1)学童擁護員の増員から(5)交通安全グッズの配付まで、こちらにつきましては、統合新校に対して対応をとっていくという安全対策になってございます。

4番、施設更新に関する方針ということで、学校の耐用年数の基準をこれまで50年としてまいりましたが、建築年次によってコンクリートの強度が異なるということで、この基準を改めまして、「65年から82年程度」と改めさせていただきました。

ページをめくりまして、10ページ、11ページをご覧ください。

今後取り組むエリアということで、平成25年の施設更新計画から引き続き取り組むエリアということで、江北地域、鹿浜地域、入谷地域を指定してございます。

それと、11ページ、新たに取り組むエリアということで花畑地域を指定させていただいております。

こちらの取り組むエリアにつきましては、学校規模の視点、年少人口の視点、施設更新の視点等を総合的に勘案しましてこの取り組むエリアを指定させていただいております。

今後の方針ですが、取り組むエリアに指定した地域につきましては、学校関係者への説明を丁寧に行っていくということ。また、地域内の人口動態を注視しつつ、避難所、地域コミュニティを核とした機能、エリアデザインによる地域の魅力づくり、跡利用など関連部署と連携を取りながら慎重に進めてまいります。

あとこちらの見直し案ですが、平成28年11月7日から12月7日までパブリックコメントを実施する予定でございます。

来年3月に策定できるように準備を進めてまいります。

説明は以上です。

○教育長 次に④について渡邊おいしい給食担当課長、お願いします。

おいしい給食担当課長。

○おいしい給食担当課長 それでは12ページをご覧ください。

件名、所管部課名は記載のとおりでございます。

糖尿病をはじめとする生活習慣病を予防し、区民が生涯健康で生きていくために、「足立区食育推進計画」がございますけれども、こちらに「おいしい給食推進事業」を組み合わせて、子どものころからの望ましい食習慣を定着させる新たな計画を策定するというものでございます。

平成28年度末を目途に策定する予定でございます。

計画期間でございますけれども、平成29年度から34年度までの6年間でございます。

計画の主な内容でございますが、こちらの子どもに重点を置きながら、次世代を担う高校生、若い世代をはじめ全ての区民に切れ目ない事業を展開するものでございます。

今後の方針でございますけれども、パブリックコメントの実施前に計画案を教育委員会に報告する予定でございます。

私からは以上です。

○教育長 次、⑤について、森学力定着推進課長、お願いします。

学力定着推進課長。

○学力定着推進課長 私からは13ページに基づきましてご報告させていただきます。

今年の4月に実施しました、平成28年度「全国学力・学習状況調査」の結果が出ましたので報告をするものでございます。

件名、所管部課名については記載のとおりでございます。本調査の目的でございますけれども、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握、分析し、教育施策の成果・課題等を検証し、その改善を図るということが言われております。

実施日時でございますけれども、ことしの4月19日。対象は小学校6年生と中学校3年生でございます。

科目は「国語A」「国語B」それから「算数A」「算数B」「児童質問紙調査」、中学校については「国語A」「国語B」「数学A」「数学B」と「生徒質問紙調査」になります。

Aというのは知識に関する問題でございまして、Bについては活用に関する問題でございます。

それぞれ小学校6年生は約5,000人、中学校3年生は約4,500人が受験をいたしました。

ページをめくっていただきまして14ページをご覧ください。

調査結果でございますけれども、平均正答率を見ますと、小学校では「国語B」を除いて、国の平均正答率を上回っております。ただし東京都の平均正答率は上回ることはできませんでした。

一方中学校では、全ての科目にわたって、国、都の平均正答率を上回ることはできませんでした。

今後はこの調査結果とデータの分析を進めて、今後の施策の検討資料として活用していきたいと思っております。

私からは以上です。

○教育長 次に⑥について、上遠野子ども政策課長、お願いします。

子ども政策課長。

○子ども政策課長 資料の15ページをお開きください。

件名は記載のとおりでございます。

今回、この「子ども・子育て支援事業計画」の素案がまとまりましたのでご報告させていただくものでございます。

まず1番の(1)計画の全体構成につきましては、この線で囲ってありますところの第1章から第4章までをまとめたものでございます。第5章につきましては既に策定済みとなっております。そちらは必須事項でございますけれども、今回は任意記載事項というところで第1章から第4章を策定したということになります。

それぞれの各章ごとの主な要点でございますけれども、(2)の①、まず計画の位置づけです。

こちら子ども・子育て支援法第61条に基づく計画であるとともに、次世代育成支援対策推進法第8条に定める行動計画を兼ねるものとなっております、「第2期あだち次世代育成支援行動計画」を引き継ぐものとなります。

また、今のところで、現在区で策定しております上位計画となる基本計画などとの整合性を図ったものということになります。

この「子ども・子育て支援事業計画」は、原則としては就学前の児童を対象にしたもの、その保護者を対象にしたものということになっておりますが、学童保育室など一部

小学生が対象となっている事業も含まれているものがございます。

計画の期間といたしましては、平成31年度までとなります。

おめくりいただきまして16ページでございます。

第2章につきましては、この足立区の子ども・子育て家庭を取り巻く現状・課題というところでまとめたものがございます。

③の、第3章、計画の基本的な考え方でございます。

この計画の基本理念といたしましては、教育大綱の基本理念であります、「夢や希望を信じて生き抜く人づくり」を計画の基本理念としております。

計画の柱立てといたしまして、「自己肯定感を持ち、生き抜く力を備えた人」とありますが、こちらは基本計画の7つの柱の1つから引いたものがございます。

その中で施策群として、1番の「家庭・地域と連携し、子どもの学びを支え育む」というところに4つの施策、また、2番の「妊娠から出産・子育てまで切れ目なく支える」という施策群として4つの施策を設置しているものがございます。

この計画の成果指標といたしまして、イとなりますけれども、上段の子ども支援の部分に関しては成果指標の1「自分には良いところがあると思う子どもの割合」、親支援の部分として成果指標の2「子育てを楽しいと感じる保護者の割合」ということで設定させていただいております。

④の第4章、各施策ごとの取組み内容でございます。

それぞれ取組み内容を定めておりますけれども、こちら事業を提示しておりますが、指標等につきましては現在検討中でございますので、そちらは改めてご報告させていただきたいと思っております。

17ページでございます。

第5章につきましては、こちら既に策定済みのところでございますが、数値のみ修正をさせていただきまして、訂正させていただくという形になります。

⑥その他（放課後子ども総合プラン）につきましても、第5章の見直しと合わせて別途報告をさせていただきたいと思っております。

2番でございますが、今後この素案のパブリックコメントを実施いたします。コメントの実施機関は11月9日か

ら12月8日までの1カ月間を予定しているものがございます。

今後の方針といたしましては、各事業の指標等については引き続き検討させていただいて、またご報告をさせていただきたいと思っております。

以上でございます。

○教育長 次に⑦と⑧について松野子ども施設整備課長、お願いします。

子ども施設整備課長。

○子ども施設整備課長 それでは18ページをお開き下さい。

件名・所管部課名は記載のとおりでございます。

待機児童解消アクション・プランに基づきまして認可保育所を整備してございますが、このたび30年4月に開設、運営する事業者につきまして、審査会を經まして、今回、選定いたしましたのでご報告いたします。

選定をいたしました審査会は9月5日、10月3日に開催してございます。

審査の内容なのですけれども、北綾瀬周辺の3事業者、それから西新井が2事業者来まして、それぞれ1事業者を選定しております。

また、江北、扇、六町駅周辺、それから舎人駅周辺につきましては各1事業者が来ましたので、こちらを審査する形になっております。

運営予定事業者を設定しました内容でございますが、まず北綾瀬駅周辺でございますが、株式会社サクセスアカデミー、こちら綾瀬六丁目で82名の定員で実施をするという提案でございました。

それから19ページに移りまして、西新井地域ですが、こちらは社会福祉法人アスクこども育成会、こちらにつきましては西新井の四丁目で70名定員の予定でございます。

それから3番目、江北地域でございますが、株式会社サクセスアカデミー、江北四丁目でございまして、76名の定員を予定しております。

20ページをおめくりください。

扇地域につきましては、Kids Smile Project、こちらの会社によりまして、扇一丁目、60名の定員を予定しております。

それから六町駅周辺地域、こちらにつきましては株式会社ヒューマンサポート、六町二丁目におきまして76名の定員を予定しております。

それから21ページに移りまして舎人駅周辺におきましては株式会社日本保育サービスで、舎人五丁目において65名の定員で計画を予定しております。

22ページ、23ページにつきましては、各審査の結果でございます。

北綾瀬周辺、それから西新井につきましては複数事業者が応募しておりましたので、残念ながら採用とならなかった事業者につきましても、評価の内容を記載させていただいております。

次に24ページにお移りください。

件名・所管部課名は記載のとおりでございます。

東京都の認証保育所の認可化の移行を予定している保育事業者についてのご報告でございます。

まず1点目は、たんぼぼ保育所六町園。こちらにつきましては株式会社ヒューマンサポートが、現場所で足立区六町三丁目にあります。こちらで40名の定員を70名の定員に拡大するという予定でございます。

それから2番目、チェリッシュ綾瀬でございます。こちらは綾瀬の三丁目において現在45名の定員を66名の定員で認可化するということでございます。

それから3番目が恵・YOUベビーハウス、こちらにつきましては東綾瀬一丁目にて現在運営しておりますが、40名定員を69名に拡大して行うものがございます。

これらは全て施設に余裕があったり、また増築だと対応ができるということで、認可化の予定をしているものがございます。

これらの内容につきましては、29年度の保育施設利用案内にご案内をいたしまして、来年度の認可保育所として、保育所の募集でも載せていく予定でございます。

今後なのですけれども、3歳児の受入れ定員が不足する見込みの地域、特に千住、梅田、中央本町、綾瀬、保塚・六町におきまして一定の条件を満たす認証保育所A型の認可化移行を支援していく予定でございます。

私からは以上です。

○教育長 続いて⑨について森田子ども施設運営課長、お願いします。

子ども施設運営課長。

○子ども施設運営課長 それでは資料の25ページをご覧ください。

件名・所管部課名は記載のとおりでございます。

あやせ保育園の区立普賢寺公園への仮移転に関する地元及び保護者対応の経過等を報告するものでございます。

これまでの対応経過でございますが、1番に記載のとおり、8月8日以降、あやせ町会自治会連合会が区立普賢寺公園に隣接する自治会の役員、あやせ保育園の保護者に対し仮移転に至った経緯や方針スケジュール等について説明してまいりました。

ただ、その中で保護者の方々から転園を希望したいとの意見もあったため、10月13日に、意向調査を実施し現在結果を集計中でございます。

今後の予定ですが、2番に記載のとおり、区立普賢寺公園近隣にお住まいの方々を対象に説明会を実施いたします。

その際に26ページ以降に添付しております仮園舎の図面案を提示いたします。

26ページをご覧ください。仮園舎でございますが、敷地面積は約1,300平方メートルで、公園の約3分の2を活用いたします。園の敷地は一周をフェンスで囲みまして専用の園庭を確保するとともに、防犯カメラや電子錠の扉を設置するなどセキュリティを高めていきます。

また仮園舎の建築の際には、樹木の伐採等は必要最低限にし、公園機能を極力残すよう配慮いたします。

同時に公園南側に隣接いたします公有地を借り受け、公園と一体的に管理することで公園面積の減少をほんの少しでも補っていく予定でございます。

私からは以上でございます。

○教育長 続いて⑩について、寺島青少年課長、お願いします。

青少年課長。

○青少年課長 お手元の資料の29ページをご覧ください。

件名・所管部課名につきましては記載のとおりでございます。

本件につきましてはチリ共和国アタカマ市長からの要望により、平成26年度に引き続きまして高校生を派遣したいという申し出がございましたので、こちらを受け入れるものでございます。

経緯等でございますが、ギャラクシティでは平成25年度のリニューアルのときより、東京大学の天文センターがチリ共和国アタカマ市に建設しております天文台からの星空の映像の提供を受けているところでございます。

また、アタカマ市長が日本に来日された際には足立区長と懇談を行うなどの縁から、平成26年度に2名の高校生派遣を受け入れたものでございます。

こういったものは区内の中高生また大学生の国際交流の体験の場づくりにもなるということから、今回の申し出を受けたものでございます。

日程につきましては、平成28年11月21日の月曜日から12月5日の月曜日までの2週間を予定してございます。

派遣される高校生につきましては3年生の女子1名、2年生の男子1名ということで計2名が予定されております。

プログラムの概要、予定案でございますけれども、在日大使館でありますとか、足立区長への表敬訪問、また区内の高校・大学などの見学、学生生徒との交流などを予定しているところでございます。

宿泊につきましては、滞在期間中、区内でのホームステイを考えておりまして、足立区少年団体連合協議会さんのご協力を得て、現在最終的な調整を行っている段階でございます。

今後の方針でございますが、関係者、非常に多岐にわたるということもございまして、関係機関と連絡を取りながら調整・準備を進めていきたいと考えております。

私からは以上でございます。

○教育長 次に⑩について、和泉地域のちから推進部長、お願いします。

地域のちから推進部長。

○地域のちから推進部長 資料の30ページをご覧ください。

こちらにつきましては件名・所管部課名は記載のとおりでございます。

毎年、生涯学習関連施設の評価を行っておりまして、それのご報告でございますが、1番に書いてあるとおり、業務評価の目的としましては、利用者のサービスの満足度の向上を目指しているものでございます。

業務評価の方法でございますが、2の(1)から(4)で書いてありますが、指定管理者が行うセルフチェック、区職員による実態調査、利用者アンケートの集計・分析、それから施設統括責任者とのヒアリングということをやっております。

変更点として、評価委員会で各施設の統括責任者からのヒアリングを実施しました。

またもう1つは、評価結果区分を区の基準に統一しております。表1が区の基準でございます。

評価委員会の構成については、記載のとおりでございます。

評価結果ですが、最低84点から最高96点ということ、評価の基準で見ると全てAランクということになっております。

ホームページでの公表を行いました。

それから今後の方針でございますが、評価によって明らかになった課題については、利用者の満足度向上につなげていくために改善を行っていくこと。

もう1つは、「協働から協創へ」ということで新基本構想にうたわれている協創へつなぐために、来年度につきましては評価項目の見直しを行っていきたいと考えております。

お手元に27年度の関連施設の評価資料というものをお渡ししてあると思いますので、後ほどお目通しいただきたいと思います。

私からは以上でございます。

○教育長 以上11件、報告がありましたけれども、ただいまの報告事項につきまして、各委員からご質疑・ご意見がありましたらご発言をお願いしたいと思います。

何か意見はありますか。

葉養委員。

○葉養委員 1点伺いたい。9ページの「3 通学路の安全対策」のところなのですが、ご承知のようにいろいろな事故が通学路にかかわって起きている。

保護者にとっては、通学路の安全というのは非常に大きな課題だろうと思うのですが、スクールガードボランティア、これは地域の方ですよ。私も子どもが小学生のときに立ったことがありますけれども、ただ、保護者というのは警察ではないので、乱暴な車があった

りしたときに限界がある。

アメリカだとスクールポリスというものがあって、地域の人が警察の権限を履行するような仕組みがあって、だから違反者があると追いかけて行って、切符を交付するようなことまで代行している仕組みがあるのですね。

それで、この警察との連携というのはどうなっているのか、教えていただきたい。

○教育長 学校適正配置担当課長。

○学校適正配置担当課長 スクールガードボランティアの募集ということで、これは個人のボランティアを、現在も各学校においてはPTAとか、開かれ協議会とか、地域の方の見守りをやっていたいただいているのですけれども、個人の方を募集するというので今回新たに始める事業でございます。

委員が言われたように、警察権限等は当然持たないものですが、今後、その辺を準備する段階で、警察とも十分協議しながらその辺も検討してまいりたいと考えてございます。

○教育長 学務課長。

○学務課長 通学路の安全対策でございますけれども、さまざまな通学路を保護者の方が見ていただいたりとか、あといろいろな通報とかあったりということで対応しております。

そのたびに、私どもとしては、警察に協議をいたしまして、新たな規制ができないのかとか、どのような対策がとれるのかということをして情報連携をしながら対策を進めていくところでございます。

今後も引き続き、警察との連携については強化しながらやっていきたいと考えてございます。

○教育長 よろしいですか。ほかいかがでしょうか。

小池委員。

○小池委員 13ページ、14ページの学力定着対策室の学力調査の結果についての、私の意見ですけれども、まず小学校は、ここ10年の取り組みで随分基礎学力の定着ということで、成果が出てきたと思います。

しかし、やはりこの数値を見てもわかるように、中学校は、まだまだ課題が多いと感じています。

今、中学校の授業を私、見て回っているのですけれども、1つは、なかなか教師主体、主導型の授業から抜け

出せてない。今、教科指導専門員の方が授業に入ってくださって、随分授業はよくなっていると思います。

ただし、まだまだ課題のある授業がたくさんある。

それからもう1つ、例えば、今日みたいな授業でも、1時間の授業の中でこの問題に対して何人の子ができて、何人の子ができていないのか。A君はできているけれどもB君はできていない。そういうふうに1時間、1時間、教師が子どもを見取る、そういう目がまだ養われていないというのか。

なので、ぜひ、学力ポートフォリオとか、SP表分析をこうやってもとにしながら、いつでも子ども1人1人がきちんと課題を解けているのか、解けていないのか、それを把握する目を先生方1人1人に養ってほしいと感じておりますので、ぜひよろしく申し上げます。

○教育長 ご意見ということでよろしいですか。ありがとうございました。

ほかはいかがでしょう。葉養委員。

○葉養委員 今の13ページ、14ページ対応なのですが、ここに出てなくてもホームページ上では他の資料も多分公開されるのですよね。

それで、校長会などに配られた資料を拝見すると、土曜日や日曜日など学校が休みの日に1日当たりどれくらいの時間勉強しますかという設問に対するデータが文科省から出ているのですけれども、私が持っている岩手県宮古市の調査と比べると、この「全くしない」「1時間より少ない」という子どものパーセンテージがかなり高い感じがする。合わせると41%です。片や「2時間以上」のところを全部足すと32%くらいですか。

しかし、4時間以上の子どもがいて、片や全くしない子どもがいるという、バランスが非常に悪い感じがしているのです。

宮古市と比べても「全くしない」「1時間より少ない」という、ここが非常に大きい感じがするのです。

これが結局、中学生の学力を平均値として低めている1つの要因かなという感じがするのですけれども、そこら辺の細かな分析というか、どういう層が「全くしない」「1時間より少ない」という層に該当するのかという、そういうデータは、国からは来てなかったですか。

学校単位のデータは来るのですよね。児童生徒対応の属

性がわかるようなデータは来ていないのですよね。

だからそこをやっていかないと、このところでも詰めていかないと、結局この一番低いところが底上げされないと、やはり平均値ってなかなか上がっていかないのではないかな。

だから、ほかの自治体、岩手県宮古市のデータは区分が違うというところもあるのですけれども、「30分より少ない」というところでデータを取っている。全部時間刻みで取っていますけれども、ちょうど集計が終わったばかりで、経年変化を追っているのですけれども、震災の前からずっとやっているのだから、震災前と震災直後と、それから7月、8月に悉皆調査をやって、中学生対象1年生から3年生全部、市長とか教育長とかの了解を得てやっているデータを見ると、「将来の夢」とか「目標」のところはかなり肯定的な割合が高いなという感じがして。宮古と比べてです。「自分にはよいところがあると思いますか」は大体同じくらいの感じ。

一番違うのが、「放課後の学習」なのです。このところが非常に低い層が大きい。その何か背景みたいなものが、教えていただけると。もし無ければ結構ですけれども、そういう感じだけ受けているとか。

○教育長 学力定着推進課長。

○学力定着推進課長 委員のご指摘のとおり、家庭学習の時間は非常に少ない。今回の学力調査につきましても、A層、B層、C層に分かれての学習時間の把握のデータは出ておりますけれども、全体的に低いというのが全体の傾向でございます。特にトップ層の秋田県とか福井県に比べると、段違いに低い。

私たちの学力向上施策の中で、やはり家庭学習の確保、それを伸ばしていくというのが非常に大きな課題であるということも委員のご指摘のとおりでございます。その背景が何なのかということは、何となくわかりますけれども、詳細はわかりませんので、この場では控えさせていただきます。

○教育長 データはありますので、また後で委員にゆっくり見ていただいて。全国の調査ではなくて、区でやっている調査にはもっと細かく出ておりますので、またご案内いただきたいと思います。

ほかはいかがでしょうか。杉田委員。

○杉田委員 お聞きしたいのですが、6ページの入学式の日程の件なのですが、今は違っていたら申しわけありません。中学校の入学式が都立高校の入学式と重なっている年が多かったように思うのですが、足立区の場合は、私立高校というよりも都立高校に進学する子どもが多い中、それで重なってしまって、お父さんとお母さんで分かれたりする場合がありますけれども、どちらか選ばなければいけないという、それで困っている保護者がいるという話を聞いたことがあるので、29年度は重なっているかどうか調べてはいないのですけれども、もし、決めるのにそういうところを考慮していただけたらと思います。

あともう1点が、その隣のページの放課後子ども教室の夏休みの実施で、これはお願いなのですが、やはり子どもたちの夏休み・冬休みとかの居場所が本当に無いと思います。

というのは、家庭でやはり共働きとか家庭に親がいないうちに子どもたちが家で過ごすというよりも、外へふらふらと出てしまう場合がとて多く、こういった居場所があれば、そこでより多くの子どもたちが勉強したり遊んだりということにつながるの、来年度以降、協議ということですが、一刻も早くというか、多くの場所ですればいいと思います。お願いしたいと思います。以上です。

○教育長 ありがとうございます。では最初の、入学式の件は。

教育政策課長。

○教育政策課長 今、委員ご指摘の都立高校の日程も合わせて確認をして、またご報告差し上げたいと思います。

それから、7ページの放課後子ども教室、全く委員がおっしゃるとおりで、私どもも、これは教育委員会だけではなかなか課題対策ができませんので、全庁的な課題というふうに、また各委員、議会にも十分に情報も含めていろいろご意見を賜りまして、進めさせていただきたいと思います。早急の課題と認識してございます。

○教育長 ありがとうございます。

放課後子ども教室だけではなくて、学童保育とか児童館とか、あるいは地域学習センターなどでもいろいろな事業で、今ほかの居場所を、子どもたちの居場所をつく

ろうと頑張っておりますので、またご案内させていただきたいと思います。

ほかはいかがでしょう。小川委員。

○小川委員 またというか、アタカマから二人の高校生が見えますけれども、二度目なのですが、足立区の例えば中学生とか高校生をアタカマにというような計画というか、そんなのは全然ないのでしょうか。

○教育長 青少年課長。

○青少年課長 平成26年、また今回もアタカマ市長側から、ぜひ日本の文化に触れさせたい、先進的な産業分野を教わりたいという強い思いがあって高校生の派遣受け入れが決まったというところでございます。

仮に、区から中学生または高校生を派遣していくということになれば、その派遣した先でどういった経験をするか体験をするのか、どういった目的で行くのかということをしっかり明らかにしていかなければいけないと考えておりますので、そのあたりも含めて、派遣の必要性等も含めて今後考えていきたいと考えております。

○教育長 よろしいでしょうか。

○小川委員 必要性というよりもやはり、チリのアタカマはすごく魅力的なところなので、だから、この足立区のこんなにビルがいっぱいのところに住んでいる人たちが、何も無いところに行くなんていうのは、それだけでも意味があると私は思っているのです。私も行っているのだからわかるのですけれども。

だから、何の意味があるかなんていうのではなくて、交換というのを、これからやっていらしたら、みんな国際化、国際化となっていくと思うので、いかがかなと思っております。

○教育長 青少年課長。

○青少年課長 最初、委員がおっしゃいますように、アタカマ市は農業ですとか観光が非常に重要な産業のところで、そこから学ぶべき内容もたくさんあると考えております。そういった意味も含めて今後検討したいと思っております。

○教育長 ちょっとお時間をいただきたいと思います。私も初めてなものですから、アタカマから子どもが来るのは。

○小川委員 そうですか。私はちょうど2回目だったので。

○教育長 なるほど。

ほかはいかがでしょう。よろしいですか。

(なし)

○教育長 無いようですので報告事項を終了いたします。

ほかになにかご意見、ご質問とかあれば、よろしいですか。

(なし)

○教育長 それでは以上をもちまして本年第10回足立区教育委員会定例会を閉会させていただきます。

お疲れさまでした。ありがとうございました。

午後3時49分閉会

平成28年第10回  
足立区教育委員会定例会

日 時 平成28年10月31日 月曜日 午後3時開議  
会 場 教育委員会室

1 議事日程

頁

日程第1	第69号議案	足立区立保育所の指定管理者の指定の送付について	1
日程第2	第70号議案	足立区文化財保護審議会への諮問事項について	4
日程第3		教育長報告	

2 報告事項

- ① 平成29年度区立学校等の入学式・卒業式等の日程について《杉岡 教育政策課長》… 6
- ② 放課後子ども教室の夏休み試行実施結果について 《杉岡 教育政策課長》… 7
- ③ 足立区立小・中学校の適正規模・適正配置の実現に向けて (案)  
～子どもの未来を創る適正規模・適正配置のガイドライン～の策定について … 8  
《太田 学校適正配置担当課長》及び別添
- ④ 足立区糖尿病対策アクションプラン「おいしい給食・食育対策編」の策定につい  
て 《渡邊 おいしい給食担当課長》… 12
- ⑤ 平成28年度「全国学力・学習状況調査」の調査結果について  
《森 学力定着推進課長》… 13
- ⑥ 足立区子ども・子育て支援事業計画(素案)の策定とパブリックコメントの実施  
について 《上遠野 子ども政策課長》及び別添 … 15
- ⑦ 民設民営による認可保育所の運営予定事業者の選定について  
《松野 子ども施設整備課長》… 18
- ⑧ 東京都認証保育所の認可化移行について 《松野 子ども施設整備課長》… 24
- ⑨ あやせ保育園仮移転に関する地元説明等について 《森田 子ども施設運営課長》… 25
- ⑩ チリ共和国サンペドロ・デ・アタカマ市からの高校生受け入れについて  
《寺島 青少年課長》… 29
- ⑪ 足立区生涯学習関連施設指定管理者業務評価結果(評価対象:平成27年度)  
について 《和泉 地域のちから推進部長》及び別添 … 30

裏面へ続く

### 3 情報連絡事項

- |                                 |                |
|---------------------------------|----------------|
| ① 開かれた学校づくり協議会フォーラムの開催について      | [教育政策課]…31     |
| ② 足立区立小・中学校の適正規模・適正配置の進捗状況について  | [学校適正配置担当課]…32 |
| ③ 「一斉コシヒカリ給食」（魚沼市からの贈呈分）の実施について | [学務課]…33       |
| ④ 「第8回給食メニューコンクール」の応募結果について     | [おいしい給食担当課]…34 |
| ⑤ 「足立オールおいしい給食ウィーク」の実施について      | [おいしい給食担当課]…35 |
| ⑥ 「小松菜一斉給食」の実施について              | [おいしい給食担当課]…36 |
| ⑦ 再就職セミナー第3回の実施結果の報告について        | [子ども施設整備課]…37  |
| ⑧ 事業実施報告・実施予定                   | [青少年課]…38      |
| ⑨ 郷土博物館の臨時休館について                | [地域文化課]…40     |
| ⑩ 行事实施結果・実施予定                   | [生涯学習振興公社]…41  |

第 6 9 号議案

足立区立保育所の指定管理者の指定の送付について  
上記の議案を提出する。

平成 2 8 年 1 0 月 3 1 日

提出者 足立区教育委員会教育長 定 野 司

足立区立保育所の指定管理者の指定の送付について  
足立区立保育所の指定管理者を下記のとおり指定する。

記

- 1 施設の名称 足立区立東保木間保育園
- 2 指定管理者 住 所 千葉県流山市十太夫字小山 9 9 番地の 4  
名 称 社会福祉法人高砂福祉会  
理事長 篠塚雅之
- 3 指定の期間 平成 3 0 年 4 月 1 日から平成 4 0 年 3 月 3 1 日まで

(提案理由)

足立区立保育所の指定管理者を指定する必要があるので、地方自治法  
第 2 4 4 条の 2 第 6 項の規定に基づき、この案を提出いたします。

## 第 6 9 号 議 案 説 明 資 料

平成 2 8 年 1 0 月 3 1 日

件 名	足立区立保育所の指定管理者の指定の送付について
所管部課名	子ども家庭部 子ども施設整備課
内 容	<p>平成 3 0 年 4 月 から区立園の二期目の指定管理者となる候補者について、足立区における保育の利用等に関する条例第 2 5 条、第 2 6 条及び第 2 7 条の規定により選定した。ついては、以下のとおり指定管理者候補者に選定した事業者を指定管理者として指定するため、本案を区議会へ提出する。</p> <p>1 対象施設  (1) 名 称 足立区立東保木間保育園  (2) 所在地 足立区東保木間一丁目 2 5 番 2 - 1 0 1 号</p> <p>2 指定管理者となる団体  (1) 名 称 社会福祉法人高砂福祉会 (理事長 篠塚 雅之)  (2) 所在地 千葉県流山市十太夫字小山 9 9 番地の 4</p> <p>3 指定期間  平成 3 0 年 4 月 1 日から平成 4 0 年 3 月 3 1 日まで (1 0 年間)</p> <p>4 審査経過  (1) 第一次審査 (書類審査等) 8 月 4 日  (2) 第二次審査 (プレゼンテーション・園長ヒアリング等) 8 月 4 日  (3) 労働条件審査 8 月中旬～9 月中旬  ※応募事業者が 3 者以下だったため、第一次審査と第二次審査を同日に実施。</p> <p>5 審査結果  別紙審査結果表のとおり</p>
今後の方針	<p>指定管理者候補者として選定した法人を指定管理者として指定するため、本案を第 4 回足立区議会定例会に提出する。</p> <p>区議会の議決後、区と事業者との間で協定書を締結する。本事業者は現在の指定管理者と同一事業者であるため、引継ぎ保育を実施する必要はない。</p>

東保木間保育園指定管理者候補者選定 審査結果表

\* 第一次審査会 H28.8.4 \* 第二次審査会 H28.8.4

評価項目	第一次審査会 (書類審査)								第二次審査会 (プレゼンテーション等)									総合得点		
	1	2	3	4	5	6	7	8	1	2	3	4	5	6	7	8	9	第一次審査会得点	第二次審査会得点	総合得点
満点(委員7人)	840	350	490	630	490	700			700	1,400	1,400	700	1,400	1,400	1,400	1,400	1,400	3,500	11,200	14,700
	581	274	358	449	379	503	0	0	495	990	951	445	905	935	1,005	990	980	2,544 (72.69%)	7,696 (68.71%)	10,240 (69.65%)
1	事業計画・保育園運営								施設運営の取組み									総合得点		
	保育サービス								園長予定者ヒアリング・園長の適性									第二次審査会得点		
	職員管理								園長との交流									第一次審査会得点		
	危機管理								園長予定者ヒアリング・園長の適性									総合得点		
	園児の健康管理								園長予定者ヒアリング・園長の適性									総合得点		
	経営の安定性								園長予定者ヒアリング・園長の適性									総合得点		
	区内事業者への割合加点								園長予定者ヒアリング・園長の適性									総合得点		
	ワークライフバランス割合加点								園長予定者ヒアリング・園長の適性									総合得点		
	事業計画・保育園運営								園長予定者ヒアリング・園長の適性									総合得点		
	保育サービス								園長予定者ヒアリング・園長の適性									総合得点		
	職員管理								園長予定者ヒアリング・園長の適性									総合得点		
	危機管理								園長予定者ヒアリング・園長の適性									総合得点		
	園児の健康管理								園長予定者ヒアリング・園長の適性									総合得点		
	経営の安定性								園長予定者ヒアリング・園長の適性									総合得点		
	区内事業者への割合加点								園長予定者ヒアリング・園長の適性									総合得点		
	ワークライフバランス割合加点								園長予定者ヒアリング・園長の適性									総合得点		
	事業計画・保育園運営								園長予定者ヒアリング・園長の適性									総合得点		
	保育サービス								園長予定者ヒアリング・園長の適性									総合得点		
	職員管理								園長予定者ヒアリング・園長の適性									総合得点		
	危機管理								園長予定者ヒアリング・園長の適性									総合得点		
	園児の健康管理								園長予定者ヒアリング・園長の適性									総合得点		
	経営の安定性								園長予定者ヒアリング・園長の適性									総合得点		
	区内事業者への割合加点								園長予定者ヒアリング・園長の適性									総合得点		
	ワークライフバランス割合加点								園長予定者ヒアリング・園長の適性									総合得点		

※( )内は得点率(小数点第3位四捨五入)

## 第70号議案

足立区文化財保護審議会への諮問事項について  
上記の議案を提出する。

平成28年10月31日

提出者 足立区教育委員会教育長 定野 司

足立区文化財保護審議会への諮問事項について  
下記のとおり足立区文化財保護審議会へ諮問する。

### 記

#### 1 諮問事項

##### (1) 文化財登録

- ・有形文化財（考古資料）

花畑遺跡東地区258号土坑出土遺物 一括

足立区教育委員会所有

##### (提案理由)

文化財登録について、足立区文化財保護審議会へ諮問する必要がある  
ので、この案を提出いたします。

# 第 7 0 号 議 案 説 明 資 料

平成 2 8 年 1 0 月 3 1 日

件 名	足立区文化財保護審議会への諮問事項について
所管部課名	地域のちから推進部 地域文化課
内 容	<p>1 諮問の理由 足立区文化財保護条例第 2 3 条から第 2 5 条に基づき、平成 2 8 年度の足立区文化財登録についての答申を得るため、文化財保護審議会を開催し諮問する。</p> <p>2 内 容 (1) 開催日程 第 1 回 (諮問) 平成 2 8 年 1 2 月 6 日 (火) 第 2 回 (答申) 平成 2 9 年 1 月 2 0 日 (金)</p> <p>(2) 文化財登録諮問案件 ・有形文化財 (考古資料) 花畑遺跡東地区 2 5 8 号土坑出土遺物 一括 足立区教育委員会所有 年 代 : 古墳時代 (5 世紀末頃) 出土地点 : 足立区保木間五丁目 3 8 番 (花畑遺跡内)</p> <p>3 登録年月日 本案議決後処理する。</p>
今後の方針	

# 教 育 委 員 会 報 告

平成28年10月31日

件 名	平成29年度区立学校等の入学式・卒業式等の日程について
所管部課名	学校教育部 教育政策課、子ども家庭部 子ども施設運営課
内 容	<p>平成29年度区立学校等の入学式・卒業式等の日程について報告する。</p> <p>1 入学式、入園式</p> <p style="margin-left: 20px;">小学校 平成29年4月 6日 (木) 午後</p> <p style="margin-left: 20px;">中学校 平成29年4月 7日 (金) 午前</p> <p style="margin-left: 20px;">こども園 平成29年4月10日 (月) 午前</p> <p>2 卒業式、修了式</p> <p style="margin-left: 20px;">小学校 平成30年3月23日 (金) 午前</p> <p style="margin-left: 20px;">中学校 平成30年3月20日 (火) 午前</p> <p style="margin-left: 20px;">こども園 平成30年3月16日 (金) 午前</p>
今後の方針	

# 教 育 委 員 会 報 告

平成28年10月31日

件 名	放課後子ども教室の夏休み試行実施結果について																												
所管部課名	学校教育部 教育政策課、生涯学習振興公社																												
内 容	<p>長期休業中における子どもの過ごし方を検討するため、放課後子ども教室の拡大版として夏休み中に試行実施したため報告する。</p> <p><b>1 実施校および実施内容</b></p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 5%;"></th> <th style="width: 20%;">学校名</th> <th style="width: 25%;">実施日程</th> <th style="width: 30%;">内容</th> <th style="width: 20%;">スタッフ配置</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">①</td> <td>花保小</td> <td>7/21(木)～7/29(金) 午前9時～12時</td> <td>夏期講習の補助 読書活動</td> <td>2教室 図書室 6名配置</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">②</td> <td>大谷田小</td> <td>7/21(木)～7/29(金) 午前9時～12時</td> <td>自主学習の見守り 読書・貸出返却</td> <td>図書室 3名配置</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">③</td> <td>皿沼小</td> <td>7/21(木)～7/22(金) 8/22(月)～8/24(水) 午前9時～12時</td> <td>夏期講習の補助 読書活動</td> <td>3教室 図書室 4名配置</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">④</td> <td>千寿桜小 (過去に実績あり)</td> <td>7/21(木)～8/3(水) 午前9時～12時</td> <td>自主学習の見守り 読書・貸出返却 室内遊び</td> <td>1教室 図書室 4名配置</td> </tr> </tbody> </table> <p><b>2 実施結果</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・登下校の安全管理、施設管理等を踏まえ、学校主催行事との並行実施は適当であった。</li> <li>・学校としては、期間等について検討する点があると思うが、児童の居場所として役立っており、引き続き実施してほしいとの要望がある。</li> <li>・学校主催行事に協力するスタイルでの実施内容では、学校と放課後子ども教室の区別がつきにくかった。</li> </ul> <p><b>3 次年度の課題</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・放課後子ども教室を夏休みに実施する上では、スタッフの確保が課題である。</li> <li>・放課後子ども教室の夏休み実施については、自由遊び、自主学習という観点から、学校・実行委員会・スタッフでの検討が必要である。</li> <li>・学校主催行事以外の夏休みの居場所については、児童館や図書館等の活用も含め、様々な方策の検討が必要である。</li> </ul>					学校名	実施日程	内容	スタッフ配置	①	花保小	7/21(木)～7/29(金) 午前9時～12時	夏期講習の補助 読書活動	2教室 図書室 6名配置	②	大谷田小	7/21(木)～7/29(金) 午前9時～12時	自主学習の見守り 読書・貸出返却	図書室 3名配置	③	皿沼小	7/21(木)～7/22(金) 8/22(月)～8/24(水) 午前9時～12時	夏期講習の補助 読書活動	3教室 図書室 4名配置	④	千寿桜小 (過去に実績あり)	7/21(木)～8/3(水) 午前9時～12時	自主学習の見守り 読書・貸出返却 室内遊び	1教室 図書室 4名配置
	学校名	実施日程	内容	スタッフ配置																									
①	花保小	7/21(木)～7/29(金) 午前9時～12時	夏期講習の補助 読書活動	2教室 図書室 6名配置																									
②	大谷田小	7/21(木)～7/29(金) 午前9時～12時	自主学習の見守り 読書・貸出返却	図書室 3名配置																									
③	皿沼小	7/21(木)～7/22(金) 8/22(月)～8/24(水) 午前9時～12時	夏期講習の補助 読書活動	3教室 図書室 4名配置																									
④	千寿桜小 (過去に実績あり)	7/21(木)～8/3(水) 午前9時～12時	自主学習の見守り 読書・貸出返却 室内遊び	1教室 図書室 4名配置																									
今後の方針	29年度以降については、上記の課題を含め「子どもの居場所作り検討」で引き続き、関係所管と協議していく。																												

# 教 育 委 員 会 報 告

平成28年10月31日

件 名	足立区立小・中学校の適正規模・適正配置の実現に向けて (案) ～子どもの未来を創る適正規模・適正配置のガイドライン～の策定について																													
所管部課名	学校教育部 学校適正配置担当課																													
内 容	<p>1 これまでの学校適正規模・適正配置の主な事業展開</p> <p>(1) 昭和63年2月「昭和62年度の答申」 「足立区立小・中学校における適正規模ならびに適正配置について」が足立区立小中学校適正規模及び適正配置審議会から答申され、今日においても区の適正規模・適正配置の基本的な考え方となっている。</p> <p>(2) 平成7年12月「平成7年度の報告書」 「足立区立小・中学校の適正規模・適正配置計画及び改築計画に関する報告書」を、平成10年度から平成44年度までの3期35年間におよぶ長期計画として策定した。</p> <p>(3) 平成21年5月「平成21年度のガイドライン」 前期10年が終了した平成21年度に計画内容を再確認し、今後の基本的な考え方を示した。</p> <p>昭和62年度には小学校80校、中学校39校の合計119校ありましたが、これまでの取り組みにより、平成28年度現在、小学校69校、中学校36校の合計105校となっている。</p> <p style="text-align: center;">○平成21年度以降の主な適正規模・適正配置事業の取り組み</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-bottom: 10px;"> <thead> <tr> <th style="width: 10%;">年度</th> <th style="width: 10%;">区分</th> <th style="width: 80%;">統合等を実施した小・中学校</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2" style="text-align: center;">平成24</td> <td style="text-align: center;">統合</td> <td>本木小学校の開校(本木小学校と本木東小学校を統合)</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">学区域変更</td> <td>栗原小学校と亀田小学校の学区域を変更 第七中学校と第十中学校の学区域を変更</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">平成25</td> <td style="text-align: center;">統合</td> <td>足立小学校の開校(千寿第五小学校と五反野小学校を統合)</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">平成27</td> <td style="text-align: center;">統合</td> <td>鹿浜五色桜小学校の開校(上沼田小学校と鹿浜小学校を統合)</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">平成28</td> <td style="text-align: center;">統合</td> <td>鹿浜菜の花中学校の開校(鹿浜中学校と第八中学校を統合)</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">平成29</td> <td style="text-align: center;">統合</td> <td>江北桜中学校の開校予定(上沼田中学校と江北中学校を統合)</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">予定</td> <td style="text-align: center;">統合</td> <td>新校開校予定(高野小学校と江北小学校を統合)</td> </tr> </tbody> </table> <p>2 適正規模・適正配置の基準の見直し</p> <p>(1) 適正規模の新基準</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 10px;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;"></th> <th style="width: 35%; text-align: center;">小学校</th> <th style="width: 35%; text-align: center;">中学校</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">適正規模</td> <td style="text-align: center;">12～24 学級 (標準児童数 340～760 人)</td> <td style="text-align: center;">12～24 学級 (標準生徒数 370～840 人)</td> </tr> </tbody> </table>	年度	区分	統合等を実施した小・中学校	平成24	統合	本木小学校の開校(本木小学校と本木東小学校を統合)	学区域変更	栗原小学校と亀田小学校の学区域を変更 第七中学校と第十中学校の学区域を変更	平成25	統合	足立小学校の開校(千寿第五小学校と五反野小学校を統合)	平成27	統合	鹿浜五色桜小学校の開校(上沼田小学校と鹿浜小学校を統合)	平成28	統合	鹿浜菜の花中学校の開校(鹿浜中学校と第八中学校を統合)	平成29	統合	江北桜中学校の開校予定(上沼田中学校と江北中学校を統合)	予定	統合	新校開校予定(高野小学校と江北小学校を統合)		小学校	中学校	適正規模	12～24 学級 (標準児童数 340～760 人)	12～24 学級 (標準生徒数 370～840 人)
年度	区分	統合等を実施した小・中学校																												
平成24	統合	本木小学校の開校(本木小学校と本木東小学校を統合)																												
	学区域変更	栗原小学校と亀田小学校の学区域を変更 第七中学校と第十中学校の学区域を変更																												
平成25	統合	足立小学校の開校(千寿第五小学校と五反野小学校を統合)																												
平成27	統合	鹿浜五色桜小学校の開校(上沼田小学校と鹿浜小学校を統合)																												
平成28	統合	鹿浜菜の花中学校の開校(鹿浜中学校と第八中学校を統合)																												
平成29	統合	江北桜中学校の開校予定(上沼田中学校と江北中学校を統合)																												
予定	統合	新校開校予定(高野小学校と江北小学校を統合)																												
	小学校	中学校																												
適正規模	12～24 学級 (標準児童数 340～760 人)	12～24 学級 (標準生徒数 370～840 人)																												

- ① 一部の学年で35人学級を採用していることから、標準児童数・生徒数を引き下げた。
- ② 適正規模より小さい学校はすべて小規模とし、大きい学校はすべて大規模とした。過小、過大という優劣のつく表現を改めた。

**(2) 適正配置の新基準**

	小学校	中学校
通学時間	おおむね 30 分以内	
通学距離	おおむね 1,200m 以内	おおむね 1,800m 以内
通学区域	(略)	
通学区域の境界	(略)	
通学路	(略)	

- ① 新たに通学時間の基準を設けた。子どもの起床時間の調査や、足立区の学校の登校時間などを勘案し、子どもが通学にかけられる時間から通学時間の目安を定めた。
- ② 通学時間30分で子どもが歩ける距離を求めた。小学生は分速40m、中学生は分速60mで進むとし、小学校は1,200m、中学校は1,800mを目安として定めた。

**3 通学路の安全対策**

これまでの取り組みに新たな対策を追加する。

- (1) \*学童擁護員を増員する。  
登校時1時間、下校時3時間を上限に必要な時間配置する。  
1校につき原則3箇所以内とする。
- (2) \*スクールガードボランティアの募集を行う。
- (3) \*小学校登下校システムを設置する。
- (4) \*防犯カメラを増設する。  
統合に伴い距離が延びる通学路に、通常5台(東京都補助台数)に上乗せして防犯カメラを設置する。
- (5) \*交通安全グッズを配付し、遠くからでも児童を確認できる状況を整える。
- (6) 下校時安全放送の回数を増やし、地域全体で見守る意識を高める。
- (7) 登校班の編成を促していく。

\*印の取り組みについては、統合校で実施していく。

**4 施設更新に関する方針**

**(1) 耐用年数は「65年から82年程度」**

- ① これまで耐用年数は50年としてきたが、建築年次によってコンクリート強度が異なるため、一律な基準設定を改め、設計基準強度から判定される供用限界期間を改築の目安の新基準とする。

② 供用限界期間はその年数までに建物保全を行わなかった場合の期間であるため、劣化検査や保全工事を実施し安全性の確認をしたうえで、長期使用することがある。

③ 基準を定めている他区(8区)でも、60年から80年程度としている。

**(2) 施設更新の実施基準**

① 原則として「建築年次の古い順」とする。

② 新耐震構造基準に適合した小・中学校は、建物強度に応じて長期使用する。また、統合が伴った場合も、原則使用する。

③ 原則「RC造(鉄筋コンクリート)」とするが、敷地の状況等により「S造(鉄骨)」や「SRC造(鉄骨鉄筋コンクリート)」とする。

**(3) 保全工事の実施基準**

① 改築工事実施可能時期まで10年を超える期間が必要な学校

② 長寿命化を目的とする関連工事を中心に実施する。

③ 各学校の施設状況に応じて判断する。

④ 環境向上を図るため、空調設備の入れ替えとトイレ改修を進める。

**5 今後取り組むエリア**

**(1) 平成25年の施設更新計画から引き続き取り組むエリア**

引き続き江北・鹿浜・入谷地区の統合に向けた準備と検討を行う。

地区	学校名	学級	学校規模	建築年	今後の方針
江北	江北小	11	小規模	S41	両校とも建築後約50年を経過し施設更新の検討が必要です。また、平成25年度に高野小学校と江北小学校の統合に向けた実施計画(案)を策定しています。引き続き、江北エリアデザイン検討地域での建設なども含め、統合に向けた準備を進めます。
	高野小	12	小規模(人数)	S37	
鹿浜	鹿浜五色桜小	14	適正	S47	改築中の鹿浜五色桜小学校と皿沼小学校を除く3校は建築後40年以上を経過します。鹿浜西小学校の小規模傾向が見られるため、引き続き検討を進めます。
	鹿浜西小	8	小規模	S44	
	北鹿浜小	12	小規模(人数)	S48	
	鹿浜第一小	18	適正	S40	
	皿沼小	11	小規模	S57	
入谷	舎人小	15	適正	S44	足立入谷小学校で小規模傾向が見られます。また、足立入谷小学校では年少人口の減少が見られます。今後の人口動態を注視しながら、引き続き検討を進めます。
	舎人第一小	16	適正	S61	
	足立入谷小	8	小規模	S50	
	入谷中	5	小規模	S51	入谷中学校と入谷南中学校で小規模傾向が見られます。また、入谷中学校では年少人口の減少が見られます。引き続き検討を進めます。
	入谷南中	9	小規模	H2	

- ・統合対象校や統合年次は、学校の小規模化や年少人口の増減を踏まえ、検討していく。
- ・江北エリアは、引き続き高野小学校と江北小学校の統合に向けた準備を進める。平成25年度に策定した実施計画（案）と江北エリアデザイン検討地域内との比較検討を行い、統合年次や統合新校の位置を決定する。

(2) 新たに取り組むエリア

花畑地区の検討を進める。

地区	学校名	学級	学校規模	建築年	今後の方針
花畑	花畑第一小	12	小規模(人数)	S38	花畑第一小学校は建築後約50年を経過し施設更新の検討が必要です。また、花畑西小学校では年少人口の減少が見られます。今後の動向を注視していきます。
	花畑西小	13	適正	S45	
	桜花小	12	適正	S47	
	花畑中	5	小規模	S38	花畑中学校は建築後約50年を経過し施設更新の検討が必要です。両校ともに小規模傾向が見られることと、年少人口の減少が見られることから、検討を進めます。
	花畑北中	6	小規模	S53	

- ・花畑第一小学校と花畑中学校の施設更新の検討を行う。
- ・小学校の統合対象校や統合年次は、学校の小規模化や年少人口の増減を踏まえ、検討していく。
- ・中学校の小規模化を解消するため、適正規模化の検討を行う。

※(1)及び(2)の取り組み年次については、今後の動向をみながら検討を進める。

今後の方針

取り組むエリアとして指定した学校や関係者への説明を行っていく。  
 地域内の人口動態を注視しつつ、避難所や地域コミュニティを核とした機能、エリアデザインによる地域の魅力づくり、跡利用など、関連部署と連携をとりながら慎重に進めていく。  
 平成28年11月7日～12月7日に、パブリックコメントを実施する。

# 教 育 委 員 会 報 告

平成28年10月31日

件 名	足立区糖尿病対策アクションプラン「おいしい給食・食育対策編」の策定について						
所管部課名	学校教育部 おいしい給食担当課、 衛生部 こころとからだの健康づくり課						
内 容	<p>糖尿病をはじめとする生活習慣病を予防し、区民が生涯健康で生きていくために、「足立区食育推進計画（平成23年度～27年度）」に「おいしい給食推進事業」を組み合わせ、子どもの頃からの望ましい食習慣の定着をめざした新たな計画を策定する。</p> <p>新計画は、「足立区第二次重点プロジェクト推進戦略」に位置づけられている「健康あだち21推進事業（糖尿病対策）」の一翼を担い、平成28年度末を目途に策定する。</p> <p>1 計画の基本理念 子どもの頃からの望ましい食習慣づくりの推進と定着を図ることにより、子どもから大人まで、すべての世代の健康増進につなげ、野菜摂取が当然である地域社会の実現をめざす。保育園、学校での「おいしい給食」を通して子どもたちが健康に生きていくための食の実践力を確実に身につける。</p> <p>2 計画の期間 平成29年度～平成34年度の6年間とする。</p> <p>3 計画の主な内容 足立区のすべての子どもたちが、健康に生きていくために必要な最低限の食の力を自然と身につけることをめざし、子どもに重点を置きながら、次世代を担う高校生、若い世代をはじめ、すべての区民に対し切れ目のない事業を展開する。</p> <p>4 今後のスケジュール（予定）</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 50%;">・平成29年1月</td> <td>パブリックコメントの実施</td> </tr> <tr> <td>・平成29年3月</td> <td>計画完成、印刷・製本</td> </tr> <tr> <td>・平成29年4月</td> <td>関連部署等配付</td> </tr> </table>	・平成29年1月	パブリックコメントの実施	・平成29年3月	計画完成、印刷・製本	・平成29年4月	関連部署等配付
・平成29年1月	パブリックコメントの実施						
・平成29年3月	計画完成、印刷・製本						
・平成29年4月	関連部署等配付						
今後の方針	パブリックコメントの実施前に計画案を教育委員会へ報告する。						

# 教 育 委 員 会 報 告

平成28年10月31日

件 名	平成28年度「全国学力・学習状況調査」の調査結果について																						
所 管 部 課 名	学力定着対策室 学力定着推進課																						
内 容	<p>平成28年4月19日に実施した、「平成28年度全国学力・学習状況調査」の調査結果について、文部科学省より結果データの提供があったため、下記のとおり報告する。</p> <p>なお、調査結果は昨年度と同様、区ホームページにて区全体の傾向・解説とともに、各校の領域別・観点別の詳細結果について、区独自で実施した「足立区基礎学力定着に関する総合調査結果報告書」のページとリンクして公表し、分析内容・取り組みを周知する。</p> <p style="text-align: center;">記</p> <p>1 調査の目的 義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。また、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。</p> <p>2 実施日 平成28年4月19日（火曜日）</p> <p>3 対象学年・科目 小学6年生： 「国語A」「国語B」「算数A」「算数B」「児童質問紙調査」 中学3年生： 「国語A」「国語B」「数学A」「数学B」「生徒質問紙調査」 ※小中ともに、Aは主に知識に関する問題、Bは主に活用に関する問題</p> <p>4 受検人数 <span style="float: right;">(単位：人)</span></p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="2">国語</th> <th colspan="2">算数または数学</th> <th rowspan="2">児童生徒 質問紙調査</th> </tr> <tr> <th>A</th> <th>B</th> <th>A</th> <th>B</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>小学6年生</td> <td>5,025</td> <td>5,024</td> <td>5,025</td> <td>5,023</td> <td>5,026</td> </tr> <tr> <td>中学3年生</td> <td>4,529</td> <td>4,530</td> <td>4,529</td> <td>4,529</td> <td>4,524</td> </tr> </tbody> </table>		国語		算数または数学		児童生徒 質問紙調査	A	B	A	B	小学6年生	5,025	5,024	5,025	5,023	5,026	中学3年生	4,529	4,530	4,529	4,529	4,524
	国語		算数または数学		児童生徒 質問紙調査																		
	A	B	A	B																			
小学6年生	5,025	5,024	5,025	5,023	5,026																		
中学3年生	4,529	4,530	4,529	4,529	4,524																		

5 調査結果（平均正答率）

正答率：児童・生徒の正答数の割合を%で示した数値

[ (正答数/出題数) × 100 ]

(1) 小学校 国語 (単位：%)

	国語A（主として知識）					国語B（主として応用）				
	区	都	国	都との差	国との差	区	都	国	都との差	国との差
H28	73.2	73.8	72.9	▲0.6	0.3	57.0	59.8	57.8	▲2.8	▲0.8
H27	71.1	72.3	70.0	▲1.2	1.1	65.2	66.5	65.4	▲1.3	▲0.2

(2) 小学校 算数 (単位：%)

	算数A（主として知識）					算数B（主として応用）				
	区	都	国	都との差	国との差	区	都	国	都との差	国との差
H28	77.9	79.4	77.6	▲1.5	0.3	47.9	49.8	47.2	▲1.9	0.7
H27	76.9	77.4	75.2	▲0.5	1.7	45.1	47.8	45.0	▲2.7	0.1

(3) 中学校 国語 (単位：%)

	国語A（主として知識）					国語B（主として応用）				
	区	都	国	都との差	国との差	区	都	国	都との差	国との差
H28	74.6	76.9	75.6	▲2.3	▲1.0	65.3	68.6	66.5	▲3.3	▲1.2
H27	73.6	77.2	75.8	▲3.6	▲2.2	62.4	67.0	65.8	▲4.6	▲3.4

(4) 中学校 数学 (単位：%)

	数学A（主として知識）					数学B（主として応用）				
	区	都	国	都との差	国との差	区	都	国	都との差	国との差
H28	59.6	63.5	62.2	▲3.9	▲2.6	41.9	45.6	44.1	▲3.7	▲2.2
H27	61.6	66.3	64.4	▲4.7	▲2.8	38.4	44.0	41.6	▲5.6	▲3.2

問題点  
今後の方針

調査結果データの分析を進め、今後の教育施策の検討資料として活用していく。

# 教 育 委 員 会 報 告

平成28年10月31日

件 名	足立区子ども・子育て支援事業計画（素案）の策定とパブリックコメントの実施について
所管部課名	子ども家庭部 子ども政策課
内 容	<p>1 足立区子ども・子育て支援事業計画（素案）の策定について 足立区子ども・子育て支援事業計画（素案）を、別添資料のとおり策定したので報告する。主な要点は、以下のとおりである。</p> <p>(1) 計画の全体構成 第5章（必須記載事項部分）は、平成27年3月に既に策定済である。今回はそれ以外の任意記載事項部分を策定する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p><b>第1章 計画の策定にあたって</b>  <b>第2章 足立区の子ども・子育て家庭を取り巻く現状・課題</b>  <b>第3章 計画の基本的な考え方</b>  <b>第4章 各施策ごとの取組み内容</b>  第5章 幼児期における学校教育・保育及び地域子ども・子育て支援事業の量の見込みと確保方策【平成27年3月 策定済】  ※太字は今回作成する任意記載事項部分</p> </div> <p>(2) 各章ごとの主な要点</p> <p>① 第1章 計画の策定にあたって【素案P1～6】</p> <p>ア 計画の位置づけ【素案P3】 子ども・子育て支援法第61条に基づく計画であると同時に、次世代育成支援対策推進法第8条に定める行動計画を兼ねるものとして、「第2期あだち次世代育成支援行動計画」を引き継ぐものとする。</p> <p>イ 他計画等との関連性と所掌範囲【素案P3、P4】 基本計画、教育振興計画を上位計画として、これら計画との整合性を図る。 また、本計画は、原則として就学前児童とその保護者を対象とするが、学童保育室（小学1年生から6年生までを対象）や青少年に関する事業については、対象を広げて規定する。</p> <p>ウ 計画の期間【素案P5】 策定済の必須記載事項部分と合わせて、平成31年度までとする。</p> <p>エ 計画の進捗管理【素案P6】 足立区地域保健福祉推進協議会（子ども支援専門部会を含む）にて、計画の進捗について点検・評価していく。</p>

② 第2章 足立区の子ども・子育て家庭を取り巻く現状・課題  
【素案 P7～25】

人口推計等のデータから見る足立区の現状と課題を整理するとともに、第2期あだち次世代育成支援行動計画の事業実績と評価を行った。

③ 第3章 計画の基本的な考え方【素案 P26～31】

ア 基本理念と施策の体系【素案 P26～29】

本計画の基本理念と施策の体系は、以下のとおりとする。

【基本理念】夢や希望を信じて生き抜く人づくり  
(=教育大綱の基本理念)

柱立て	施策群	施策
自己肯定感を持ち、 生き抜く力を備えた人	1 家庭・地域と連携し、 子どもの学びを支え育む	1-① 子どもの心身の健全な発達の支援
		1-② 就学前からの学びの基礎づくり
		1-③ 発達支援児など子どもの状況に応じた支援の充実
		1-④ 子ども・若者が社会と関わる力を育むための成長支援
	2 妊娠から出産・子育てまで切れ目なく支える	2-① 妊娠、出産、子育てへの切れ目ない支援の充実
		2-② 子育てと仕事の両立支援
		2-③ 困難を抱える子育て家庭への支援と虐待の防止
		2-④ 安心して子育てのできる生活環境の整備

イ 成果指標【素案 P30】

上記施策体系に分類された各事業を実施した成果を図る指標(計画全体の成果指標)を、以下のとおり定める。

成果指標 1	自分には良いところがあると思う子どもの割合
成果指標 2	子育てを楽しんでいると感じる保護者の割合

④ 第4章 各施策ごとの取組み内容【素案 P32～62】

上記(2)③の施策ごとに「現状と課題」、「施策の方向性」、「主な事業」を定める。

「主な事業」については、それぞれ指標と目標数値(H31)を定め、進捗を管理していくこととする。指標等は現在検討中であり、別途報告する。

	<p>⑤ <b>第5章 幼児期における学校教育・保育及び地域子ども・子育て支援事業の量の見込みと確保方策【平成27年3月策定済】</b>  既に策定済の部分であるため、基本的には変更しない。ただし、以下の点については、今後、数値のみ修正する。</p> <p>a 量の見込みについて、最新の人口推計の数値を使用して算出し直す。</p> <p>b 確保方策について、待機児童解消アクションプラン（平成28年度改訂版）に合わせた数値に見直す。</p> <p>⑥ <b>その他（放課後子ども総合プラン）</b>  平成28年3月に策定した「放課後子ども総合プラン」は、次世代育成支援対策推進法に基づく行動計画に盛り込むこととされているため、本事業計画の中に新たに体系付ける。第5章の見直しと合わせて、別途報告する。</p> <p>2 足立区子ども・子育て支援事業計画（素案）のパブリックコメントの実施について</p> <p>(1) パブリックコメントの実施期間（予定）  平成28年11月9日（水）～12月8日（木）</p> <p>(2) 意見の提出方法</p> <p>① 子ども政策課窓口への持参</p> <p>② 郵送</p> <p>③ ファクシミリ</p> <p>④ 区ホームページの意見受付フォーム入力</p>
<p>今後の方針</p>	<p>各事業の指標等については、引き続き検討していく。</p>

# 教 育 委 員 会 報 告

平成28年10月31日

件 名	民設民営による認可保育所の運営予定事業者の選定について
所管部課名	子ども家庭部 子ども施設整備課
内 容	<p>待機児童解消アクション・プランに基づき、認可保育所を自ら整備して平成30年4月1日に開設、運営する事業者について、「足立区子ども施設指定管理者選定等審査会」を開催し、審査会の答申を受けて以下のとおり選定したので報告する。</p> <p>1 審査会開催日及び審査件数</p> <p>(1) 審査会開催日</p> <p>①平成28年9月5日(月)</p> <p>②平成28年10月3日(月)</p> <p>(2) 審査件数</p> <p>①北綾瀬駅周辺地域 3事業者、西新井地域 2事業者</p> <p>②江北地域、扇地域、六町駅周辺地域、舎人駅周辺地域 各1事業者</p> <p>※審査結果の詳細は別紙「審査結果表」のとおり</p> <p>2 運営予定事業者</p> <p>(1) 北綾瀬駅周辺地域</p> <p>①名 称 株式会社サクセスアカデミー</p> <p>②所 在 地 東京都品川区西五反田一丁目1番8号</p> <p>③運営施設 認可保育園60園(にじいろ保育園新桜台等)、東京都認証保育所5園(にじいろ保育園中野等)他</p> <p>④施設計画</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・予定地 綾瀬六丁目20番地内</li> <li>・定 員 82名予定(0～5歳児)</li> <li>・案内図</li> </ul>
	

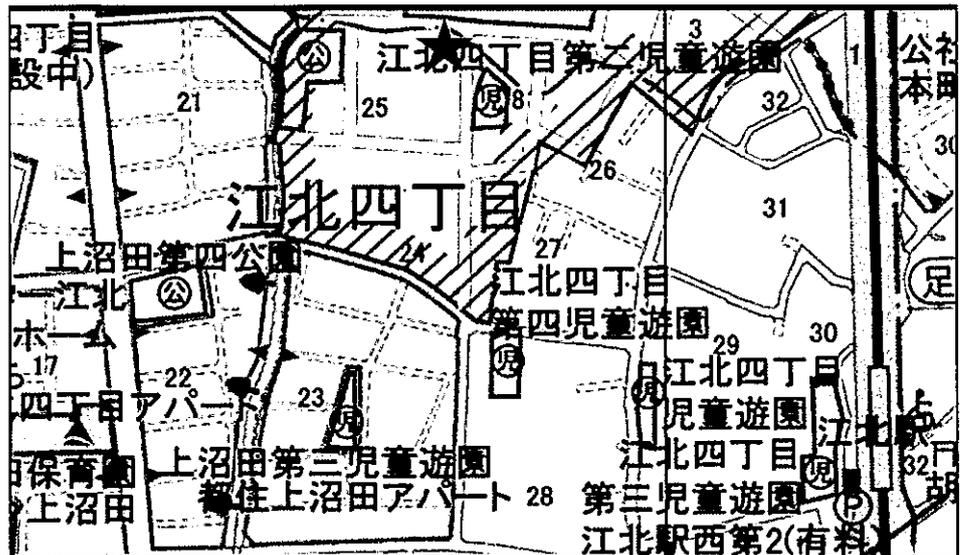
(2) 西新井地域

- ①名称 社会福祉法人アスクこども育成会
- ②所在地 愛知県名古屋市北区東味鋤三丁目101番地1
- ③運営施設 認可保育園2園 (アスク向日保育園、アスクあじま保育園)
- ④施設計画
  - ・予定地 西新井四丁目18番地内
  - ・定員 70名予定 (0～5歳児)
  - ・案内図



(3) 江北地域

- ①名称 株式会社サクセスアカデミー
- ②所在地 東京都品川区西五反田一丁目1番8号
- ③運営施設 認可保育園60園 (にじいろ保育園新桜台等)、東京都認証保育所5園 (にじいろ保育園中野等) 他
- ④施設計画
  - ・予定地 江北四丁目25番地内
  - ・定員 76名予定 (0～5歳児)
  - ・案内図



(4) 扇地域

- ①名称 株式会社Kids Smile Project  
②所在地 東京都港区南麻布五丁目12番16号  
③運営施設 認可保育園8園（キッズガーデン文京春日、他7園）、  
東京都認証保育所1園（キッズガーデン武蔵野関前）他  
④施設計画 ・予定地 扇一丁目33番地内  
・定員 60名予定（0～5歳児）  
・案内図



(5) 六町駅周辺地域

- ①名称 株式会社ヒューマンサポート  
②所在地 東京都足立区西新井三丁目3番21号石渡ビル1階  
③運営施設 東京都認証保育所4園（たんぽぽ保育所竹の塚園、他3園）  
④施設計画 ・予定地 六町二丁目7番地内  
・定員 76名予定（0～5歳児）  
・案内図



(6) 舎人駅周辺地域

- ①名 称 株式会社日本保育サービス
- ②所 在 地 愛知県名古屋市東区葵三丁目15番31号
- ③運営施設 認可保育園138園（アスク海浜幕張保育園、他127園）、東京都認証保育所25園（アスクひばりヶ丘保育園、他24園）他
- ④施設計画
  - ・予定地 舎人五丁目1番地内
  - ・定 員 65名予定（0～5歳児）
  - ・案内図



今後の方針

議会報告後、地元の町会・自治会長と事業者を引き合わせ、地元の要望に合わせて役員会での説明や住民説明会等を開催する。

## 民設民営による認可保育所整備・運営予定事業者 審査結果表

\*審査会 H28.9.5

評価項目		1	2	3	4	5	6	小計		総合得点
満点(委員6人)		3,000	9,000	600	2,400	1,200	1,800	18,000	18,000	18,000
		開設準備の実効性	保育所運営能力、提案内容	行政からの指導に対する法人の姿勢	園長予定者ヒアリング・園長の適性	実地調査	経営の安定性	区内事業者への割合加点(5%)	ワークライフバランス割合加点(2%)	
		2,210	6,565	445	1,820	908	1,250	13,198	0	13,198 (73.32%)
		2,107	6,305	445	1,545	850	1,372	12,624	0	12,624 (70.13%)
		2,045	5,995	385	1,510	775	1,277	11,987	0	11,987 (66.59%)
		2,225	6,455	465	1,790	1,035	1,398	13,368	0	13,368 (75.74%)
		2,063	6,130	445	1,770	1,000	1,490	12,898	646	13,544 (75.24%)

※割合加点は委員ごとの小計に割合を乗じて得た得点の合計。( )内は得点率(小数点第3位四捨五入)

## 民設民営による認可保育所整備・運営予定事業者 審査結果表

\*審査会 H28.10.3

評価項目		1	2	3	4	5	6	7	8	総合得点
		開設準備の実効性	保育所運営能力、提案内容	行政からの指導に対する法人の姿勢	園長予定者の適性	実地調査	経営の安定性	区内事業者への割合加点(5%)	ワークライフバランス割合加点	21,000
	満点(委員7人)	3,500	10,500	700	2,800	1,400	2,100			21,000
【江北地域】	1	2,480	7,630	487	1,962	1,064	1,485	0	0	15,108 (71.94%)
【両地域】	1	2,396	7,256	398	1,883	1,190	1,558	0	0	14,681 (69.91%)
【六町駅周辺地域】	1	2,715	7,213	465	2,172	1,141	1,690	770	0	16,166 (76.98%)
【舎人駅周辺地域】	1	2,365	7,360	435	1,969	994	1,644	0	0	14,767 (70.32%)

※割合加点は委員ごとの小計に割合を乗じて得た得点の合計。( )内は得点率(小数点第3位四捨五入)

# 教 育 委 員 会 報 告

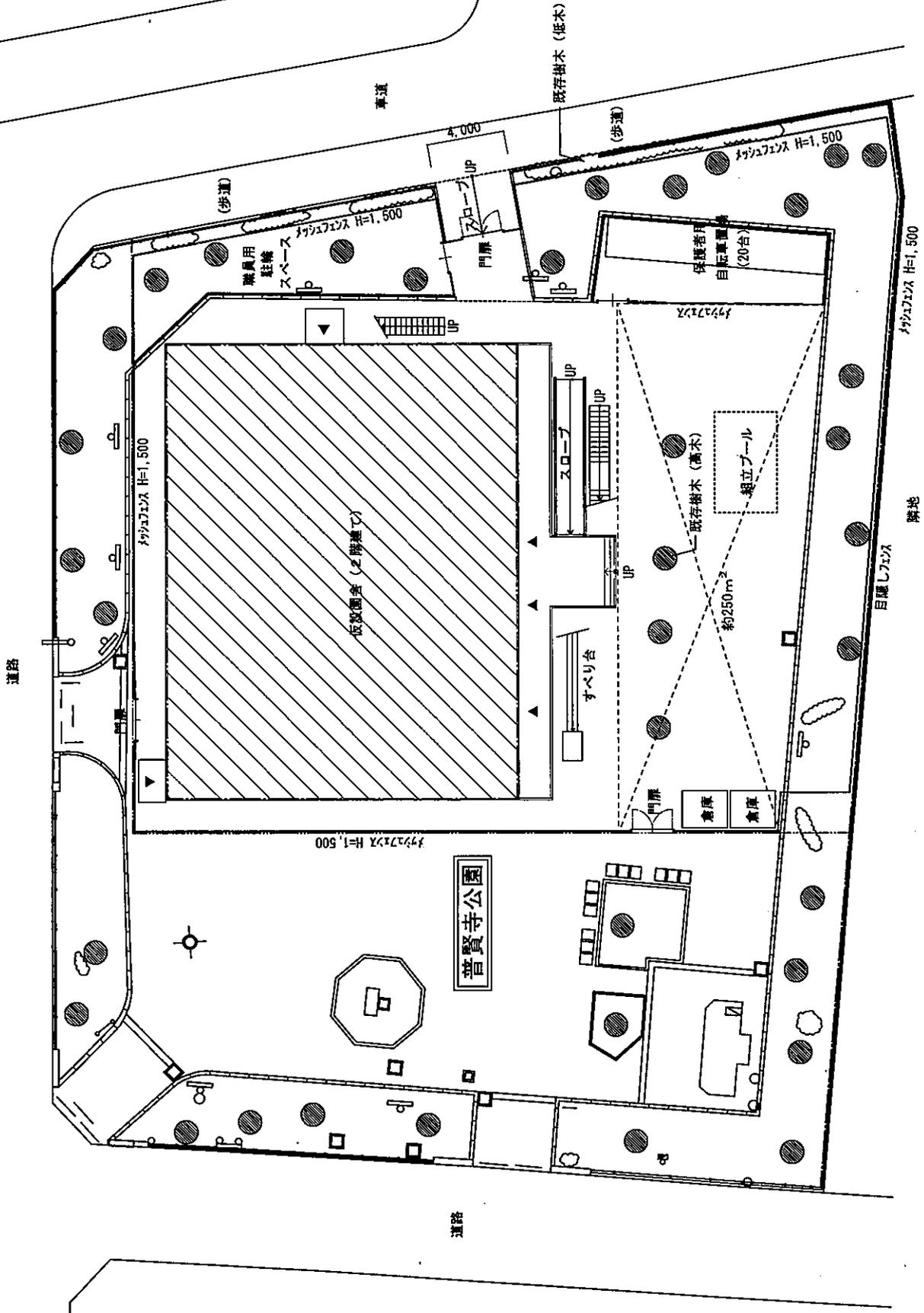
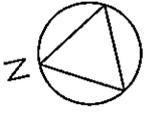
平成28年10月31日

件 名	東京都認証保育所の認可化移行について																																																																								
所管部課名	子ども家庭部 子ども施設整備課、子ども施設入園課																																																																								
内 容	<p>平成29年4月1日から認可化移行を予定している認証保育所について、以下のとおり報告する。</p> <p>1 認可化移行予定の認証保育所</p> <p>(1) たんぽぽ保育所六町園</p> <p>①運営事業者 株式会社ヒューマンサポート                  ②所在地 足立区六町三丁目7番47号 フェルックス1F                  ③定員数</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-bottom: 10px;"> <thead> <tr> <th></th> <th>0歳児</th> <th>1歳児</th> <th>2歳児</th> <th>3歳児</th> <th>4歳児</th> <th>5歳児</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>変更前</td> <td>9</td> <td>10</td> <td>12</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>40</td> </tr> <tr> <td>変更後</td> <td>9</td> <td>10</td> <td>12</td> <td>13</td> <td>13</td> <td>13</td> <td>70</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) チェリッシュ綾瀬</p> <p>①運営事業者 株式会社チャイルドステージ                  ②所在地 足立区綾瀬三丁目13番1号                  ③定員数</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-bottom: 10px;"> <thead> <tr> <th></th> <th>0歳児</th> <th>1歳児</th> <th>2歳児</th> <th>3歳児</th> <th>4歳児</th> <th>5歳児</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>変更前</td> <td>6</td> <td>8</td> <td>8</td> <td>8</td> <td colspan="2">15</td> <td>45</td> </tr> <tr> <td>変更後</td> <td>6</td> <td>12</td> <td>12</td> <td>12</td> <td>12</td> <td>12</td> <td>66</td> </tr> </tbody> </table> <p>(3) 恵・YOU<sup>けい ゆう</sup>保育園</p> <p>①運営事業者 株式会社恵・YOU<sup>けい ゆう</sup>                  ②所在地 足立区東綾瀬一丁目9番4号 プラザ白うめ                  ③定員数</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-bottom: 10px;"> <thead> <tr> <th></th> <th>0歳児</th> <th>1歳児</th> <th>2歳児</th> <th>3歳児</th> <th>4歳児</th> <th>5歳児</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>変更前</td> <td>10</td> <td>10</td> <td>10</td> <td>5</td> <td>5</td> <td>—</td> <td>40</td> </tr> <tr> <td>変更後</td> <td>9</td> <td>12</td> <td>12</td> <td>12</td> <td>12</td> <td>12</td> <td>69</td> </tr> </tbody> </table> <p>2 その他</p> <p>平成29年度版の保育施設利用申込案内(平成28年10月26日から配布予定)に認可保育所として掲載する。</p>		0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合計	変更前	9	10	12	3	3	3	40	変更後	9	10	12	13	13	13	70		0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合計	変更前	6	8	8	8	15		45	変更後	6	12	12	12	12	12	66		0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合計	変更前	10	10	10	5	5	—	40	変更後	9	12	12	12	12	12	69
	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合計																																																																		
変更前	9	10	12	3	3	3	40																																																																		
変更後	9	10	12	13	13	13	70																																																																		
	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合計																																																																		
変更前	6	8	8	8	15		45																																																																		
変更後	6	12	12	12	12	12	66																																																																		
	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合計																																																																		
変更前	10	10	10	5	5	—	40																																																																		
変更後	9	12	12	12	12	12	69																																																																		
今後の方針	3歳児の受入れ定員が不足する見込みの地域(千住、梅田、中央本町、綾瀬、保塚・六町)において、一定の条件を満たす認証保育所A型の認可化移行を支援する。																																																																								

# 教 育 委 員 会 報 告

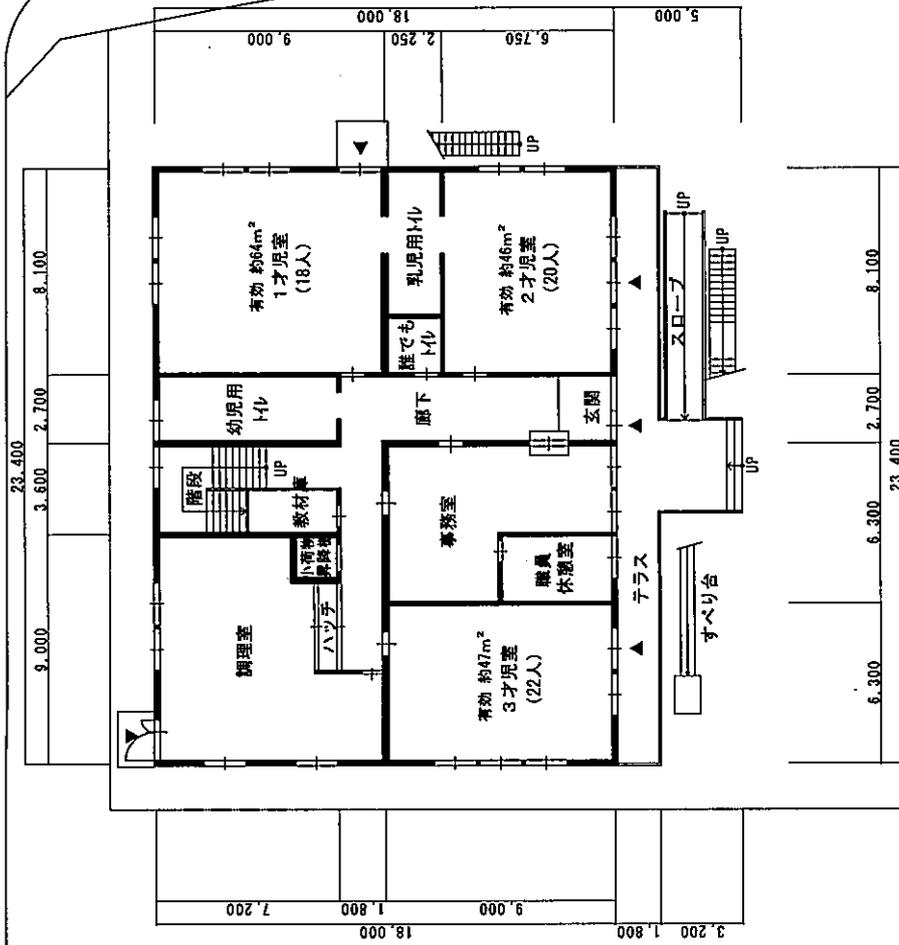
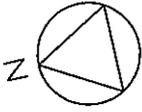
平成28年10月31日

件 名	あやせ保育園仮移転に関する地元説明等について
所管部課名	子ども家庭部 子ども施設運営課
内 容	<p>あやせ保育園の区立普賢寺公園への仮移転に関する地元及び保護者対応の経過等を報告する。</p> <p>1 対応経過</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ H28. 8. 8 普賢寺自治会定例会にて説明</li> <li>・ H28. 8. 26 普賢寺住宅自治会住民説明会開催</li> <li>・ H28. 9. 7 綾瀬町会自治会連合会会長会議にて説明 あやせ保育園保護者説明会（1回目）</li> <li>・ H28. 9. 10 あやせ保育園保護者説明会（2回目）</li> <li>・ H28. 9. 27 葛飾区側の西亀有二丁目ときわ自治会役員会にて説明</li> <li>・ H28. 10. 13 あやせ保育園保護者に転園希望の意向調査を実施</li> </ul> <p>2 公園周辺住民への説明会の実施について</p> <p>日時 1回目 平成28年11月 5日（土） 午前10時 2回目 平成28年11月10日（木） 午後 7時</p> <p>会場 東京未来大学こどもみらい園</p> <p>※当日は、別紙のとおり保育園仮園舎の図面案を提示</p>
今後の方針	<p>(1) 引き続き、あやせ保育園保護者や区立普賢寺公園の地元自治会、公園周辺にお住まいの方及び公園利用者に丁寧な説明を行い、理解を求めていく。</p> <p>(2) 説明会等を通じて承った意見は真摯に受け止め、十分に検討していく。</p>

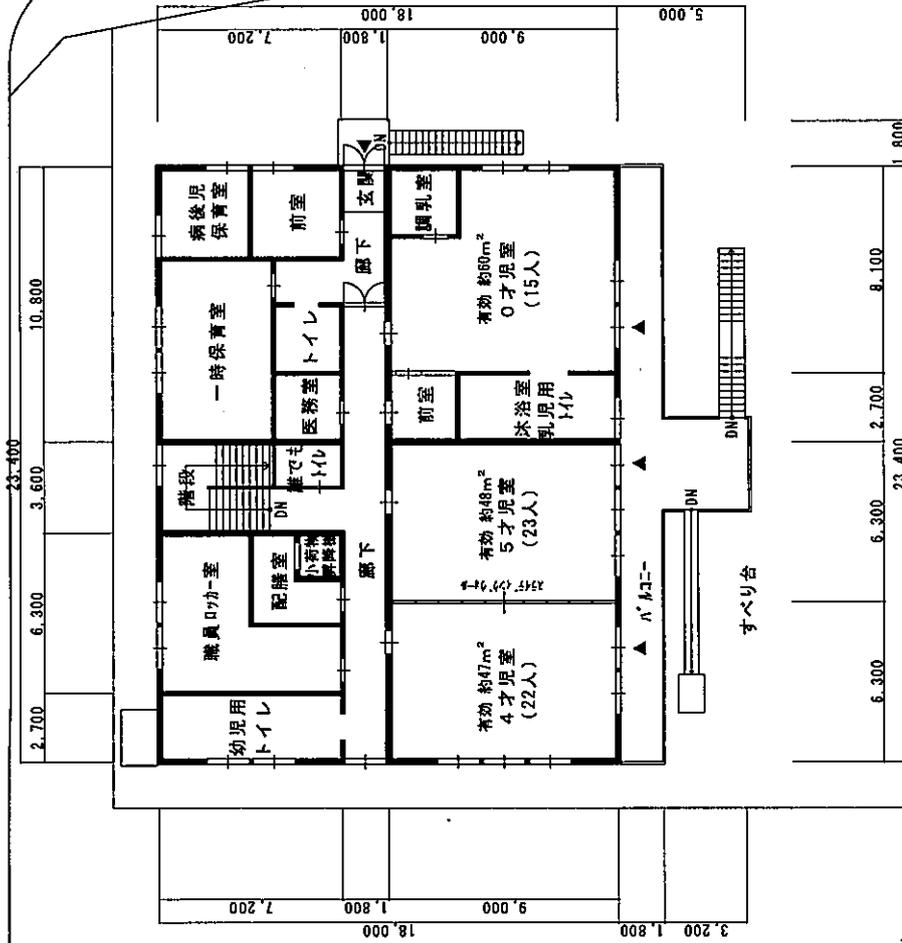
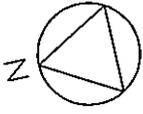


配置図(案)

あやせ保育園仮園舎イメージ (1/3)  
※仮園舎等の寸法・形状や位置は、今後の検討で変更となる場合があります。



あやせ保育園仮園舎イメージ (2/3)  
 ※仮園舎等の寸法・形状や位置は、今後の検討で変更となる場合があります。



あやせ保育園仮園舎イメージ (3/3)  
 ※仮園舎等の寸法・形状や位置は、今後の検討で変更となる場合があります。

# 教 育 委 員 会 報 告

平成28年10月31日

件 名	チリ共和国サンペドロ・デ・アタカマ市からの高校生受け入れについて
所管部課名	子ども家庭部 青少年課
内 容	<p>将来あるチリの若者に、日本の先進的な産業分野や文化を直に触れさせたいとのアタカマ市長の強い思いから、平成26年度に引き続きチリ共和国アタカマ市から日本へ高校生を派遣したいとの申し出があり、受け入れることとなったため以下のとおり報告する。</p> <p>1 経緯等                  ギャラクシティでは、東京大学天文センターがチリ共和国アタカマ市に設置した天文台からの星空映像をライブ中継している。また、平成24年にアタカマ市長が来日した際には足立区役所を訪問し、足立区長と懇談した縁もあり、平成26年度に2名の高校生派遣を受け入れた。                  青少年課としては、ギャラクシティがきっかけになった依頼であるとともに、区内中高生、大学生の国際交流体験の場作りにもつながることから、受け入れプログラムを実施する。</p> <p>2 日程                  平成28年11月21日（月）から12月5日（月）まで</p> <p>3 派遣される高校生                  リカン・アンタイ C-30 農学校 3年女子1名                  2年男子1名</p> <p>4 プログラムの概要（予定）                  ・在日チリ大使館、外務省中南米局の訪問                  ・足立区長への表敬訪問と区内見学                  ・ギャラクシティでの交流イベントへの参加                  ・区内高校及び大学の見学と交流                  ・都内見学（博物館、植物園、商業地区等）</p> <p>5 宿泊                  滞在期間中の宿泊については区内でのホームステイとし、足立区少年団体連合協議会の協力を得る。</p> <p>6 その他                  高校生の受け入れ事業や関連するギャラクシティのイベントをホームページ等でPRしていく。</p>
今後の方針	アタカマ市はじめ関係機関と連絡を取りながら準備を進める。

# 教 育 委 員 会 報 告

平成28年10月31日

件 名	足立区生涯学習関連施設指定管理者業務評価結果（評価対象：平成27年度）について																				
所管部課名	地域のちから推進部 地域文化課、中央図書館																				
内 容	<p>生涯学習関連施設指定管理者の業務評価（評価対象：平成27年度）を行ったので、下記のとおり報告する。</p> <p style="text-align: center;">記</p> <p><b>1 業務評価の目的</b> 指定管理者の業務を適正に点検・評価し、利用者サービスの満足度の向上を目指す。</p> <p><b>2 業務評価の方法</b> 生涯学習関連施設指定管理者評価委員会（以下「評価委員会」という）により、以下の内容に基づいて評価を実施</p> <p style="margin-left: 20px;">(1) 指定管理者自身が行う自己評価（セルフチェック） (2) 区職員による実態調査 (3) 利用者アンケートの集計・分析 (4) 施設統括責任者とのヒアリング</p> <p><b>3 変更点</b></p> <p style="margin-left: 20px;">(1) 評価委員会で各施設の統括責任者からのヒアリングを実施 (2) 評価結果区分を区の基準に統一（表1）</p> <table border="1" style="margin-left: 40px; border-collapse: collapse;"> <caption>表1 評価ランク</caption> <thead> <tr> <th style="width: 15%;">評価</th> <th style="width: 45%;">基準点</th> <th style="width: 40%;">結果</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>A+</td> <td>95～100点</td> <td rowspan="3" style="text-align: center;">優れている</td> </tr> <tr> <td>A</td> <td>86～94点</td> </tr> <tr> <td>A-</td> <td>80～85点</td> </tr> <tr> <td>B+</td> <td>75～79点</td> <td rowspan="3" style="text-align: center;">適正である</td> </tr> <tr> <td>B</td> <td>66～74点</td> </tr> <tr> <td>B-</td> <td>61～65点</td> </tr> <tr> <td>C</td> <td>60点以下</td> <td style="text-align: center;">要改善</td> </tr> </tbody> </table> <p><b>4 評価委員会の構成</b> 学識経験者（2名）、区民委員（1名）、区職員（1名）</p> <p><b>5 評価結果</b>（別添「平成27年度 足立区生涯学習関連施設指定管理者業務評価 資料」参照） 各施設の評価点は、最低84点～最高96点となった。全体の平均点は89.4点（前年度88.7点）となり、すべての施設がA-評価以上である。</p> <p><b>6 ホームページでの公表</b> 日程 平成28年11月中旬を予定 内容 各施設の「総合評価」及び「項目別評価表」</p>	評価	基準点	結果	A+	95～100点	優れている	A	86～94点	A-	80～85点	B+	75～79点	適正である	B	66～74点	B-	61～65点	C	60点以下	要改善
評価	基準点	結果																			
A+	95～100点	優れている																			
A	86～94点																				
A-	80～85点																				
B+	75～79点	適正である																			
B	66～74点																				
B-	61～65点																				
C	60点以下	要改善																			
今後の方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>・評価により明らかになった課題は、指定管理者と共に改善策を考え、利用者の満足度向上につなげていく。</li> <li>・協働から協創へと新たな展開に合わせ、来年度は評価項目の見直しを実施する。</li> </ul>																				

# 教育委員会情報連絡

平成28年10月31日

件名	開かれた学校づくり協議会フォーラムの開催について
所管部課名	学校教育部 教育政策課
内 容	<p>平成28年度開かれた学校づくり協議会フォーラムを以下の内容にて開催する。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 日時 平成28年11月17日(木) 午後6時30分～午後8時30分</li> <li>2 場所 足立区役所 庁舎ホール</li> <li>3 テーマ「協議会活動が広げるこどもたちの未来」</li> <li>4 対象 開かれた学校づくり協議会委員 教職員</li> <li>5 内容  <div style="margin-left: 20px;"> <p>第一部 協議会による事例発表                      伊興小学校開かれた学校づくり協議会                      花保中学校開かれた学校づくり協議会</p> <p>第二部 パネルディスカッション                      テーマ：「コミュニティ・スクールの実践と今後の展開」                      ねらい：協議会委員・教職員の皆様にコミュニティ・スクールについて理解し、関心を持っていただくことを目的とする。</p> <p style="margin-left: 40px;">コーディネーター 高井 正 立教大学特任准教授                      パネリスト 教育長                      学力定着対策室長                      弘道小学校長                      谷中中学校長</p> </div> </li> <li>6 その他  <div style="margin-left: 20px;"> <p>第二部のパネルディスカッションでは、現在、コミュニティ・スクールとして活動している学校からの報告等も予定しております。コミュニティ・スクールについてのご理解をいただくため、任意ではありますが、学校長はじめ教職員の皆様へのご出席をお願いしています。</p> </div> </li> </ol>
今後の方針	

# 教育委員会情報連絡

平成28年10月31日

件名	足立区立小・中学校の適正規模・適正配置の進捗状況について												
所管部課名	学校教育部 学校適正配置担当課												
内 容	<p>1 対象校への入学者向け説明会の状況について</p> <table border="1" style="margin-left: 20px; border-collapse: collapse; width: 80%;"> <thead> <tr> <th style="width: 15%;">日にち</th> <th style="width: 55%;">対象校</th> <th style="width: 30%;">参加人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>10/11</td> <td>江北小学校</td> <td>9名</td> </tr> <tr> <td>10/14</td> <td>高野小学校</td> <td>31名</td> </tr> <tr> <td>10/14</td> <td>上沼田中学校と江北中学校(合同)</td> <td>35名</td> </tr> </tbody> </table> <p>・対象校の入学者向け説明会において、統合に向けた情報提供や意見交換を行った。</p>	日にち	対象校	参加人数	10/11	江北小学校	9名	10/14	高野小学校	31名	10/14	上沼田中学校と江北中学校(合同)	35名
日にち	対象校	参加人数											
10/11	江北小学校	9名											
10/14	高野小学校	31名											
10/14	上沼田中学校と江北中学校(合同)	35名											
今後の方針	統合に向けた様々な課題については、統合地域協議会において、具体的な検討を進めていく。												

## 教 育 委 員 会 情 報 連 絡

平成28年10月31日

件 名	「一斉コシヒカリ給食」（魚沼市からの贈呈分）の実施について
所管部課名	学校教育部 学務課
内 容	<p>足立区立中学校魚沼自然教室について、基本協定を平成28年度から3年間更新するにあたり、魚沼市からコシヒカリ贈呈の申し出があった。ついては、「一斉コシヒカリ給食」を以下のとおり実施する。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 実施日 平成29年1月20日（金）</li> <li>2 実施校・園 区立小・中学校、区立保育園、区立認定こども園</li> <li>3 その他 当日は、各学校で、白米のおいしさを実感できる献立とする。</li> </ol>
今後の方針	

教育委員会情報連絡

平成28年10月31日

件名	「第8回給食メニューコンクール」の応募結果について
所管部課名	学校教育部 おいしい給食担当課
内容	<p>夏休み期間中、テーマに合わせた給食メニューを小・中学生に募集し、以下のとおり応募があった。このうち40点を受賞作品とし、上位20点は表彰を行った。</p> <p>1 募集テーマ あだちベジタベライフをさらに進めよう！ 野菜をたっぷり使ったおいしい給食 ～子どもたち自身で作れる簡単レシピ～</p> <p>2 応募総数 5,840点 (内訳) 小学生 3,389点 中学生 2,451点</p> <p>3 表彰式 平成28年10月19日(水) 本庁舎8階特別応接室 小・中各上位10作品を表彰 (作品は区ホームページに掲載)</p>
今後の方針	

教 育 委 員 会 情 報 連 絡

平成28年10月31日

件 名	「足立オールおいしい給食ウィーク」の実施について
所管部課名	学校教育部 おいしい給食担当課
内 容	<p>第8回給食メニューコンクールの受賞作品のうち小・中各1作品を小・中学校の給食として提供する。</p> <p>1 実施日 平成28年12月5日（月）～9日（金）のうち1日</p> <p>2 実施校・園 小・中学校全校</p> <p>3 その他 今回、小・中とも「足立区長賞」受賞作品を給食として提供する。</p>
今後の方針	

教育委員会情報連絡

平成28年10月31日

件名	「小松菜一斉給食」の実施について
所管部課名	学校教育部 おいしい給食担当課
内容	<p>JA東京スマイル農業協同組合事業の一環として、足立区産の小松菜を提供いただき、小・中学校で「小松菜給食」を実施する。</p> <p>1 実施日          小学校 平成28年11月22日(火)          中学校 平成28年11月24日(木)</p> <p>2 実施校          小・中学校全校</p> <p>3 その他          当日は、各校独自で小松菜を使用した献立を提供する。</p>
今後の方針	

教育委員会情報連絡

平成28年10月31日

件名	再就職セミナー第3回の実施結果の報告について
所管部課名	子ども家庭部 子ども施設整備課
内容	<p>足立区内の保育施設で就労を検討している保育士・看護師の資格を有する方を対象に、男女参画プラザとの連携によるセミナーを開催した。</p> <p>『資格を生かして 保育現場で働こう』（第3回）</p> <p>1 日時 平成28年10月7日（金） 午前9時30分～正午</p> <p>2 場所 エル・ソフィア 3階会議室</p> <p>3 内容 ○講義「多様な保育施設について学ぼう」 ○区内保育施設関係者との座談会</p> <p>4 講師 足立区私立保育園連合会 副会長 北守正子氏 足立区認証保育所連絡会 会長 廣島清次氏 足立区小規模保育室連絡会 会長 岩崎恵一氏</p> <p>5 参加人数 保育士 13名 看護師 5名</p>
今後の方針	<p>第1回から第3回までの参加者にアンケートを行い、就職の有無、来年度のセミナーに対する希望等を調査する。</p> <p>平成29年1月20日（金）、東京芸術センターにて保育就職相談会を実施する（ハローワーク足立と共催）。</p>

教育委員会情報連絡 事業実施報告（9月）

青少年課

行事名	実施日	会場	参加者数
中高生の居場所づくり	毎週水・日曜日（8回）	新田地域学習 センター他	40人
	毎週水・土曜日（8回）	東京未来大 福祉保育専門学校	6人
	第3土曜日（2回）	神明住区センター	2人
大学遠足 （帝京科学大学連携事業）	1日（木）	千寿常東小学校	84人
	2日（金）	中島根小学校	79人
	8日（木）	西伊興小学校	61人
	9日（金）	平野小学校	60人
	20日（火）	関原小学校	69人
サイエンスラボ スペース シュミレーターコース	3日（土）	ギャラクシティ	6人
ジュニアリーダースーパー 研修会	4日（日）	ギャラクシティ	36人
音楽教育支援活動 （東京藝術大学連携事業）	5日（月）・23日（金）	長門小学校	19人
	10日（土）	本木小学校	31人
	13日（火）	千寿双葉小学校	477人
	21日（水）	北三谷小学校	145人
	30日（金）	興本扇学園	575人
紙芝居講座	6日（火）	ギャラクシティ	9人
成人の日の集い 実行委員会（第8・9回）	7日（水）	本庁舎	7人
	21日（水）		8人
レクリエーション講座	8日（木）	ギャラクシティ	6人
キャンプ講座	9日（金）	ギャラクシティ	4人
ふれあい動物教室	10日（土）	大谷田小学校	43人
		千寿常東小学校	102人
Gユニワークショップ	10日（土）	ギャラクシティ	7人
	18日（日）		5人
あだち日曜教室	11日（日）	ギャラクシティ	43人
サイエンスラボ 科学ブロックくらぶ	18日（日）	ギャラクシティ	8人
	25日（日）		5人
親子体験キャンプ	25日（日）	舎人公園キャンプ場	41人

教育委員会情報連絡 事業実施・予定（10月）

青少年課

行事名	実施日	会場	参加予定数
中高生の居場所づくり	毎週水・日曜日（9回）	新田地域学習 センター他	延べ 50人
	毎週水・土曜日（9回）	東京未来大 福祉保育専門学校	20人
	第1・3土曜日（2回）	神明住区センター	8人
サイエンスラボ スペース シュミレーターコース	1日（土）	ギャラクシティ	8人
足立凧まつり	1日（土）	荒川河川敷虹の広場	（雨天中止）
ジュニアリーダースーパー 研修会	2日（日）	ギャラクシティ	57人
アートボランティア講座	8日（土）	ギャラクシティ	5人
音楽教育支援活動 （東京藝術大学連携事業）	11日（火）	栗原北小	561人
	12日（水）	弘道小・花畑西小	375人・342人
	13日（木）	辰沼小	480人
	17日（月）	東加平小	564人
	18日（火）	足立入谷小	200人
	21日（金）	弘道第一小・青井小	407人・375人
	27日（木）	中川北小	552人
成人の日の集い 実行委員会（第10・11回）	12日（水）	本庁舎	10人
	26日（水）		10人
レクリエーション講座	13日（木）	ギャラクシティ	8人
サイエンスラボ ロボット講座	15日（土）	ギャラクシティ	5人
サイエンスラボ 星空観察講座	15日（土）	ギャラクシティ	各10人
	29日（土）		
ふれあい動物教室	15日（土）	花畑西小学校	130人
サイエンスラボ 科学ブロックくらぶ	16日（日）	ギャラクシティ	各9人
	23日（日）		
キャンプ講座	16日（日）	ギャラクシティ	11人
紙芝居講座	18日（火）	ギャラクシティ	10人
Gユニワークショップ	22日（土）	ギャラクシティ	各10人
	30日（日）		
ギター講座	23日（日）	ギャラクシティ	10人
プラネタリウム投映	29日（土）	ギャラクシティ	200人
キャンプの達人	30日（日）	宮城ゆうゆう公園	20人

教育委員会情報連絡

平成28年10月31日

件名	郷土博物館の臨時休館について
所管部課名	地域のちから推進部 地域文化課
内容	<p>郷土博物館のトイレ改修工事に伴い、下記のとおり臨時休館する。</p> <p style="text-align: center;">記</p> <p>1 期間 平成28年12月5日（月）～平成29年1月4日（水）</p> <p>2 臨時休館の必要性 工事期間中は博物館のトイレは全て使用中止となり、既存トイレの撤去作業により騒音と振動が発生する。工事中はお客様に展示をご覧いただける環境ではないことから、臨時休館する。</p> <p>3 その他 (1) 東湊江庭園及び臨湊亭は、通常通り利用可能。 (2) 郷土博物館職員は、通常通りの勤務。</p>
今後の方針	「あだち広報」及び区ホームページにて、臨時休館の周知を図る。

# 行事实施結果（9月1日～9月30日）

## 公益財団法人足立区生涯学習振興公社

日時	行事名	時間	会場	主催別	参加人数
9/3（土）	第12回足立区音楽祭連携事業 足立ジュニア吹奏楽団 サマーコンサート in アリオ西新井	①14：30～15：10 ②16：00～16：40	アリオ西新井	共催	① 約350名 ② 約350名
9/8（木）	体験プログラム「スペシャルおはなし会」 ～読み語りキャラバン in 千住柳町住区センター～	15：30～16：10	千住柳町住区センター	主催	38名
9/17（土） 9/18（日）	演奏家のためのアウトリーチ講座	10：00～17：00	竹の塚地域学習センター	主催	延23名
9/23（金）	第54回あだちアートリンクカフェ 「日本とドイツの違いについて」 「ドイツでの私の一風変わったピアニストの仕事について」	18：30～20：00	東京芸術センター	主催	11名
9/28（水）	放課後子ども教室体験プログラム 「将棋」	15：00～16：30	西新井小	主催	45名

# 行事实施予定（10月1日～10月31日）

公益財団法人足立区生涯学習振興公社

日時	行事名	時間	会場	主催別	参加予定人数
10/1（土）	「読み語りのためのボイストレーニング」体験講座	10：00～12：00	生涯学習センター	主催	60名
10/5～11/2 毎（水）	「子どもと遊ぶ おりがみ教室」 全5回	10：00～11：30 10/26のみ 14：00～16：00	生涯学習センター 10/26のみ 北鹿浜小・東栗原小	主催	24名
10/5（水）	放課後子ども教室スタッフ研修Bコース「遊びの新発見」	10：00～12：00	生涯学習センター	主催	50名
10/9（日）	足立ジュニア吹奏楽団 あだちブラスバンドフェスティバル	① 12：00～12：15 ② 13：45～14：00	西新井文化ホール	共催	1,800名
10/10（月）	足立ジュニア吹奏楽団派遣演奏 第69回あだち区民体育大会総合開会式	9：00～10：00	総合スポーツセンター	共催	600名
10/10（月）	足立ジュニア吹奏楽団派遣演奏 スポーツカーニバル	11：15～11：45	総合スポーツセンター	共催	3,000名
10/14（金）	放課後子ども教室 「新任スタッフ安全管理講習会」	10：00～11：30	生涯学習センター	主催	30名
10/19（水）	放課後子ども教室スタッフ研修Bコース「遊びの新発見」	10：00～12：00	生涯学習センター	主催	50名
10/20（木）	小学校アウトリーチコンサート	① 9：30～10：15 ② 10：35～11：20	北鹿浜小学校	主催	60名
10/20（木）	放課後子ども教室ボランティアのためのフォロー講座	10：00～12：00	生涯学習センター	主催	30名

日時	行事名	時間	会場	主催別	参加予定人数
10/21 (金)	小学校アウトリーチコンサート	① 9:40~10:25 ② 10:50~11:35	東栗原小学校	主催	60名
10/22 (土)	キッズなわとびリーダー講習会	10:00~12:00	生涯学習センター	主催	30名
10/24 (月)	放課後子ども教室スタッフ研修Cコース「メンタルヘルスケア」	9:30~11:30	庁舎ホール	主催	350名
10/25 (火)	放課後子ども教室ボランティアのためのフォロー講座	10:00~12:00	生涯学習センター	主催	30名
10/26 (水)	放課後子ども教室体験プログラム「将棋」	15:00~16:30	西新井小	主催	48名
10/28 (金)	あだちアートリンクカフェ公開講座「地域を元気に。チンドン屋がやってくる！」	19:00~20:30	生涯学習センター	主催	150名
10/29 (土)	足立ジュニア吹奏楽団派遣演奏 東京ドームシティ・ハロウィンキッズパレード2016	① 11:00~12:00 ② 14:00~15:00	東京ドームシティ アトラクション内	共催	2,000名

## 足立区立小・中学校の 適正規模・適正配置の実現に向けて（案）

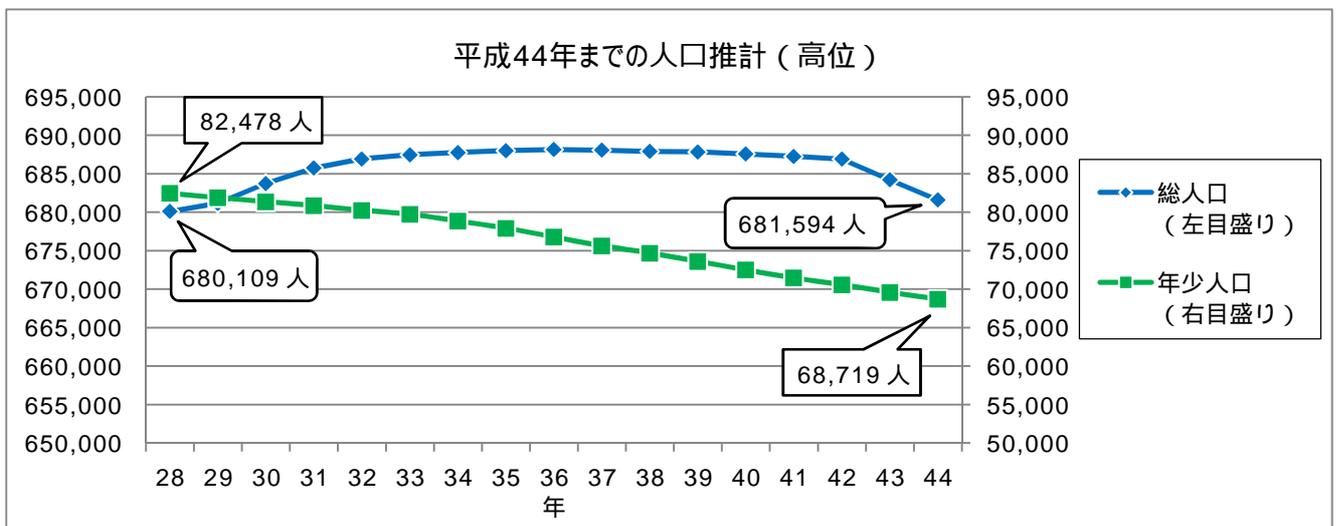
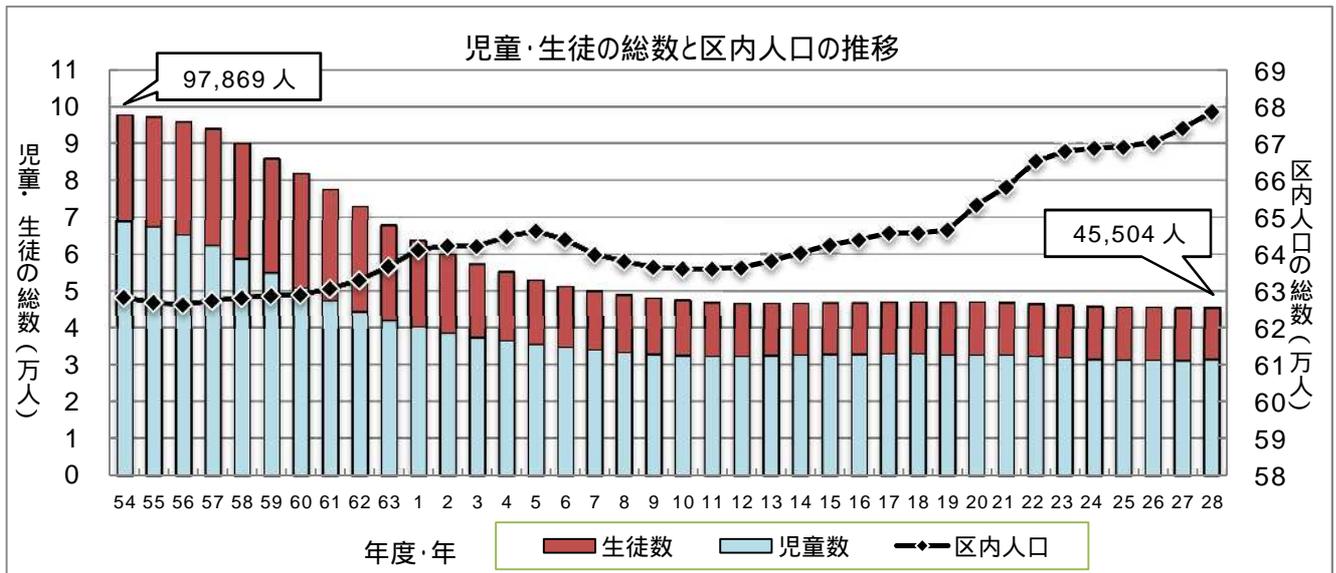
～子どもの未来を創る適正規模・適正配置のガイドライン～

発行：足立区教育委員会事務局 学校適正配置担当

電話：03-3880-5111（代表） 内線 3535

### 1 児童・生徒の総数と人口推計

足立区の総人口は近年増加傾向にあり、平成 28 年 4 月には 68 万人を超えました。しかし、児童生徒数は減少傾向をたどっています。平成 27 年 9 月実施の人口推計(高位)では、総人口は平成 36 年頃にピークを迎えるとされていますが、年少人口(0 歳～14 歳)は今後も減少傾向にあると予測されています。



（平成 27 年 9 月実施人口推計(高位)より作成。なお、平成 28 年は 4 月 1 日現在の実居住者人口です）

## 2 適正規模・適正配置に向けたこれまでの取り組み

足立区教育委員会では、平成 21 年度に前ガイドラインを策定し、今後の適正規模・適正配置事業の新たな指針を定めました。その後の取り組みにより、平成 28 年度現在、小学校は 69 校、中学校 36 校の合計 105 校となっています。

平成 21 年度以降の主な適正規模・適正配置事業の取り組み

年度	区分	統合等を実施した小・中学校
平成 24	統合	本木小学校の開校（本木小学校と本木東小学校を統合）
	学区区域変更	栗原小学校と亀田小学校の学区区域を変更 第七中学校と第十中学校の学区区域を変更
平成 25	統合	足立小学校の開校（千寿第五小学校と五反野小学校を統合）
平成 27	統合	鹿浜五色桜小学校の開校（上沼田小学校と鹿浜小学校を統合）
平成 28	統合	鹿浜菜の花中学校の開校（鹿浜中学校と第八中学校を統合）
平成 29	統合	江北桜中学校の開校予定（上沼田中学校と江北中学校を統合）
予定	統合	新校開校予定（高野小学校と江北小学校を統合）

## 3 適正規模・適正配置の基準の見直し

[適正規模の新基準]

	小学校	中学校
適正規模	12～24 学級 (標準児童数 340～760 人)	12～24 学級 (標準生徒数 370～840 人)

### 適正な学級数「12 学級から 24 学級」

小学校では、最低限クラス替えができる各学年 2 学級以上が必要であるため「1 学年 2～4 学級の 12～24 学級」を適正規模とします。中学校では、同じ地域の小学校 2 校程度から 1 つの中学校に進学することを想定して「1 学年 4～8 学級の 12～24 学級」を適正規模とします。

### 適正な人数「小学校 340～760 人・中学校 370～840 人」

現在、足立区の 1 学級あたりの人数には東京都が定める基準を採用しています。1 学級あたりの人数は、小学 1・2 年生と中学 1 年生が 35 人編成で、それ以外の学年は 40 人編成です。この点を踏まえ、1 学級あたりの平均人数と適正な学級数、児童・生徒数を現状に合わせて変更します。

### 適正規模以外の考え方

学校の適正規模は一つの学校だけの問題ではなく、地域全体の問題として考える必要があります。また、6 学級以下の学校であっても、その地域全体で子どもが増える可能性があれば、直ちに統合の検討に入るのではなく、その後の推移を見守っていくなど、柔軟な対応が必要です。今後は過小・過大という優劣のつくような表現を改め、適正規模に満たない学校はすべて小規模校とし、超える学校はすべて大規模校とします。

[適正配置の新基準]

	小学校	中学校
通学時間	おおむね 30 分以内	
通学距離	おおむね 1,200m以内が望ましい	おおむね 1,800m以内が望ましい
通学区域	小学校と中学校の通学区域は、交友関係や地域との結びつきなどを考慮し、できるだけ整合性を持たせることが望ましく、1 中学校あたり 2～3 の小学校が理想的と思われる。	
通学区域の境界	地域との十分な協力関係のもと、その地域の特性をいかした学校づくりを進めていくため、原則として 13 ブロック、町丁目の区域、町会・自治会の区域をできる限り分断しない配慮が必要である。また通学区域と青少年対策地区委員会の区域についてはできる限り整合性を図る必要がある。	
通学路	特に小学校の場合の安全性を重要視し、主要道路（国道 4 号線ほか）、鉄道および河川により通学路が原則として分断しないことが望ましい。	

**適正な通学時間の目安「おおむね 30 分以内」**

これまで、通学距離、通学区域、通学路について基準を定めてきました。今回の見直しでは、より具体的な基準とするため、一般的に子どもが通学にかけられる時間を、目安として新たに定めます。

そこで、内閣府による子どもの起床時間の調査や、東京都の学校の登校時間の調査、足立区の学校の登校時間などを勘案し、通学で使える時間は 30 分から 40 分という結果が得られました。このことから、通学時間は「おおむね 30 分以内」を一つの目安とします。

**適正な通学距離の目安「小学校は、おおむね 1,200m以内・中学校は、おおむね 1,800m以内」**

新たに設けた、通学時間「おおむね 30 分以内」という基準から、30 分で子どもが歩ける距離を求め、新たな距離の基準とします。

子どもの歩く速さに関するデータを基にして、その中でも比較的遅く歩いた場合の速度である、小学生は分速 40m、中学生は分速 60mを採用とします。

その結果、小学生は「分速 40mで 30 分歩くとおおむね 1,200m進む」、中学生は「分速 60mで 30 分歩くとおおむね 1,800m進む」とし、この基準を一つの目安とします。

## 4 通学路の安全対策

学校の統合が行われると、通学する校舎の変更のため、在学中に通学路が数回変わります。通学路の変更に伴う子どもたちの不安を出来る限り取り除き、また、保護者の心配を軽減できるよう、これまでの取り組みに新たな対策を追加します。

### これまでの安全対策

#### 通学路合同点検の実施

実施概要 交差点改良（ガードパイプや歩道、外側線の調整）、歩行者用信号の横断可能時間の延長、横断歩道の新設や移転、路面表示・グリーンベルトの施工、スクールゾーン規制の新設など。

P T A 及び開かれた学校づくり協議会、町会・自治会など地域の方による見守りや、通学路安全マップの作成

交通安全教室の実施・青パトによる巡回

学童擁護員による通学指導

防犯カメラの設置

ア．設置場所 通学路のうち、犯罪抑止に効果的な場所（公園付近など）

イ．設置台数 各校 5 台、平成 30 年度までに全校に設置

### 新たな安全対策

\*学童擁護員を増員し、支援を行います。

ア．配置場所 統合等により新たに設けた通学路のうち、通学路合同点検などで危険と判断した場所に配置します。

イ．配置時間 登校時 1 時間、下校時 3 時間を上限に必要な時間配置します。

ウ．配置箇所数 1 校につき原則 3 か所以内とします。

\*スクールガードボランティアの募集を行います。

P T A 及び開かれた学校づくり協議会、町会・自治会など地域の方が実施している見守りについて、スクールガードボランティアとして登録し、物品の貸与やボランティア保険の適用など活動の支援を行います。

\*小学校登下校システムの設置（メール配信サービス）

児童の登下校を、保護者に電子メールでお知らせするサービスを、モデル校に導入します。モデル校での検証を経て、今後の統合校に導入していきます。

\*防犯カメラを増設します。

統合に伴い距離が延びる通学路に、通常 5 台（東京都補助台数）に上乗せして防犯カメラを設置します。

\*交通安全グッズ（反射板等）を配付し、遠くからでも児童を確認できる状況を整えます。

下校時安全放送の回数を増やし、地域全体で見守る意識を高めます。

登校班の編成を促していきます。

\*印の取り組みについては、統合校で実施します。

## 5 施設更新に関する方針

### 学校施設の耐用年数「65年から82年程度」

これまで学校施設の耐用年数は50年としてきましたが、建築年次によってコンクリート強度が異なるため、建物のコンクリート耐久設計基準強度から判定される供用限界期間を改築の目安の新基準とします。この年数は、構造体及び部材の要求性能を示し、設計・施工の目標を明確にした「構造体の総合的耐久性（日本建築学会）」に基づくものです。

また、供用限界期間は、その年数までに建物保全を行わなかった場合と定義しており、期間内に適切に保全工事を実施することにより、さらに寿命を延ばすことができるとされています。

- ・昭和40年代半ばまでに建設した学校は65年程度とします。
- ・平成10年代半ばまでに建設した学校は82年程度とします。
- ・新耐震構造基準（昭和56年）に適合した建物及び近年の躯体強度の高い建物については、コンクリート強度に応じた供用限界期間を参考にします。

### 施設更新の実施基準

原則として建築年次の古い順とします。

新耐震構造基準（昭和56年）に適合した小・中学校は、建物強度に応じて長期使用します。また、統合が伴った場合も、長期使用可能な建物強度を有するため、原則使用します。さらに、耐用年数に達していない小・中学校についても同様とします。

原則「RC造（鉄筋コンクリート造）」としますが、周辺や立地、敷地の状況等により「S造（鉄骨造）」及び「SRC造（鉄骨鉄筋コンクリート造）」を適宜取り入れます。

\* 統合の実施、周辺の公共施設整備や施工時期、社会情勢等に伴い、実施年次の調整や停止を行う場合があります。

### 保全工事の実施基準

改築工事の実施可能時期までに10年を超える期間が必要な学校を対象とします。

施設の長寿命化を目的とする関連工事を中心に実施します。

工事内容は、各学校の施設状況に応じて判断します。

環境の向上を図るため、耐用年数満了となる空調設備の入れ替え及びトイレ改修を進め、新校との平準化に早急に取り組んでいきます。

### 特別支援教室の設置

平成28年度から特別支援教室を順次導入し、平成30年度までに全ての小学校に設置します。また、中学校においては現在、都内4区市で特別支援教室モデル事業を実施しているため、状況を注視しながら柔軟に対応できるよう準備を進めていきます。

\* 特別支援教室とは、通常の学級に在籍する、知的発達に遅れのない発達障がいや、情緒障がいのある児童のための教室です。

## 6 今後取り組むエリア

### 平成25年の施設更新計画から引き続き取り組むエリア

引き続き江北・鹿浜・入谷地区の統合に向けた準備と検討を進めます。

地区	学校名	学級	学校規模	建築年	今後の方針
江北	江北小	11	小規模	S41	両校とも建築後約50年を経過し施設更新の検討が必要です。また、平成25年度に高野小学校と江北小学校の統合に向けた実施計画(案)を策定しています。引き続き、江北エリアデザイン検討地域での建設なども含め、統合に向けた準備を進めます。
	高野小	12	小規模(人数)	S37	
鹿浜	鹿浜五色桜小	14	適正	S47	改築中の鹿浜五色桜小学校と皿沼小学校を除く3校は建築後40年以上を経過します。鹿浜西小学校の小規模傾向が見られるため、引き続き検討を進めます。
	鹿浜西小	8	小規模	S44	
	北鹿浜小	12	小規模(人数)	S48	
	鹿浜第一小	18	適正	S40	
	皿沼小	11	小規模	S57	
入谷	舎人小	15	適正	S44	足立入谷小学校で小規模傾向が見られます。また、足立入谷小学校では年少人口の減少が見られます。今後の人口動態を注視しながら、引き続き検討を進めます。
	舎人第一小	16	適正	S61	
	足立入谷小	8	小規模	S50	
	入谷中	5	小規模	S51	入谷中学校と入谷南中学校で小規模傾向が見られます。また、入谷中学校では年少人口の減少が見られます。引き続き検討を進めます。
	入谷南中	9	小規模	H2	

- ・統合対象校や統合年次は、学校の小規模化や年少人口の増減を踏まえ、検討していきます。
- ・江北エリアは、引き続き高野小学校と江北小学校の統合に向けた準備を進めます。平成25年度に策定した実施計画(案)と江北エリアデザイン検討地域内との比較検討を行い、統合年次や統合新校の位置を決定していきます。

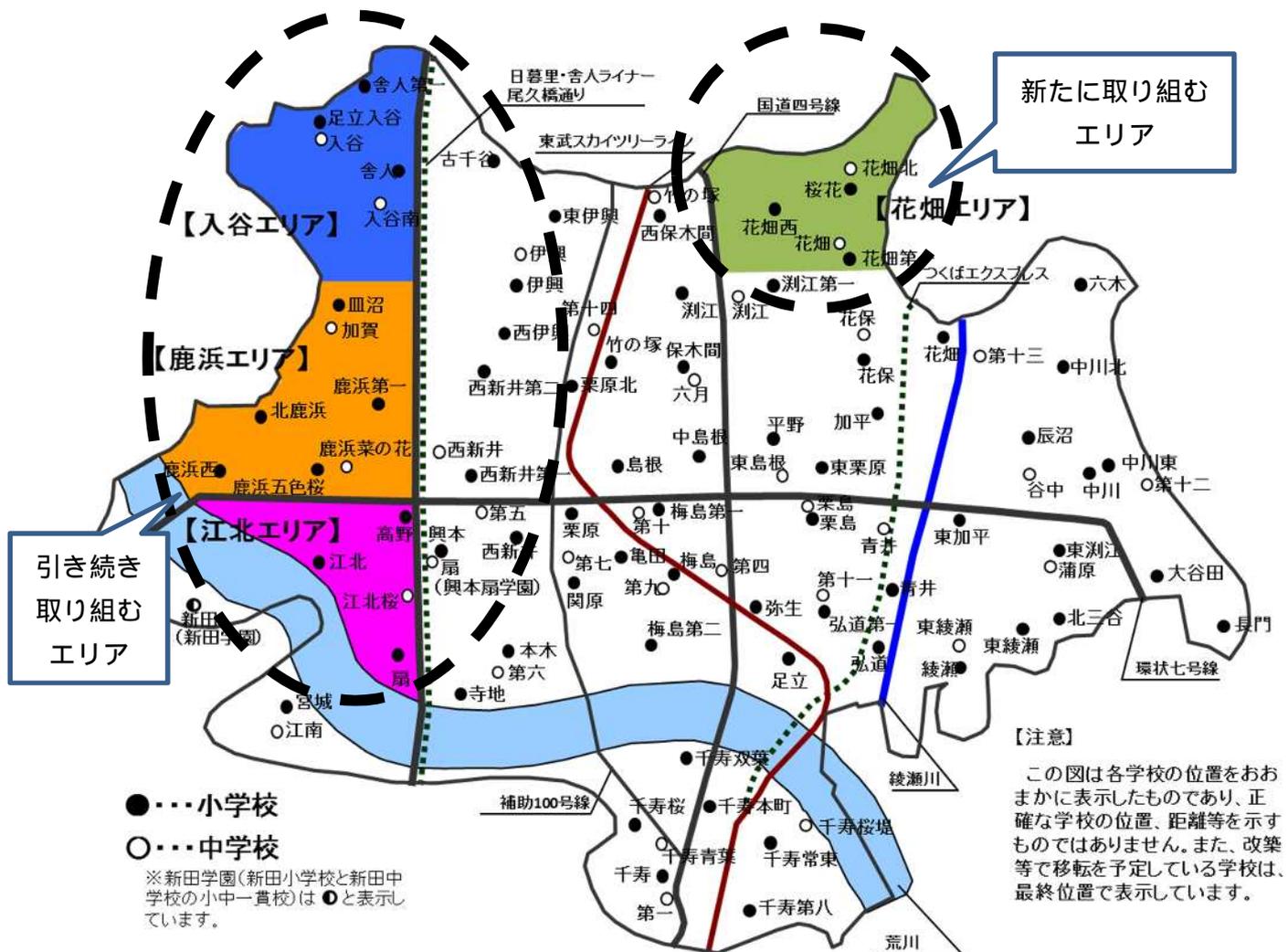
## 新たに取り組むエリア

花畑地区の検討を進めます。

地区	学校名	学級	学校規模	建築年	今後の方針
花畑	花畑第一小	12	小規模(人数)	S38	花畑第一小学校は建築後約50年を経過し施設更新の検討が必要です。また、花畑西小学校では年少人口の減少が見られます。今後の動向を注視していきます。
	花畑西小	13	適正	S45	
	桜花小	12	適正	S47	
	花畑中	5	小規模	S38	花畑中学校は建築後約50年を経過し施設更新の検討が必要です。両校ともに小規模傾向が見られることと、年少人口の減少が見られることから、検討を進めます。
	花畑北中	6	小規模	S53	

- ・花畑第一小学校と花畑中学校の施設更新の検討を行います。
- ・小学校の統合対象校や統合年次は、学校の小規模化や年少人口の増減を踏まえ、検討していきます。
- ・中学校の小規模化を解消するため、適正規模化の検討を行います。

今後取り組むエリアの取り組み年次については、今後の動向をみながら検討を進めます。



足立区立小・中学校の  
適正規模・適正配置の実現に向けて  
(案)

～子どもの未来を創る適正規模・適正配置のガイドライン～

平成 28 年 10 月  
足立区教育委員会

◆◆◆ 目次 ◆◆◆

第1章 足立区立小・中学校の現状

- 1 適正規模・適正配置に向けたこれまでの取り組み . . . . . 1ページ
- 2 足立区立小・中学校の規模の推移と平成28年度の状況 . . . 4ページ
- 3 将来の区内人口と児童・生徒数の見込み . . . . . 5ページ
- 4 他区との比較 . . . . . 6ページ

第2章 足立区の適正規模・適正配置のガイドライン

- 1 適正規模・適正配置の基本的な考え方 . . . . . 7ページ
- 2 適正規模の基準の見直し . . . . . 8ページ
- 3 適正配置の基準の見直し . . . . . 10ページ
- 4 通学路の安全対策 . . . . . 12ページ

第3章 施設更新に関する方針

- 1 これまでの取り組み . . . . . 14ページ
- 2 施設更新の基本的な考え方 . . . . . 15ページ
- 3 施設更新にかかるコスト試算と計画の連動 . . . . . 18ページ

第4章 今後の取り組みの方向性

- 1 将来の子どもたちに必要な学校数 . . . . . 23ページ
- 2 学校規模の視点 . . . . . 24ページ
- 3 年少人口の視点 . . . . . 26ページ
- 4 施設更新の視点 . . . . . 28ページ
- 5 今後取り組むエリア . . . . . 30ページ

- 【資料編】 . . . . . 32ページ

## 足立区教育大綱

基本  
理念

～夢や希望を信じて生き抜く人づくり～

足立区と足立区教育委員会では、この教育大綱の基本理念のもと、次代を担う子どもたちがたくましく生き抜く力を育み、教育目標を達成するための施策を展開しています。

教育大綱の実現に向けた取り組みには、2本の柱があります。第一は、「誰もが子どもを支える主役」です。地域全体が子どもを支え、育てあげていく学びの循環を促し、豊かな地域社会を実現します。第二は、「貧困の連鎖を断ち切る教育」です。子どもたちが孤立せず、貧困から脱出し、自立して生き抜く力を育む様々な機会を繰り返し提供していきます。

そのためには、学校を児童・生徒数に見合った適正な規模にし、教育環境を整備していくことが不可欠です。小規模な学校を適正規模にすることは、様々な人と関わり、多様な経験を積む機会を増やすことにつながり、教育大綱の2本の柱を支える社会性の育成や人間力の向上に結びつくこととなります。

足立区の総人口は68万人を超え、平成27年9月実施の人口推計における高位推計によると、平成36年頃には人口のピークを迎えるとされていますが、年少人口（0歳～14歳）は減少を続けると予測されています。このことから、適正規模・適正配置事業の推進は、教育環境を整備する施策の中でも、最も重要であると考えています。

このたび、平成21年5月に策定しました「足立区立小・中学校の適正規模・適正配置の実現に向けて—これからの25年を考える適正規模・適正配置のガイドライン—」の見直しを行いました。区立学校の現状を踏まえ、将来人口推計や施設更新の視点から、新たな適正規模・適正配置の基本的な考え方や施設更新基準を示しております。今後は、このガイドラインを指針とし、「子どもたちに明るい未来を、成長を実感できる教育を！」を目指して全力で取り組んでまいります。

平成28年10月  
足立区教育委員会

第1章 足立区立小・中学校の現状

1 適正規模・適正配置に向けたこれまでの取り組み

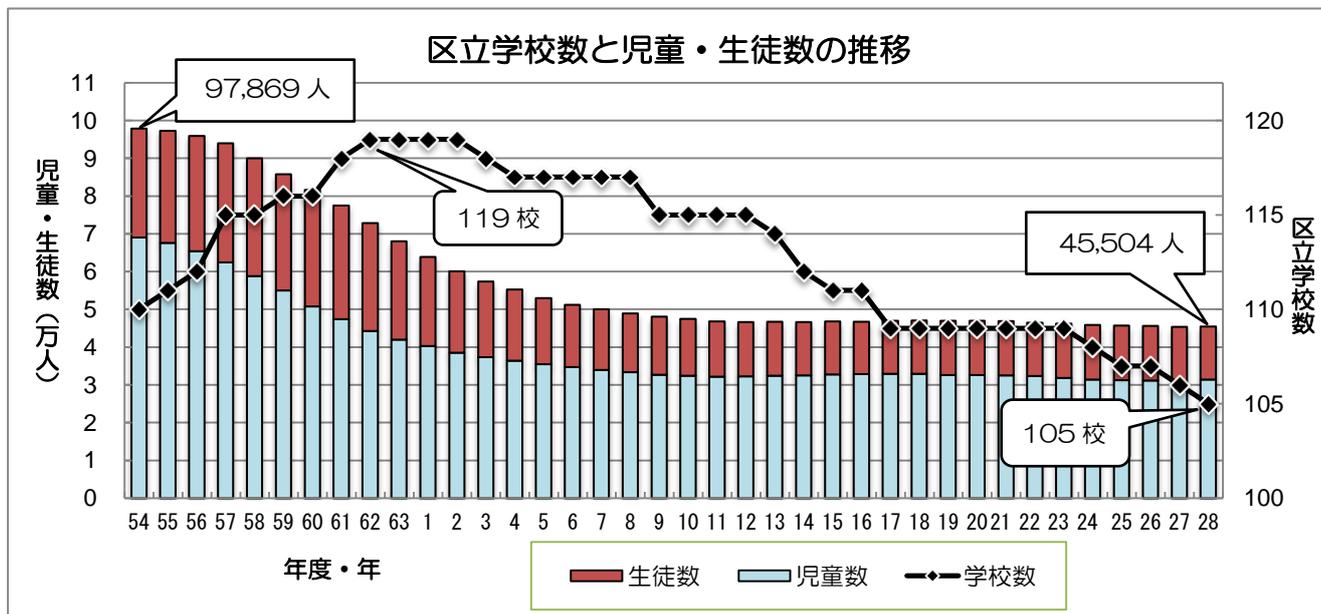
足立区教育委員会（以下「教育委員会」という。）は、減少する児童・生徒数の状況を受けて、昭和61年2月に、東京都足立区立小中学校適正規模及び適正配置審議会（以下「審議会」という。）に対して、「区立小学校及び中学校の適正規模に関すること」および「区立小学校及び中学校の適正配置に関すること」を諮問しました。その後、昭和63年2月、審議会は教育委員会に対して、「足立区立小・中学校における適正規模ならびに適正配置について」（以下「昭和62年度の答申」という。）を答申しています。

この昭和62年度の答申後、教育委員会では、いくつかの計画を策定しながら、小・中学校の適正規模・適正配置を進めてきました。その中でも、平成7年12月に策定した「足立区立小・中学校の適正規模・適正配置計画及び改築計画に関する報告書」（以下「平成7年度の報告書」という。）は、平成10年度から平成44年度までの3期35年の長期計画でした。

前期10年が終了した後の平成21年度には、「足立区立小・中学校の適正規模・適正配置の実現に向けて—これからの25年を考える適正規模・適正配置のガイドライン—」（以下「平成21年度のガイドライン」という。）を策定し、今後の適正規模・適正配置事業の新たな指針を定めています。

中期17年の中間年度にあたる今年度、平成21年度のガイドラインからの取り組みを振り返り、学校を取り巻く環境に対応するための見直しを行いました。

なお、昭和62年度には小学校80校、中学校39校の合計119校の学校がありましたが、その後、小・中学校の適正規模・適正配置事業を進めてきた結果、平成28年度現在では、小学校69校、中学校36校の合計105校となっています。また、区立学校の児童・生徒数は、最も多かった昭和54年度と比較すると、児童数は69,033人から31,434人へ、生徒数は28,836人から14,070人へ減少しています。



## ◆ 「昭和62年度の答申」以降の主な適正規模・適正配置に関する計画および統合等実施校

年度	区分	計画・報告書の名称および統合等を実施した小・中学校
昭和62	計画	足立区立小・中学校における適正規模ならびに適正配置について(答申)
平成元	計画	足立区立小学校適正配置計画
平成3	統合	千寿本町小学校の開校(千寿第一小学校と千寿旭小学校を統合)
平成4	統合	千寿桜小学校の開校(千寿第六小学校と千寿第七小学校を統合)
平成5	計画	足立区立学校の適正規模・適正配置ならびに改築計画について
平成7	計画	足立区立小・中学校の適正規模・適正配置計画及び改築計画に関する報告書
平成9	統合	桜花小学校の開校(花畑東小学校と桑袋小学校を統合) 西保木間小学校の開校(湊江第二小学校と竹の塚北小学校を統合)
平成12	計画	千住地域の小・中学校の適正配置全体計画ー改築・適正配置5ヵ年計画ー
平成13	統合	足立入谷小学校の開校(入谷小学校と入谷南小学校を統合)
平成14	統合	千寿小学校の開校(千寿小学校と千寿第二小学校を統合) 千寿常東小学校の開校(千寿第四小学校と柳原小学校を統合)
平成15	統合	千寿青葉中学校の開校(第三中学校と第十五中学校を統合)
平成17	統合	千寿双葉小学校の開校(千寿第三小学校と元宿小学校を統合) 千寿桜堤中学校の開校(第二中学校と第十六中学校を統合)
平成21	計画	足立区立小・中学校の適正規模・適正配置の実現に向けて ーこれからの25年を考える適正規模・適正配置のガイドラインー
平成22	計画	足立区立本木東小学校の適正規模・適正配置実施計画 ー足立区立小・中学校の適正規模・適正配置実施計画ー
平成23	計画	足立区立小・中学校の適正規模・適正配置実施計画 ー栗原小学校と亀田小学校の適正規模・適正配置実施計画ー ー第七中学校と第十中学校の適正規模・適正配置実施計画ー 足立区立小・中学校の適正規模・適正配置実施計画 ー千寿第五小学校と五反野小学校の適正規模・適正配置実施計画ー

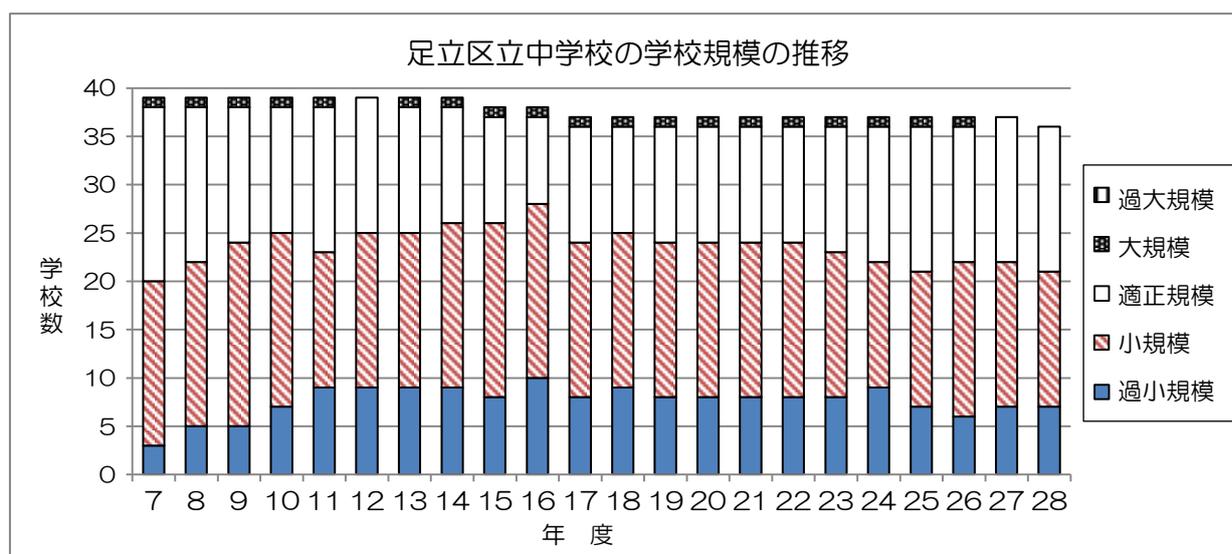
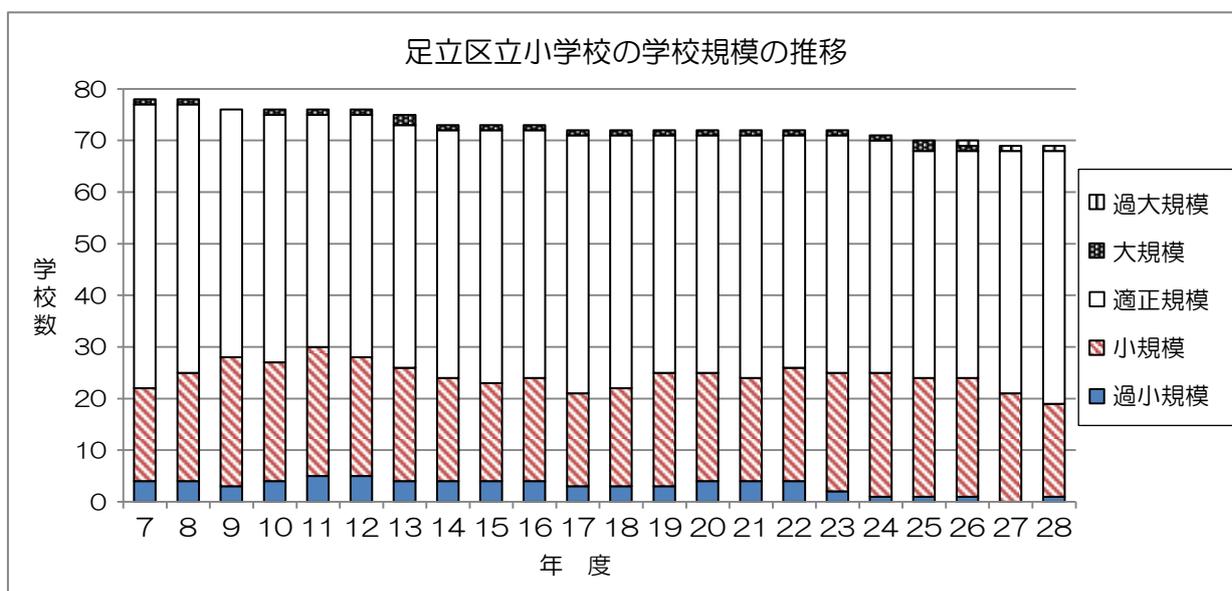
年度	区分	計画・報告書の名称および統合等を実施した小・中学校
平成 24	統合	本木小学校の開校（本木小学校と本木東小学校を統合）
	学区域 変更	栗原小学校と亀田小学校の学区域を変更 第七中学校と第十中学校の学区域を変更
	計画	足立区立小・中学校の施設更新計画 適正規模・適正配置事業の今後の取り組みエリアと施設更新計画との連動に関する方針
平成 25	統合	足立小学校の開校（千寿第五小学校と五反野小学校を統合）
	計画	足立区立小・中学校の適正規模・適正配置実施計画 -上沼田小学校と鹿浜小学校の適正規模・適正配置実施計画- 足立区立小・中学校の適正規模・適正配置実施計画 -鹿浜中学校と第八中学校の適正規模・適正配置実施計画- 足立区立小・中学校の適正規模・適正配置実施計画 -高野小学校と江北小学校の適正規模・適正配置実施計画(案)-
平成 26	計画	足立区立小・中学校の適正規模・適正配置実施計画 -上沼田中学校と江北中学校の適正規模・適正配置実施計画-
平成 27	統合	鹿浜五色桜小学校の開校（上沼田小学校と鹿浜小学校を統合）
平成 28	統合	鹿浜菜の花中学校の開校（鹿浜中学校と第八中学校を統合）
平成 29	統合	江北桜中学校の開校予定（上沼田中学校と江北中学校を統合）
予定	統合	新校開校予定（高野小学校と江北小学校を統合）

## 2 足立区立小・中学校の規模の推移と平成28年度の状況

平成7年度以降のデータによると、適正規模以外の学校は、増減を繰り返しながら、小学校20～31校、中学校21～29校の範囲で推移しています。

小学校は、平成14年度以降の千住地域を中心に実施した統合や、平成24年度以降の取り組みにより小規模校が減少しています。適正規模以外の学校は69校中20校、全体の29.0%です。

中学校は、現在小規模化が顕著です。全体の58.3%にあたる36校中21校が小規模以下の学校となっています。



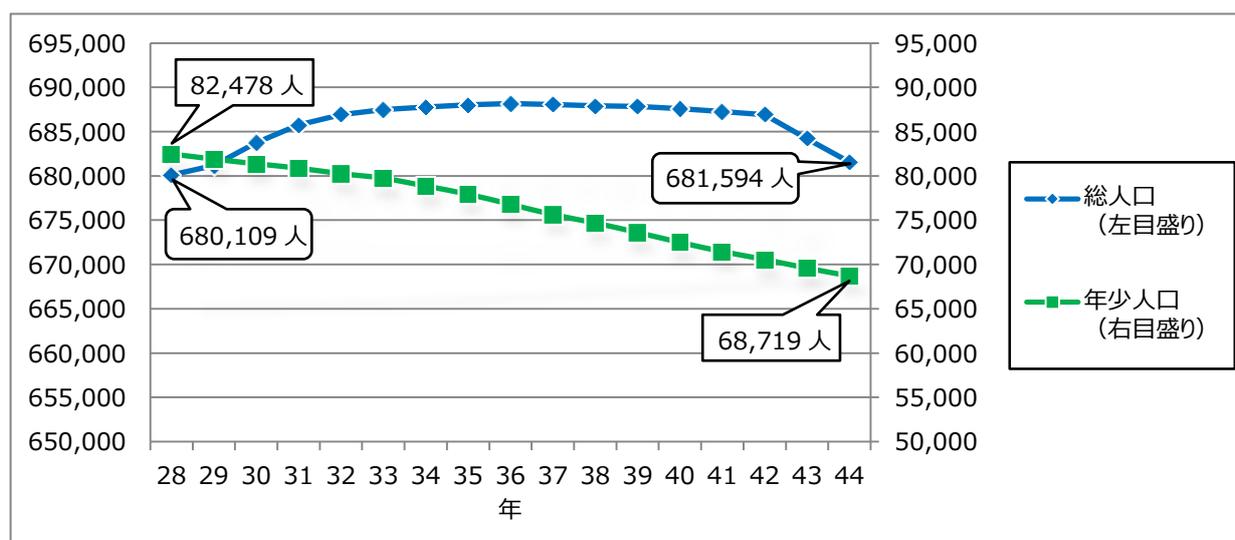
\*学級数、児童・生徒数の詳細データは、資料3「平成28年度 足立区立小・中学校の児童・生徒数および学級数一覧」に掲載しています。また、学校規模の基準は、従来の基準により表示しています。

### 3 将来の区内人口と児童・生徒数の見込み

#### (1) 平成44年（35年計画の最終年）までの人口推移

足立区の総人口（日本人及び外国人の計）は、平成36年の688,161人をピークに、その後は平成44年の681,594人まで減少していく見込みです。

年齢別人口推移のうち、年少人口（0～14歳）は平成28年の82,478人をピークに、緩やかに減少し、平成44年には68,719人となる見込みです。



（平成27年人口推計(高位)より作成。なお、平成28年は4月1日現在の実居住者人口です）

#### (2) 平成44年の学校規模の見込み

平成44年度において、6～11歳および12～14歳の学区域内に住む子ども全員が学区域校に入学すると仮定し、学校規模を割り出すと、小規模校が小学校では37校、中学校では20校にのぼる見込みです。（現在計画されている高野小学校と江北小学校の統合までを除きます）。

一方、現在の学区域内の子どもが足立区立小・中学校以外の学校に通学する割合（以下「区立校以外通学割合」という。）は、小学校では3.5%、中学校では16.6%です。地域によってはその割合が30～40%におよぶ地域もあります。この傾向が続いた場合、平成44年度までの中学校の小規模化は、この見込みよりもさらに上回る可能性があります。

\*区立校以外通学割合は、平成28年度児童数と生徒数を、平成28年4月1日付住民基本台帳上の6歳から11歳と12歳から14歳で除算して求めています。

## 4 他区との比較

## (1) 足立区と児童・生徒数が同程度の区の状況

## ◆ 学校数及び児童・生徒数（平成28年5月1日現在）

	自治体名	小学校数	児童数	中学校数	生徒数
	足立区	69	31,159	36	13,798
1	大田区	59	28,632	28	10,928
2	世田谷区	63	34,107	29	10,460
3	練馬区	65	32,186	34	13,748
4	江戸川区	71	34,646	33	15,926

\*該当する区のみ表示しています。

小学校では、世田谷区は足立区より児童数が2,948人多く在籍していますが、学校数は6校少なくなっています。また、練馬区では、足立区より児童数が1,027人多く在籍していますが、学校数は4校少なくなっています。

中学校では、江戸川区は足立区より生徒数が2,128人多く在籍していますが、学校数は3校少なくなっています。また、練馬区では、足立区と同程度の生徒数ですが、学校数は2校少なくなっています。

\*各区、学校ごとに学区域の形状や、幹線道路、河川の有無など条件は異なります。

## 第2章 足立区の適正規模・適正配置のガイドライン

### 1 適正規模・適正配置の基本的な考え方

#### (1) 適正規模の考え方

小・中学校は、「確かな学力の定着と向上」と、多様な「遊び・学び・体験」を通して、「豊かな心」と「健やかな体」を育む場所です。子どもたちが、毎日明るく、楽しく、元気に学び、遊べる環境を整えることは、学校教育の基本のひとつといえます。

また、多くの友人や教師とふれあいながら育まれる社会性や人間性は、将来社会に巣立つ子どもたちが必ず身につけなければならない「大切な生きる力」です。義務教育という大切な時期に、適正な児童・生徒数の集団生活の中で、互いに認め合い、助け合い、競い合いながら成長できる教育環境を整えることが、子どもたちの学力向上と人間力の育成の両面において大切なことであると考えます。

一方、小規模な学校や学級の良い面もあります。児童・生徒一人ひとりに教員の目が行き届き、個に応じた学習指導・生活指導がきめ細かくできることです。これからは、適正規模化を第一に考えながらも、区独自の非常勤講師や民間教育事業者を活用した少人数指導や個別指導も併せて取り組んでいきます。

#### (2) 適正配置の考え方

学校を適正な規模にしていくと同時に、小・中学校をバランスよく配置していくことが重要です。通学距離が不均衡となることで、子どもたちの通学時間に影響が生じることはもちろん、著しい長距離の通学によって、交通安全や防犯上の課題が発生します。

また、小・中学校は地域コミュニティの核となる施設のひとつであり、町会・自治会をはじめとする地域との連携・協働によって、より一層の教育指導や教育環境の向上が図られます。災害時の避難所施設となることなども考慮し、地域の特性や近隣の公共施設の配置状況などを総合的に判断しながら適正配置を進めていきます。

#### (3) 地域コミュニティと学区域

平成21年度のガイドラインでは、引き続き、統合により学校規模を適正にすることを優先し、統合または単独の改築・改修にあわせて周辺校の学区域の変更を検討し、実施してきました。しかし、現在でも一部の学校では望ましい通学距離を超える学区域が存在します。これは、地域と学校が協力して地域コミュニティを形成していることから、通学距離の基準を著しく超えない限り、許容範囲とします。また学区域変更は、既に形成された地域コミュニティを分断する可能性を含んでいるため、地域や学校・保護者と調整を図る必要があります。

## 2 適正規模の基準の見直し

### 【適正規模の新基準】

	小学校	中学校
適正規模	12～24 学級 (標準児童数 340～760 人)	12～24 学級 (標準生徒数 370～840 人)

#### (1) 適正な学級数「12 学級から 24 学級」

小学校では、最低限クラス替えができる各学年2学級以上が必要であるため「1 学年 2～4 学級の 12～24 学級」を適正規模とします。中学校では、同じ地域の小学校 2 校程度から 1 つの中学校に進学することを想定して「1 学年 4～8 学級の 12～24 学級」を適正規模とします。

なお、学校教育法施行規則では、小・中学校ともに「12 学級以上 18 学級以下」を標準としています。ただし、「地域の実態その他により特別の事情のあるときは、この限りでない。」と定められています。また、義務教育諸学校等の施設費の国庫負担等に関する法律施行令では「5 学級以下の学校と 12 学級～18 学級の学校を統合する場合には 24 学級までを適正とする」と定めています。このことから「24 学級まで」を適正規模であるとします。

#### (2) 適正な人数「小学校 340～760 人、中学校 370～840 人」

現在、足立区の1学級あたりの人数には東京都が定める基準を採用しています。1学級あたりの人数は、小学1・2年生と中学1年生が35人編成で、それ以外の学年は40人編成です。この点を踏まえ、1学級あたりの平均人数と適正な学級数、児童・生徒数を現状に合わせて変更します。

#### ◆ 足立区の適正規模の考え方

	小学校	中学校
現在の 1学級の平均人数	29～32 人	31～35 人
適正な学級数	12～24 学級	
適正な 児童・生徒数	29 人×12 学級=348≒340 人 32 人×24 学級=768≒760 人	31 人×12 学級=372≒370 人 35 人×24 学級=840 人

(3) 適正規模以外の考え方

これまでの取り組みは、6学級以下の過小規模校の解消に重点を置いてきました。

しかし、学校の適正規模は一つの学校だけの問題ではなく、地域全体の問題として考える必要があります。また、6学級以下の学校であっても、その地域全体で子どもが増える可能性があれば、直ちに統合の検討に入るのではなく、その後の推移を見守っていくなど、柔軟な対応が必要です。

以上のことから、今後は過小・過大という優劣のつくような表現を改め、適正規模に満たない学校はすべて小規模校とし、超える学校はすべて大規模校とします。

3 適正配置の基準の見直し

【適正配置の新基準】

	小学校	中学校
通学時間	おおむね 30 分以内	
通学距離	おおむね 1,200m以内が望ましい	おおむね 1,800m以内が望ましい
通学区域	小学校と中学校の通学区域は、交友関係や地域との結びつきなどを考慮し、できるだけ整合性を持たせることが望ましく、1 中学校あたり 2～3 の小学校が理想的と思われる。	
通学区域の境界	地域との十分な協力関係のもと、その地域の特性をいかした学校づくりを進めていくため、原則として従来の 13 ブロック、町丁目の区域、町会・自治会の区域をできる限り分断しない配慮が必要である。また通学区域と青少年対策地区委員会の区域についてはできる限り整合性を図る必要がある。	
通学路	特に小学校の場合の安全性を重要視し、主要道路（国道 4 号線ほか）、鉄道および河川により通学路が原則として分断しないことが望ましい。	

上記の通学時間、通学距離は個人差や気象条件、道路条件などに左右されます。そのため、平均的な児童・生徒の歩ける時間と距離として、あくまでも目安ととらえて運用していきます。

(1) 適正な通学時間の目安「おおむね 30 分以内」

これまででは、通学距離、通学区域、通学路について基準を定めてきました。今回の見直しでは、より具体的な基準とするため、一般的に子どもが通学にかけられる時間を、目安として新たに定めます。

そこで、内閣府による子どもの起床時間の調査や、東京都の学校の登校時間の調査、足立区の学校の登校時間などを勘案し、通学で使える時間は 30 分から 40 分という結果が得られました。このことから、通学時間は「おおむね 30 分以内」を一つの目安とします。

なお、国においても、通学距離に加えて通学時間を定める動きがあります。中央教育審議会の作業部会では「距離と時間を併用するという考えられるのでは」という意見や、文部科学省が平成 27 年に定めた手引きでは、「おおむね 1 時間以内を一応の目安」と明示しています。

(2) 適正な通学距離の目安「小学校は、おおむね 1,200m 以内、中学校は、おおむね 1,800m 以内」

新たに設けた、通学時間「おおむね 30 分以内」という基準から、30 分で子どもが歩ける距離を求め、新たな距離の基準とします。

子どもの歩く速さに関するデータを基にして、その中でも比較的遅く歩いた場合の速度である、小学生は分速 40m、中学生は分速 60m を採用します。

その結果、小学生は「分速 40m で 30 分歩くとおおむね 1,200m 進む」、中学生は「分速 60m で 30 分歩くとおおむね 1,800m 進む」とし、この基準を一つの目安とします。

なお、基準を定めている他区では、小学校では 1km から 1.5km 程度、中学校では 1.5km から 2km 程度としており、足立区の基準が著しく長距離ではないことがわかります。

#### 4 通学路の安全対策

子どもたちが安心して学校に通うためには、通学路の安全対策が欠かせません。現在も各学校では、PTA や地域のみなさまのご協力による声掛けや交通誘導のほか、通学路合同点検や、防犯カメラの設置などの取り組みが行われています。

特に通学路合同点検では、各関係機関が一堂に会して現地調査を行っており、通学路全体の安全対策の基礎となっています。また、平成 26 年度からは順次、通学路上に防犯カメラを設置し、保護者からは「安心感が増した」という声や、町会・自治会からも、犯罪抑止に大変効果があると評価されています。

学校の統合が行われると、通学する校舎の変更のため、在学中に通学路が数回変わります。通学路の変更に伴う子どもたちの不安を出来る限り取り除き、また、保護者の心配を軽減できるように、これまでの取り組みに新たな対策を追加します。

##### (1) これまでの安全対策

###### ① 通学路合同点検の実施

ア. 参加者 PTA、開かれた学校づくり協議会、学校、警察、道路管理者、教育委員会など。

イ. 実施概要 交差点改良（ガードパイプや歩道、外側線の調整）、歩行者用信号の横断可能時間の延長、横断歩道の新設や移転、路面表示・グリーンベルトの施工、スクールゾーン規制の新設など。

###### ② PTA及び開かれた学校づくり協議会、町会・自治会など地域の方による見守りや、通学路安全マップの作成

###### ③ 交通安全教室の実施・青パトによる巡回

###### ④ 学童擁護員による通学指導

###### ⑤ 防犯カメラの設置

ア. 設置場所 通学路のうち、犯罪抑止に効果的な場所（公園付近など）

イ. 設置台数 各校5台、平成 30 年度までに全校に設置

(2) 新たな安全対策

\*学童擁護員を増員し、支援を行います。

ア．配置場所 統合等により新たに設けた通学路のうち、通学路合同点検などで危険と判断した場所に配置します。

イ．配置時間 登校時 1 時間、下校時 3 時間を上限に必要な時間配置します。

ウ．配置箇所数 1 校につき原則 3 か所以内とします。

\*スクールガードボランティアの募集を行います。

P T A 及び開かれた学校づくり協議会、町会・自治会など地域の方が実施している見守りについて、スクールガードボランティアとして登録し、物品の貸与やボランティア保険の適用など活動の支援を行います。

\*小学校登下校システムの設置（メール配信サービス）

児童の登下校を、保護者に電子メールでお知らせするサービスを、モデル校に導入します。モデル校での検証を経て、今後の統合校に導入していきます。

\*防犯カメラを増設します。

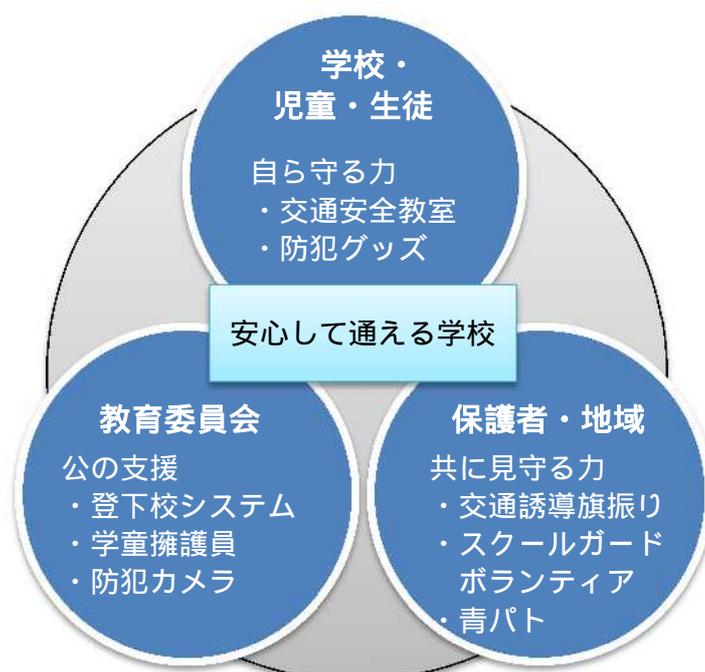
統合に伴い距離が延びる通学路に、通常 5 台（東京都補助台数）に上乗せして防犯カメラを設置します。

\*交通安全グッズ（反射板等）を配付し、遠くからでも児童を確認できる状況を整えます。

下校時安全放送の回数を増やし、地域全体で見守る意識を高めます。

登校班の編成を促していきます。

\*印の取り組みについては、統合校で実施します。



## 第3章 施設更新に関する方針

## 1 これまでの取り組み

## (1) 平成7年度の報告書の進捗状況

平成7年度の報告書では、学校改築に際しては、築後50年を経過しない範囲で行うことや、財政的に多大な影響を及ぼすため、改築対象校の前倒しによる平準化を図っていました。

具体的な年次計画は、昭和62年度以降に建設された小・中学校各2校を除き、前期10年が年2校、中期17年が年3校、後期8年が年1～2校とし、小学校58校、中学校27校を改築する計画となっていました。

## ① 事業計画の期間や実施した校数等

## ◆ 事業期間と改築対象とした学校数

区分	期間	改築対象とした学校数	
		小学校	中学校
前期10年	平成10年度～平成19年度	18校中12校	11校中8校
中期17年	平成20年度～平成36年度	49校中38校	19校中13校
後期8年	平成37年度～平成44年度	9校中8校	7校中6校
昭和62年度以降に建設された学校（計画対象外）		2校	2校

## ◆ 実施校

## • 単独改築校

小学校：梅島小学校、島根小学校、西新井小学校、新田小学校、加平小学校、伊興小学校、関原小学校、千寿小学校（予定）

中学校：第一中学校、新田中学校

## • 統合に伴う改築校

小学校：千寿双葉小学校、本木小学校、足立小学校、鹿浜五色桜小学校（予定）

中学校：千寿桜堤中学校、鹿浜菜の花中学校（予定）

## 2 施設更新の基本的な考え方

### (1) 学校施設の耐用年数「65年から82年程度」

#### ① これまでの考え方

学校改築については、建築後50年を経過しない範囲で実施することを基本的な考え方とし、50年を経過しない範囲での実施が困難な場合には、保全工事を実施して安全性を担保するとしていました。施設更新年数の目安を50年とした根拠は、「減価償却資産の耐用年数等に関する省令（財務省）」です。しかし、この耐用年数は、税法上の建物の財産価値について、恣意性を排除し画一的に扱うため法令上定め対象資産の取得価値を費用配分する期間であり、建物の寿命を示すものではありませんでした。

#### ② 今後の考え方

- ・昭和40年代半ばまでに建設した学校は65年程度とします。
- ・平成10年代半ばまでに建設した学校は82年程度とします。
- ・新耐震構造基準（昭和56年）に適合した建物及び近年の躯体強度の高い建物については、コンクリート強度に応じた供用限界期間を参考にします。

今後は、建物のコンクリート耐久設計基準強度から判定される供用限界期間を改築の目安の新基準とします。具体的な期間は、学校のコンクリート強度により個々に判定します。この年数は、構造体及び部材の要求性能を示し、設計・施工の目標を明確にした「構造体の総合的耐久性（日本建築学会）」（耐久設計基準強度（コンクリート圧縮強度）と耐久性関係を示す）に基づくものです。

また、供用限界期間は、その年数までに建物保全を行わなかった場合と定義しており、期間内に適切に保全工事を実施することにより、さらに寿命を延ばすことができるとされています。

学校の整備は、昭和50年代に入り学齢人口が増加したことに伴い、小・中学校21校を新設するとともに、既設校についても当初の規模に加えて増築を行ってきた経過があります。近年、開発により人口が急増した地区の学校では、現在も校舎の増築を実施しています。このように、順次拡張をした学校には建設年次や使用したコンクリート強度が異なる複数の校舎が存在します。さらに、大規模改修（リニューアル工事）は7校で実施しました。

改築目標年次は、原則として、最初に建設した校舎の供用限界期間満了時としますが、こうした状況も勘案するとともに、改築対象が一時的に集中するなど、目標期間を超えて学校を使用する場合は、保全工事はもとより、躯体コンクリートの劣化状態を検査し、安全性を担保しつつ建物の長寿命化を図ります。

一方、躯体の構造強度が確保されてはいても、校舎の状態は、立地や方位、管理・使用状況等により、必ずしも一律とはいえない側面もあります。そのため、各学校の建物の経過年数を考慮しつつも、改築経費と個々の学校の機能更新や保全等に係る改修経費を比較した上で、個別に改築時期の検討を行っていきます。

◆ 構造体の総合的耐久性（日本建築学会）

計画供用の級	計画供用期間	耐久設計基準強度	供用限界期間
① 短期	およそ 30 年	18N/mm <sup>2</sup>	およそ 65 年
② 標準	およそ 65 年	24N/mm <sup>2</sup>	およそ 100 年
③ 長期	およそ 100 年	30N/mm <sup>2</sup>	およそ 200 年
④ 超長期	およそ 200 年	36N/mm <sup>2</sup>	-

◆ 今後の耐用年数の考え方

耐久設計基準強度	耐用年数
18N/mm <sup>2</sup>	65 年
21N/mm <sup>2</sup>	82 年
24N/mm <sup>2</sup>	100 年
27N/mm <sup>2</sup>	150 年
30N/mm <sup>2</sup>	200 年
33N/mm <sup>2</sup>	-
36N/mm <sup>2</sup>	-

\* 日本建築学会が定めた構造体の総合的耐久性の 4 区分に、各区分の間数値を追加した 7 区分とします。

\* 各学校の建築年次、耐久設計基準強度は、資料 4「足立区立小・中学校の建築年次一覧」に掲載しています。

(2) 施設更新の実施基準

- ① 改築は、原則として「建築年次の古い順」とします。
- ② 新耐震構造基準（昭和 56 年）に適合した小・中学校は、建物強度に応じて長期使用します。また、統合が伴った場合も、長期使用可能な建物強度を有するため、原則使用します。さらに、耐用年数に達していない小・中学校についても同様とします。
- ③ 改築は、原則「RC造（鉄筋コンクリート造）」としますが、周辺や立地、敷地の状況等により「S造（鉄骨造）」及び「SRC造（鉄骨鉄筋コンクリート造）」を適宜取り入れます。

\* 統合の実施、周辺の公共施設整備や施工時期、社会情勢等に伴い、実施年次の調整や停止を行う場合があります。

### (3) 保全工事の実施基準

- ① 保全工事は、原則として「改築工事の実施可能時期までに10年を超える期間が必要な学校」を対象とします。
- ② 保全工事は、施設の長寿命化を目的とする関連工事（内外装・給排水・空調・受変電設備・小荷物専用昇降機等）を中心に実施します。
- ③ 保全工事の内容は、各学校の施設状況に応じて判断します。
- ④ 環境の向上を図るため、保全工事のうち、耐用年数満了となる空調設備の入れ替え及びトイレ改修を進め、新校との平準化に早急に取り組んでいきます。

### (4) 特別支援教室の設置

発達障がいの児童・生徒への支援について、平成16年12月に公布された発達障害者支援法第8条において、国及び地方公共団体は、「適切な教育的支援、支援体制の整備その他必要な措置」を講じる責務が規定されました。また、平成19年4月の学校教育法の一部改正では、従来の「特殊教育」から「特別支援教育」への転換が図られ、特別支援教育の対象が、知的障がいのない発達障がいの児童・生徒にも拡大され、全ての学校において特別支援教育を実施するものとなりました。さらに、平成22年11月に策定された東京都特別支援教育推進計画第三次実施計画において、全ての小・中学校に特別支援教室を設置する基本的な考えを示しました。

区では、この計画に基づき、平成28年度から特別支援教室を順次導入し、平成30年度までに全ての小学校に設置します。また、中学校においては現在、都内4区市で特別支援教室モデル事業を実施しているため、状況を注視しながら柔軟に対応できるよう準備を進めていきます。なお、教室整備については、専用スペースを設けて指導を行う場合や空き教室、図書室、特別支援学級などの既存スペースを活用する場合があります。各学校の教室の空き状況や指導児童数に応じて施設の整備に取り組んでいきます。

\*特別支援教室とは、通常の学級に在籍する、知的発達に遅れのない発達障がいや、情緒障がいのある児童のための教室です。

### 3 施設更新にかかるコスト試算と計画の連動

学校の施設更新は、大きな財政負担を伴います。特に、昭和30年代から50年代にかけて、集中的に建てられた学校の多くが施設更新時期を迎え、その負担も大きくなります。そのため、平成7年度の報告書では、改築対象校の前倒しによる平準化を図っていました。

しかし、近年建築コストの急騰や、学校に求められる施設の変化など、社会情勢が大きく変わってきました。これらに対応するため、施設更新費用の試算を行い、より現状に合わせた計画的な施設更新を実施していく必要があります。また、今後の維持管理経費が財政に与える負担を軽減させるためにも、統合による総量縮減も必要となります。

#### (1) 延べ床面積の見込み

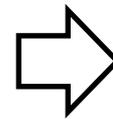
平成28年度の学校の延べ床面積は698,099㎡です。

学校数は、小学校69校、中学校36校、合計105校です。

新築校舎の床面積は、近年改築を行った学校の標準的な面積である、小学校8,000㎡、中学校12,000㎡で試算します。

##### ① 105校すべて改築した場合

$$\begin{array}{l} \text{小学校 } 69 \text{ 校} \times 8,000 \text{ m}^2 = 552,000 \text{ m}^2 \\ \text{中学校 } 36 \text{ 校} \times 12,000 \text{ m}^2 = 432,000 \text{ m}^2 \end{array}$$



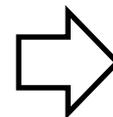
延べ床面積  
984,000㎡

##### ② 統合による学校数の減と改築を組み合わせた場合

学校数は、第4章で求める「将来の子どもたちに必要な学校数」とします。

小学校60校、中学校25校で試算します。

$$\begin{array}{l} \text{小学校 } 60 \text{ 校} \times 8,000 \text{ m}^2 = 480,000 \text{ m}^2 \\ \text{中学校 } 25 \text{ 校} \times 12,000 \text{ m}^2 = 300,000 \text{ m}^2 \end{array}$$



延べ床面積  
780,000㎡

(2) コスト試算と施設更新計画

足立区の公共施設の建替え・改修にかかるコスト試算は、平成28年4月に発行した「足立区施設白書」（以下「平成28年施設白書」という。）で行っています。しかし、平成28年施設白書で採用した総務省のコスト試算条件の単価と、区の建替え実績による単価では、現在の建築単価と比較してかい離がみられます。そのため、学校の建築単価を新たに設定し、さらに年間管理運営費や今後発生が見込まれる保全経費等も含めて試算しました。

① 試算条件

ア. 平成28年施設白書（抜粋）…… 次ページ②のグラフ

- ◆ 建築時より30年後に大規模改修を行い、60年間使用して建替えます。
- ◆ 建替え、大規模改修時の単価設定

	建替え	大規模改修
学校教育系	33万円/㎡	17万円/㎡

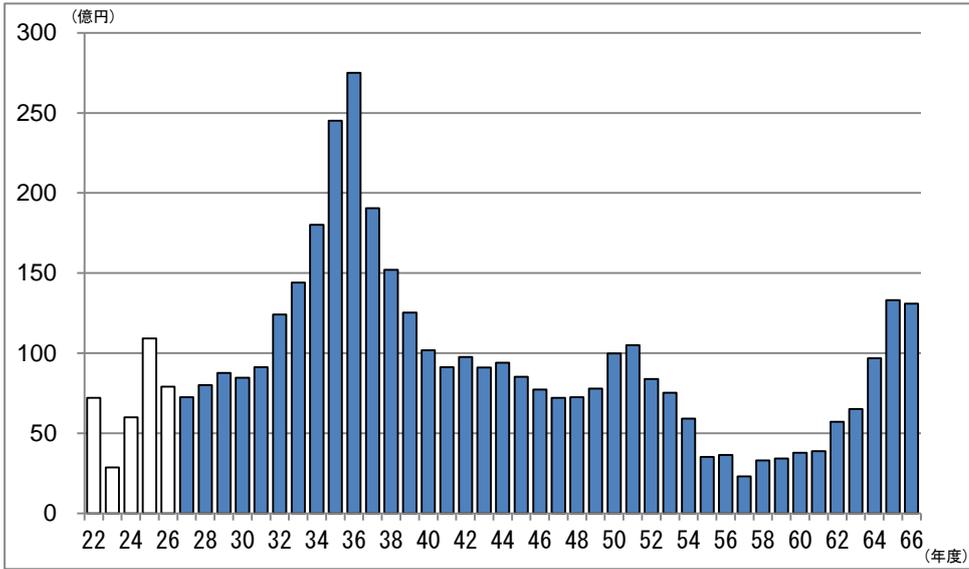
イ. 新たに設定した単価 …… 次ページ③～⑤のグラフ

- ◆ 設計基準強度より求めた耐用年数で建替えます（65年、82年）。
- ◆ 改築には、建設費、解体費、仮設校舎設置費、設計委託費を含みます。
- ◆ 保全にかかる経費は、年19.5億円で設定し、管理運営費に含みます。
- ◆ 今後発生する空調設備の入れ替え及びトイレ改修経費は、発生が見込まれる年の年間管理運営費に加算します。
- ◆ 改築、年間管理運営費等の単価設定

	改築	年間管理運営費等
小学校	48.6億円	94.5億円 (1校9,000万)
中学校	68.1億円	

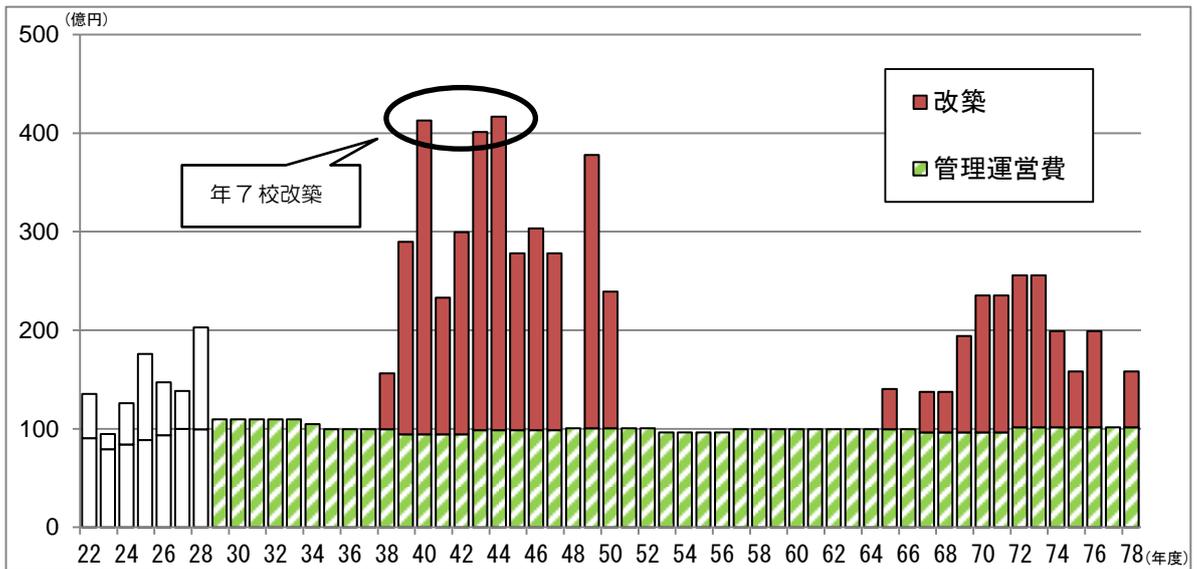
\* 現在は、改築単価が高騰しています。今回のコスト試算では、平成33年度以降、建設費に0.8を乗じて試算していますが、今後単価変動については、注視していく必要があります。

② 平成 28 年施設白書「学校教育施設の建替え・改修にかかるコスト試算」



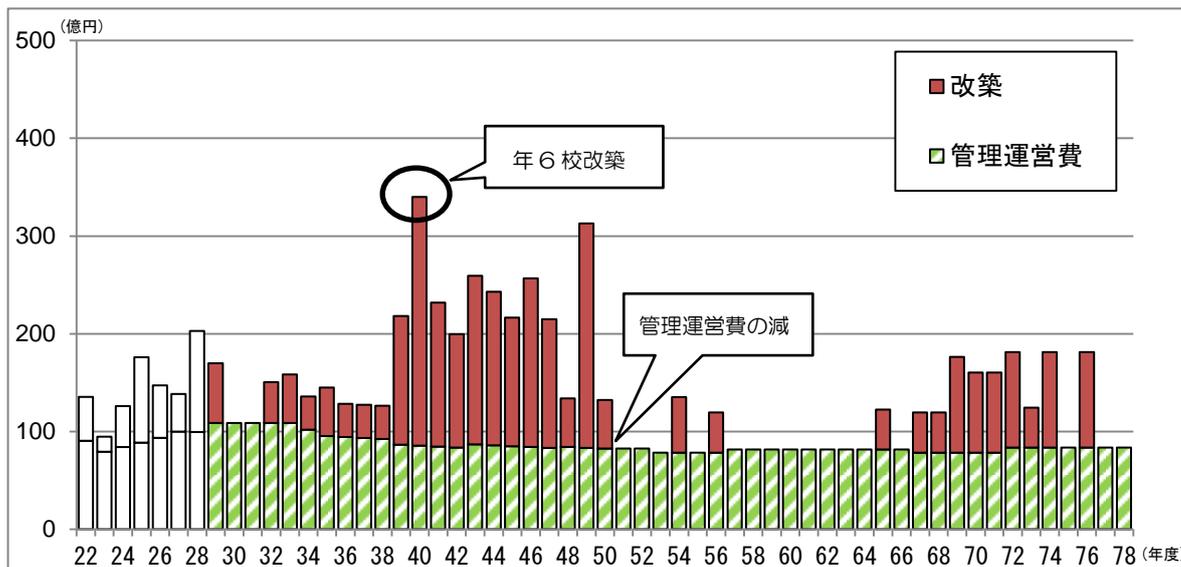
平成 28 年施設白書より抜粋（一部加工）

③ 供用限界期間が満了した時点で改築する場合



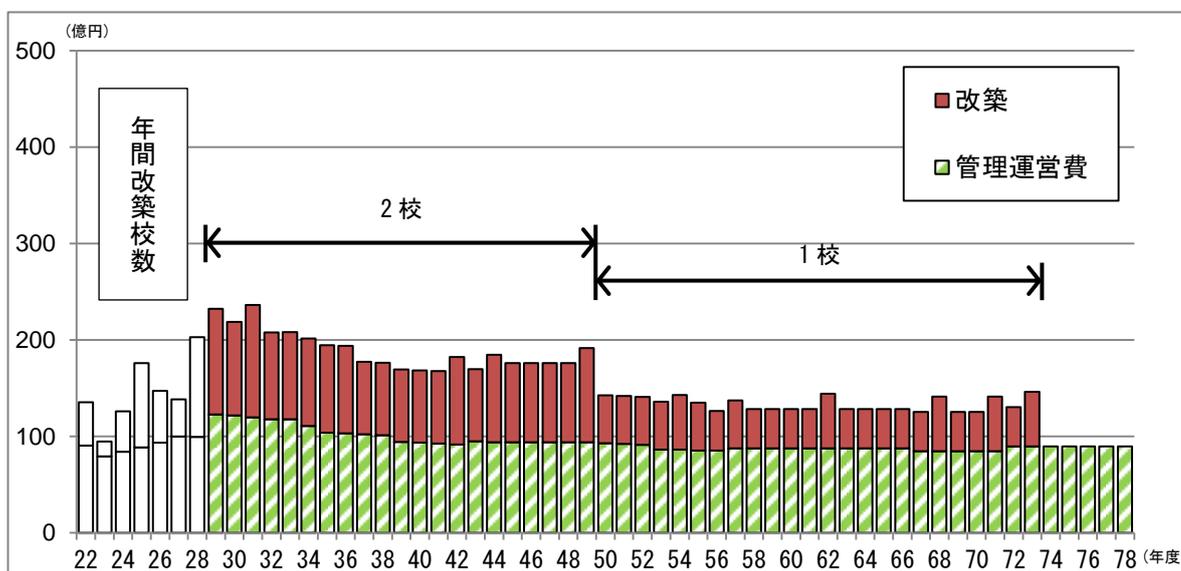
設計基準強度より求めた供用限界期間が満了した時点で改築すると、このようなグラフになります。昭和 40 年代に建てられた学校の多くは、65 年目で改築を迎えるため、平成 40 年代に集中しています。この中でも、平成 40 年度、43 年度、44 年度には 7 校同時に改築時期を迎えます。また、昭和 50 年代に建てられた学校の多くは、82 年目で改築を迎えるため、平成 70 年代に集中しています。

④ ③の条件に加えて、統合による総量縮減を図った場合



統合による学校数の縮減と、それに伴い改築時期を前倒したことにより、平成40年代に集中していた改築校数が減少しました。また、統合により管理運営費が減少しました。平成50年度までに20校統合すると想定した場合、平成28年度と比べて、年18億円の削減効果が見られます。

⑤ ④の条件を、改築の前倒しによる平準化を図った場合



④で想定したスケジュールを、改築時期を前倒して平準化すると、このようなグラフになります。平成49年度までは年2校の改築が必要となり、その後は年1校の改築となります。また、供用限界期間が満了する学校が多く見られる年は、統合を先送りし、単独改築を優先しています。

### (3) 適正規模・適正配置事業と施設更新計画の連動

子どもたちがより良い教育環境で学校生活を送るため、学校改築や保全工事による施設整備と、適正規模化による環境整備が欠かせません。

しかし、施設整備には大きな財政負担が伴います。さらに、扶助費の増加等による財政制約が強まる状況の中、財源確保が困難になっています。

そのためには、管理運営コストや建築コストを縮減し、そこから生み出される財源を活用していくことが望まれます。

#### ① 年間管理運営費と将来負担の減

管理運営コストを縮減するためには、統合により学校数を適正化し、1校あたりの年間管理運営費を縮減する必要があります。さらに、将来の維持管理経費や建築コストを縮減するため、床面積を減らす必要があります。しかし、現在の学校施設は、習熟度別少人数指導や中学校における武道の必修化など多様化する教育プログラムに対応するため、1校あたりの床面積は増加傾向にあります。そのためにも、学校数を適正化していくことが重要です。

#### ② 2つの計画の連動

平成24年度に策定した「足立区立小・中学校の施設更新計画」では、「適正規模・適正配置事業」と「施設更新計画」を、これまで以上に連動させることで、将来に向けてより良い教育環境の創造を目指していくとしています。今後も、学校規模の適正化による総量縮減と、改築時期の前倒しによる平準化により、計画的な施設更新を行っていきます。

## 第4章 今後の取り組みの方向性

### 1 将来の子どもたちに必要な学校数

平成7年度の報告では、当時の住民基本台帳人口等から算出した結果、小学校60校、中学校29校が改築対象として残る学校数としています。また、平成21年度のガイドラインでは、計画最終年の平成44年の人口推計から、小学校は最大60校、中学校は最大29校が必要であるとしています。

今回は、平成28年度の状態を基本に、ガイドラインの算出方法に区立校以外通学割合を加味し、平成44年の将来人口推計（高位）から必要とする学校数を算出します。

#### ◆ 基本的な考え方

予測数値をもとに、区の適正規模の基準である12学級以上24学級以下のうち、「15学級」と「18学級」の2つの場合で必要校数を試算します。

また、平成28年度現在、東京都では小学1・2年生と中学1年生が35人学級、それ以外の学年は40人学級の編成です。新たなガイドラインは長期的な視野が必要であるため、現行制度での試算と全学年が35人学級の場合の2パターンの試算をすることとします。

#### ◆ 算出に用いる基礎数値

- ① 平成44年の児童数は27,075人、生徒数は14,017人で推計します。
- ② 平成28年度区立校以外通学割合は、小学校3.5%、中学校16.6%です。
- ③ 現行制度の1クラスの平均人数は、小学校30.52人、中学校33.65人で計算します。
- ④ 35人学級の1クラスの平均人数は、小学校29.12人、中学校31.43人で計算します。

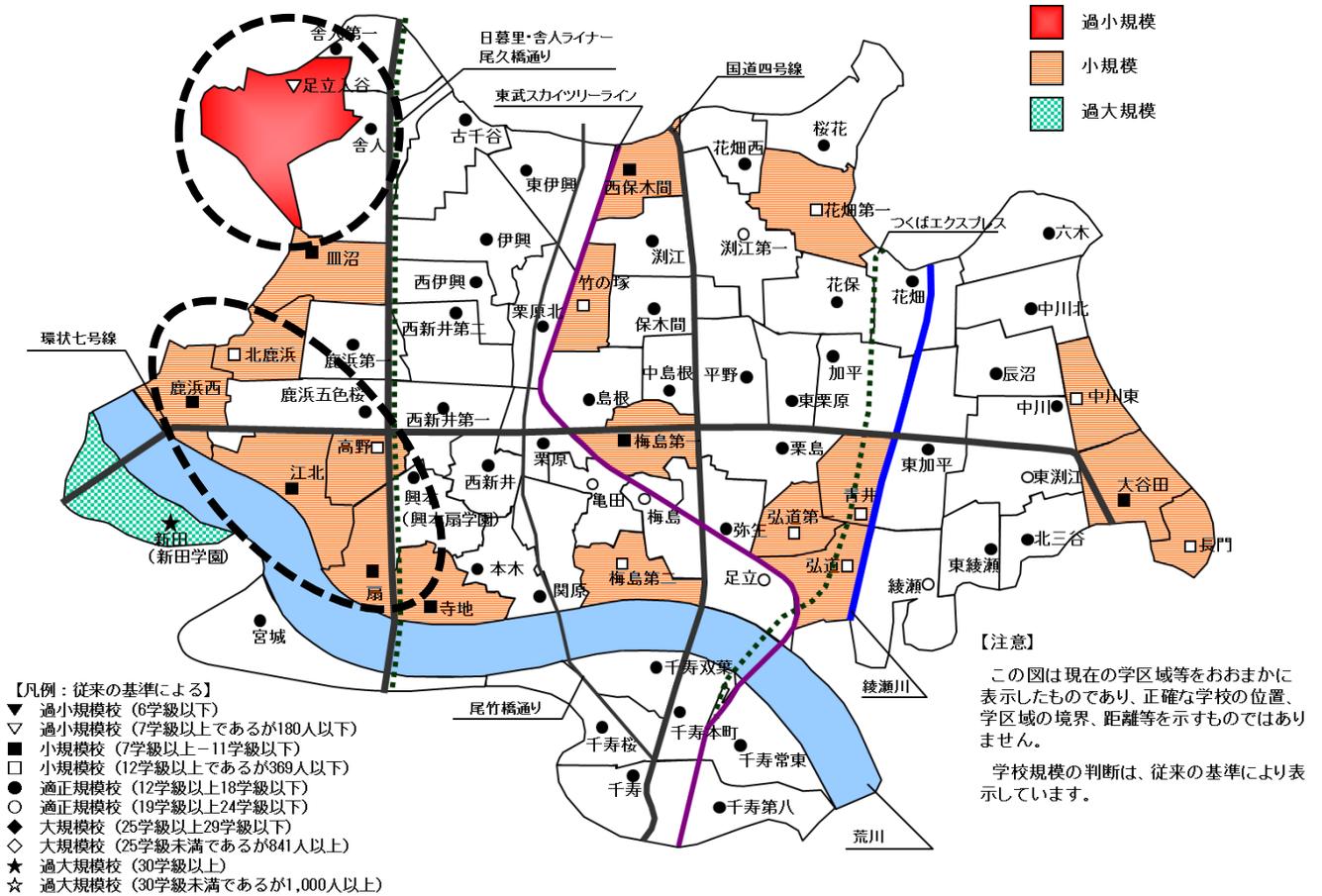
#### ◆ 基礎数値を基にした学校数の試算

数値	学校		現行制度の場合		35人学級の場合			
	小学校	中学校	小学校	中学校	小学校	中学校	小学校	中学校
平成44年の推計人数			27,075人	14,017人	27,075人	14,017人		
区立校以外通学割合控除後			26,127人	11,690人	26,127人	11,690人		
1学級の平均人数			30.52人	33.65人	29.12人	31.43人		
必要な学級数			857クラス	348クラス	898クラス	372クラス		
学級数	15	18	15	18	15	18	15	18
学校数	58校	48校	24校	20校	60校	50校	25校	21校

以上の結果から、平成44年に必要となる区立学校数は、小学校が最大で60校・最少で48校、中学校が最大で25校・最少で20校が必要であると予測されます。

2 学校規模の視点

(1) 小学校の学校規模の特徴（平成28年5月1日現在）

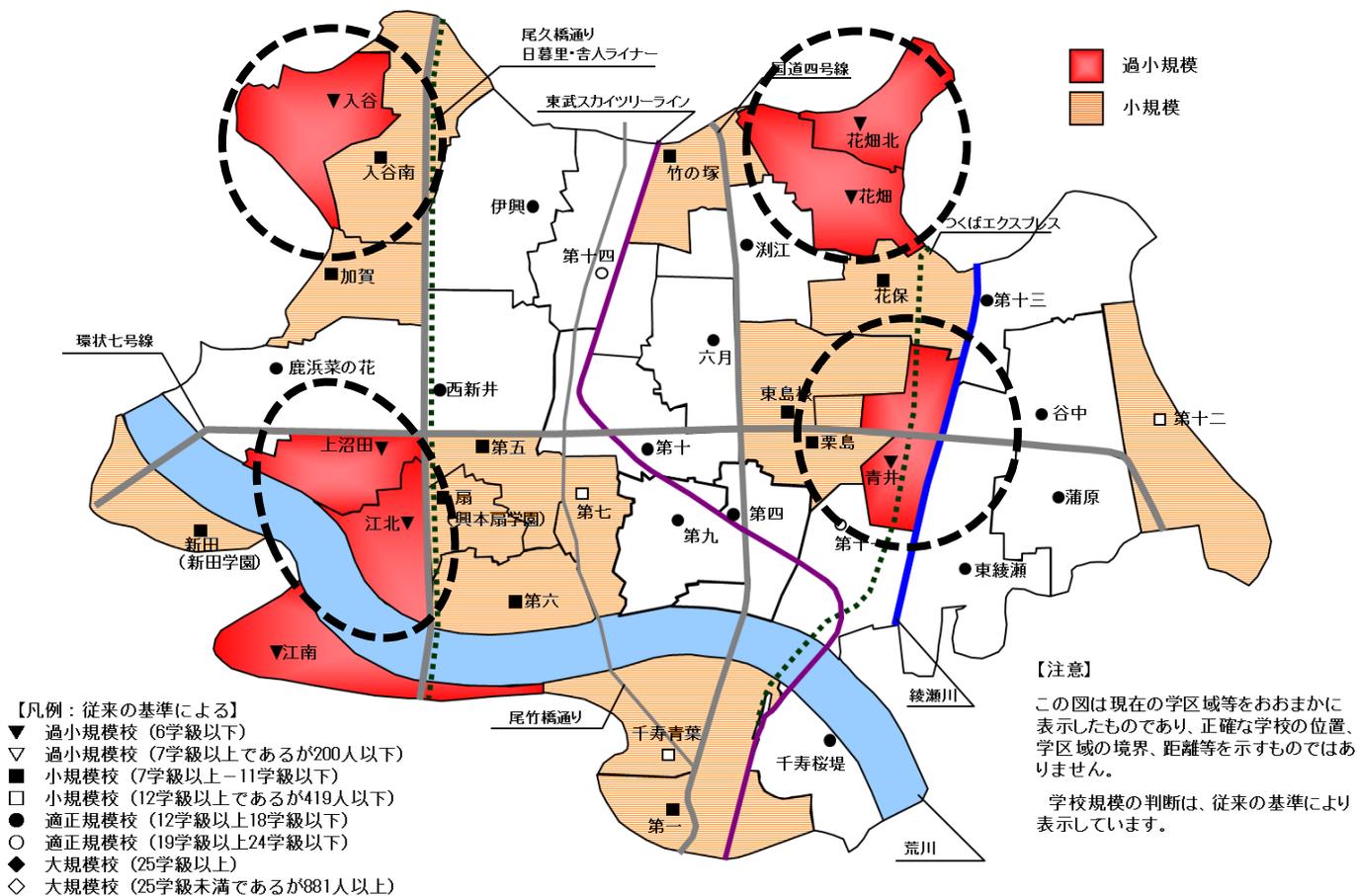


入谷・鹿浜・江北エリアに小規模校が点在しています。

6学級以下の学校は統合により学校規模の適正化を図りました。しかし、今後も単学級規模または単学級以下となる可能性のある学校が足立入谷小学校をはじめとして、特に西部地域に点在しています。西部地域の小規模傾向を改善するためにも、江北エリアの高野小学校と江北小学校の統合とともに、入谷エリア・鹿浜エリアの小学校の統合を検討していく必要があります。

\*小学校の学校規模の推移は、資料8「足立区立小学校の学校規模の推移（平成25年度～平成27年度）」に掲載しています。また、学校規模の判断は、従来の基準により表示しています。

(2) 中学校の学校規模の特徴（平成28年5月1日現在）



江北エリアと入谷エリア、花畑エリアと青井エリアに小規模化が見られます。

鹿浜中学校と第八中学校を統合して、鹿浜菜の花中学校が開校しました。これにより、鹿浜地域の中学校の適正規模化を図りました。

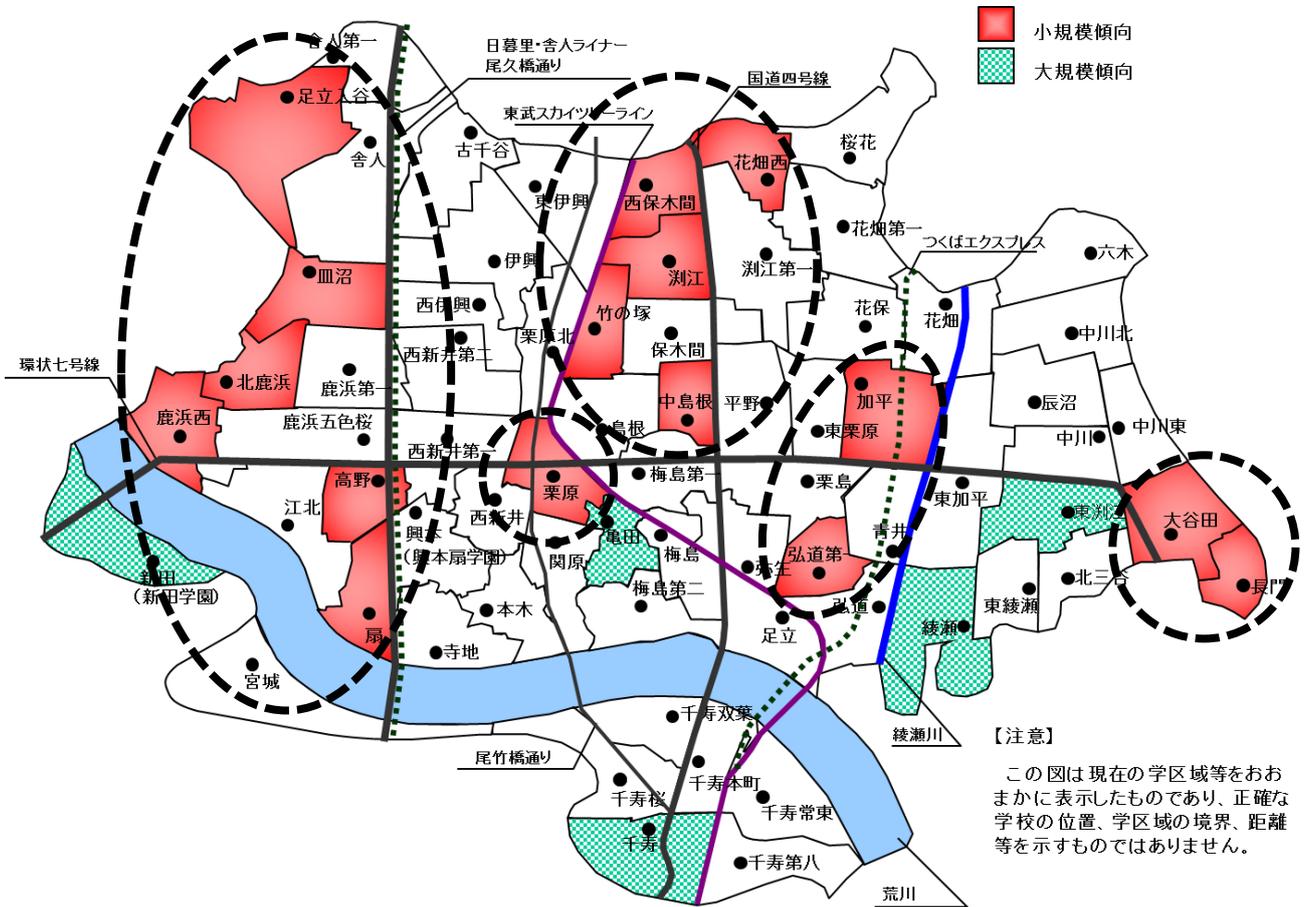
一方で、江北・入谷・花畑・青井エリアの小規模化が進んでいます。江北エリアでは平成29年4月1日に、上沼田中学校と江北中学校を統合して、江北桜中学校が開校し、適正規模化が図られる予定です。入谷エリアでは、入谷中学校が5学級、入谷南中学校が9学級になっています。花畑エリアでは、花畑中学校が5学級、花畑北中学校が6学級になっています。青井エリアでは青井中学校が5学級です。なお、花畑エリアの周辺校の竹の塚中学校と花保中学校、また青井エリアの周辺校の東島根中学校、栗島中学校にも小規模傾向が見られます。

いずれの地域も、複数校で小規模傾向が続いているため、周辺地域を一体的にとらえた対策が必要です。

\* 中学校の学校規模の推移は、資料 9「足立区立中学校の学校規模の推移（平成25年度～平成27年度）」に掲載しています。また、学校規模の判断は、従来の基準により表示しています。

3 年少人口の視点

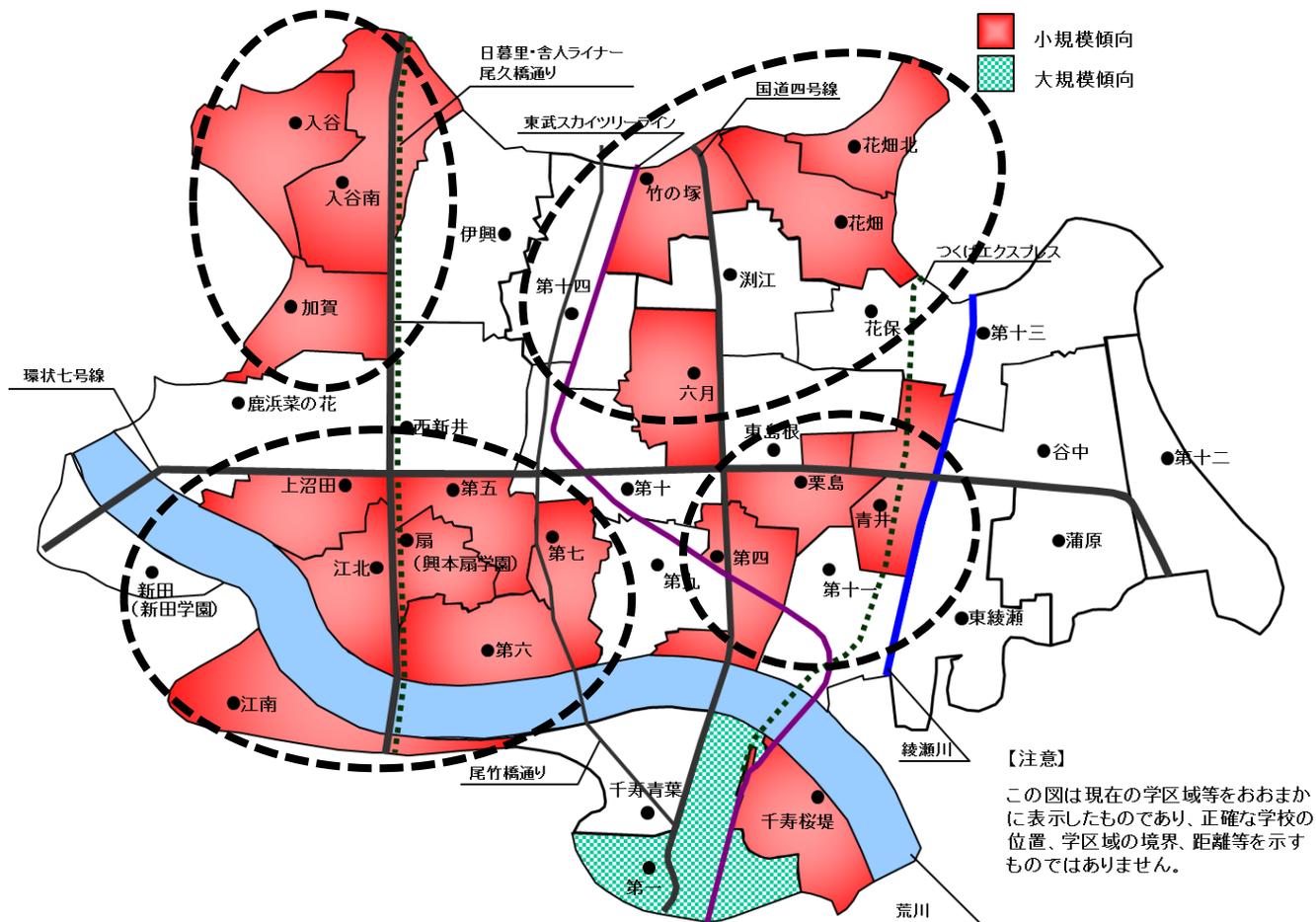
(1) 小学校の入学前人口（0～5歳）の特徴



年少人口の小規模傾向は区内に点在しています。

平成28年度現在、学区内の小学校の入学前人口（0～5歳）が全員学区域校に入學すると仮定した場合、学校によって、上図のような傾向がみられます。新田小学校、千寿小学校、亀田小学校、綾瀬小学校、東洲江小学校など、集合住宅が集中的に建てられた地域は、大規模傾向になります。一方、区内西部地域や北部地域の学校では、小規模傾向にある学校が多くみられます。また、その他の地域でも、小規模傾向にある学校が点在しています。

(2) 中学校の入学前人口（0～11歳）の特徴

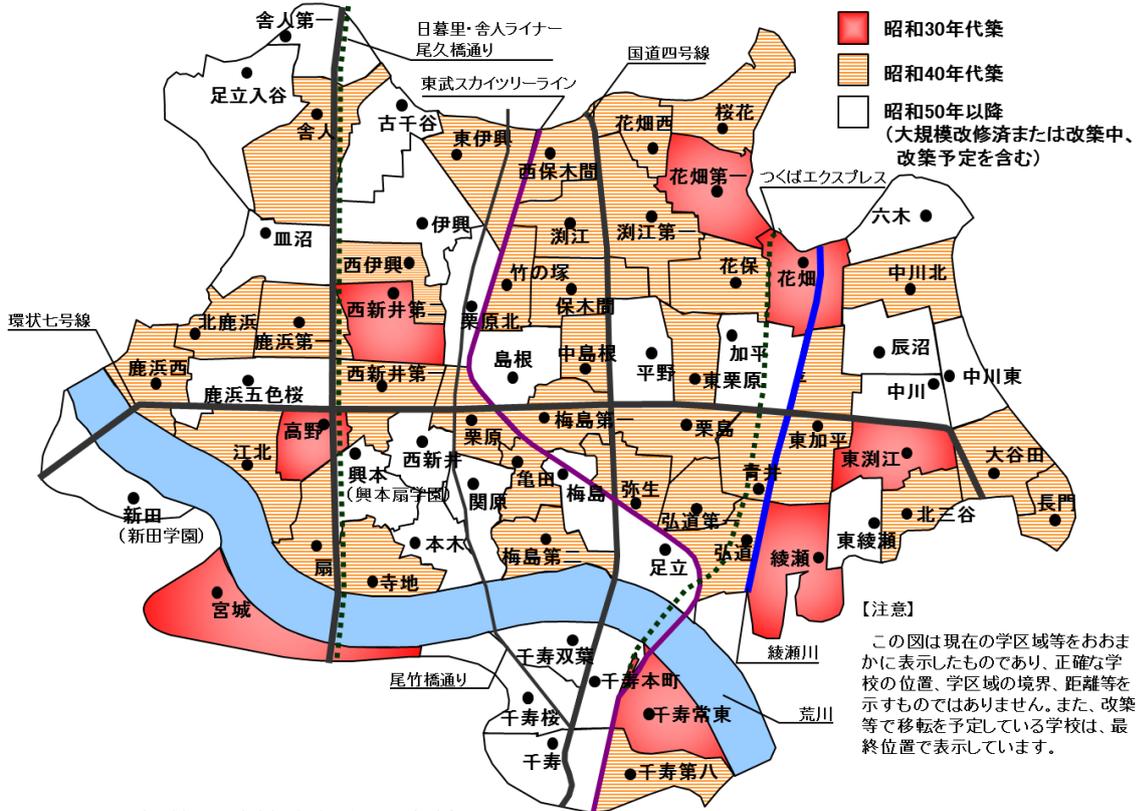


江北・入谷エリア、竹ノ塚・花畑・青井エリアに小規模傾向があります。

平成 28 年度現在、学区内の中学校の入学前人口（0～11歳）が全員学区域校に入學すると仮定した場合、上図のようになります。集合住宅が集中的に建てられた第一中学校では、大規模傾向にあります。一方、区内西部地域、花畑エリア、青井エリアなどは小規模傾向にあるため、引き続き人口動態を注視していきます。

4 施設更新の視点

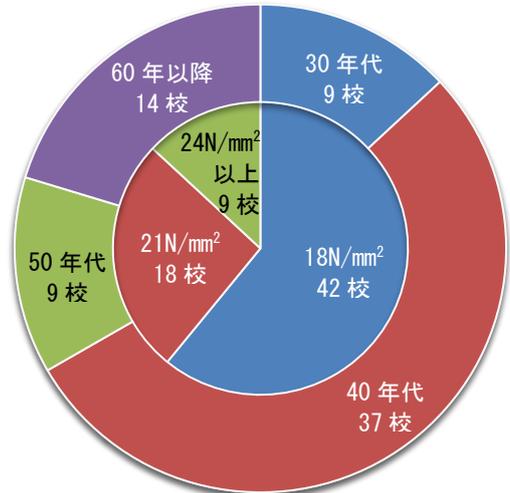
(1) 小学校の建築年次別分布（平成28年度現在）



◆ 昭和30年代に建築された小学校

番号	学校名	建築年
1	興本	昭和37年
2	高野	
3	千寿常東	昭和38年
4	綾瀬	
5	東湊江	
6	花畑	昭和39年
7	花畑第一	
8	西新井第二	
9	宮城	

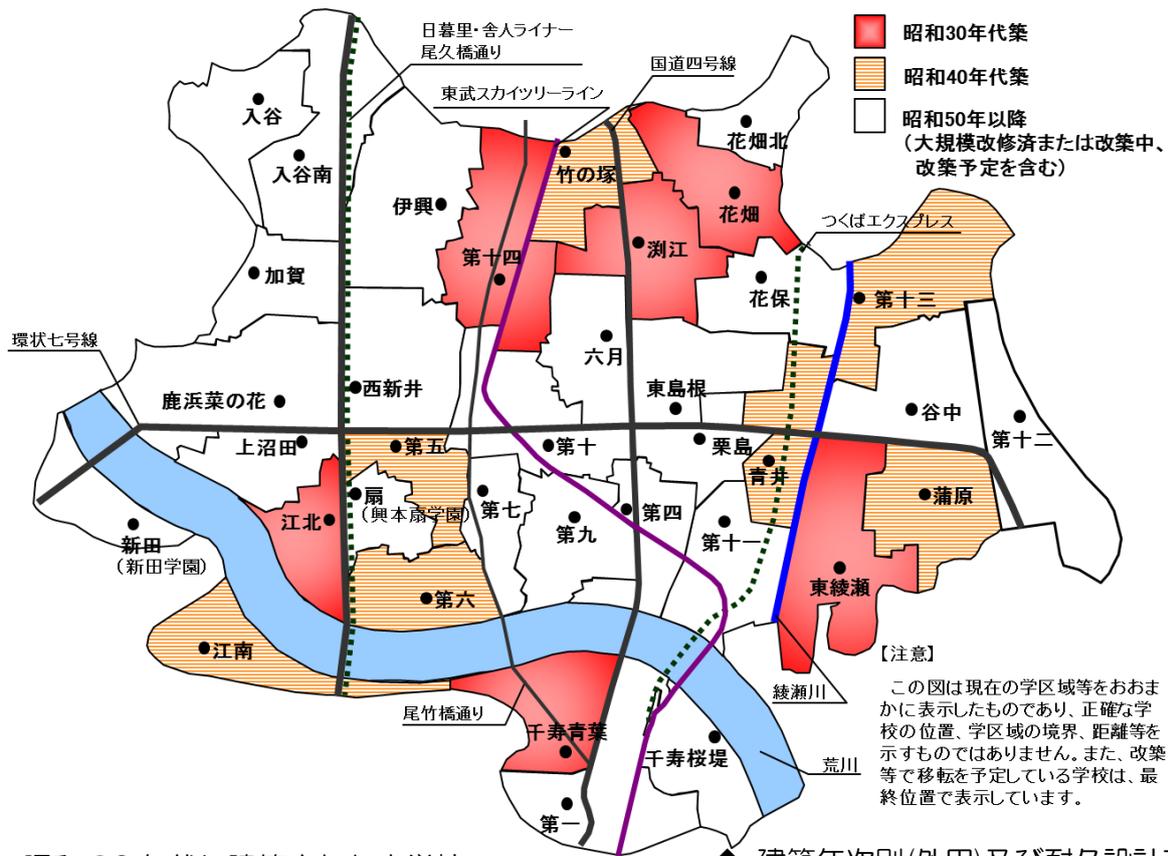
◆ 建築年次別(外円)及び耐久設計基準強度別(内円)小学校数



学校の統合に伴う改築と単独改築で施設更新を進めてきたことにより、昭和30年代に建築された校舎を有する学校は9校になり、昭和40年代に建築された校舎を有する学校は37校になりました。また、コンクリートの耐久設計基準強度が18N/mm<sup>2</sup>の学校は42校となっています。

今後も改築対象校が集中することが想定されるので、保全工事による長寿命化と施設更新を計画的に実施していく必要があります。

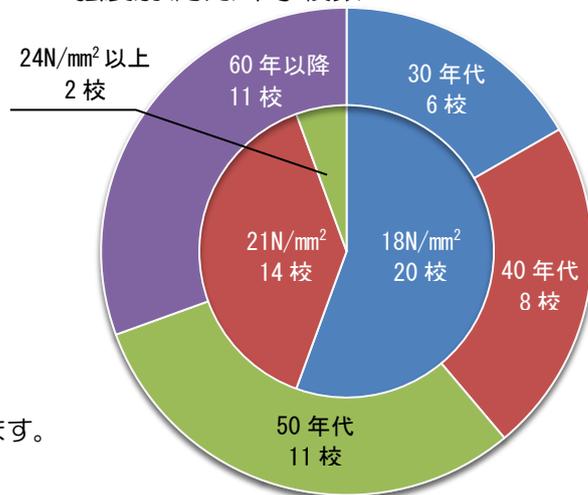
(2) 中学校の建築年次別分布（平成28年度現在）



◆ 昭和30年代に建築された中学校

番号	学校名	建築年
1	江北	昭和36年
2	千寿青葉	昭和37年
3	浏江	昭和38年
4	東綾瀬	
5	花畑	昭和39年
6	第十四	

◆ 建築年次別(外円)及び耐久設計基準強度別(内円)中学校数



\*小・中学校ともに、建築年は最も古い校舎の年度です。  
大規模改修済みの学校は60年以降にカウントしています。

学校の統合に伴う改築と単独改築で施設更新を進めてきたことにより、昭和30年代に建築された校舎を有する学校は6校になり、昭和40年代に建築された校舎を有する学校は8校になりました。また、コンクリートの耐久設計基準強度が18N/mm<sup>2</sup>の学校は20校となっています。

小学校と同様、今後も改築対象校が集中することが想定されるので、保全工事による長寿命化と施設更新を計画的に実施していく必要があります。

5 今後取り組むエリア

(1) 平成25年の施設更新計画から引き続き取り組むエリア

引き続き江北・鹿浜・入谷地区の統合に向けた準備と検討を進めます。

地区	学校名	学級	学校規模	建築年	今後の方針
江北	江北小	11	小規模	S41	両校とも建築後約50年を経過し施設更新の検討が必要です。また、平成25年度に高野小学校と江北小学校の統合に向けた実施計画(案)を策定しています。引き続き、江北エリアデザイン検討地域での建設なども含め、統合に向けた準備を進めます。
	高野小	12	小規模(人数)	S37	
鹿浜	鹿浜五色桜小	14	適正	S47	改築中の鹿浜五色桜小学校と皿沼小学校を除く3校は建築後40年以上を経過します。鹿浜西小学校の小規模傾向が見られるため、引き続き検討を進めます。
	鹿浜西小	8	小規模	S44	
	北鹿浜小	12	小規模(人数)	S48	
	鹿浜第一小	18	適正	S40	
	皿沼小	11	小規模	S57	
入谷	舎人小	15	適正	S44	足立入谷小学校で小規模傾向が見られます。また、足立入谷小学校では年少人口の減少が見られます。今後の人口動態を注視しながら、引き続き検討を進めます。
	舎人第一小	16	適正	S61	
	足立入谷小	8	小規模	S50	
	入谷中	5	小規模	S51	入谷中学校と入谷南中学校で小規模傾向が見られます。また、入谷中学校では年少人口の減少が見られます。引き続き検討を進めます。
	入谷南中	9	小規模	H2	

- ・ 統合対象校や統合年次は、学校の小規模化や年少人口の増減を踏まえ、検討していきます。
- ・ 江北エリアは、引き続き高野小学校と江北小学校の統合に向けた準備を進めます。平成25年度に策定した実施計画(案)と江北エリアデザイン検討地域内との比較検討を行い、統合年次や統合新校の位置を決定していきます。

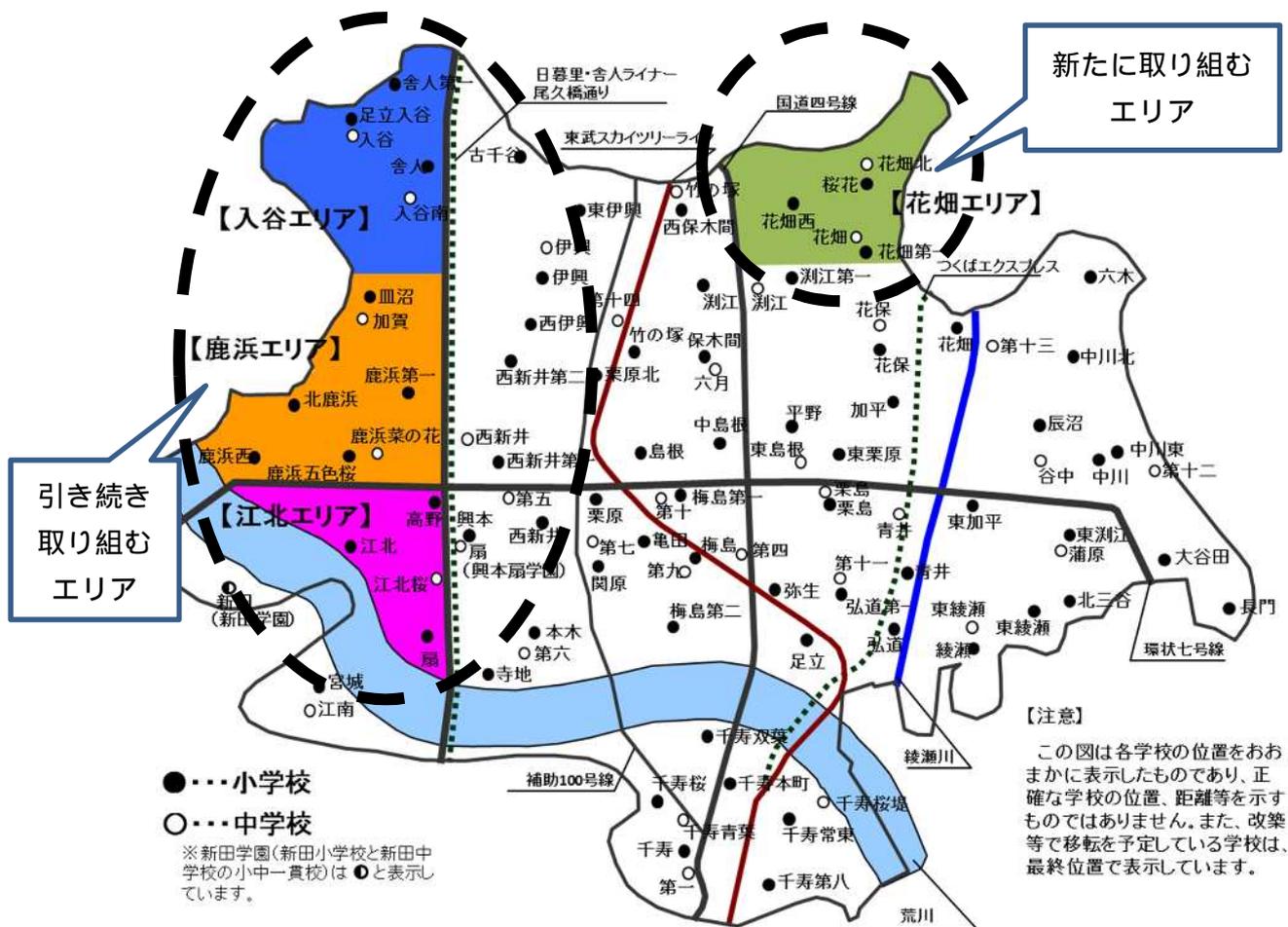
(2) 新たに取り組むエリア

花畑地区の検討を進めます。

地区	学校名	学級	学校規模	建築年	今後の方針
花畑	花畑第一小	12	小規模(人数)	S38	花畑第一小学校は建築後約50年を経過し施設更新の検討が必要です。また、花畑西小学校では年少人口の減少が見られます。今後の動向を注視していきます。
	花畑西小	13	適正	S45	
	桜花小	12	適正	S47	
	花畑中	5	小規模	S38	花畑中学校は建築後約50年を経過し施設更新の検討が必要です。両校ともに小規模傾向が見られることと、年少人口の減少が見られることから、検討を進めます。
	花畑北中	6	小規模	S53	

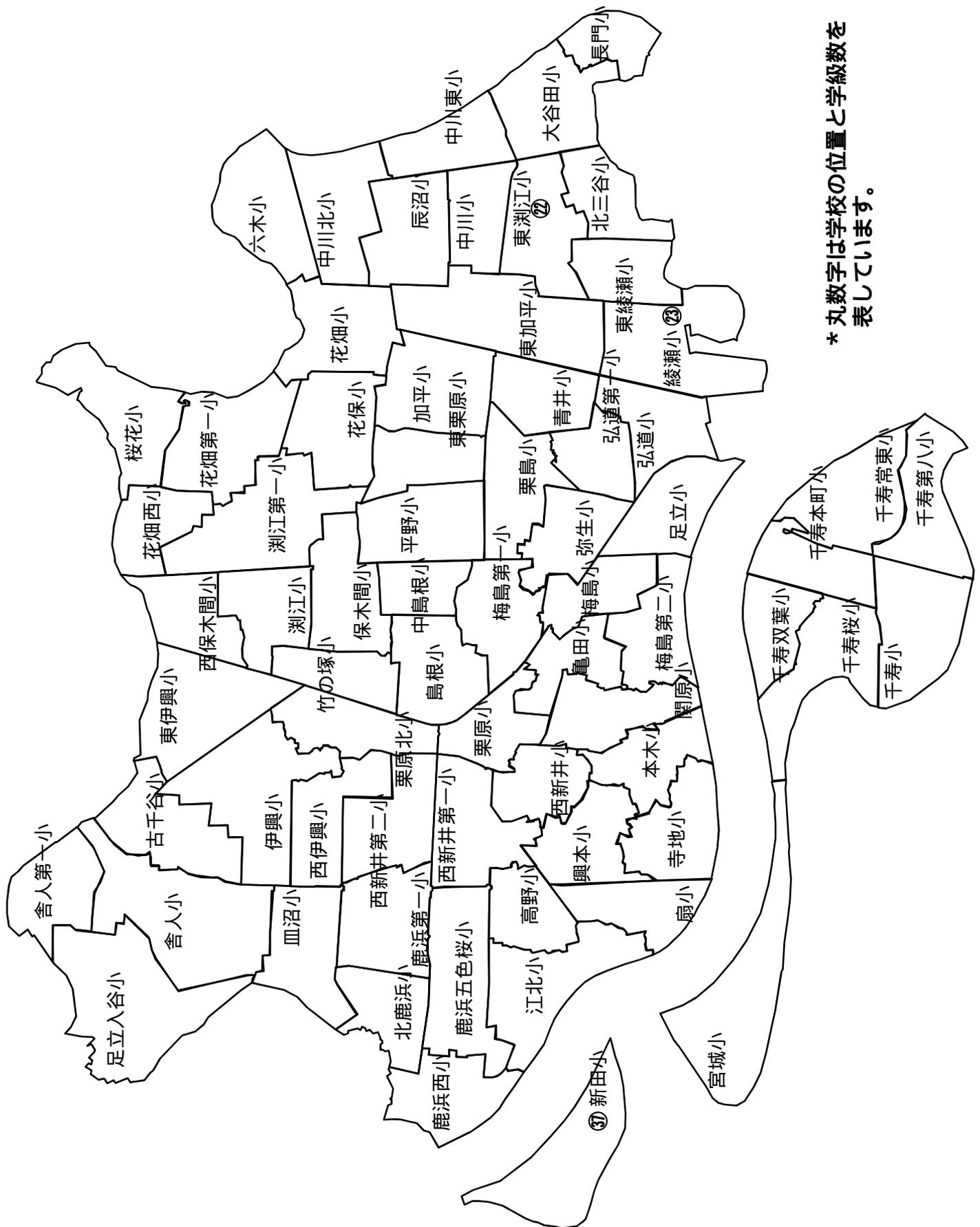
- ・花畑第一小学校と花畑中学校の施設更新の検討を行います。
- ・小学校の統合対象校や統合年次は、学校の小規模化や年少人口の増減を踏まえ、検討していきます。
- ・中学校の小規模化を解消するため、適正規模化の検討を行います。

(1)及び(2)の取り組み年次については、今後の動向をみながら検討を進めます。

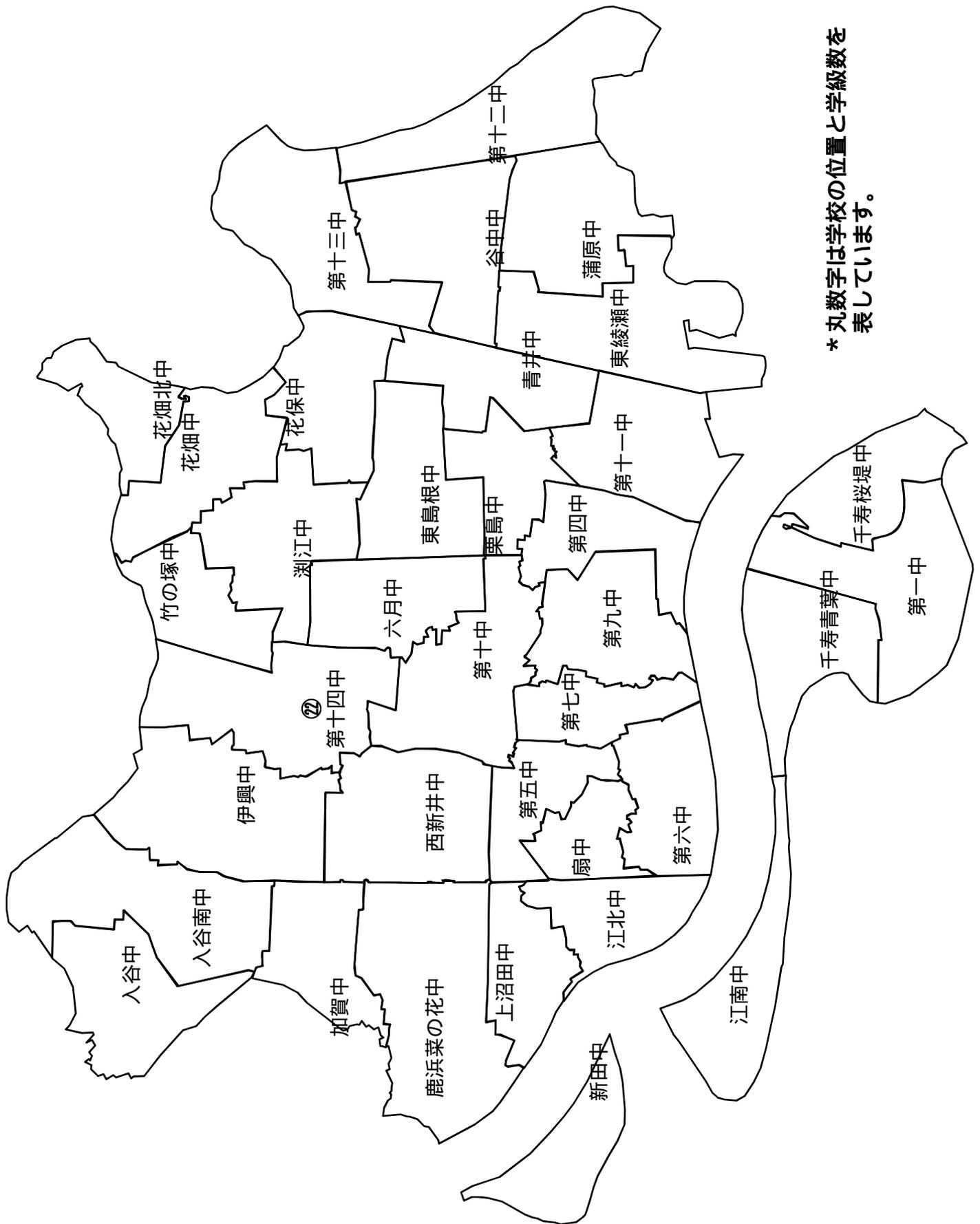


# 資料編

- 資料1 平成28年度 足立区立小学校学区域図
- 資料2 平成28年度 足立区立中学校学区域図
- 資料3 平成28年度 足立区立小・中学校の児童・生徒数および学級数一覧
- 資料4 足立区立小・中学校の建築年次一覧
- 資料5 平成28年度 足立区立小学校基礎データ
- 資料6 平成28年度 足立区立中学校基礎データ
- 資料7 昭和54年度以降の区内人口および児童・生徒数等の推移
- 資料8 足立区立小学校の学校規模の推移（平成25年度～平成27年度）
- 資料9 足立区立中学校の学校規模の推移（平成25年度～平成27年度）
- 資料10 足立区立小・中学校の適正規模・適正配置のガイドライン（平成21年策定）【概要版】



\* 丸数字は学校の位置と学級数を表しています。



\* 丸数字は学校の位置と学級数を表しています。

資料3 平成28年度 足立区立小・中学校の児童・生徒数および学級数一覧

【小学校別】

平成28年5月1日現在

番号	小学校名	児童数							学級数						
		1年	2年	3年	4年	5年	6年	合計	1年	2年	3年	4年	5年	6年	合計
1	千寿第八	94	98	85	94	67	67	505	3	3	3	3	2	2	16
2	西新井	96	104	90	83	82	71	526	3	3	3	3	3	2	17
3	西新井第一	57	80	66	80	67	77	427	2	3	2	2	2	2	13
4	西新井第二	58	62	65	62	62	69	378	2	2	2	2	2	2	12
5	西伊興	77	84	60	61	64	52	398	3	3	2	2	2	2	14
6	興本	74	77	75	73	67	66	432	3	3	2	2	2	2	14
7	本木	82	70	93	74	67	83	469	3	2	3	2	2	3	15
8	寺地	58	54	45	54	43	41	295	2	2	2	2	2	1	11
9	関原	67	63	64	67	56	60	377	2	2	2	2	2	2	12
10	江北	36	51	43	40	45	42	257	2	2	2	1	2	2	11
11	高野	61	48	50	58	45	58	320	2	2	2	2	2	2	12
12	扇	44	55	42	50	39	50	280	2	2	2	2	1	2	11
13	鹿浜第一	100	96	116	102	89	112	615	3	3	3	3	3	3	18
14	北鹿浜	54	48	51	62	47	60	322	2	2	2	2	2	2	12
15	鹿浜西	33	29	34	36	48	43	223	1	1	1	1	2	2	8
16	新田	227	246	209	224	175	170	1251	7	8	6	6	5	5	37
17	宮城	94	85	63	82	65	67	456	3	3	2	3	2	2	15
18	舎人	100	79	101	66	69	62	477	3	3	3	2	2	2	15
19	梅島	101	102	131	105	93	103	635	3	3	4	3	3	3	19
20	梅島第一	43	48	37	36	54	43	261	2	2	1	1	2	2	10
21	梅島第二	60	58	53	50	47	50	318	2	2	2	2	2	2	12
22	島根	91	81	90	91	91	101	545	3	3	3	3	3	3	18
23	亀田	135	125	130	103	79	48	620	4	4	4	3	2	2	19
24	栗原	64	61	61	62	83	82	413	2	2	2	2	3	3	14
25	栗島	70	88	65	61	61	80	425	2	3	2	2	2	2	13
26	加平	98	86	100	68	49	37	438	3	3	3	2	2	1	14
27	東栗原	64	65	70	73	86	76	434	2	2	2	2	3	2	13
28	弥生	76	91	96	88	96	106	553	3	3	3	3	3	3	18
29	弘道	46	44	51	61	47	56	305	2	2	2	2	2	2	12
30	弘道第一	58	57	57	66	64	50	352	2	2	2	2	2	2	12
31	青井	65	50	59	58	50	57	339	2	2	2	2	2	2	12
32	綾瀬	130	134	120	157	129	131	801	4	4	3	4	4	4	23
33	東加平	96	82	97	91	74	90	530	3	3	3	3	2	3	17
34	東湊江	120	113	136	131	119	119	738	4	4	4	4	3	3	22
35	中川	85	95	93	92	81	92	538	3	3	3	3	3	3	18
36	中川北	85	84	89	98	78	88	522	3	3	3	3	2	3	17
37	北三谷	68	90	52	57	67	86	420	2	3	2	2	2	3	14

番号	小学校名	児 童 数							学 級 数						
		1年	2年	3年	4年	5年	6年	合計	1年	2年	3年	4年	5年	6年	合計
38	大谷田	54	43	37	49	38	43	264	2	2	1	2	1	2	10
39	長門	43	54	58	69	56	56	336	2	2	2	2	2	2	12
40	花畑	61	54	61	68	59	75	378	2	2	2	2	2	2	12
41	花畑第一	55	57	52	55	57	62	338	2	2	2	2	2	2	12
42	花畑西	60	70	92	68	65	67	422	2	2	3	2	2	2	13
43	花保	100	89	84	89	93	75	530	3	3	3	3	3	2	17
44	淵江	73	75	68	66	82	92	456	3	3	2	2	3	3	16
45	淵江第一	88	113	93	119	95	115	623	3	4	3	3	3	3	19
46	保木間	50	66	68	66	65	69	384	2	2	2	2	2	2	12
47	竹の塚	54	55	60	53	56	66	344	2	2	2	2	2	2	12
48	伊興	92	87	101	97	103	109	589	3	3	3	3	3	3	18
49	東伊興	83	104	102	91	92	100	572	3	3	3	3	3	3	18
50	中島根	79	87	77	79	83	83	488	3	3	2	2	3	3	16
51	古千谷	103	99	90	100	86	104	582	3	3	3	3	3	3	18
52	東綾瀬	78	89	83	54	62	64	430	3	3	3	2	2	2	15
53	栗原北	89	79	86	82	80	102	518	3	3	3	3	2	3	17
54	平野	73	67	67	61	76	79	423	3	2	2	2	2	2	13
55	辰沼	76	81	89	74	67	64	451	3	3	3	2	2	2	15
56	六木	85	76	86	85	81	81	494	3	3	3	3	3	3	18
57	中川東	56	49	55	51	56	55	322	2	2	2	2	2	2	12
58	皿沼	52	48	61	38	52	51	302	2	2	2	1	2	2	11
59	舎人第一	86	83	85	82	76	74	486	3	3	3	3	2	2	16
60	千寿本町	67	68	66	65	84	69	419	2	2	2	2	3	2	13
61	千寿桜	80	73	48	69	60	67	397	3	3	2	2	2	2	14
62	桜花	66	70	60	64	62	48	370	2	2	2	2	2	2	12
63	西保木間	32	48	39	46	55	56	276	1	2	1	2	2	2	10
64	足立入谷	17	37	21	31	41	33	180	1	2	1	1	2	1	8
65	千寿	104	100	87	71	72	91	525	3	3	3	2	2	3	16
66	千寿常東	103	104	88	83	98	84	560	3	3	3	3	3	3	18
67	千寿双葉	94	71	68	78	56	78	445	3	3	2	2	2	2	14
68	足立	119	99	87	86	119	115	625	4	3	3	3	3	3	19
69	鹿浜五色桜	67	58	70	93	63	84	435	2	2	2	3	2	3	14
	合計	5,306	5,336	5,228	5,198	4,935	5,156	31,159	180	184	169	163	161	163	1,020

## 【中学校別】

平成28年5月1日現在

番号	中学校名	生徒数				学級数				
		1年	2年	3年	合計	1年	2年	3年	複式	合計
1	第一	59	74	119	252	2	2	3		7
2	第四	194	203	195	592	6	6	5		17
3	第五	96	99	97	292	3	3	3		9
4	第六	71	110	84	265	3	3	3		9
5	第七	121	129	130	380	4	4	4		12
6	第九	179	186	199	564	6	5	5		16
7	第十	162	167	165	494	5	5	5		15
8	第十一	231	211	219	661	7	6	6		19
9	第十二	130	131	154	415	4	4	4		12
10	第十三	194	183	198	575	6	5	5		16
11	第十四	270	273	270	813	8	7	7		22
12	江南	45	28	40	113	2	1	1		4
13	新田	134	93	97	324	4	3	3		10
14	江北	66	58	73	197	2	2	2		6
15	鹿浜菜の花	169	162	141	472	5	5	4		14
16	東島根	99	86	98	283	3	3	3		9
17	溯江	202	235	235	672	6	6	6		18
18	竹の塚	85	78	83	246	3	2	3		8
19	東綾瀬	189	168	188	545	6	5	5		16
20	青井	44	31	65	140	2	1	2		5
21	花畑	70	33	44	147	2	1	2		5
22	蒲原	194	173	197	564	6	5	5		16
23	西新井	209	198	195	602	6	5	5		16
24	入谷	53	31	65	149	2	1	2		5
25	上沼田	9	29	58	96	1	1	2		4
26	伊興	156	191	201	548	5	5	6		16
27	花畑北	59	69	54	182	2	2	2		6
28	花保	59	71	101	231	2	2	3		7
29	谷中	160	167	163	490	5	5	5		15
30	栗島	65	82	89	236	2	3	3		8
31	扇	92	93	99	284	3	3	3		9
32	加賀	70	77	96	243	2	2	3		7
33	入谷南	98	115	87	300	3	3	3		9
34	六月	190	191	179	560	6	5	5		16
35	千寿青葉	108	132	122	362	4	4	4		12
36	千寿桜堤	170	167	172	509	5	5	5		15
小計		4,502	4,524	4,772	13,798	143	130	137		410
	四中夜間(一般)	1	2	30	33	1	1	1		3
	四中夜間(日本語)	0	18	32	50				3	3
合計		4,503	4,544	4,834	13,881	144	131	138	3	416

## 【特別支援学級】

小学校

平成28年5月1日現在

区分	障がい種別	番号	学校名	児 童 数							学級数	
				1年	2年	3年	4年	5年	6年	合計		
固定級	知的	1	千寿常東	1	4	2	1	1	2	11	2	
		2	本 木	2	1	3	2	4	4	16	2	
		3	関 原		1	3	3	2	3	12	2	
		4	高 野	4	7	4	3		2	20	3	
		5	鹿浜第一	2	2	2	4	3	4	17	3	
		6	新 田	2	3	2	1		1	9	2	
		7	梅島第二	4	1	3	5		2	15	2	
		8	東 淵 江	4	4	4	2	1	5	20	3	
		9	花 畑			1	1	2	3	7	1	
		10	淵 江	1	4	8	2		4	19	3	
		11	青 井		2	1	3	5	5	16	2	
		12	古千谷	1	4	2	2	7	3	19	3	
		13	平 野	3	2	7	2	4	3	21	3	
		14	六 木	5	2	1	6	5	4	23	3	
		15	千寿桜			1	1	1	4	7	1	
		16	宮 城		1	2	1	1		5	1	
		17	桜 花	1		1	1	1	3	7	1	
		18	西伊興	4	5	1	3	2	6	21	3	
		19	足 立	1	3	3		1	2	10	2	
固定級 合計				35	46	51	43	40	60	275	42	
通級	弱視	1	足 立	1	3	1	2	1		8	1	
		小計			1	3	1	2	1		8	1
	難聴	2	弥 生	3	1	3	2	1	1	11	1	
		3	中川東	休学級								
		4	千寿本町	1		1	3		2	7	1	
	小計			4	1	4	5	1	3	18	2	
	言語	5	弥 生	7	16	2	10	5	6	46	3	
		6	中川東	3	10	5	1	1	5	25	2	
		7	千寿本町	2	9	7	3	5		26	2	
	小計			12	35	14	14	11	11	97	7	
	情緒	8	辰 沼	3	4	5	6	7	8	33	4	
		9	保 木 間	7	11	17	7	12	5	59	6	
		10	鹿浜五色桜	5	5	8	10	13	10	51	6	
小計			15	20	30	23	32	23	143	16		
通級 合計				32	59	49	44	45	37	266	26	
特別支援教室	情緒	2 3校		23	43	50	44	54	45	259	23	
	小計			23	43	50	44	54	45	259	23	
訪問 合計				23	43	50	44	54	45	259	23	

中学校

平成28年5月1日現在

区分	障がい種別	番号	学校名	生 徒 数				学級数
				1年	2年	3年	合計	
固定級	知的	1	第 一	10	6	5	21	3
		2	第 六	4	8	8	20	3
		3	第 七	13	6	13	32	4
		4	鹿浜菜の花	4	4	9	17	3
		5	第 十 三	11	13	8	32	4
		6	東 綾 瀬	6	12	5	23	3
		7	伊 興	5	9	7	21	3
		8	栗 島	8	7	8	23	3
固定級 合計				61	65	63	189	26
通級	情緒	1	第 十	17	17	25	59	6
		2	花 保	11	21	19	51	6
通級 合計				28	38	44	110	12

資料4 足立区立小・中学校の建築年次一覧

\* 設計基準強度は、建物の構造計算で基準とする圧縮強度で、実際に使用した構造体のコンクリートとは異なる場合があります。東京都建築工事標準仕様書が平成23年に改正されるまで、設計基準強度に3N/mm<sup>2</sup>割り増したコンクリートの使用が規程されていました。そのため、それ以前の建物は設計基準強度より高強度のコンクリートで施工されています。

【小学校】

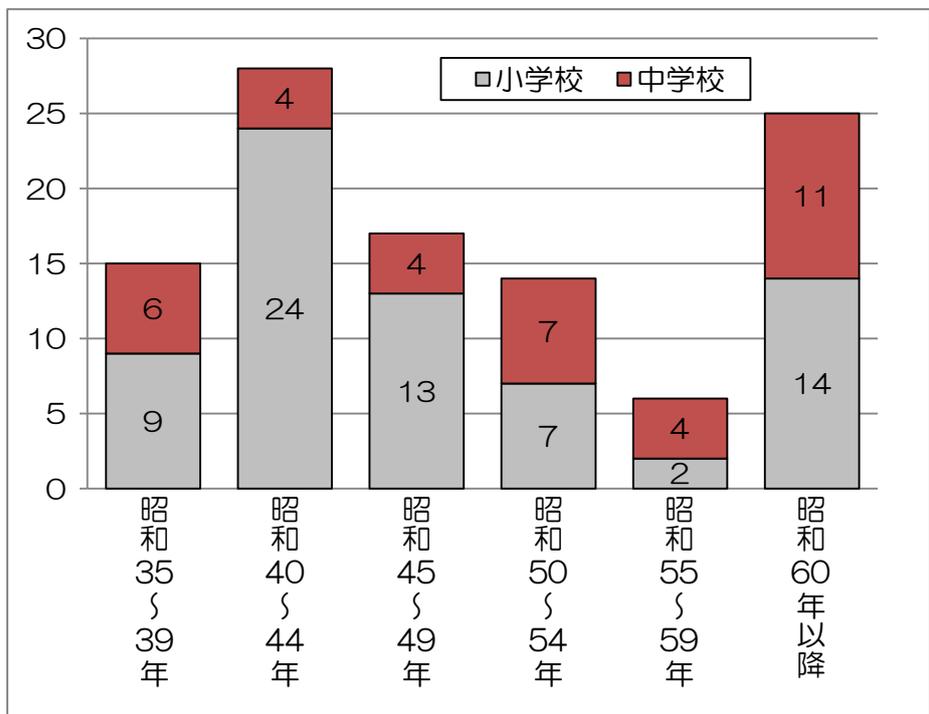
番号	学校名	開校年月日	建築年	敷地面積 (m <sup>2</sup> )	延床面積 (m <sup>2</sup> )	設計基準強度 (N/mm <sup>2</sup> )	改築目標年次	備考
1	興本小学校	昭和37年4月1日	昭和37年	13,344	5,766	18	平成39年	
2	高野小学校	昭和38年4月1日	昭和37年	12,964	6,106	18	平成39年	統合予定
3	千寿常東小学校	平成14年4月1日	昭和38年	9,563	6,568	18	平成40年	
4	綾瀬小学校	昭和37年4月1日	昭和38年	11,396	6,556	18	平成40年	
5	東湊江小学校	明治44年8月1日	昭和38年	9,134	6,667	18	平成40年	
6	花畑小学校	明治33年11月28日	昭和38年	10,867	6,043	18	平成40年	
7	花畑第一小学校	昭和40年4月1日	昭和38年	10,480	6,155	18	平成40年	H26全体保全
8	西新井第二小学校	昭和39年9月1日	昭和39年	9,953	5,611	18	平成41年	
9	宮城小学校	昭和22年4月1日	昭和39年	8,496	6,264	18	平成41年	
10	鹿浜第一小学校	昭和41年4月1日	昭和40年	12,636	6,022	18	平成42年	H26全体保全
11	梅島第一小学校	昭和8年4月11日	昭和40年	6,919	5,583	18	平成42年	
12	亀田小学校	昭和31年4月1日	昭和40年	11,744	5,373	18	平成42年	H28全体保全
13	弘道第一小学校	昭和40年9月1日	昭和40年	11,056	5,975	18	平成42年	
14	長門小学校	昭和39年4月1日	昭和40年	9,329	4,315	18	平成42年	H27全体保全
15	千寿第八小学校	昭和13年4月1日	昭和41年	9,439	6,532	18	平成43年	全体保全予定
16	西新井第一小学校	昭和27年4月1日	昭和41年	10,904	6,191	18	平成43年	H25全体保全
17	江北小学校	明治7年11月1日	昭和41年	8,115	5,675	18	平成43年	統合予定
18	弥生小学校	昭和28年4月1日	昭和41年	12,865	6,635	18	平成43年	
19	大谷田小学校	昭和25年5月1日	昭和41年	10,599	4,726	18	平成43年	H27全体保全
20	湊江小学校	明治34年5月1日	昭和41年	9,729	6,351	18	平成43年	
21	梅島第二小学校	昭和19年6月1日	昭和42年	8,198	5,397	18	平成44年	
22	栗原小学校	昭和17年7月1日	昭和42年	6,105	4,542	18	平成44年	全体保全予定
23	栗島小学校	昭和29年4月1日	昭和42年	9,405	5,330	18	平成44年	
24	弘道小学校	明治11年5月28日	昭和42年	10,734	5,709	18	平成44年	H27全体保全
25	湊江第一小学校	昭和42年4月1日	昭和42年	12,989	6,197	18	平成44年	
26	寺地小学校	昭和15年9月16日	昭和43年	9,637	6,229	18	平成45年	H27全体保全
27	北三谷小学校	昭和30年2月1日	昭和43年	7,916	5,782	18	平成45年	
28	竹の塚小学校	昭和43年4月1日	昭和43年	11,593	6,221	18	平成45年	H24全体保全
29	千寿小学校	平成14年4月1日	昭和44年	7,681	4,747	18	平成46年	改築中
30	鹿浜西小学校	昭和44年4月1日	昭和44年	10,153	4,226	18	平成46年	
31	舎人小学校	明治26年1月28日	昭和44年	10,685	6,376	18	平成46年	
32	東加平小学校	昭和44年4月1日	昭和44年	10,110	5,593	18	平成46年	

番号	学校名	開校年月日	建築年	敷地面積 (㎡)	延床面積 (㎡)	設計基準強度 (N/mm <sup>2</sup> )	改築目標 年次	備考
33	西保木間小学校	平成9年4月1日	昭和44年	9,945	5,569	18	平成46年	
34	扇小学校	昭和45年4月1日	昭和45年	8,059	5,027	18	平成47年	H24全体保全
35	東栗原小学校	昭和45年4月1日	昭和45年	10,963	5,723	18	平成47年	
36	花畑西小学校	昭和46年4月1日	昭和45年	10,537	6,412	18	平成47年	
37	東伊興小学校	昭和46年4月1日	昭和46年	10,350	5,877	21	平成65年	
38	西伊興小学校	昭和47年4月1日	昭和47年	11,383	5,428	18	平成49年	
39	鹿浜五色桜小学校	平成27年4月1日	昭和47年	9,042	6,195	21	平成66年	改築中
40	中川北小学校	昭和47年4月1日	昭和47年	11,445	6,376	18	平成49年	
41	桜花小学校	平成9年4月1日	昭和47年	11,826	5,936	18	平成49年	
42	花保小学校	昭和48年4月1日	昭和47年	9,718	5,639	18	平成49年	
43	北鹿浜小学校	昭和48年4月1日	昭和48年	10,275	5,698	18	平成50年	
44	青井小学校	昭和48年4月2日	昭和48年	9,114	4,660	21	平成67年	
45	保木間小学校	昭和34年9月1日	昭和48年	13,277	6,277	18	平成50年	
46	中島根小学校	昭和49年4月1日	昭和49年	11,522	4,935	21	平成68年	
47	足立入谷小学校	平成13年4月1日	昭和50年	10,665	5,668	21	平成69年	
48	古千谷小学校	昭和51年4月1日	昭和51年	9,198	5,048	21	平成70年	
49	東綾瀬小学校	昭和51年4月1日	昭和51年	7,073	4,881	21	平成70年	
50	栗原北小学校	昭和52年4月1日	昭和52年	9,426	5,820	21	平成71年	
51	平野小学校	昭和52年4月1日	昭和52年	8,384	6,068	21	平成71年	
52	辰沼小学校	昭和53年4月1日	昭和53年	14,807	6,093	21	平成72年	
53	六木小学校	昭和54年4月1日	昭和54年	11,581	6,063	21	平成73年	
54	中川東小学校	昭和55年4月1日	昭和55年	13,787	7,669	21	平成74年	
55	皿沼小学校	昭和57年4月1日	昭和57年	12,735	6,095	21	平成76年	
56	舎人第一小学校	昭和61年4月1日	昭和61年	9,471	8,969	21	平成80年	
57	千寿本町小学校	平成3年4月1日	平成5年	6,252	8,889	21	平成87年	
58	千寿桜小学校	平成4年4月1日	平成6年	8,175	8,987	21	平成88年	
59	梅島小学校	明治22年10月26日	平成12年	10,366	7,934	27	平成94年	
60	島根小学校	昭和36年10月1日	平成14年	9,240	7,732	24	平成96年	
61	千寿双葉小学校	平成17年4月1日	平成19年	7,949	7,551	21	平成101年	
62	新田小学校	昭和23年4月1日	平成22年	16,000	12,340	30	平成102年	
63	中川小学校	昭和37年4月1日	昭和37年	12,861	4,778	21	平成56年	H22大規模改修
64	西新井小学校	昭和4年4月1日	平成23年	9,023	7,867	30	平成105年	
65	本木小学校	明治10年3月10日	平成26年	6,527	7,962	36	平成108年	
66	加平小学校	昭和40年4月1日	平成26年	10,762	8,136	36	平成108年	
67	足立小学校	平成25年4月1日	平成27年	8,693	10,075	36	平成109年	
68	関原小学校	昭和7年4月1日	平成28年	7,209	7,650	27	平成110年	
69	伊興小学校	明治9年10月16日	平成28年	10,890	8,261	30	平成110年	

【中学校】

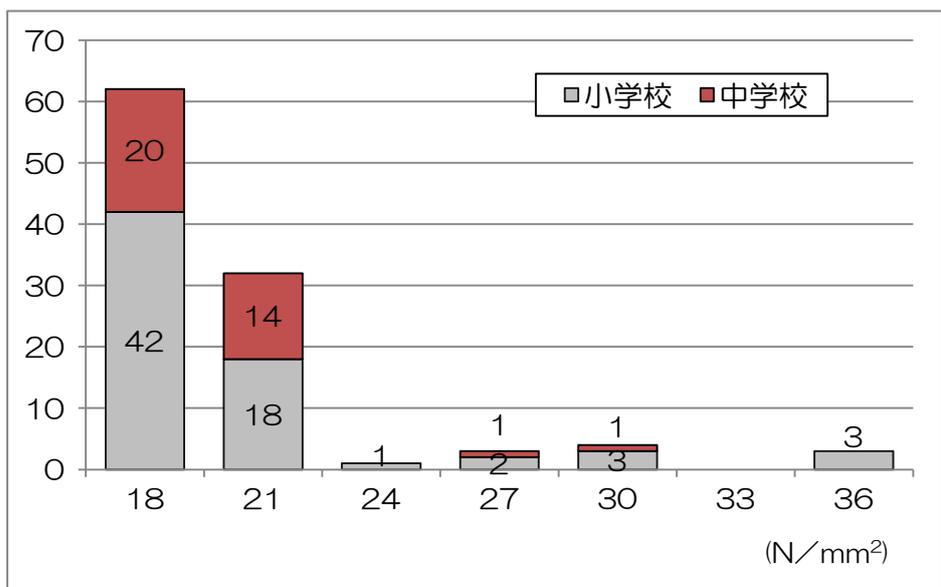
番号	学校名	開校年月日	建築年	敷地面積 (㎡)	延床面積 (㎡)	設計基 準強度 (N/mm <sup>2</sup> )	改築目標 年次	備考
1	江北中学校	昭和38年4月1日	昭和36年	12,184	7,188	18	平成38年	統合予定
2	千寿青葉中学校	平成15年4月1日	昭和37年	10,390	6,281	18	平成39年	
3	浏江中学校	昭和35年4月1日	昭和37年	12,814	8,692	18	平成39年	
4	東綾瀬中学校	昭和39年4月1日	昭和38年	12,658	7,912	18	平成40年	
5	花畑中学校	昭和41年4月1日	昭和38年	14,122	6,769	18	平成40年	
6	第十四中学校	昭和22年4月1日	昭和39年	14,828	8,092	18	平成41年	
7	鹿浜菜の花中学校	平成28年4月1日	昭和41年	11,647	6,988	18	平成43年	改築中
8	第十三中学校	昭和22年4月1日	昭和42年	11,840	8,111	18	平成44年	
9	江南中学校	昭和28年4月1日	昭和42年	9,243	5,458	18	平成44年	H28全体保全
10	第五中学校	昭和22年4月1日	昭和43年	11,803	7,294	18	平成45年	
11	竹の塚中学校	昭和45年4月1日	昭和45年	11,120	7,383	18	平成47年	
12	第六中学校	昭和22年4月19日	昭和47年	10,609	7,152	18	平成49年	H28全体保全
13	蒲原中学校	昭和32年4月1日	昭和47年	15,133	7,576	18	平成49年	
14	青井中学校	昭和48年4月1日	昭和48年	15,701	5,532	18	平成50年	
15	西新井中学校	昭和50年4月1日	昭和50年	10,830	7,367	21	平成69年	
16	入谷中学校	昭和51年4月1日	昭和51年	14,686	6,388	21	平成70年	
17	上沼田中学校	昭和52年4月1日	昭和52年	7,666	4,476	21	平成71年	統合予定
18	伊興中学校	昭和53年4月1日	昭和53年	13,640	6,939	21	平成72年	
19	花畑北中学校	昭和53年4月1日	昭和53年	13,223	7,387	21	平成72年	
20	谷中中学校	昭和54年4月1日	昭和54年	13,195	6,957	21	平成73年	H24全体保全
21	花保中学校	昭和54年4月1日	昭和54年	12,451	7,403	21	平成73年	
22	第十一中学校	昭和22年4月1日	昭和55年	13,227	7,817	21	平成74年	
23	栗島中学校	昭和56年4月1日	昭和56年	11,859	6,759	21	平成75年	H25全体保全
24	扇中学校	昭和57年4月1日	昭和57年	15,852	5,614	21	平成76年	
25	加賀中学校	昭和59年4月1日	昭和59年	11,459	8,098	21	平成78年	
26	六月中学校	昭和62年4月1日	昭和62年	16,084	8,433	21	平成81年	
27	入谷南中学校	昭和61年4月1日	平成2年	14,249	7,373	21	平成84年	
28	第一中学校	昭和22年4月1日	平成17年	9,270	7,853	21	平成99年	
29	千寿桜堤中学校	平成17年4月1日	平成17年	7,756	8,120	27	平成99年	
30	第四中学校	昭和22年4月1日	昭和36年	13,863	7,407	18	平成55年	H22大規模改修
31	第七中学校	昭和22年4月1日	昭和39年	10,955	6,158	18	平成58年	H22大規模改修
32	第九中学校	昭和22年4月1日	昭和36年	13,970	6,884	18	平成55年	H22大規模改修
33	新田中学校	昭和34年9月1日	平成22年	16,000	12,340	30	平成104年	
34	第十中学校	昭和22年4月19日	昭和37年	11,212	7,812	18	平成56年	H25大規模改修
35	第十二中学校	昭和22年4月1日	昭和35年	13,835	7,066	18	平成54年	H25大規模改修
36	東島根中学校	昭和35年9月1日	昭和34年	12,387	7,269	18	平成53年	H25大規模改修

◆ 建築年次別学校数



\*各学校が保有する最も古い校舎の建築年次で集計しています。  
大規模改修済みの学校は昭和60年以降にカウントしています。

◆ 耐久設計基準強度別学校数



資料5 平成28年度 足立区立小学校基礎データ

学校名	ページ	学校名	ページ
1 青井小学校	44	37 千寿本町小学校	62
2 足立小学校	44	38 竹の塚小学校	62
3 足立入谷小学校	45	39 辰沼小学校	63
4 綾瀬小学校	45	40 寺地小学校	63
5 伊興小学校	46	41 舎人小学校	64
6 梅島小学校	46	42 舎人第一小学校	64
7 梅島第一小学校	47	43 中川小学校	65
8 梅島第二小学校	47	44 中川北小学校	65
9 桜花小学校	48	45 中川東小学校	66
10 扇小学校	48	46 中島根小学校	66
11 大谷田小学校	49	47 長門小学校	67
12 興本小学校	49	48 西新井小学校	67
13 加平小学校	50	49 西新井第一小学校	68
14 亀田小学校	50	50 西新井第二小学校	68
15 北三谷小学校	51	51 西伊興小学校	69
16 北鹿浜小学校	51	52 西保木間小学校	69
17 栗島小学校	52	53 花畑小学校	70
18 栗原小学校	52	54 花畑第一小学校	70
19 栗原北小学校	53	55 花畑西小学校	71
20 弘道小学校	53	56 花保小学校	71
21 弘道第一小学校	54	57 東綾瀬小学校	72
22 江北小学校	54	58 東伊興小学校	72
23 高野小学校	55	59 東加平小学校	73
24 古千谷小学校	55	60 東栗原小学校	73
25 皿沼小学校	56	61 東湍江小学校	74
26 鹿浜五色桜小学校	56	62 平野小学校	74
27 鹿浜第一小学校	57	63 湍江小学校	75
28 鹿浜西小学校	57	64 湍江第一小学校	75
29 島根小学校	58	65 保木間小学校	76
30 新田小学校	58	66 宮城小学校	76
31 関原小学校	59	67 六木小学校	77
32 千寿小学校	59	68 本木小学校	77
33 千寿桜小学校	60	69 弥生小学校	78
34 千寿常東小学校	60		
35 千寿第八小学校	61		
36 千寿双葉小学校	61		

1 学校基礎データ

学校名 青井小学校 所在地 120-0012 足立区青井3-12-2  
 交通 青井駅(つくばエクスプレス)下車徒歩2分  
 五反野駅(東武線)下車徒歩16分

開校年月日 昭和48年4月2日 敷地面積 9,114 m<sup>2</sup> 特別支援学級 知的障がい  
 建築年 昭和48年 延床面積 4,660 m<sup>2</sup> 学童保育室

設計基準強度 21N/mm<sup>2</sup>

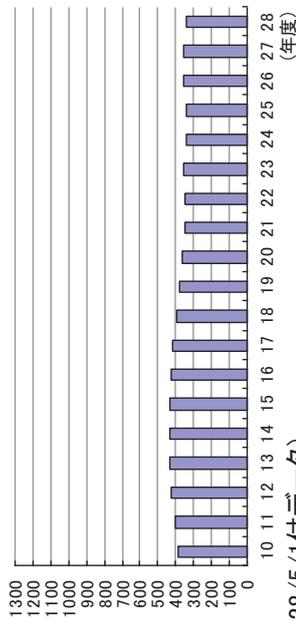
2 これまでの学校規模の推移(各年度とも5/1付データ)

\* 普通学級の人数です。

年度	10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年	27年	28年
在籍人数	386	406	426	434	431	432	425	418	394	383	361	345	347	358	338	344	353	354	339
学級	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12

①これまでの学校規模の推移について

平成21年度以降、児童数は横ばいとなり、学級数は12学級で一定しています。



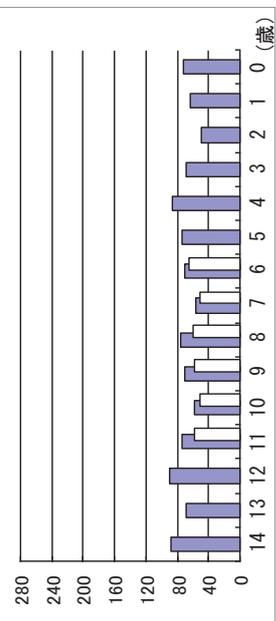
(年度)

3 学区内の学齢・学齢前人口(H28/5/1付データ)

年齢	14歳	13歳	12歳	11歳	10歳	9歳	8歳	7歳	6歳	5歳	4歳	3歳	2歳	1歳	0歳
H28学年															
H28学年															
居住人数	88	69	89	74	58	71	75	56	71	74	87	68	50	64	72
H28児童数															
H28学級数	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2

①今後の児童数の推移について

学区内に住む学齢前人口は小幅な増減を繰り返しながら、2学級から3学級規模で推移する見込みです。



(年度)

■ 居住人数 □ H28児童数

4 適正規模・適正配置の方向性

適正規模で推移していくことが見込まれます。

1 学校基礎データ

学校名 足立小学校 所在地 120-0015 足立区足立3-11-5  
 交通 五反野駅(東武線)下車徒歩5分

開校年月日 平成25年4月1日 敷地面積 8,693 m<sup>2</sup> 特別支援学級 知的障がい・弱視  
 建築年 平成27年 延床面積 10,075 m<sup>2</sup> 学童保育室 あり

設計基準強度 36N/mm<sup>2</sup>

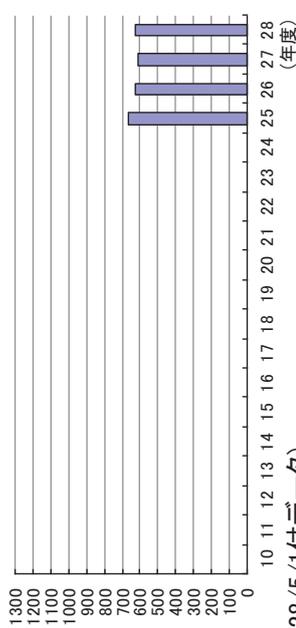
2 これまでの学校規模の推移(各年度とも5/1付データ)

\* 普通学級の人数です。

年度	10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年	27年	28年
在籍人数																			
学級																			

①これまでの学校規模の推移について

平成25年4月の新設後は18学級から21学級で推移しており、児童数・学級数ともに適正な学校規模となっています。平成27年4月から新校舎での学校運営を開始しました。



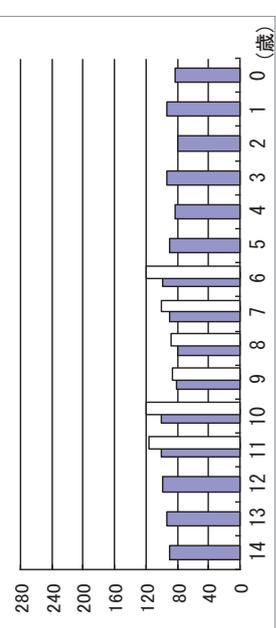
(年度)

3 学区内の学齢・学齢前人口(H28/5/1付データ)

年齢	14歳	13歳	12歳	11歳	10歳	9歳	8歳	7歳	6歳	5歳	4歳	3歳	2歳	1歳	0歳
H28学年															
H28学年															
居住人数	89	94	99	101	100	81	80	90	98	90	83	94	79	94	83
H28児童数															
H28学級数	3	3	3	3	3	3	3	3	4	3	3	3	3	4	3

①今後の児童数の推移について

学区内に住む学齢前人口は3学級規模で推移する見込みです。



(年度)

■ 居住人数 □ H28児童数

4 適正規模・適正配置の方向性

平成25年4月に千寿第五小学校と五反野小学校を統合しました。適正規模で推移していくことが見込まれます。

1 学校基礎データ

学校名 足立入谷小学校 所在地 121-0836 足立区入谷3-8-1  
 交通 竹ノ塚駅(東武線)から東武バス舎人団地下車徒歩4分

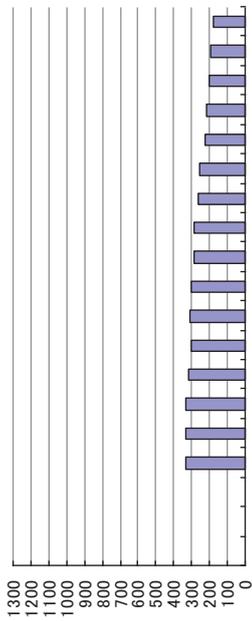
開校年月日 平成13年4月1日 敷地面積 10,665 m<sup>2</sup> 特別支援学級  
 建築年 昭和50年 延床面積 5,668 m<sup>2</sup> 学童保育室 あり

設計基準強度 21N/mm<sup>2</sup>

2 これまでの学校規模の推移(各年度とも5/1付データ)

年度	10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年	27年	28年
在籍人数			332	334	329	320	304	309	303	288	290	264	259	227	217	199	191	180	
学級			12	12	12	12	12	12	12	12	11	10	9	7	8				

①これまでの学校規模の推移について  
 開校以来、平成21年度まで学級数は12学級で一定していましたが、平成22年度以降は減少傾向が見られ、8学級前後で推移しています。

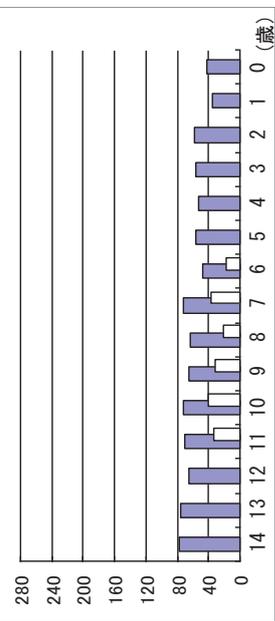


3 学区内の学齢・学齢前人口(H28/5/1付データ)

年齢	14歳	13歳	12歳	11歳	10歳	9歳	8歳	7歳	6歳	5歳	4歳	3歳	2歳	1歳	0歳
H28学年															
居住人数	77	76	65	70	73	65	64	72	48	57	52	57	58	36	43
H28児童数				33	41	31	21	37	17						
H28学級数				1	2	1	1	2	1						

①今後の児童数の推移について

学区内に住む学齢前人口は1学級から2学級規模で推移する見込みです。



■ 居住人数 □ H28児童数

4 適正規模・適正配置の方向性

平成22年度から児童数が減少傾向にあり、平成28年度は8学級となっております。学区内の学齢前人口は1学級から2学級規模になりますが、近隣の小学校に入学する児童が多くみられるため、今後も減少傾向が継続すると見込まれます。この地域全体での適正規模・適正配置の検討が必要です。

1 学校基礎データ

学校名 綾瀬小学校 所在地 120-0005 足立区綾瀬3-12-15  
 交通 綾瀬駅(千代田線)下車徒歩3分

開校年月日 昭和37年4月1日 敷地面積 11,396 m<sup>2</sup> 特別支援学級  
 建築年 昭和38年 延床面積 6,556 m<sup>2</sup> 学童保育室

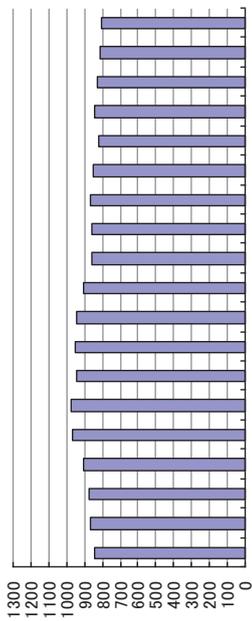
設計基準強度 18N/mm<sup>2</sup>

2 これまでの学校規模の推移(各年度とも5/1付データ)

年度	10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年	27年	28年
在籍人数	847	870	872	903	967	972	943	949	941	908	859	861	864	850	822	846	830	810	801
学級	25	25	26	27	27	27	27	27	25	24	24	24	24	24	24	25	25	24	23

①これまでの学校規模の推移について

これまで大規模校となりましたが、平成18年度以降、児童数・学級数ともに減少傾向にあります。

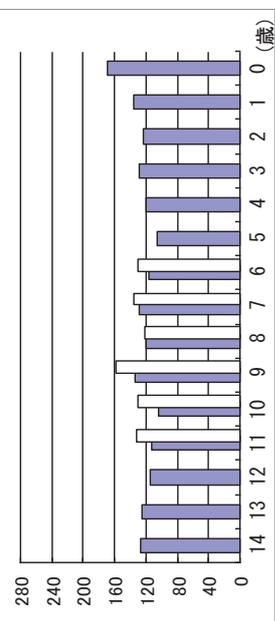


3 学区内の学齢・学齢前人口(H28/5/1付データ)

年齢	14歳	13歳	12歳	11歳	10歳	9歳	8歳	7歳	6歳	5歳	4歳	3歳	2歳	1歳	0歳
H28学年															
居住人数	127	125	115	112	104	134	119	129	117	105	119	129	123	135	169
H28児童数				131	129	157	120	134	130						
H28学級数				4	4	4	3	4	4						

①今後の児童数の推移について

学区内に住む学齢前人口は3学級から5学級規模で推移する見込みです。今後、集合住宅の建設による人口増加が見込まれます。



■ 居住人数 □ H28児童数

4 適正規模・適正配置の方向性

集合住宅の建設による人口増加や学区外からの入学者が多いため、大規模化の傾向がみられます。最も古い校舎は昭和38年に建てられ、施設更新の検討が必要です。適正規模・施設更新の視点の両面から検討していくことが必要です。

1 学校基礎データ

学校名 伊興小学校 所在地 121-0823 足立区伊興4-16-1  
 交通 竹ノ塚駅(東武線)下車徒歩15分  
 舍人公団駅(日暮里・舎人ライナー)下車徒歩15分

開校年月日 明治9年10月16日 敷地面積 10,890 m<sup>2</sup> 特別支援学級  
 建築年 平成28年 延床面積 8,261 m<sup>2</sup> 学童保育室

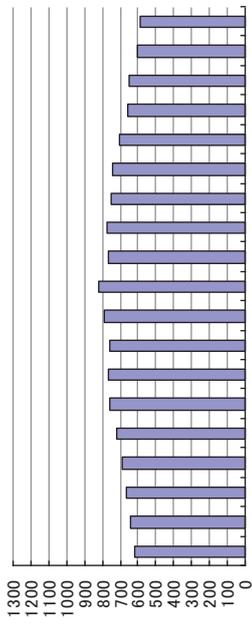
設計基準強度 30N/mm<sup>2</sup>

2 これまでの学校規模の推移(各年度とも5/1付データ)

年度	10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年	27年	28年
在籍人数	622	641	664	690	723	758	763	759	786	820	763	771	750	740	702	658	649	602	589
学級	18	18	19	20	21	22	22	21	22	21	21	21	21	21	21	21	19	18	18

①これまでの学校規模の推移について

平成22年度以降減少傾向にあり、21学級から18学級で推移しています。児童数・学級数ともに適正な学校規模となつていきます。



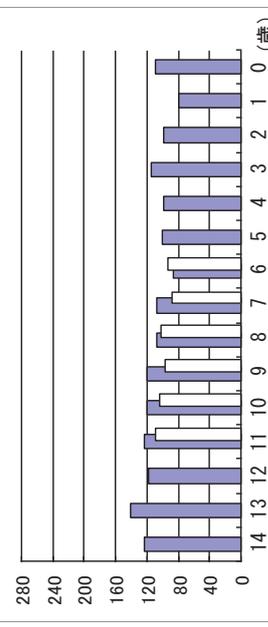
10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 (年度)

3 学区内の学齢・学齢前人口(H28/5/1付データ)

年齢	14歳	13歳	12歳	11歳	10歳	9歳	8歳	7歳	6歳	5歳	4歳	3歳	2歳	1歳	0歳
H28学年															
居住人数	124	141	118	124	120	119	107	107	86	101	99	114	98	80	109
H28児童数	109	103	97	101	87	92									
H28学級数	3	3	3	3	3	3									

①今後の児童数の推移について

学区内に住む学齢前人口は小幅な増減を繰り返しながら2学級から4学級規模で推移する見込みです。



14 13 12 11 10 9 8 7 6 5 4 3 2 1 0 (歳)

4 適正規模・適正配置の方向性

適正規模で推移していくことが見込まれます。

1 学校基礎データ

学校名 梅島小学校 所在地 123-0851 足立区梅田7-35-1  
 交通 梅島駅(東武線)下車徒歩1分

開校年月日 明治22年10月26日 敷地面積 10,366 m<sup>2</sup> 特別支援学級  
 建築年 平成12年 延床面積 7,934 m<sup>2</sup> 学童保育室

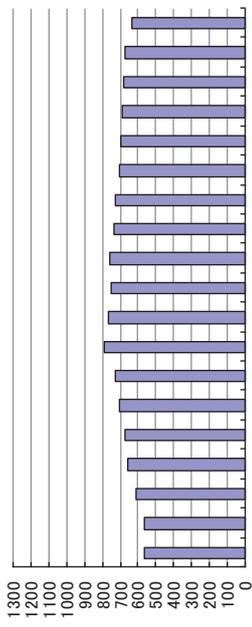
設計基準強度 27N/mm<sup>2</sup>

2 これまでの学校規模の推移(各年度とも5/1付データ)

年度	10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年	27年	28年
在籍人数	566	562	609	656	670	704	729	793	765	747	757	738	728	706	697	690	683	673	635
学級	18	18	19	20	20	20	21	23	23	22	22	21	21	20	20	20	20	20	19

①これまでの学校規模の推移について

平成21年度以降減少傾向にあり、21学級から19学級で推移しています。児童数・学級数ともに適正な学校規模となつていきます。



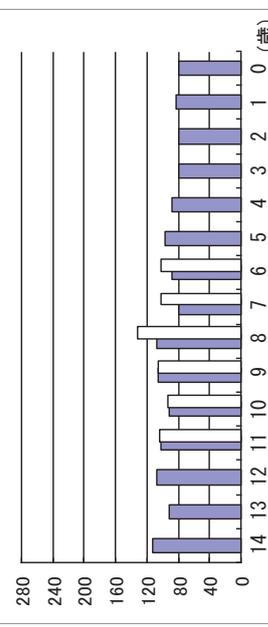
10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 (年度)

3 学区内の学齢・学齢前人口(H28/5/1付データ)

年齢	14歳	13歳	12歳	11歳	10歳	9歳	8歳	7歳	6歳	5歳	4歳	3歳	2歳	1歳	0歳
H28学年															
居住人数	112	92	107	103	105	107	80	88	97	88	80	79	82	80	
H28児童数	103	93	105	131	102	101									
H28学級数	3	3	3	4	3	3									

①今後の児童数の推移について

学区内に住む学齢前人口は2学級から3学級規模で推移する見込みです。学齢前人口には減少傾向がみられます。



14 13 12 11 10 9 8 7 6 5 4 3 2 1 0 (歳)

4 適正規模・適正配置の方向性

学区内に住む学齢前人口には、減少が見込まれますが、学区域外からの入学者も多いことから、適正規模で推移していくことが見込まれます。

1 学校基礎データ

学校名 梅島第一小学校 所在地 121-0816 足立区梅島3-37-4  
 交通 西新井駅(東武線)下車徒歩6分

開校年月日 昭和8年4月11日 敷地面積 6,919 m<sup>2</sup> 特別支援学級  
 建築年 昭和40年 延床面積 5,583 m<sup>2</sup> 学童保育室

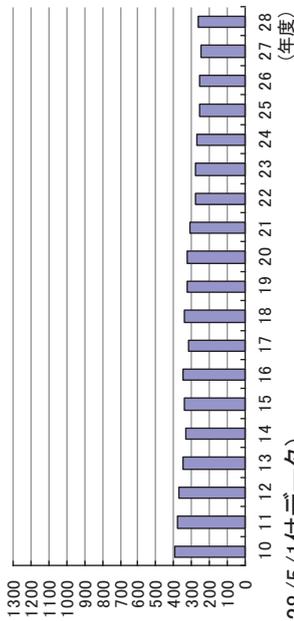
設計基準強度 18N/mm<sup>2</sup>

2 これまでの学校規模の推移(各年度とも5/1付データ)

年度	10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年	27年	28年
在籍人数	391	379	371	346	331	341	349	319	343	326	323	306	278	275	272	257	254	250	261
学級	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	11	11	10	10	10	10	10

①これまでの学校規模の推移について

児童数・学級数ともに減少傾向がみられます。学級数は平成21年度以降、12学級から10学級に減少しています。

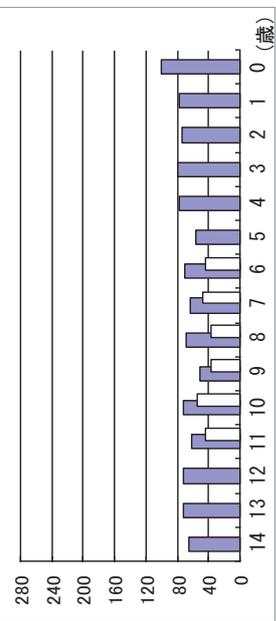


3 学区内の学齢・学齢前人口(H28/5/1付データ)

年齢	14歳	13歳	12歳	11歳	10歳	9歳	8歳	7歳	6歳	5歳	4歳	3歳	2歳	1歳	0歳
H28学年															
居住人数	66	73	72	61	72	51	64	70	56	77	79	74	78	100	
H28児童数				43	54	36	37	48	43						
H28学級数				2	2	1	1	2	2						

①今後の児童数の推移について

学区内に住む学齢前人口は2学級から3学級規模で推移する見込みです。



4 適正規模・適正配置の方向性

学区内に住む学齢前人口は増加傾向にあります。近隣の小学校に入学する児童が多くみられるため、児童数の増減によっては改善策の検討が必要です。

1 学校基礎データ

学校名 梅島第二小学校 所在地 123-0851 足立区梅田3-27-4  
 交通 梅島駅(東武線)下車徒歩13分

開校年月日 昭和19年6月1日 敷地面積 8,198 m<sup>2</sup> 特別支援学級 知的障がい  
 建築年 昭和42年 延床面積 5,397 m<sup>2</sup> 学童保育室

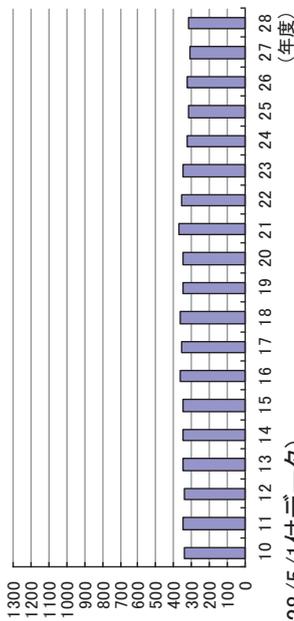
設計基準強度 18N/mm<sup>2</sup>

2 これまでの学校規模の推移(各年度とも5/1付データ)

年度	10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年	27年	28年
在籍人数	340	346	342	346	349	349	362	358	362	348	347	373	358	346	327	318	326	311	318
学級	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12

①これまでの学校規模の推移について

学級数は12学級で一定していますが、児童数は減少傾向にあります。

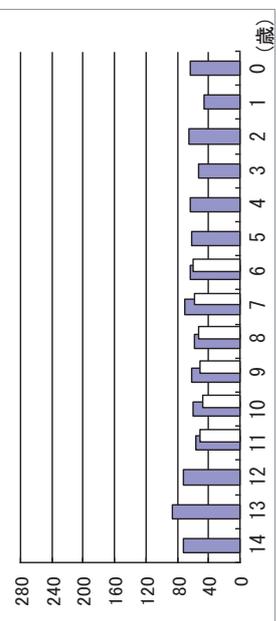


3 学区内の学齢・学齢前人口(H28/5/1付データ)

年齢	14歳	13歳	12歳	11歳	10歳	9歳	8歳	7歳	6歳	5歳	4歳	3歳	2歳	1歳	0歳
H28学年															
居住人数	72	86	72	57	60	62	58	70	64	61	64	53	66	45	64
H28児童数				50	47	50	53	58	60						
H28学級数				2	2	2	2	2	2						

①今後の児童数の推移について

学区内に住む学齢前人口は2学級規模で推移する見込みです。



4 適正規模・適正配置の方向性

適正規模で推移していくことが見込まれます。

1 学校基礎データ

学校名 桜花小学校 所在地 121-0061 足立区花畑6-4-6  
 交通 竹ノ塚駅(東武線)から東武バス花畑団地下車徒歩5分

開校年月日 平成9年4月1日 敷地面積 11,826 m<sup>2</sup> 特別支援学級 知的障がい  
 建築年 昭和47年 延床面積 5,936 m<sup>2</sup> 学童保育室

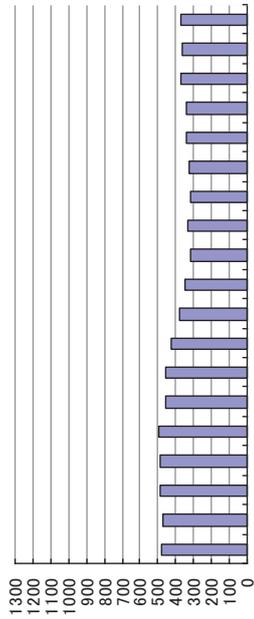
設計基準強度 18N/mm<sup>2</sup>

2 これまでの学校規模の推移(各年度とも5/1付データ)

年度	10年	11年	12年	13年	14年	15年	15年	14年	13年	12年	11年	11年	11年	11年	12年	13年	12年	28年
在籍人数	480	474	485	490	492	460	460	426	377	345	319	335	318	328	340	370	365	370
学級	14	16	15	15	14	14	13	12	12	11	11	11	11	11	11	12	13	12

①これまでの学校規模の推移について

平成20年度から平成25年度まで11学級で推移していましたが、平成26年度以降、12学級から13学級で推移しています。

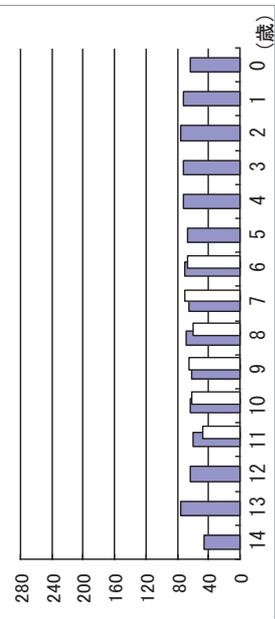


3 学区内の学齢・学齢前人口(H28/5/1付データ)

年齢	14歳	13歳	12歳	11歳	10歳	9歳	8歳	7歳	6歳	5歳	4歳	3歳	2歳	1歳	0歳
H28学年															
居住人数	45	75	63	59	64	61	68	65	71	67	72	72	76	72	63
H28児童数				48	62	64	60	70	66						
H28学級数				2	2	2	2	2	2						

①今後の児童数の推移について

学区内に住む学齢前人口は2学級から3学級規模で推移する見込みです。



■ 居住人数 □ H28児童数

4 適正規模・適正配置の方向性

適正規模で推移していくことが見込まれます。

1 学校基礎データ

学校名 扇小学校 所在地 123-0873 足立区扇2-30-1  
 交通 北千住駅(東武線等)からはるかぜ扇小学校北下車徒歩4分  
 扇大橋駅(日暮里・舎人ライナー)下車徒歩4分

開校年月日 昭和45年4月1日 敷地面積 8,059 m<sup>2</sup> 特別支援学級  
 建築年 昭和45年 延床面積 5,027 m<sup>2</sup> 学童保育室

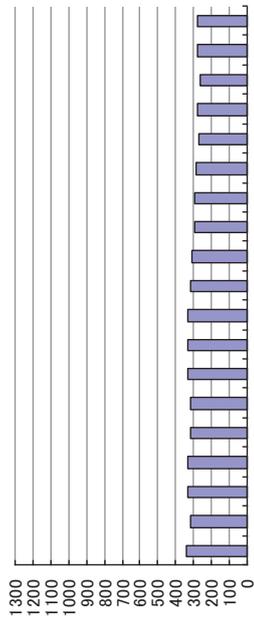
設計基準強度 18N/mm<sup>2</sup>

2 これまでの学校規模の推移(各年度とも5/1付データ)

年度	10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年	27年	28年
在籍人数	338	318	335	336	316	320	336	334	318	312	295	297	288	272	277	263	277	277	280
学級	11	11	12	12	12	12	12	12	12	12	11	11	11	11	11	11	11	11	11

①これまでの学校規模の推移について

学級数は11学級から12学級で推移しています。

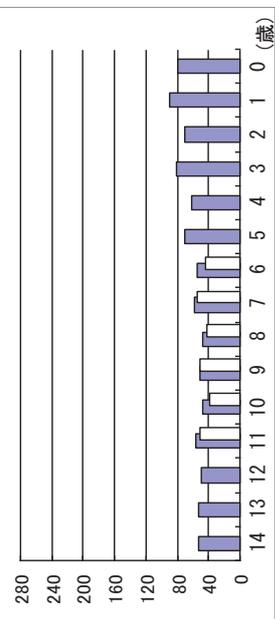


3 学区内の学齢・学齢前人口(H28/5/1付データ)

年齢	14歳	13歳	12歳	11歳	10歳	9歳	8歳	7歳	6歳	5歳	4歳	3歳	2歳	1歳	0歳
H28学年															
居住人数	53	52	50	56	47	51	47	58	55	70	61	81	70	89	80
H28児童数				50	39	50	42	55	44						
H28学級数				2	1	2	2	2	2						

①今後の児童数の推移について

学区内に住む学齢前人口には増加傾向が見られ、2学級から3学級規模で推移する見込みです。日暮里・舎人ライナー沿線のため、今後の開発状況等に注視していく必要があります。



■ 居住人数 □ H28児童数

4 適正規模・適正配置の方向性

適正規模で推移していくことが見込まれます。近隣の小学校の統合計画があるため、直ちに適正規模・適正配置の検討をすることはありません。

1 学校基礎データ

学校名 大谷田小学校 所在地 120-0002 足立区中川4-41-27  
 交通 亀有駅(JR)下車徒歩8分

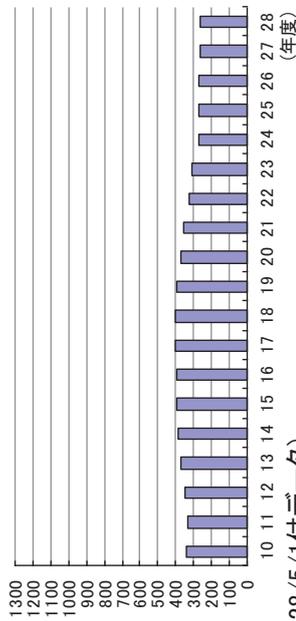
開校年月日 昭和25年5月1日 敷地面積 10,599 m<sup>2</sup> 特別支援学級  
 建築年 昭和41年 延床面積 4,726 m<sup>2</sup> 学童保育室 あり  
 設計基準強度 18N/mm<sup>2</sup>

2 これまでの学校規模の推移(各年度とも5/1付データ) \* 普通学級の数です。

年度	10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年	27年	28年
在籍人数	338	336	351	363	390	396	398	400	402	396	370	353	325	308	271	267	273	261	264
学級	12	12	12	12	12	12	12	12	12	11	11	11	11	10	10	11	11	11	10

①これまでの学校規模の推移について

平成19年度まで12学級で一定していましたが、近年は10学級から11学級となっており、減少傾向が見られます。



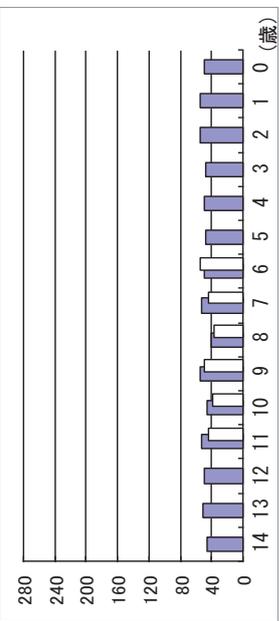
(年度)

3 学区内の学齢・学齢前人口(H28/5/1付データ)

年齢	14歳	13歳	12歳	11歳	10歳	9歳	8歳	7歳	6歳	5歳	4歳	3歳	2歳	1歳	0歳
H28学年															
居住人数	45	51	49	53	45	54	40	52	49	48	49	48	54	54	49
H28児童数															
H28学級数	2	1	2	1	2	1	2	2	2	2	2	2	2	2	2

①今後の児童数の推移について

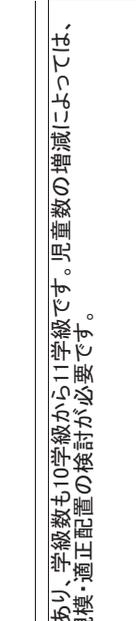
学区内に住む学齢前人口は2学級規模で推移の見込みです。今後ともほぼ横ばいが見込まれます。



(年度)

②学区内の学齢・学齢前人口の推移グラフ

学区内に住む学齢前人口は2学級規模で推移の見込みです。今後ともほぼ横ばいが見込まれます。



(年度)

4 適正規模・適正配置の方向性

平成20年度以降、児童数が減少傾向にあり、学級数も10学級から11学級です。児童数の増減によっては、隣接の長門小学校と地域全体での適正規模・適正配置の検討が必要です。

1 学校基礎データ

学校名 興本小学校 所在地 123-0873 足立区扇3-22-1  
 交通 西新井駅(東武線)から都営バス阿弥陀橋下車徒歩3分  
 江北駅(日暮里・舎人ライナー)下車徒歩3分

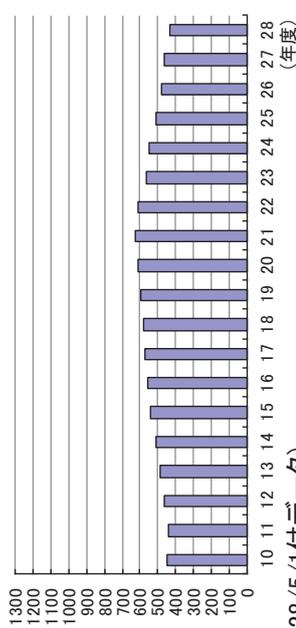
開校年月日 昭和37年4月1日 敷地面積 13,344 m<sup>2</sup> 特別支援学級  
 建築年 昭和37年 延床面積 5,766 m<sup>2</sup> 学童保育室 あり  
 設計基準強度 18N/mm<sup>2</sup>

2 これまでの学校規模の推移(各年度とも5/1付データ) \* 普通学級の数です。

年度	10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年	27年	28年
在籍人数	452	443	463	485	512	539	558	576	579	597	612	628	613	567	548	512	483	461	432
学級	13	12	13	14	15	17	17	18	18	18	18	18	17	17	16	16	16	15	14

①これまでの学校規模の推移について

平成22年度以降減少傾向にあり、18学級から14学級で推移しています。児童数・学級数ともに適正な学校規模となつていきます。



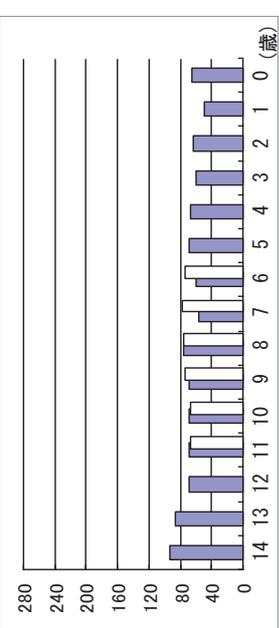
(年度)

3 学区内の学齢・学齢前人口(H28/5/1付データ)

年齢	14歳	13歳	12歳	11歳	10歳	9歳	8歳	7歳	6歳	5歳	4歳	3歳	2歳	1歳	0歳
H28学年															
居住人数	93	86	69	69	68	69	75	56	60	67	60	64	49	65	
H28児童数															
H28学級数	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	

①今後の児童数の推移について

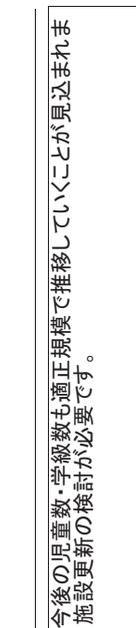
学区内に住む学齢前人口は2学級規模で推移の見込みです。今後ともほぼ横ばいが見込まれます。



(年度)

②学区内の学齢・学齢前人口の推移グラフ

学区内に住む学齢前人口は2学級規模で推移の見込みです。今後ともほぼ横ばいが見込まれます。



(年度)

4 適正規模・適正配置の方向性

学区外からの入学者が多いことから、今後の児童数・学級数も適正規模で推移していくことが見込まれます。最も古い校舎は昭和37年に建てられ、施設更新の検討が必要です。

1 学校基礎データ

学校名 加平小学校 所在地 121-0073 足立区六町3-3-11  
 交通 六町駅(つくばエクスプレス)下車徒歩5分

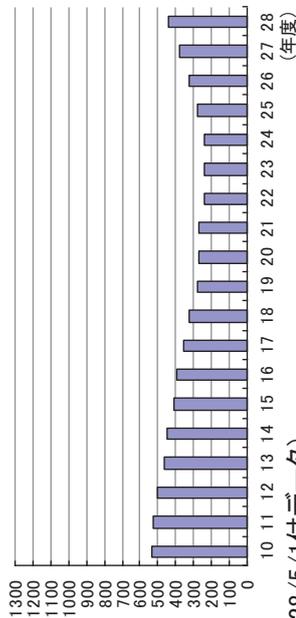
開校年月日 昭和40年4月1日 敷地面積 10,762 m<sup>2</sup> 特別支援学級  
 建築年 平成26年 延床面積 8,136 m<sup>2</sup> 学童保育室 あり  
 設計基準強度 36N/mm<sup>2</sup>

2 これまでの学校規模の推移(各年度とも5/1付データ)

年度	10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年	27年	28年
在籍人数	536	524	505	467	450	413	391	358	322	281	268	267	243	239	241	280	328	380	438
学級	17	16	15	14	14	13	13	11	10	11	10	10	9	9	10	10	10	13	14

①これまでの学校規模の推移について

平成24年度以降、児童数・学級数ともに増加傾向にあります。平成27年度以降は13学級から14学級で推移しており、児童数・学級数ともに適正な学校規模となっています。



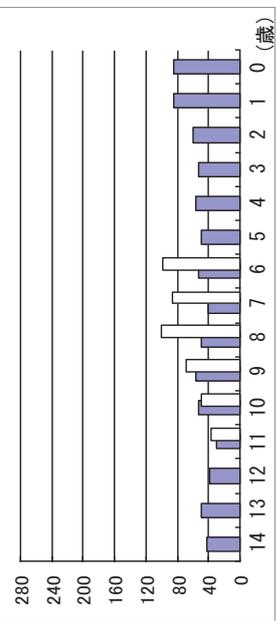
3 学区内の学齢・学齢前人口(H28/5/1付データ)

年齢	14歳	13歳	12歳	11歳	10歳	9歳	8歳	7歳	6歳	5歳	4歳	3歳	2歳	1歳	0歳
H28学年	42	50	38	30	53	56	50	40	53	50	57	53	59	85	85
居住人数	37	49	68	100	86	98									
H28児童数	1	2	2	3	3	3									

①今後の児童数の推移について

学区内に住む学齢前人口は2学級から3学級規模で推移する見込みです。新校舎で学校運営を開始した平成26年度以降、学区域外からの入学者が半数を占めています。六町駅周辺エリアデザイナー地区のため、今後の開発により人口増加の可能性ががあります。

②学区内の学齢・学齢前人口の推移グラフ



■ 居住人数 □ H28児童数

4 適正規模・適正配置の方向性

適正規模で推移する見込みですが、六町駅周辺エリアデザイナー地区のため、今後人口が増加する可能性があります。

1 学校基礎データ

学校名 亀田小学校 所在地 123-0843 足立区西新井栄町1-1-1  
 交通 西新井駅(東武線)下車徒歩8分

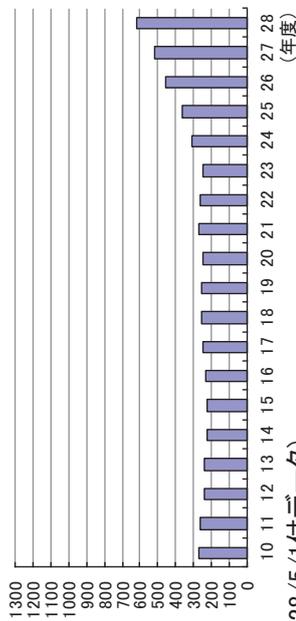
開校年月日 昭和31年4月1日 敷地面積 11,744 m<sup>2</sup> 特別支援学級  
 建築年 昭和40年 延床面積 5,373 m<sup>2</sup> 学童保育室 あり  
 設計基準強度 18N/mm<sup>2</sup>

2 これまでの学校規模の推移(各年度とも5/1付データ)

年度	10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年	27年	28年
在籍人数	271	262	243	238	225	228	236	249	255	251	271	264	251	307	364	455	522	620	
学級	11	11	10	10	10	9	10	10	9	8	9	10	10	9	11	13	15	17	19

①これまでの学校規模の推移について

平成24年度に、大規模住宅の建設に伴う栗原小学校との学区変更を行ったことで、平成25年度以降、13学級から19学級で推移しています。平成26年度から児童数・学級数ともに適正な学校規模となっています。



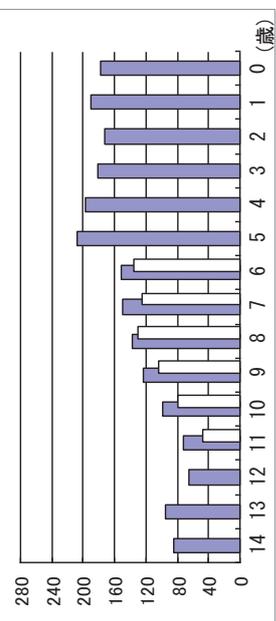
3 学区内の学齢・学齢前人口(H28/5/1付データ)

年齢	14歳	13歳	12歳	11歳	10歳	9歳	8歳	7歳	6歳	5歳	4歳	3歳	2歳	1歳	0歳
H28学年	85	95	65	72	99	124	138	149	151	207	197	182	173	190	178
居住人数	48	79	103	130	125	135									
H28児童数	2	2	2	3	4	4									

①今後の児童数の推移について

大規模住宅の建設により、学区内に住む学齢前人口は5学級から6学級規模で推移する見込みです。今後、大規模となる可能性があります。

②学区内の学齢・学齢前人口の推移グラフ



■ 居住人数 □ H28児童数

4 適正規模・適正配置の方向性

大規模住宅の建設により、急激に人口が増加しました。平成29年度から、増築した校舎で対応します。

1 学校基礎データ

学校名 北三谷小学校 所在地 120-0003 足立区東和1-17-12  
 交通 亀有駅(JR)下車徒歩15分

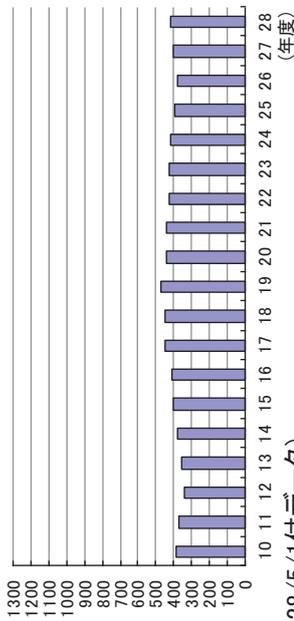
開校年月日 昭和30年2月1日 敷地面積 7,916 m<sup>2</sup> 特別支援学級  
 建築年 昭和43年 延床面積 5,782 m<sup>2</sup> 学童保育室 あり  
 設計基準強度 18N/mm<sup>2</sup> \* 普通学級の人数です。

2 これまでの学校規模の推移(各年度とも5/1付データ)

年度	10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年	27年	28年
在籍人数	388	368	341	357	383	400	413	445	451	473	444	439	428	422	418	396	376	405	420
学級	12	12	12	13	13	13	14	14	14	14	14	14	14	14	14	13	13	14	14

①これまでの学校規模の推移について

平成21年度以降、13学級から14学級で推移しており、児童数・学級数とも適正な学校規模となっています。

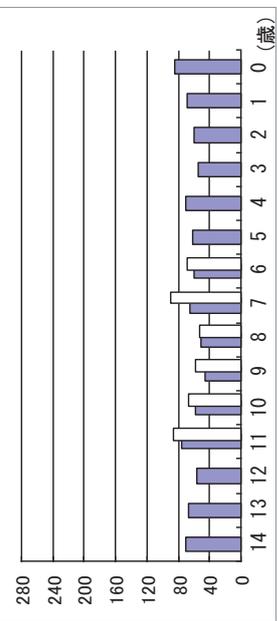


3 学区内の学齢・学齢前人口(H28/5/1付データ)

年齢	14歳	13歳	12歳	11歳	10歳	9歳	8歳	7歳	6歳	5歳	4歳	3歳	2歳	1歳	0歳
H28学年															
居住人数	70	67	56	76	58	46	51	66	60	61	70	55	60	69	85
H28児童数															
H28学級数															

①今後の児童数の推移について

学区内に住む学齢前人口は2学級から3学級規模で推移する見込みです。



■ 居住人数 □ H28児童数

4 適正規模・適正配置の方向性

適正規模で推移していくことが見込まれます。

1 学校基礎データ

学校名 北鹿浜小学校 所在地 123-0864 足立区鹿浜5-27-1  
 交通 西新井駅(東武線)から東武バス産業道路東下車徒歩3分

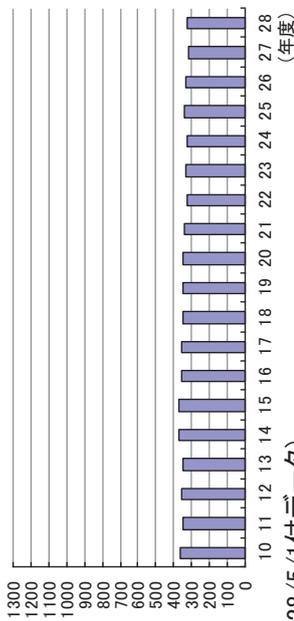
開校年月日 昭和48年4月1日 敷地面積 10,275 m<sup>2</sup> 特別支援学級  
 建築年 昭和48年 延床面積 5,698 m<sup>2</sup> 学童保育室  
 設計基準強度 18N/mm<sup>2</sup> \* 普通学級の人数です。

2 これまでの学校規模の推移(各年度とも5/1付データ)

年度	10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年	27年	28年
在籍人数	365	352	355	348	368	370	357	356	347	346	343	327	333	328	341	334	316	322	
学級	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	

①これまでの学校規模の推移について

学級数は12学級で一定していますが、児童数は減少傾向にあります。

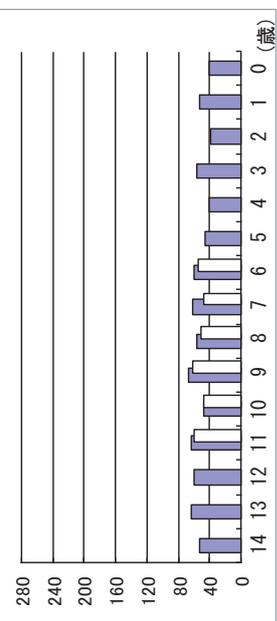


3 学区内の学齢・学齢前人口(H28/5/1付データ)

年齢	14歳	13歳	12歳	11歳	10歳	9歳	8歳	7歳	6歳	5歳	4歳	3歳	2歳	1歳	0歳
H28学年															
居住人数	53	64	59	64	47	67	57	62	59	46	40	56	39	53	40
H28児童数															
H28学級数															

①今後の児童数の推移について

学区内に住む学齢前人口は1学級から2学級規模で推移する見込みです。



■ 居住人数 □ H28児童数

4 適正規模・適正配置の方向性

学級数は12学級で一定していますが、児童数と学齢前人口が減少傾向にあります。また、隣接する鹿浜西小学校も小規模傾向が見られるため、この地域全体での適正規模・適正配置の検討が必要で

1 学校基礎データ

学校名 栗島小学校 所在地 121-0012 足立区青井6-13-10  
 交通 青井駅(つくばエクスプレス)下車徒歩15分  
 五反野駅(東武線)下車徒歩18分

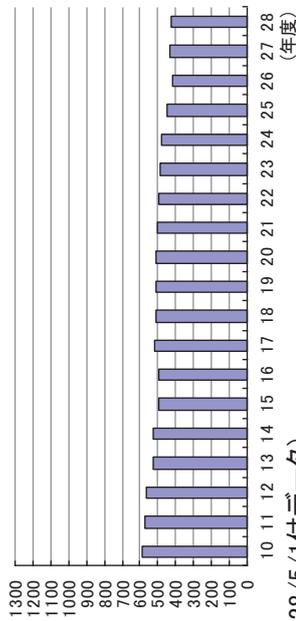
開校年月日 昭和29年4月1日 敷地面積 9,405 m<sup>2</sup> 特別支援学級  
 建築年 昭和42年 延床面積 5,330 m<sup>2</sup> 学童保育室 あり  
 設計基準強度 18N/mm<sup>2</sup>

2 これまでの学校規模の推移(各年度とも5/1付データ) \*普通学級の人数です。

年度	10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年	27年	28年
在籍人数	589	572	563	528	527	499	492	522	508	507	513	503	497	487	480	448	419	434	425
学級	18	18	18	17	17	16	16	16	16	15	15	15	15	15	14	12	13	13	

①これまでの学校規模の推移について

平成21年度以降、12学級から15学級で推移しており、児童数・学級数とも適正な学校規模となっております。



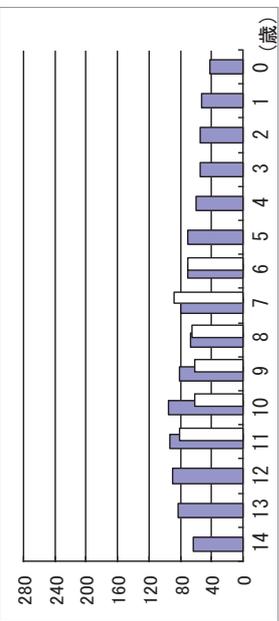
(年度)

3 学区内の学齢・学齢前人口(H28/5/1付データ)

年齢	14歳	13歳	12歳	11歳	10歳	9歳	8歳	7歳	6歳	5歳	4歳	3歳	2歳	1歳	0歳
H28学年				6年	5年	4年	3年	2年	1年						
居住人数	64	83	89	93	95	81	67	80	71	70	59	54	54	52	43
H28児童数				80	61	61	65	88	70						
H28学級数				2	2	2	2	3	2						

①今後の児童数の推移について

学区内に住む学齢前人口は2学級規模で推移する見込みです。



(年度)

②学区内の学齢・学齢前人口の推移グラフ

■ 居住人数 □ H28児童数

■ 居住人数 □ H28児童数

4 適正規模・適正配置の方向性

適正規模で推移していくことが見込まれます。

1 学校基礎データ

学校名 栗原小学校 所在地 123-0843 足立区西新井栄町2-10-18  
 交通 西新井駅(東武線)下車徒歩2分

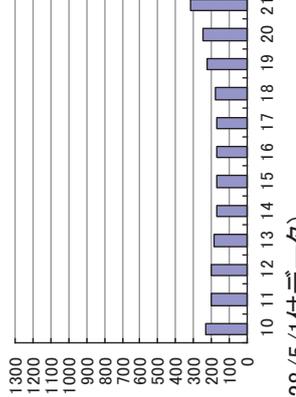
開校年月日 昭和17年7月1日 敷地面積 6,105 m<sup>2</sup> 特別支援学級  
 建築年 昭和42年 延床面積 4,542 m<sup>2</sup> 学童保育室  
 設計基準強度 18N/mm<sup>2</sup>

2 これまでの学校規模の推移(各年度とも5/1付データ) \*普通学級の人数です。

年度	10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年	27年	28年
在籍人数	235	204	202	184	167	168	167	172	175	225	250	317	361	411	440	445	447	430	413
学級	9	8	8	7	6	6	6	6	6	8	9	11	12	14	15	15	15	14	14

①これまでの学校規模の推移について

平成24年度に大規模住宅の建設に伴う亀田小学校との学区変更を行ったことで、平成25年度以降、14学級から15学級で推移しています。児童数・学級数ともに適正な学校規模となっております。



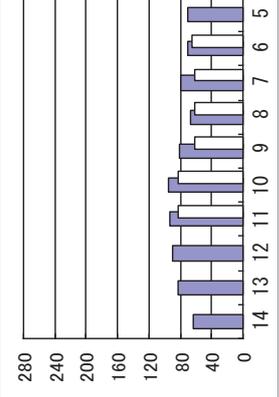
(年度)

3 学区内の学齢・学齢前人口(H28/5/1付データ)

年齢	14歳	13歳	12歳	11歳	10歳	9歳	8歳	7歳	6歳	5歳	4歳	3歳	2歳	1歳	0歳
H28学年				6年	5年	4年	3年	2年	1年						
居住人数	64	83	89	93	95	81	67	80	71	70	59	54	54	52	43
H28児童数				82	83	62	61	61	64						
H28学級数				3	3	2	2	2	2						

①今後の児童数の推移について

大規模住宅の建設により学区内に住む学齢前人口は増加傾向にありましたが、近年は減少傾向にあり2学級規模で推移する見込みです。



(年度)

②学区内の学齢・学齢前人口の推移グラフ

■ 居住人数 □ H28児童数

■ 居住人数 □ H28児童数

4 適正規模・適正配置の方向性

平成24年度に学区変更を行い、適正規模で推移しています。今後も適正規模で推移していくことが見込まれます。

1 学校基礎データ

学校名 栗原北小学校 所在地 123-0842 足立区栗原4-25-9  
 交通 竹ノ塚駅(東武線)下車徒歩12分

開校年月日 昭和52年4月1日 敷地面積 9,426 m<sup>2</sup> 特別支援学級  
 建築年 昭和52年 延床面積 5,820 m<sup>2</sup> 学童保育室

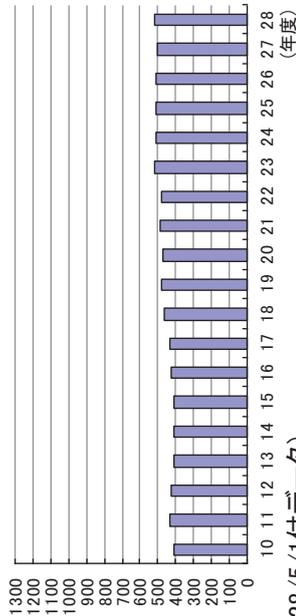
設計基準強度 21N/mm<sup>2</sup>

2 これまでの学校規模の推移(各年度とも5/1付データ)

年度	10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年	27年	28年
在籍人数	407	437	423	412	410	409	428	436	464	478	475	486	483	522	510	511	513	501	518
学級	12	13	13	12	12	12	12	13	15	15	16	16	17	17	17	17	16	16	17

①これまでの学校規模の推移について

平成21年度以降、16学級から17学級で推移しており、児童数・学級数とも適正な学校規模となっております。

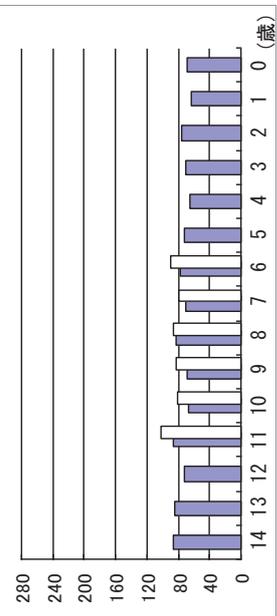


3 学区内の学齢・学齢前人口(H28/5/1付データ)

年齢	14歳	13歳	12歳	11歳	10歳	9歳	8歳	7歳	6歳	5歳	4歳	3歳	2歳	1歳	0歳
H28学年															
居住人数	86	85	72	87	67	68	82	70	77	73	65	70	75	63	68
H28児童数	102	80	82	86	79	89									
H28学級数	3	2	3	3	3	3									

①今後の児童数の推移について

学区内に住む学齢前人口は、2学級から3学級規模で推移する見込みです。



■ 居住人数 □ H28児童数

4 適正規模・適正配置の方向性

適正規模で推移していくことが見込まれます。

1 学校基礎データ

学校名 弘道小学校 所在地 120-0014 足立区西綾瀬4-7-27  
 交通 青井駅(つくばエクスプレス)下車徒歩10分

五反野駅(東武線)下車徒歩12分 綾瀬駅(千代田線)下車徒歩10分

開校年月日 明治11年5月28日 敷地面積 10,734 m<sup>2</sup> 特別支援学級  
 建築年 昭和42年 延床面積 5,709 m<sup>2</sup> 学童保育室 あり

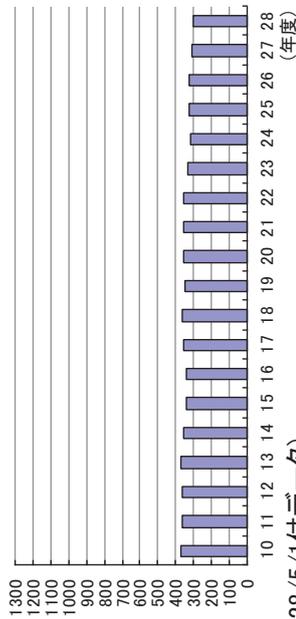
設計基準強度 18N/mm<sup>2</sup>

2 これまでの学校規模の推移(各年度とも5/1付データ)

年度	10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年	27年	28年
在籍人数	373	362	361	370	357	344	339	359	360	349	357	353	356	335	318	323	324	313	305
学級	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12

①これまでの学校規模の推移について

学級数は12学級で一定していますが、児童数は減少傾向にあります。

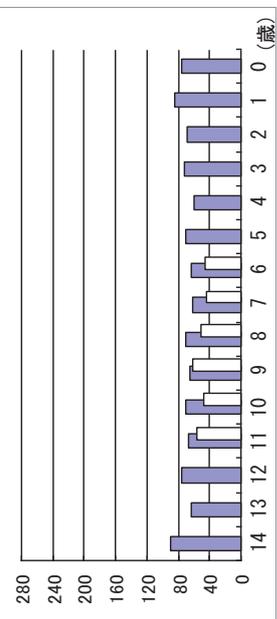


3 学区内の学齢・学齢前人口(H28/5/1付データ)

年齢	14歳	13歳	12歳	11歳	10歳	9歳	8歳	7歳	6歳	5歳	4歳	3歳	2歳	1歳	0歳
H28学年															
居住人数	90	63	76	67	70	65	70	62	63	71	59	72	69	84	76
H28児童数	56	47	61	51	44	46									
H28学級数	2	2	2	2	2	2									

①今後の児童数の推移について

学区内に住む学齢前人口は2学級から3学級規模で推移する見込みです。



■ 居住人数 □ H28児童数

4 適正規模・適正配置の方向性

隣接する五反野小学校が平成25年度に統合しました。適正規模で推移していくことが見込まれます。

1 学校基礎データ

学校名 弘道第一小学校 所在地 120-0013 足立区弘道1-20-8  
 交通 五反野駅(東武線)下車徒歩8分 青井駅(つくばエクスプレス)下車徒歩12分  
 青井駅(つくばエクスプレス)からはるかぜ第十一中学校下車徒歩2分

開校年月日 昭和40年9月1日 敷地面積 11,056 m<sup>2</sup> 特別支援学級  
 建築年 昭和40年 延床面積 5,975 m<sup>2</sup> 学童保育室 あり

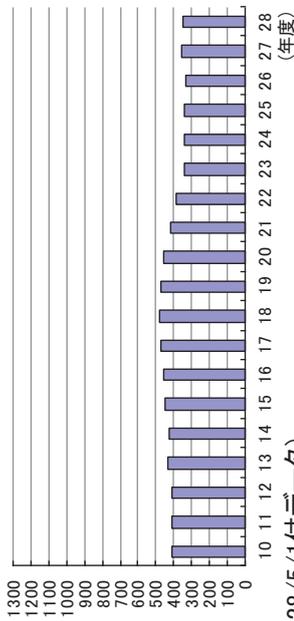
設計基準強度 18N/mm<sup>2</sup> \* 普通学級の数です。

2 これまでの学校規模の推移(各年度とも5/1付データ)

年度	10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年	27年	28年
在籍人数	407	409	409	431	429	449	457	471	480	469	457	416	388	340	341	338	333	353	352
学級	12	12	12	13	13	14	14	15	15	15	15	13	12	12	12	12	12	12	12

①これまでの学校規模の推移について

平成23年度以降、児童数は横ばいとなり、学級数は12学級で一定しています。

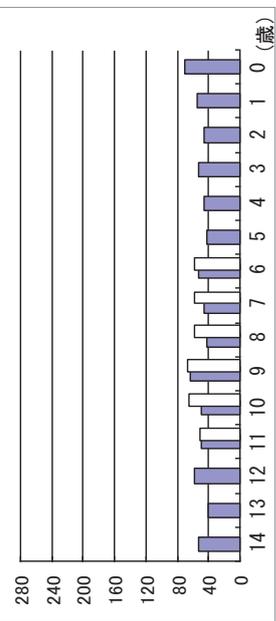


3 学区内の学齢・学齢前人口(H28/5/1付データ)

年齢	14歳	13歳	12歳	11歳	10歳	9歳	8歳	7歳	6歳	5歳	4歳	3歳	2歳	1歳	0歳
H28学年															
居住人数	53	41	58	50	49	64	42	45	52	43	45	52	45	54	70
H28児童数				50	64	66	57	57	58						
H28学級数				2	2	2	2	2	2						

①今後の児童数の推移について

学区内に住む学齢前人口は2学級規模で推移する見込みです。



■ 居住人数 □ H28児童数

4 適正規模・適正配置の方向性

適正規模で推移していくことが見込まれます。

1 学校基礎データ

学校名 江北小学校 所在地 123-0872 足立区江北3-50-1  
 交通 西新井駅(東武線)から都営バス荒川土手操車所下車徒歩10分

開校年月日 明治7年11月1日 敷地面積 8,115 m<sup>2</sup> 特別支援学級  
 建築年 昭和41年 延床面積 5,675 m<sup>2</sup> 学童保育室

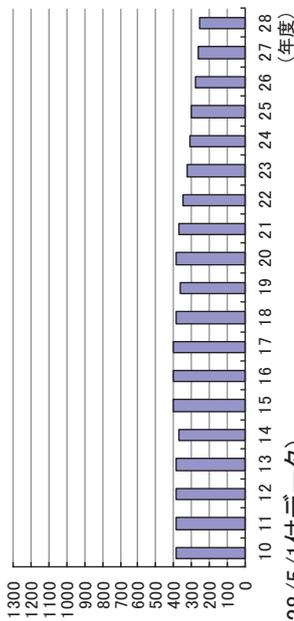
設計基準強度 18N/mm<sup>2</sup> \* 普通学級の数です。

2 これまでの学校規模の推移(各年度とも5/1付データ)

年度	10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年	27年	28年
在籍人数	390	386	386	387	374	402	399	387	366	386	372	347	326	312	304	280	261	257	
学級	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	11	11	12	12	11	10	11	

①これまでの学校規模の推移について

平成21年度以降、児童数は減少傾向にあり、学級数は10学級から12学級で推移しています。

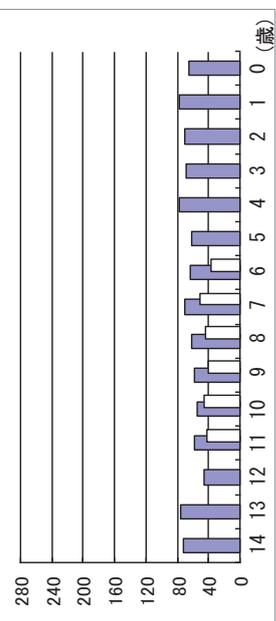


3 学区内の学齢・学齢前人口(H28/5/1付データ)

年齢	14歳	13歳	12歳	11歳	10歳	9歳	8歳	7歳	6歳	5歳	4歳	3歳	2歳	1歳	0歳
H28学年															
居住人数	72	75	45	58	58	62	71	64	61	78	69	71	77	66	
H28児童数				42	45	40	43	51	36						
H28学級数				2	2	2	2	2	2						

①今後の児童数の推移について

学区内に住む学齢前人口は2学級から3学級規模で推移する見込みです。



■ 居住人数 □ H28児童数

4 適正規模・適正配置の方向性

江北小学校と高野小学校の小規模傾向の改善と、施設更新の課題を解決するため、高野小学校との統合計画を進めます。

1 学校基礎データ

学校名	高野小学校	所在地	123-0872 足立区江北5-4-1
交通	西新井駅(東武線)から国際興業バス江北陸橋下車徒歩2分 江北駅(日暮里・舎人ライナー)下車徒歩3分		
開校年月日	昭和38年4月1日	敷地面積	12,964 m <sup>2</sup>
建築年	昭和37年	延床面積	6,106 m <sup>2</sup>

設計基準強度 18N/mm<sup>2</sup>

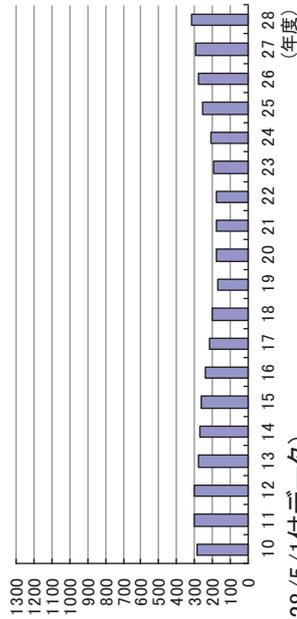
2 これまでの学校規模の推移(各年度とも5/1付データ)

年度	10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年	27年	28年
在籍人数	290	303	301	279	273	261	243	220	198	172	177	175	176	197	212	253	281	293	320
学級	10	11	11	11	10	9	8	7	6	6	6	6	7	8	9	10	10	11	12

\* 普通学級の数です。

①これまでの学校規模の推移について

児童数・学級数ともに減少傾向にありましたが、平成23年度以降、児童数・学級数ともに増加傾向となっています

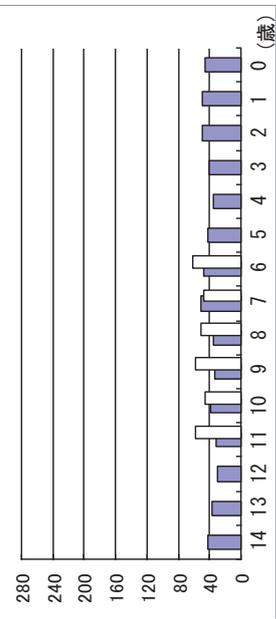


3 学区内の学齢・学齢前人口(H28/5/1付データ)

年齢	14歳	13歳	12歳	11歳	10歳	9歳	8歳	7歳	6歳	5歳	4歳	3歳	2歳	1歳	0歳
H28学年	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
居住人数	43	37	30	32	38	33	36	51	48	43	36	40	49	50	45
H28児童数	58	45	58	50	48	61									
H28学級数	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2

①今後の児童数の推移について

学区内に住む学齢前人口は1学級から2学級規模で推移する見込みです。



4 適正規模・適正配置の方向性

高野小学校と江北小学校の小規模傾向の改善と、施設更新の課題を解決するため、江北小学校との統合計画を進めます。

1 学校基礎データ

学校名	古千谷小学校	所在地	121-0832 足立区古千谷本町4-12-16
交通	竹ノ塚駅(東武線)から東武バス古千谷橋下車徒歩3分 舎人駅(日暮里・舎人ライナー)下車徒歩10分		
開校年月日	昭和51年4月1日	敷地面積	9,198 m <sup>2</sup>
建築年	昭和51年	延床面積	5,048 m <sup>2</sup>

設計基準強度 21N/mm<sup>2</sup>

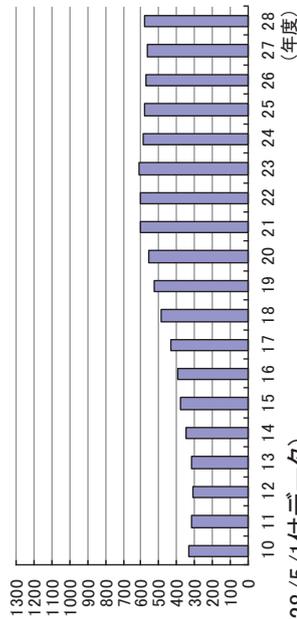
2 これまでの学校規模の推移(各年度とも5/1付データ)

年度	10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年	27年	28年
在籍人数	330	318	307	317	351	377	398	436	487	525	556	601	607	608	585	580	575	565	582
学級	12	12	12	12	12	12	12	14	15	15	16	17	18	18	18	18	18	18	18

\* 普通学級の数です。

①これまでの学校規模の推移について

平成21年度以降、17学級から18学級で推移しており、児童数・学級数ともに適正な学校規模となっています。

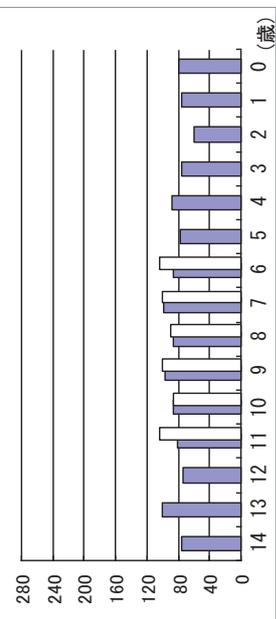


3 学区内の学齢・学齢前人口(H28/5/1付データ)

年齢	14歳	13歳	12歳	11歳	10歳	9歳	8歳	7歳	6歳	5歳	4歳	3歳	2歳	1歳	0歳
H28学年	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3
居住人数	76	100	74	81	86	97	86	98	87	78	88	76	60	75	80
H28児童数	104	86	100	90	99	103									
H28学級数	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3

①今後の児童数の推移について

学区内に住む学齢前人口は増減を繰り返し、2学級から3学級規模で推移する見込みです。



4 適正規模・適正配置の方向性

適正規模で推移していくことが見込まれます。

1 学校基礎データ

学校名 血沼小学校 所在地 123-0862 足立区血沼1-19-1  
 交通 西新井駅(東武線)から東武バス血沼不動前下車徒歩7分

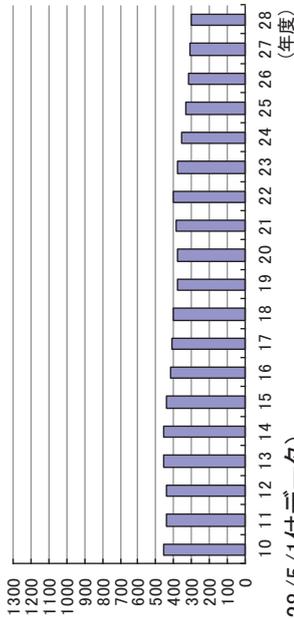
開校年月日 昭和57年4月1日 敷地面積 12,735 m<sup>2</sup> 特別支援学級  
 建築年 昭和57年 延床面積 6,095 m<sup>2</sup> 学童保育室

設計基準強度 21N/mm<sup>2</sup>

2 これまでの学校規模の推移(各年度とも5/1付データ)

年度	10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年	27年	28年
在籍人数	457	438	438	459	460	443	419	413	403	382	379	386	401	378	359	332	320	313	302
学級	14	13	13	13	14	14	13	13	12	12	12	12	12	12	12	12	12	11	11

①これまでの学校規模の推移について  
 児童数に減少傾向が見られ、平成27年度以降は、学級数が11学級となっています。

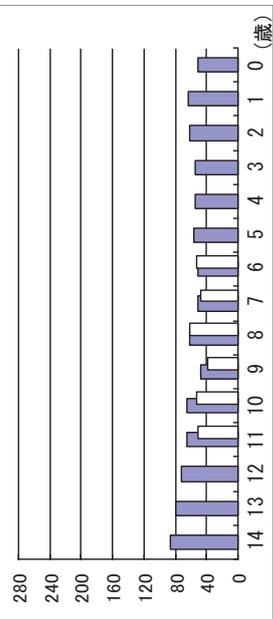


3 学区内の学齢・学齢前人口(H28/5/1付データ)

年齢	14歳	13歳	12歳	11歳	10歳	9歳	8歳	7歳	6歳	5歳	4歳	3歳	2歳	1歳	0歳
H28学年															
居住人数	86	80	72	65	65	48	62	51	51	56	55	54	62	63	51
H28児童数				51	52	38	61	48	52						
H28学級数				2	2	1	2	2	2						

①今後の児童数の推移について

学区内に住む学齢前人口は2学級規模で推移する見込みです。



4 適正規模・適正配置の方向性

児童数・学級数ともに減少傾向は見られますが、周囲の学校と適正な距離が保たれており、直ちに適正規模・適正配置の検討をすることはありません。

1 学校基礎データ

学校名 鹿浜五色桜小学校 所在地 123-0872 足立区江北6-10-2  
 交通 西新井大師西駅(日暮里・舎人ライナー)下車徒歩3分  
 大師前駅(東武大師線)下車徒歩18分

開校年月日 平成27年4月1日 敷地面積 9,042 m<sup>2</sup> 特別支援学級 情緒障がい等  
 建築年 昭和47年(改築中) 延床面積 6,195 m<sup>2</sup> 学童保育室

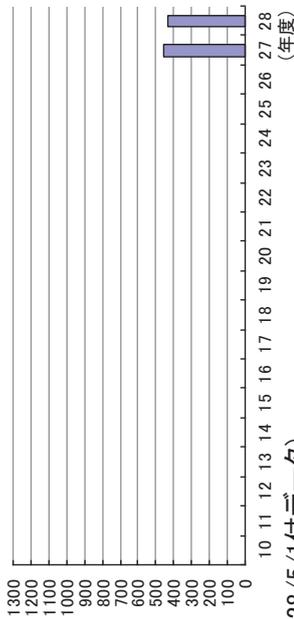
設計基準強度 21N/mm<sup>2</sup>

2 これまでの学校規模の推移(各年度とも5/1付データ)

年度	10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年	27年	28年		
在籍人数																			460	435	
学級																				15	14

①これまでの学校規模の推移について

平成27年4月に統合し、適正な学校規模となっています。14学級から15学級となっています。

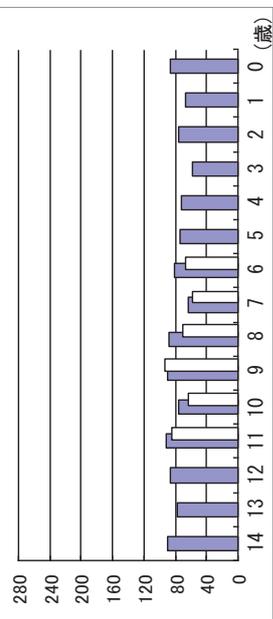


3 学区内の学齢・学齢前人口(H28/5/1付データ)

年齢	14歳	13歳	12歳	11歳	10歳	9歳	8歳	7歳	6歳	5歳	4歳	3歳	2歳	1歳	0歳
H28学年															
居住人数	89	77	86	92	76	89	88	64	81	74	72	58	76	67	87
H28児童数				84	63	93	70	58	67						
H28学級数				3	2	3	2	2	2						

①今後の児童数の推移について

学区内に住む学齢前人口は2学級から3学級規模で推移する見込みです。



4 適正規模・適正配置の方向性

平成27年4月に上沼田小学校と鹿浜小学校を統合しました。今後も適正規模で推移していくことが見込まれます。平成29年度には新校舎へ移転する予定です。

1 学校基礎データ

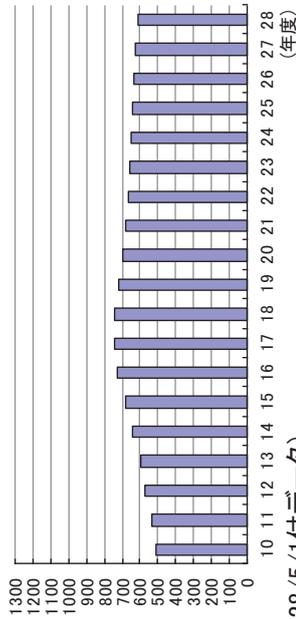
学校名	鹿浜第一小学校	所在地	123-0863 足立区谷在家2-24-1
交通	西新井駅(東武線)から東武バス谷在家下車徒歩5分 谷在家駅(日暮里・舎人ライナー)下車徒歩8分		
開校年月日	昭和41年4月1日	敷地面積	12,636 m <sup>2</sup>
建築年	昭和40年	延床面積	6,022 m <sup>2</sup>
設計基準強度	18N/mm <sup>2</sup>		

2 これまでの学校規模の推移(各年度とも5/1付データ)

年度	10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年	27年	28年
在籍人数	512	532	576	597	643	684	729	746	718	699	681	664	659	650	646	634	628	615	
学級	17	17	19	20	20	22	22	22	22	21	21	20	19	20	20	19	19	19	18

①これまでの学校規模の推移について

平成21年度以降、18学級から20学級で推移しており、児童数・学級数ともに適正な学校規模となっています。

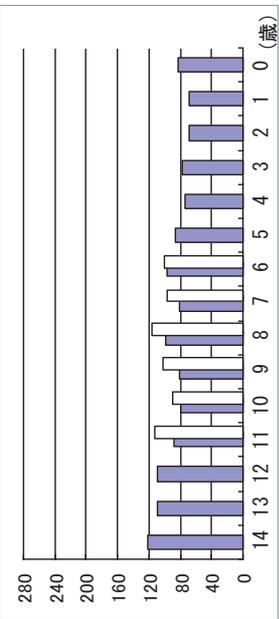


3 学区内の学齢・学齢前人口(H28/5/1付データ)

年齢	14歳	13歳	12歳	11歳	10歳	9歳	8歳	7歳	6歳	5歳	4歳	3歳	2歳	1歳	0歳
H28学年				6年	5年	4年	3年	2年	1年						
居住人数	122	110	109	88	80	81	98	81	97	87	74	78	68	68	83
H28児童数				112	89	102	116	96	100						
H28学級数				3	3	3	3	3	3						

①今後の児童数の推移について

学区内に住む学齢前人口は2学級から3学級規模で推移する見込みです。



4 適正規模・適正配置の方向性

適正規模で推移していくことが見込まれます。近隣の小学校の統合により、適正な配置が保たれています。

1 学校基礎データ

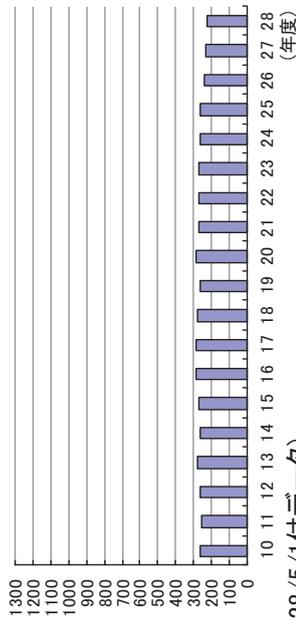
学校名	鹿浜西小学校	所在地	123-0864 足立区鹿浜2-24-1
交通	西新井駅(東武線)から東武バス鹿浜下車徒歩3分 王子・赤羽駅(JR等)から都営バス鹿浜橋下車徒歩3分		
開校年月日	昭和44年4月1日	敷地面積	10,153 m <sup>2</sup>
建築年	昭和44年	延床面積	4,226 m <sup>2</sup>
設計基準強度	18N/mm <sup>2</sup>		

2 これまでの学校規模の推移(各年度とも5/1付データ)

年度	10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年	27年	28年
在籍人数	262	254	263	279	266	274	286	285	275	262	284	274	269	273	264	264	243	232	223
学級	9	8	9	11	9	11	11	10	10	11	11	10	9	10	10	11	10	10	8

①これまでの学校規模の推移について

平成26年度以降、児童数・学級数ともに減少傾向が見られます。

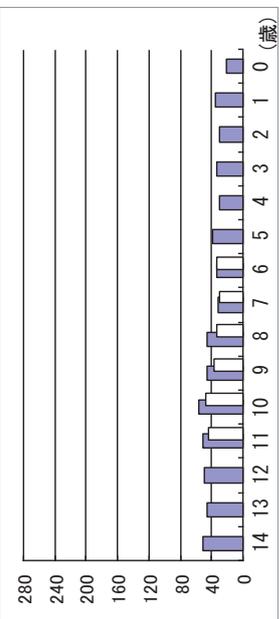


3 学区内の学齢・学齢前人口(H28/5/1付データ)

年齢	14歳	13歳	12歳	11歳	10歳	9歳	8歳	7歳	6歳	5歳	4歳	3歳	2歳	1歳	0歳
H28学年				6年	5年	4年	3年	2年	1年						
居住人数	51	46	49	51	56	45	45	31	33	38	30	33	30	35	22
H28児童数				43	48	36	34	29	33						
H28学級数				2	2	1	1	1	1						

①今後の児童数の推移について

学区内に住む学齢前人口は1学級から2学級規模で推移する見込みです。



4 適正規模・適正配置の方向性

児童数・学級数の減少傾向が続いています。また、隣接する北鹿浜小学校も小規模傾向が見られるため、この地域全体での適正規模・適正配置の検討が必要です。

1 学校基礎データ

学校名 島根小学校 所在地 121-0815 足立区島根3-28-11  
 交通 西新井駅(東武線)下車徒歩5分

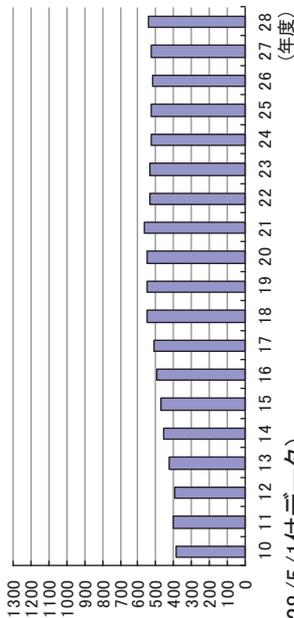
開校年月日 昭和36年10月1日 敷地面積 9,240㎡ 特別支援学級  
 建築年 平成14年 延床面積 7,732㎡ 学童保育室 あり  
 設計基準強度 24N/mm<sup>2</sup>

2 これまでの学校規模の推移(各年度とも5/1付データ) \*普通学級の人数です。

年度	10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年	27年	28年
在籍人数	388	399	396	424	454	470	499	512	551	547	552	567	531	532	523	530	516	525	545
学級	12	12	12	13	14	14	15	16	17	17	17	18	17	17	16	17	17	17	18

①これまでの学校規模の推移について

平成21年度以降、16学級から18学級で推移しており、児童数・学級数とも適正な学校規模となっています。

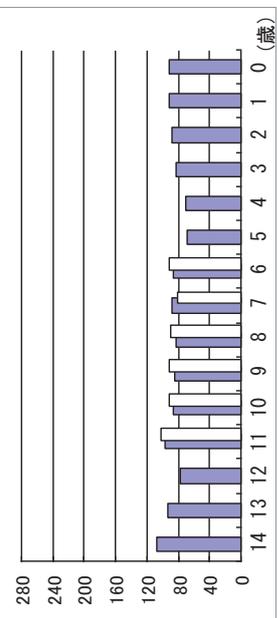


3 学区内の学齢・学齢前人口(H28/5/1付データ)

年齢	14歳	13歳	12歳	11歳	10歳	9歳	8歳	7歳	6歳	5歳	4歳	3歳	2歳	1歳	0歳
H28学年				3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3
居住人数	107	93	78	97	86	85	83	88	87	68	71	83	88	91	92
H28児童数				101	91	91	90	81	91						
H28学級数				3	3	3	3	3	3						

①今後の児童数の推移について

学区内に住む学齢前人口は増加傾向にあります。2学級から3学級規模で推移する見込みです。



4 適正規模・適正配置の方向性

適正規模で推移していくことが見込まれます。

1 学校基礎データ

学校名 新田小学校 所在地 123-0865 足立区新田3-34-2(第二校舎:足立区新田3-30-16)  
 交通 北千住駅(東武線等)から都営バス「ハートアイランド西下車1分  
 王子駅(JR等)から都営バス「ハートアイランド南下車徒歩3分

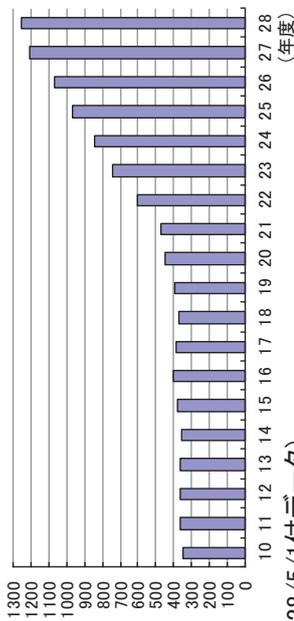
開校年月日 昭和23年4月1日 敷地面積 16,000㎡ 特別支援学級 知的障がい  
 建築年 平成22年 延床面積 12,340㎡ 学童保育室 あり  
 設計基準強度 30N/mm<sup>2</sup>

2 これまでの学校規模の推移(各年度とも5/1付データ) \*普通学級の人数です。

年度	10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年	27年	28年
在籍人数	346	362	361	363	358	381	399	389	370	393	446	475	607	739	843	965	1067	1208	1251
学級	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	13	15	18	22	26	29	32	36

①これまでの学校規模の推移について

平成24年度に児童数・学級数ともに大規模となり、平成26年度以降、30学級を超える規模となっています。

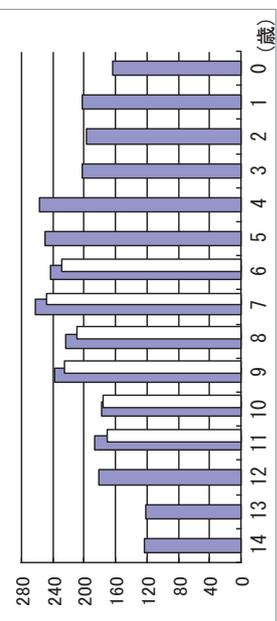


3 学区内の学齢・学齢前人口(H28/5/1付データ)

年齢	14歳	13歳	12歳	11歳	10歳	9歳	8歳	7歳	6歳	5歳	4歳	3歳	2歳	1歳	0歳
H28学年				5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5
居住人数	123	122	181	187	178	237	224	262	243	250	257	203	198	202	164
H28児童数				170	175	224	209	246	227						
H28学級数				5	5	6	6	8	7						

①今後の児童数の推移について

学区内に住む学齢前人口は減少傾向にあります。5学級から8学級規模で推移し、現状よりも増加する見込みです。



4 適正規模・適正配置の方向性

現在、37学級となっています。しかし、周囲を河川に囲まれていることから、適正規模・適正配置の検討が困難な地域です。

# 1 学校基礎データ

学校名 関原小学校 所在地 123-0852 足立区関原3-38-3  
 交通 西新井駅(東武線)下車徒歩12分

開校年月日 昭和7年4月1日 敷地面積 7,209㎡ 特別支援学級 知的障がい  
 建築年 平成28年 延床面積 7,650㎡ 学童保育室

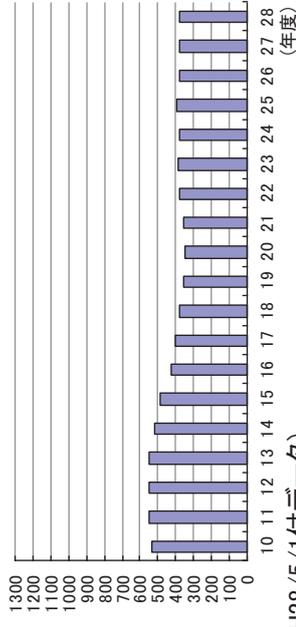
設計基準強度 27N/mm<sup>2</sup>

## 2 これまでの学校規模の推移(各年度とも5/1付データ)

年度	10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年	27年	28年
在籍人数	537	546	549	547	517	488	427	400	380	355	351	359	382	389	380	391	383	380	377
学級	16	17	17	17	16	15	14	14	13	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12

### ①これまでの学校規模の推移について

平成21年度以降、12学級から13学級で推移しています。平成22年度から、児童数・学級数とも適正な学校規模となっています。



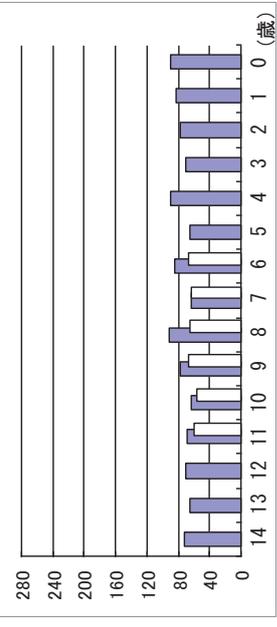
## 3 学区内の学齢・学齢前人口(H28/5/1付データ)

年齢	14歳	13歳	12歳	11歳	10歳	9歳	8歳	7歳	6歳	5歳	4歳	3歳	2歳	1歳	0歳
H28学年	6年	5年	4年	3年	2年	1年	66	80	76	101	78	80	94	111	117
居住人数	66	80	76	101	78	80	94	111	117	130	151	181	179	208	191
H28児童数	91	72	71	87	100	104	91	72	71	87	100	104	100	104	104
H28学級数	3	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2

### ①今後の児童数の推移について

学区内に住む学齢前人口は2学級から3学級規模で推移する見込みです。

### ②学区内の学齢・学齢前人口の推移グラフ



■ 居住人数 □ H28児童数

## 4 適正規模・適正配置の方向性

平成24年度の本木東小学校と本木小学校の統合に伴い、学区変更を行いました。平成28年度には施設更新が完了し、新校舎へ移転しました。引き続き、適正規模で推移していくことが見込まれます。

# 1 学校基礎データ

学校名 千寿小学校 所在地 120-0043 足立区千住宮元町6-1(仮設校舎:足立区千住緑町1-4-16)  
 交通 北千住駅(東武線等)下車徒歩15分  
 千住大橋駅(京成線)下車徒歩5分

開校年月日 平成14年4月1日 敷地面積 7,681㎡ 特別支援学級  
 建築年 昭和44年(改築中) 延床面積 4,747㎡ 学童保育室

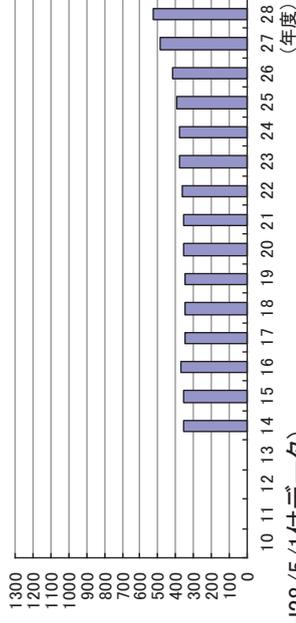
設計基準強度 18N/mm<sup>2</sup>

## 2 これまでの学校規模の推移(各年度とも5/1付データ)

年度	10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年	27年	28年
在籍人数					355	357	368	348	351	347	353	364	383	383	395	421	489	525	
学級					12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	13	13	14	15	16

### ①これまでの学校規模の推移について

12学級から16学級で推移しており、平成23年度以降は児童数・学級数ともに適正な学校規模となっています。



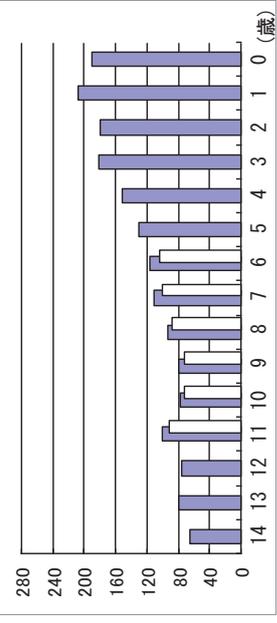
## 3 学区内の学齢・学齢前人口(H28/5/1付データ)

年齢	14歳	13歳	12歳	11歳	10歳	9歳	8歳	7歳	6歳	5歳	4歳	3歳	2歳	1歳	0歳
H28学年	6年	5年	4年	3年	2年	1年	66	80	76	101	78	80	94	111	117
居住人数	66	80	76	101	78	80	94	111	117	130	151	181	179	208	191
H28児童数	91	72	71	87	100	104	91	72	71	87	100	104	100	104	104
H28学級数	3	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2

### ①今後の児童数の推移について

学区内に住む学齢前人口は4学級から6学級規模で推移する見込みです。大規模住宅等の建設により、増加傾向にあります。

### ②学区内の学齢・学齢前人口の推移グラフ



■ 居住人数 □ H28児童数

## 4 適正規模・適正配置の方向性

大規模住宅等の建設により高激な人口増加が見込まれ、大規模化の傾向が見られます。現在既存校舎の建て替えを行っており、平成31年度から新校舎で学校運営を開始する予定です。

1 学校基礎データ

学校名 千寿桜小学校 所在地 120-0045 足立区千住桜木1-8-15  
 交通 北千住駅(東武線等)下車徒歩15分

北千住駅(東武線等)から東武・都営バス龍田町下車徒歩3分

開校年月日 平成4年4月1日 敷地面積 8,175 m<sup>2</sup> 特別支援学級 知的障がい  
 建築年 平成6年 延床面積 8,987 m<sup>2</sup> 学童保育室 あり

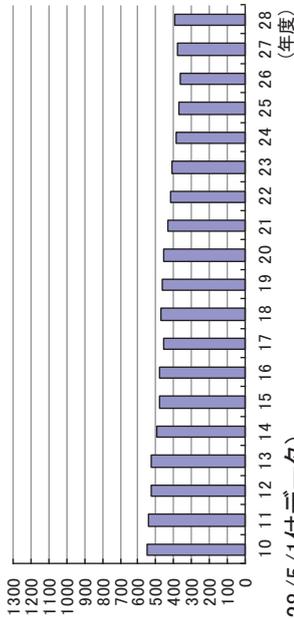
設計基準強度 21N/mm<sup>2</sup>

2 これまでの学校規模の推移(各年度とも5/1付データ)

年度	10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年	27年	28年
在籍人数	553	543	527	526	498	483	481	458	469	464	458	430	419	388	375	363	383	397	
学級	18	18	16	17	16	16	15	14	15	15	15	14	13	12	12	12	13	14	

①これまでの学校規模の推移について

平成21年度以降、12学級から14学級で推移しており、児童数・学級数とも適正な学校規模となっています。

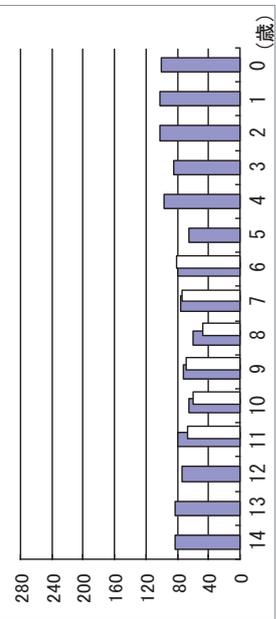


3 学区内の学齢・学齢前人口(H28/5/1付データ)

年齢	14歳	13歳	12歳	11歳	10歳	9歳	8歳	7歳	6歳	5歳	4歳	3歳	2歳	1歳	0歳
H28学年	82	83	74	80	65	72	59	76	80	66	97	84	102	103	100
居住人数	67	60	69	48	73	80									
H28児童数	2	2	2	2	3	3									
H28学級数	2	2	2	2	3	3									

①今後の児童数の推移について

学区内に住む学齢前人口は増加傾向にあり、2学級から3学級規模で推移する見込みです。



■ 居住人数 □ H28児童数

4 適正規模・適正配置の方向性

適正規模で推移していくことが見込まれます。

1 学校基礎データ

学校名 千寿常東小学校 所在地 120-0026 足立区千住旭町10-31  
 交通 北千住駅(東武線等)下車徒歩5分

開校年月日 平成14年4月1日 敷地面積 9,563 m<sup>2</sup> 特別支援学級 知的障がい  
 建築年 昭和38年 延床面積 6,568 m<sup>2</sup> 学童保育室 あり

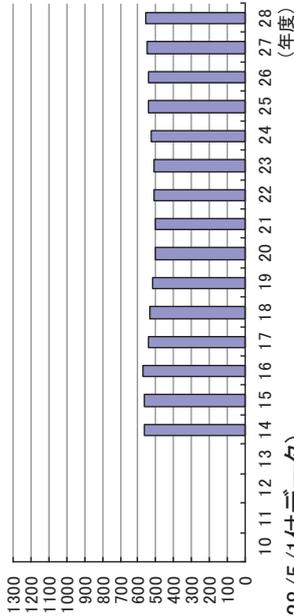
設計基準強度 18N/mm<sup>2</sup>

2 これまでの学校規模の推移(各年度とも5/1付データ)

年度	10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年	27年	28年
在籍人数					565	565	574	541	534	518	504	502	507	509	530	538	542	552	560
学級					17	17	17	17	17	17	16	15	16	16	17	18	18	18	18

①これまでの学校規模の推移について

15学級から18学級で推移しており、児童数・学級数とも適正な学校規模となっています。

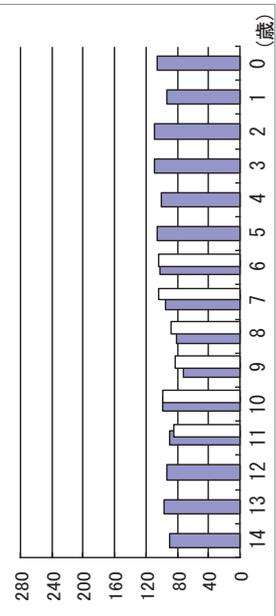


3 学区内の学齢・学齢前人口(H28/5/1付データ)

年齢	14歳	13歳	12歳	11歳	10歳	9歳	8歳	7歳	6歳	5歳	4歳	3歳	2歳	1歳	0歳
H28学年	89	96	94	90	98	72	81	95	103	105	101	109	109	94	106
居住人数	84	84	88	83	88	104	103								
H28児童数	3	3	3	3	3	3									
H28学級数	3	3	3	3	3	3									

①今後の児童数の推移について

学区内に住む学齢前人口は3学級から4学級規模で推移する見込みです。



■ 居住人数 □ H28児童数

4 適正規模・適正配置の方向性

適正規模で推移していくことが見込まれます。最も古い校舎は昭和38年に建てられ、施設更新の検討が必要と見込まれます。

1 学校基礎データ

学校名 千寿第八小学校 所在地 120-0024 足立区千住開屋町16-1  
 交通 牛田駅(東武線)下車徒歩10分

北千住駅(東武線等)下車徒歩15分

開校年月日 昭和13年4月1日 敷地面積 9,439㎡ 特別支援学級  
 建築年 昭和41年 延床面積 6,532㎡ 学童保育室 あり

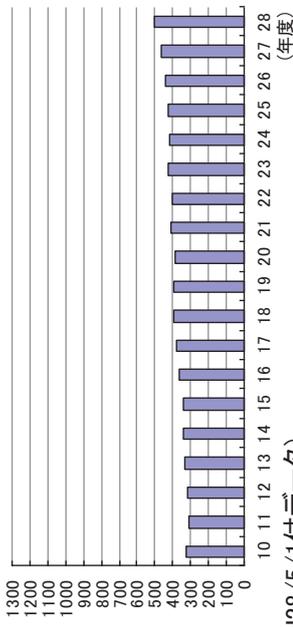
設計基準強度 18N/mm<sup>2</sup>

2 これまでの学校規模の推移(各年度とも5/1付データ)

年度	10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年	27年	28年
在籍人数	327	309	320	336	340	338	361	378	395	396	390	413	401	425	419	429	442	468	505
学級	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	13	12	13	14	15	16

①これまでの学校規模の推移について

児童数・学級数ともに増加傾向にあり、12学級から16学級で推移しています。児童数・学級数ともに適正な学校規模となっています。



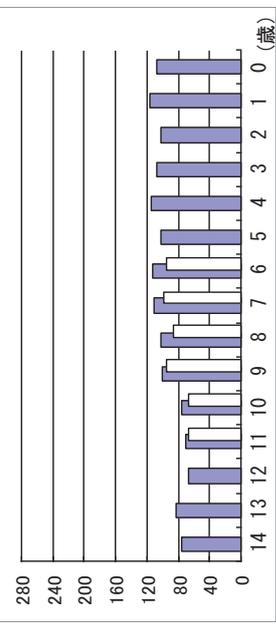
(年度)

3 学区内の学齢・学齢前人口(H28/5/1付データ)

年齢	14歳	13歳	12歳	11歳	10歳	9歳	8歳	7歳	6歳	5歳	4歳	3歳	2歳	1歳	0歳
H28学年				6年	5年	4年	3年	2年	1年						
居住人数	76	83	67	71	76	101	102	111	113	103	114	107	103	117	107
H28児童数				67	67	94	85	98	94						
H28学級数				2	2	3	3	3	3						

①今後の児童数の推移について

学区内に住む学齢前人口は3学級から4学級規模で推移する見込みです。



(年度)

■ 居住人数 □ H28児童数

4 適正規模・適正配置の方向性

大規模開発による一時的な人口増加が見られますが、適正規模で推移していくことが見込まれます。

1 学校基礎データ

学校名 千寿双葉小学校 所在地 120-0031 足立区千住大川町17-1  
 交通 北千住駅(東武線等)下車徒歩13分

北千住駅(東武線等)から東武・都営バス千住四丁目下車徒歩3分

開校年月日 平成17年4月1日 敷地面積 7,949㎡ 特別支援学級  
 建築年 平成19年 延床面積 7,551㎡ 学童保育室 あり

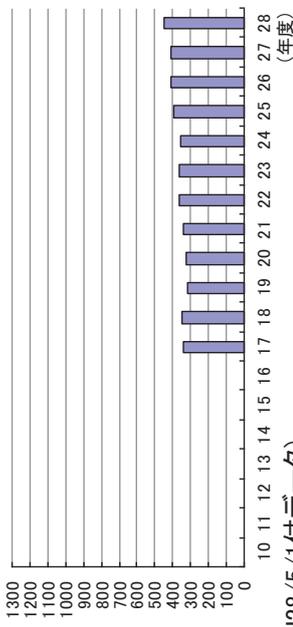
設計基準強度 21N/mm<sup>2</sup>

2 これまでの学校規模の推移(各年度とも5/1付データ)

年度	10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年	27年	28年
在籍人数							342	346	320	326	338	360	362	359	391	408	413	445	
学級							12	12	11	12	12	12	12	12	13	13	12	14	

①これまでの学校規模の推移について

開校以来、12学級から14学級で推移しており、児童数・学級数ともに適正な学校規模となっています。



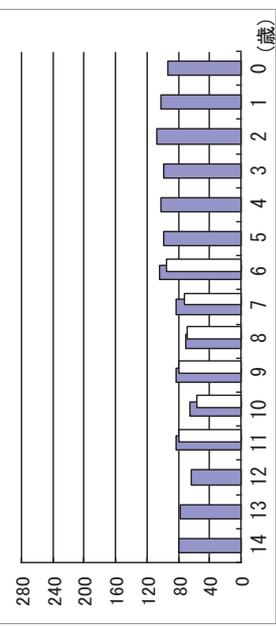
(年度)

3 学区内の学齢・学齢前人口(H28/5/1付データ)

年齢	14歳	13歳	12歳	11歳	10歳	9歳	8歳	7歳	6歳	5歳	4歳	3歳	2歳	1歳	0歳
H28学年				6年	5年	4年	3年	2年	1年						
居住人数	79	77	64	82	66	82	70	83	104	99	102	98	107	103	93
H28児童数				78	56	78	68	71	94						
H28学級数				2	2	2	2	2	3						

①今後の児童数の推移について

学区内に住む学齢前人口は3学級から4学級規模で推移する見込みです。



(年度)

■ 居住人数 □ H28児童数

4 適正規模・適正配置の方向性

適正規模で推移していくことが見込まれます。

1 学校基礎データ

学校名 千寿本町小学校 所在地 120-0034 足立区千住3-30  
 交通 北千住駅(東武線等)下車徒歩5分

開校年月日 平成3年4月1日 敷地面積 6,252 m<sup>2</sup> 特別支援学級 難聴・言語障がい  
 建築年 平成5年 延床面積 8,889 m<sup>2</sup> 学童保育室

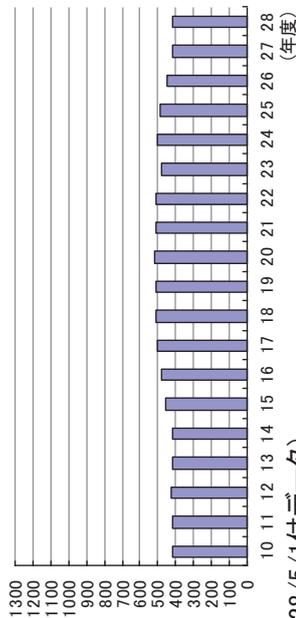
設計基準強度 21N/mm<sup>2</sup>

2 これまでの学校規模の推移(各年度とも5/1付データ)

年度	10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年	27年	28年
在籍人数	420	418	426	417	420	458	478	506	511	507	522	512	509	481	501	484	451	420	419
学級	13	12	13	13	14	14	15	15	15	15	15	15	15	14	15	15	14	13	13

①これまでの学校規模の推移について

平成21年度以降、13学級から15学級で推移しており、児童数・学級数ともに適正な学校規模となっております。



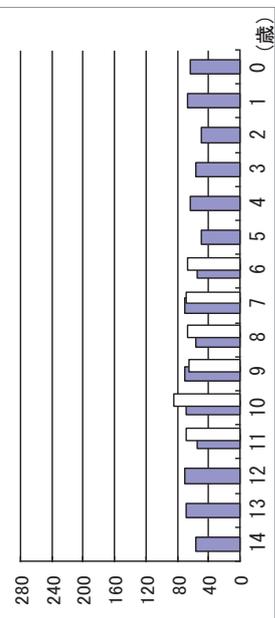
(年度)

3 学区内の学齢・学齢前人口(H28/5/1付データ)

年齢	14歳	13歳	12歳	11歳	10歳	9歳	8歳	7歳	6歳	5歳	4歳	3歳	2歳	1歳	0歳
H28学年				6年	5年	4年	3年	2年	1年						
居住人数	57	68	71	55	68	71	56	71	55	49	63	56	50	67	64
H28児童数				69	84	65	66	68	67						
H28学級数				2	3	2	2	2	2						

①今後の児童数の推移について

学区内に住む学齢前人口は2学級規模で推移する見込みです。



(年度)

4 適正規模・適正配置の方向性

学区域外からの入学者が多く見られるため、適正規模で推移していくことが見込まれます。今後、再開発計画等による人口増に注視する必要があります。

1 学校基礎データ

学校名 竹の塚小学校 所在地 121-0813 足立区竹の塚1-8-1  
 交通 竹ノ塚駅(東武線)下車徒歩7分

開校年月日 昭和43年4月1日 敷地面積 11,593 m<sup>2</sup> 特別支援学級  
 建築年 昭和43年 延床面積 6,221 m<sup>2</sup> 学童保育室 あり

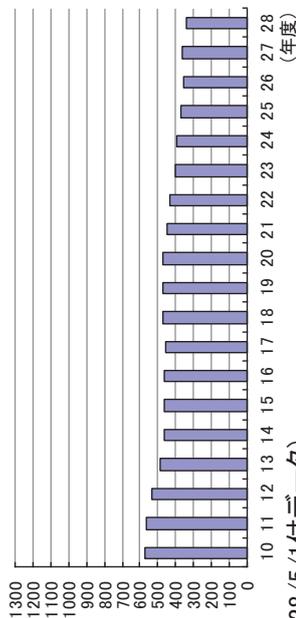
設計基準強度 18N/mm<sup>2</sup>

2 これまでの学校規模の推移(各年度とも5/1付データ)

年度	10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年	27年	28年
在籍人数	570	563	533	489	465	463	462	455	470	475	469	450	430	401	394	373	354	364	344
学級	18	18	17	16	15	14	14	14	14	14	14	14	13	12	13	12	12	12	12

①これまでの学校規模の推移について

平成21年度以降、12学級から14学級で推移しており、児童数・学級数ともに減少傾向にあります。



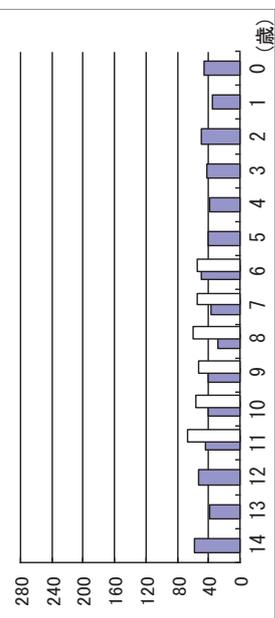
(年度)

3 学区内の学齢・学齢前人口(H28/5/1付データ)

年齢	14歳	13歳	12歳	11歳	10歳	9歳	8歳	7歳	6歳	5歳	4歳	3歳	2歳	1歳	0歳
H28学年				6年	5年	4年	3年	2年	1年						
居住人数	58	39	53	44	40	40	29	37	49	41	38	42	49	36	45
H28児童数				66	56	53	60	55	54						
H28学級数				2	2	2	2	2	2						

①今後の児童数の推移について

学区内に住む学齢前人口は1学級から2学級規模で推移する見込みです。学区域外からの入学者が多くなります。



(年度)

4 適正規模・適正配置の方向性

学区域外からの入学者が多く見られます。学校選択の状況によって、適正規模を維持していくことが見込まれます。

1 学校基礎データ

学校名 辰沼小学校 所在地 120-0006 足立区谷中5-12-1  
 交通 北綾瀬駅(千代田線)下車徒歩15分

開校年月日 昭和53年4月1日 敷地面積 14,807㎡ 特別支援学級 情緒障がい等  
 建築年 昭和53年 延床面積 6,093㎡ 学童保育室 あり

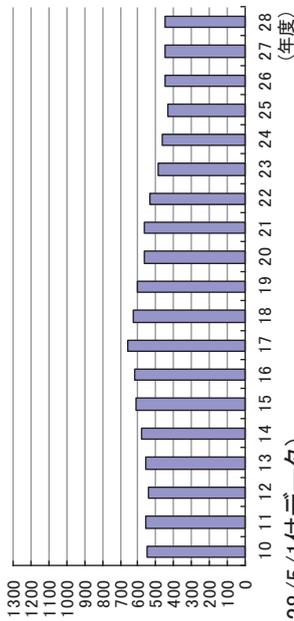
設計基準強度 21N/mm<sup>2</sup>

2 これまでの学校規模の推移(各年度とも5/1付データ)

年度	10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年	27年	28年
在籍人数	547	554	541	558	579	614	620	657	630	606	563	562	536	484	464	437	452	447	451
学級	18	18	17	17	17	17	17	17	18	17	18	17	18	17	16	14	13	15	15

①これまでの学校規模の推移について

平成23年度以降、13学級から16学級で推移しており、児童数・学級数とも適正な学校規模になっていきます。

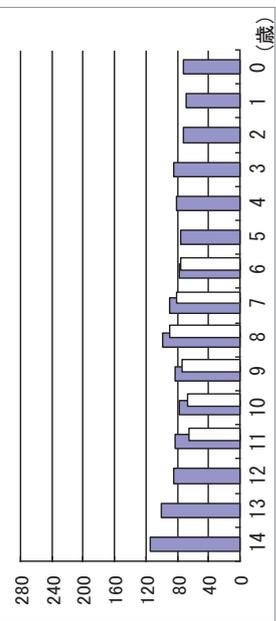


3 学区内の学齢・学齢前人口(H28/5/1付データ)

年齢	14歳	13歳	12歳	11歳	10歳	9歳	8歳	7歳	6歳	5歳	4歳	3歳	2歳	1歳	0歳
H28学年															
居住人数	115	100	85	83	77	82	99	90	78	75	81	84	72	68	73
H28児童数				64	67	74	89	81	76						
H28学級数			2	2	2	2	3	3	3						

①今後の児童数の推移について

学区内に住む学齢前人口は2学級から3学級規模で推移する見込みです。



4 適正規模・適正配置の方向性

適正規模で推移していくことが見込まれます。

1 学校基礎データ

学校名 寺地小学校 所在地 123-0873 足立区扇1-7-1  
 交通 北千住駅(東武線等)から東武バス本木小学校前下車徒歩10分  
 扇大橋駅(日暮里・舎人ライナー)下車徒歩8分

開校年月日 昭和15年9月16日 敷地面積 9,637㎡ 特別支援学級  
 建築年 昭和43年 延床面積 6,229㎡ 学童保育室

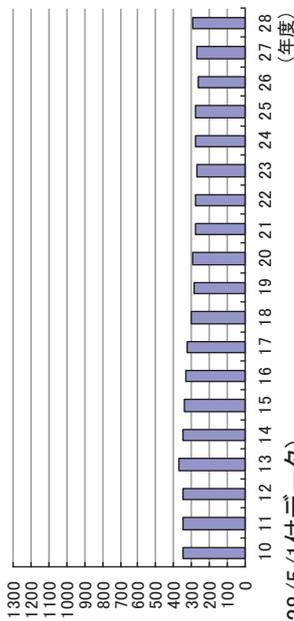
設計基準強度 18N/mm<sup>2</sup>

2 これまでの学校規模の推移(各年度とも5/1付データ)

年度	10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年	27年	28年
在籍人数	352	350	352	370	351	344	334	322	302	288	297	280	275	273	276	275	262	267	295
学級	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	10	12	12	12	11	10	10	11

①これまでの学校規模の推移について

児童数・学級数ともに減少傾向がみられます。学級数は平成21年度以降、12学級から10学級に減少しています。

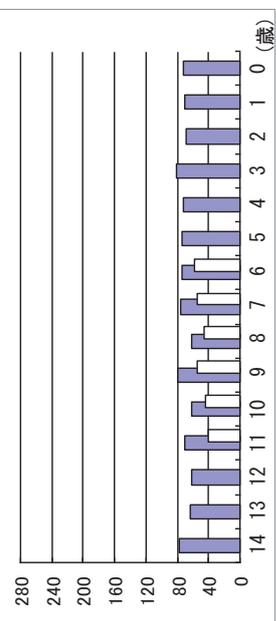


3 学区内の学齢・学齢前人口(H28/5/1付データ)

年齢	14歳	13歳	12歳	11歳	10歳	9歳	8歳	7歳	6歳	5歳	4歳	3歳	2歳	1歳	0歳
H28学年															
居住人数	77	64	61	70	61	79	61	75	74	74	72	81	69	70	73
H28児童数				41	43	54	45	54	58						
H28学級数			1	2	2	2	2	2	2						

①今後の児童数の推移について

学区内に住む学齢前人口は今後もほぼ横ばいが続き、2学級から3学級規模で推移する見込みです。大規模住宅の建設が予定されています。



4 適正規模・適正配置の方向性

隣接する本木小学校が平成24年度に統合しました。大規模住宅建設後の状況によっては児童数が増える可能性があります。

1 学校基礎データ

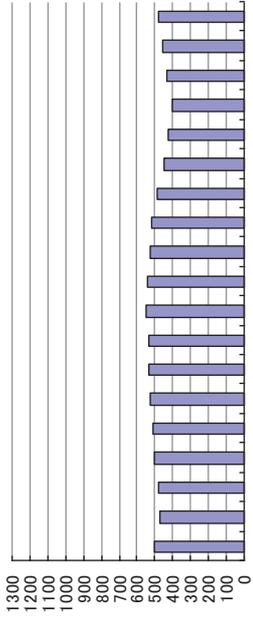
学校名	舎人小学校	所在地	121-0831 足立区舎人1-25-32
交通	竹ノ塚駅(東武線)から東武バス舎人町下車徒歩5分 舎人駅(日暮里・舎人ライナー)下車徒歩1分		
開校年月日	明治26年1月28日	敷地面積	10,685 m <sup>2</sup>
建築年	昭和44年	延床面積	6,376 m <sup>2</sup>
設計基準強度	18N/mm <sup>2</sup>	特別支援学級	
		学童保育室	あり

2 これまでの学校規模の推移(各年度とも5/1付データ)

年度	10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	17年	18年	18年	17年	16年	15年	14年	13年	13年	14年	15年	28年
在籍人数	501	472	476	504	510	523	532	534	547	542	530	520	485	451	422	403	434	453	477	
学級	15	14	14	15	16	17	17	17	17	18	18	17	16	15	14	13	13	13	14	15

①これまでの学校規模の推移について

平成22年度以降、13学級から15学級で推移しており、児童数・学級数ともに適正な学校規模となっています。

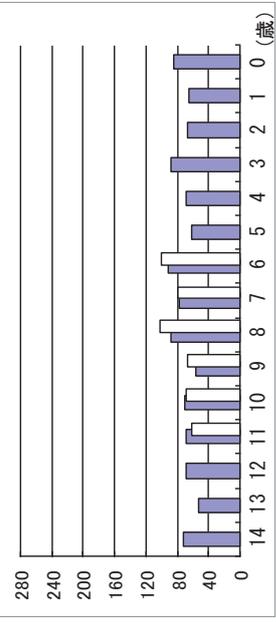


3 学区内の学齢・学齢前人口(H28/5/1付データ)

年齢	14歳	13歳	12歳	11歳	10歳	9歳	8歳	7歳	6歳	5歳	4歳	3歳	2歳	1歳	0歳
H28学年															
居住人数	72	52	69	68	70	57	88	78	91	62	68	88	67	66	84
H28児童数															
H28学級数	2	2	2	2	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3

①今後の児童数の推移について

学区内に住む学齢前人口は2学級から3学級規模で推移する見込みです。日暮里・舎人ライナー沿線のため、今後の開発状況等に注視していただく必要があります。



4 適正規模・適正配置の方向性

学区域外からの入学者が多く見られますが、隣接する小学校が減少傾向にあることから、この地域全体での適正規模・適正配置の検討が必要です。

1 学校基礎データ

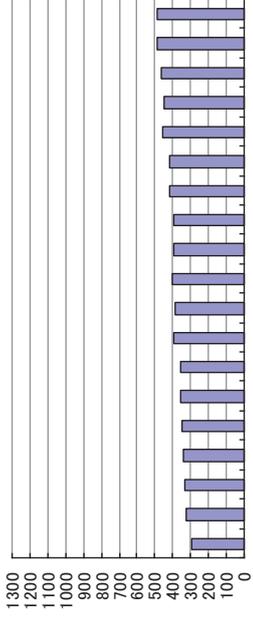
学校名	舎人第一小学校	所在地	121-0831 足立区舎人6-4-1
交通	竹ノ塚駅(東武線)から東武バス見沼代親水公園駅下車徒歩7分 見沼代親水公園駅(日暮里・舎人ライナー)下車徒歩7分		
開校年月日	昭和61年4月1日	敷地面積	9,471 m <sup>2</sup>
建築年	昭和61年	延床面積	8,969 m <sup>2</sup>
設計基準強度	21N/mm <sup>2</sup>	特別支援学級	
		学童保育室	

2 これまでの学校規模の推移(各年度とも5/1付データ)

年度	10年	11年	12年	28年																	
在籍人数	297	323	332	340	350	359	392	388	401	392	391	421	421	455	448	468	490	486			
学級	11	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	14	15	16	15	16	16	16	16

①これまでの学校規模の推移について

平成22年度以降、児童数・学級数ともに増加傾向にあります。14学級から16学級で推移しており、児童数・学級数ともに適正規模となっています。

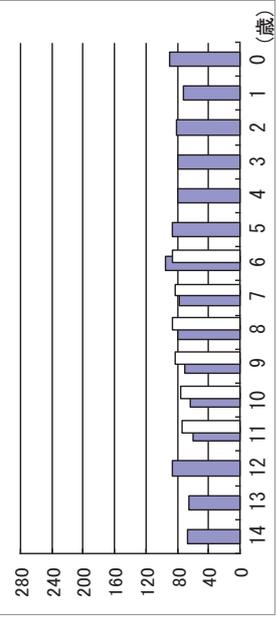


3 学区内の学齢・学齢前人口(H28/5/1付データ)

年齢	14歳	13歳	12歳	11歳	10歳	9歳	8歳	7歳	6歳	5歳	4歳	3歳	2歳	1歳	0歳
H28学年															
居住人数	67	65	86	60	64	71	79	77	95	87	80	79	81	73	90
H28児童数															
H28学級数	2	2	2	2	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3

①今後の児童数の推移について

学区内に住む学齢前人口は2学級から3学級規模で推移する見込みです。



4 適正規模・適正配置の方向性

適正規模で推移していくことが見込まれますが、隣接する小学校が減少傾向にあることから、この地域全体での適正規模・適正配置の検討が必要です。

1 学校基礎データ

学校名 中川小学校 所在地 120-0001 足立区大谷田3-17-20  
 交通 亀有駅(JR)から東武バス中川小学校前下車徒歩1分

開校年月日 昭和37年4月1日 敷地面積 12,861 m<sup>2</sup> 特別支援学級  
 建築年 昭和37年(H22大規模改修) 延床面積 4,778 m<sup>2</sup> 学童保育室

設計基準強度 21N/mm<sup>2</sup>

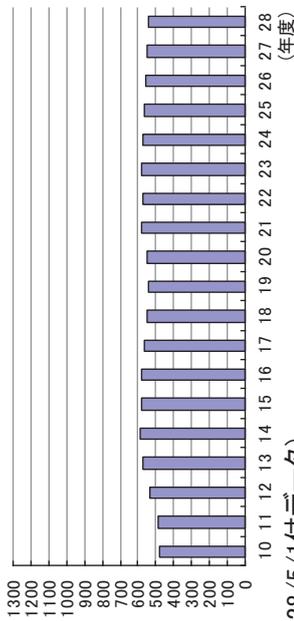
2 これまでの学校規模の推移(各年度とも5/1付データ)

年度	10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年	27年	28年
在籍人数	476	485	535	572	587	580	583	563	548	538	546	582	576	583	575	566	559	550	538
学級	16	15	16	17	18	18	17	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18

\* 普通学級の数です。

①これまでの学校規模の推移について

平成21年度以降、18学級で一定しており、児童数・学級数ともに適正な学校規模となっています。



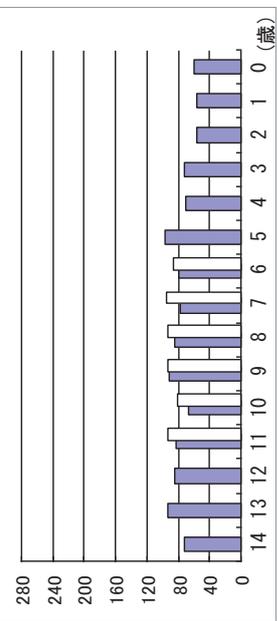
(年度)

3 学区内の学齢・学齢前人口(H28/5/1付データ)

年齢	14歳	13歳	12歳	11歳	10歳	9歳	8歳	7歳	6歳	5歳	4歳	3歳	2歳	1歳	0歳
H28学年															
居住人数	72	93	84	83	67	92	85	78	79	97	70	72	57	56	60
H28児童数															
H28学級数															

①今後の児童数の推移について

学区内に住む学齢前人口は2学級から3学級規模で推移する見込みです。



(年度)

■ 居住人数 □ H28児童数

4 適正規模・適正配置の方向性

適正規模で推移していくことが見込まれます。

1 学校基礎データ

学校名 中川北小学校 所在地 121-0052 足立区六木1-6-10  
 交通 亀有駅(JR)または綾瀬駅(千代田線)から東武バス六木団地下車徒歩1分

開校年月日 昭和47年4月1日 敷地面積 11,445 m<sup>2</sup> 特別支援学級  
 建築年 昭和47年 延床面積 6,376 m<sup>2</sup> 学童保育室

設計基準強度 18N/mm<sup>2</sup>

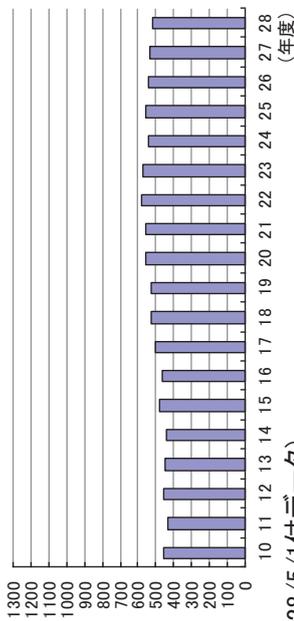
2 これまでの学校規模の推移(各年度とも5/1付データ)

年度	10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年	27年	28年
在籍人数	455	433	453	446	443	479	465	504	523	528	560	555	578	569	545	556	540	531	522
学級	13	13	14	15	16	16	16	16	16	17	17	18	18	18	18	18	18	18	17

\* 普通学級の数です。

①これまでの学校規模の推移について

平成21年度以降、17学級から18学級で推移しており、児童数・学級数ともに適正な学校規模となっています。



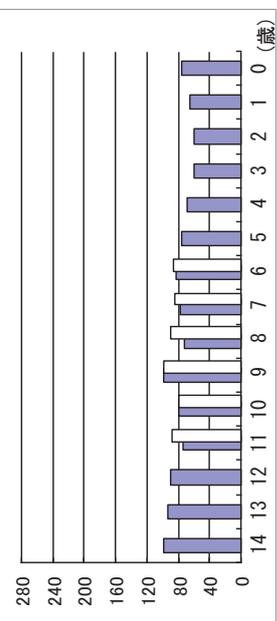
(年度)

3 学区内の学齢・学齢前人口(H28/5/1付データ)

年齢	14歳	13歳	12歳	11歳	10歳	9歳	8歳	7歳	6歳	5歳	4歳	3歳	2歳	1歳	0歳
H28学年															
居住人数	99	94	89	74	79	98	73	78	83	76	68	60	60	65	76
H28児童数															
H28学級数															

①今後の児童数の推移について

学区内に住む学齢前人口は2学級から3学級規模で推移する見込みです。



(年度)

■ 居住人数 □ H28児童数

4 適正規模・適正配置の方向性

適正規模で推移していくことが見込まれます。

1 学校基礎データ

学校名 中川東小学校 所在地 120-0001 足立区大谷2-1-10  
 交通 亀有駅(JR)から東武バス中川小学校下車徒歩2分

開校年月日 昭和55年4月1日 敷地面積 13,787㎡ 特別支援学級 難聴・言語障がい  
 建築年 昭和55年 延床面積 7,669㎡ 学童保育室 あり

設計基準強度 21N/mm<sup>2</sup>

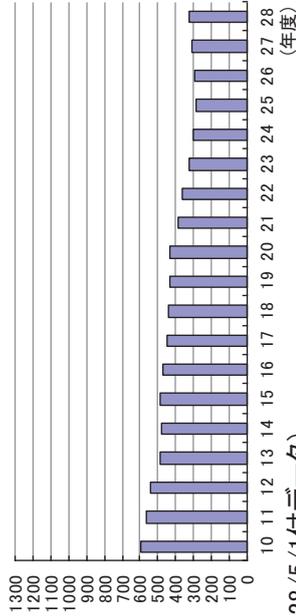
2 これまでの学校規模の推移(各年度とも5/1付データ)

年度	10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年	27年	28年
在籍人数	595	563	538	484	477	484	473	451	444	436	434	390	360	327	303	287	297	307	322
学級	18	18	18	15	15	14	13	13	12	12	12	11	12	12	12	12	12	12	12

\* 普通学級の人数です。

①これまでの学校規模の推移について

平成21年度以降、11学級から12学級で推移しており、児童数・学級数とも減少傾向にあります。

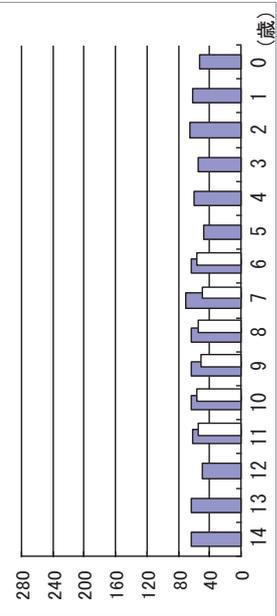


3 学区内の学齢・学齢前人口(H28/5/1付データ)

年齢	14歳	13歳	12歳	11歳	10歳	9歳	8歳	7歳	6歳	5歳	4歳	3歳	2歳	1歳	0歳
H28学年	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
居住人数	63	63	49	61	64	63	71	63	47	60	55	65	61	53	
H28児童数	55	56	51	55	49	56									
H28学級数	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2

①今後の児童数の推移について

学区内に住む学齢前人口は2学級規模で推移する見込みです。



■ 居住人数 □ H28児童数

4 適正規模・適正配置の方向性

適正規模で推移していくことが見込まれます。

1 学校基礎データ

学校名 中島根小学校 所在地 121-0815 足立区島根2-9-22  
 交通 梅島駅(東武線)下車徒歩18分  
 西新井駅(東武線)下車徒歩18分

開校年月日 昭和49年4月1日 敷地面積 11,522㎡ 特別支援学級  
 建築年 昭和49年 延床面積 4,935㎡ 学童保育室 あり

設計基準強度 21N/mm<sup>2</sup>

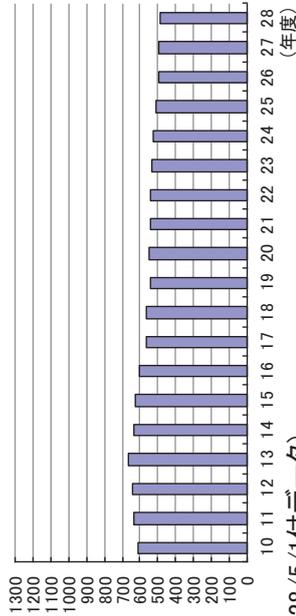
2 これまでの学校規模の推移(各年度とも5/1付データ)

年度	10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年	27年	28年
在籍人数	612	638	643	662	631	627	603	566	541	553	532	525	507	493	493	488			
学級	19	19	19	18	18	17	17	17	17	18	18	18	18	18	17	16			

\* 普通学級の人数です。

①これまでの学校規模の推移について

平成21年度以降減少傾向にあり、18学級から16学級で推移しており、児童数・学級数ともに適正な学校規模となつていきます。

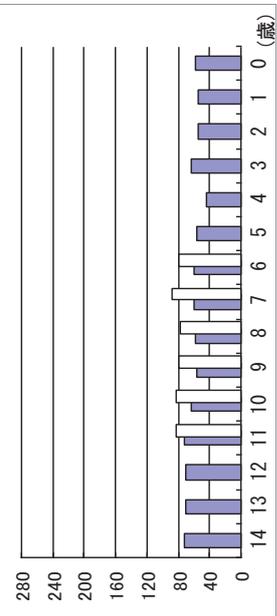


3 学区内の学齢・学齢前人口(H28/5/1付データ)

年齢	14歳	13歳	12歳	11歳	10歳	9歳	8歳	7歳	6歳	5歳	4歳	3歳	2歳	1歳	0歳
H28学年	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3
居住人数	73	71	71	73	64	57	58	59	57	44	64	55	54	58	
H28児童数	83	83	79	83	79	77	87	79							
H28学級数	3	3	3	3	2	2	3	3	3	3	3	3	3	3	

①今後の児童数の推移について

学区内に住む学齢前人口は2学級規模で推移する見込みです。学区域外からの入学者が多くみられます。



■ 居住人数 □ H28児童数

4 適正規模・適正配置の方向性

児童数は減少傾向にありますが、学区域外からの入学者数が多くみられるため、適正規模で推移していくことが見込まれます。

1 学校基礎データ

学校名 長門小学校 所在地 120-0002 足立区中川1-19-32  
 交通 亀有駅(JR)下車徒歩10分

開校年月日 昭和39年4月1日 敷地面積 9,329 m<sup>2</sup> 特別支援学級  
 建築年 昭和40年 延床面積 4,315 m<sup>2</sup> 学童保育室

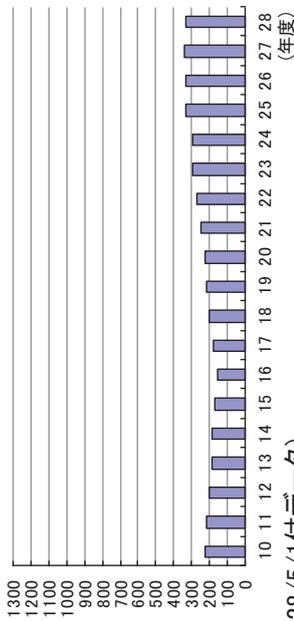
設計基準強度 18N/mm<sup>2</sup>

2 これまでの学校規模の推移(各年度とも5/1付データ)

年度	10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年	27年	28年
在籍人数	226	214	202	187	183	168	156	178	203	215	224	244	271	291	294	330	331	341	336
学級	8	7	7	6	6	6	6	8	9	8	8	9	10	11	12	12	12	12	12

①これまでの学校規模の推移について

平成17年度以降、児童数・学級数ともに増加傾向にあります。平成25年度から12学級で一定しています。



②学校全体の児童数の推移グラフ

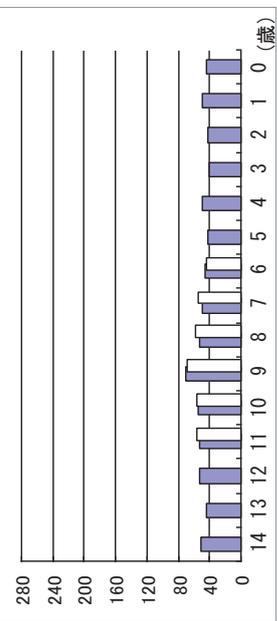
平成21年度以降、16学級から17学級で推移しており、児童数・学級数ともに適正な学校規模となっています。

3 学区内の学齢・学齢前人口(H28/5/1付データ)

年齢	14歳	13歳	12歳	11歳	10歳	9歳	8歳	7歳	6歳	5歳	4歳	3歳	2歳	1歳	0歳
H28学年															
居住人数	51	44	53	53	55	71	52	49	45	42	50	41	43	49	44
H28児童数	56	56	69	58	54	43									
H28学級数	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2

①今後の児童数の推移について

学区内に住む学齢前人口は2学級規模で推移する見込みです。



②学区内の学齢・学齢前人口の推移グラフ

学区内に住む学齢前人口は2学級規模で推移する見込みです。学区域外からの入学者が多くみられます。

学区内に住む学齢前人口は2学級規模で推移する見込みです。学区域外からの入学者が多くみられます。

4 適正規模・適正配置の方向性

児童数は増加傾向にありますが、隣接する大谷田小学校が小規模傾向にあることから、地域全体での適正規模・適正配置の検討が必要です。

1 学校基礎データ

学校名 西新井小学校 所在地 123-0845 足立区西新井本町4-9-27  
 交通 大師前駅(東武大師線)下車徒歩7分

開校年月日 昭和4年4月1日 敷地面積 9,023 m<sup>2</sup> 特別支援学級  
 建築年 平成23年 延床面積 7,867 m<sup>2</sup> 学童保育室 あり

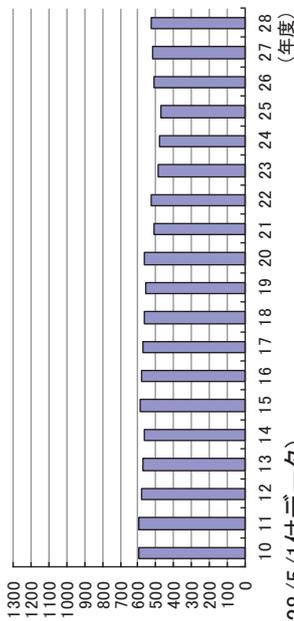
設計基準強度 30N/mm<sup>2</sup>

2 これまでの学校規模の推移(各年度とも5/1付データ)

年度	10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年	27年	28年
在籍人数	593	594	577	574	562	591	577	574	563	557	562	514	524	485	480	474	510	521	526
学級	18	18	18	18	18	19	18	17	17	17	16	16	16	16	16	16	16	16	17

①これまでの学校規模の推移について

平成21年度以降、16学級から17学級で推移しており、児童数・学級数ともに適正な学校規模となっています。



②学校全体の児童数の推移グラフ

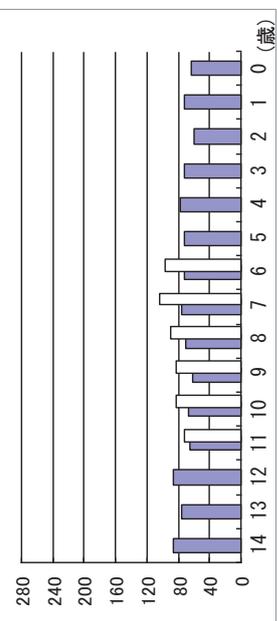
平成21年度以降、16学級から17学級で推移しており、児童数・学級数ともに適正な学校規模となっています。

3 学区内の学齢・学齢前人口(H28/5/1付データ)

年齢	14歳	13歳	12歳	11歳	10歳	9歳	8歳	7歳	6歳	5歳	4歳	3歳	2歳	1歳	0歳
H28学年															
居住人数	86	76	86	66	67	62	70	76	72	72	77	73	60	72	63
H28児童数	71	82	83	90	104	96									
H28学級数	2	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3

①今後の児童数の推移について

学区内に住む学齢前人口は2学級規模で推移する見込みです。学区域外からの入学者が多くみられます。



②学区内の学齢・学齢前人口の推移グラフ

学区内に住む学齢前人口は2学級規模で推移する見込みです。学区域外からの入学者が多くみられます。

学区内に住む学齢前人口は2学級規模で推移する見込みです。学区域外からの入学者が多くみられます。

4 適正規模・適正配置の方向性

学区内に住む学齢前人口は2学級規模ですが、学区域外からの入学者も多いため、適正規模で推移していくことが見込まれます。

1 学校基礎データ

学校名 西新井第一小学校 所在地 123-0841 足立区西新井6-21-3  
 交通 大師前駅(東武大師線)下車徒歩5分

西新井大師西駅(日暮里・舎人ライナー)下車徒歩7分

開校年月日 昭和27年4月1日 敷地面積 10,904 m<sup>2</sup> 特別支援学級  
 建築年 昭和41年 延床面積 6,191 m<sup>2</sup> 学童保育室

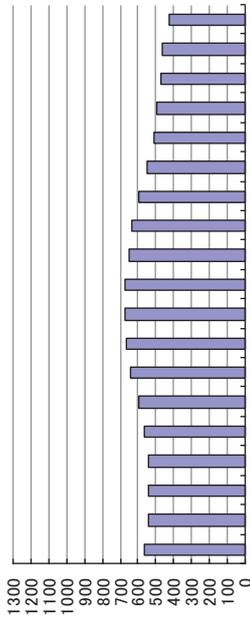
設計基準強度 18N/mm<sup>2</sup>

2 これまでの学校規模の推移(各年度とも5/1付データ)

年度	10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年	27年	28年
在籍人数	566	545	538	543	567	597	642	667	674	675	648	632	595	550	514	493	471	461	427
学級	17	17	17	17	17	18	19	19	19	19	19	18	18	17	16	15	14	13	

①これまでの学校規模の推移について

一時的に児童数が増加していましたが、平成20年度以降減少傾向にあり、19学級から13学級で推移しています。児童数・学級数ともに適正な学級規模となっております。



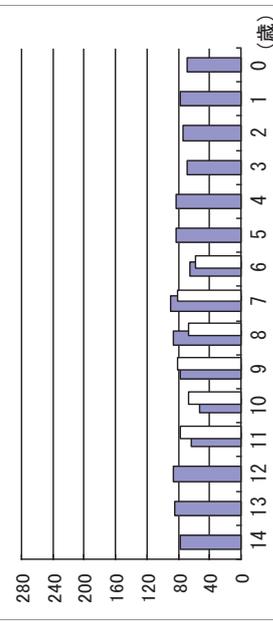
10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 (年度)

3 学区内の学齢・学齢前人口(H28/5/1付データ)

年齢	14歳	13歳	12歳	11歳	10歳	9歳	8歳	7歳	6歳	5歳	4歳	3歳	2歳	1歳	0歳
H28学年															
居住人数	78	85	86	63	53	77	87	89	66	83	82	69	74	77	68
H28児童数				77	67	80	66	80	57						
H28学級数				2	2	2	2	3	2						

①今後の児童数の推移について

学区内に住む学齢前人口は2学級から3学級規模で推移する見込みです。



14 13 12 11 10 9 8 7 6 5 4 3 2 1 0 (歳)

4 適正規模・適正配置の方向性

適正規模で推移していくことが見込まれます。

1 学校基礎データ

学校名 西新井第二小学校 所在地 123-0841 足立区西新井4-34-1  
 交通 西新井駅(東武線)から東武バス西新井消防署下車徒歩2分 竹ノ塚駅(東武線)下車徒歩20分

大師前駅(東武大師線)下車徒歩20分 谷在家(日暮里・舎人ライナー)下車徒歩10分

開校年月日 昭和39年9月1日 敷地面積 9,953 m<sup>2</sup> 特別支援学級  
 建築年 昭和39年 延床面積 5,611 m<sup>2</sup> 学童保育室

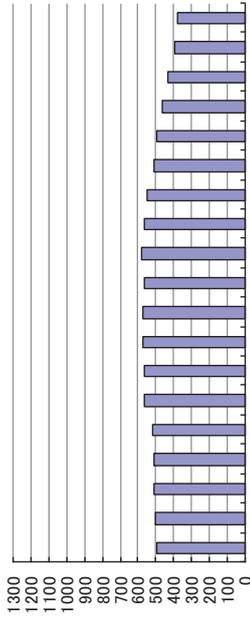
設計基準強度 18N/mm<sup>2</sup>

2 これまでの学校規模の推移(各年度とも5/1付データ)

年度	10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年	27年	28年
在籍人数	495	501	514	514	519	565	562	575	569	568	578	567	551	509	494	468	433	393	378
学級	15	15	16	17	17	18	18	17	17	17	17	17	17	16	16	15	14	13	12

①これまでの学校規模の推移について

平成21年度以降減少傾向にあり、17学級から12学級で推移しています。児童数・学級数ともに適正な学級規模となっております。



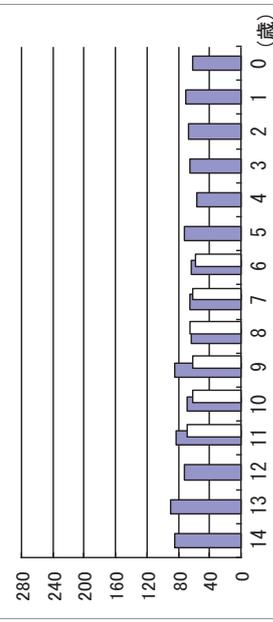
10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 (年度)

3 学区内の学齢・学齢前人口(H28/5/1付データ)

年齢	14歳	13歳	12歳	11歳	10歳	9歳	8歳	7歳	6歳	5歳	4歳	3歳	2歳	1歳	0歳
H28学年															
居住人数	85	90	73	83	68	85	64	66	64	72	57	65	67	71	62
H28児童数				69	62	62	65	62	58						
H28学級数				2	2	2	2	2	2						

①今後の児童数の推移について

学区内に住む学齢前人口は2学級から3学級規模で推移する見込みです。



14 13 12 11 10 9 8 7 6 5 4 3 2 1 0 (歳)

4 適正規模・適正配置の方向性

集合住宅の建設がみられるため、今後学齢前人口が増加する可能性があります。最も古い校舎は昭和39年に建てられ、施設更新の検討が必要です。

1 学校基礎データ

学校名 西伊興小学校 所在地 121-0823 足立区伊興2-6-1  
 交通 竹ノ塚駅(東武線)下車徒歩13分

開校年月日 昭和47年4月1日 敷地面積 11,383 m<sup>2</sup> 特別支援学級 知的障がい  
 建築年 昭和47年 延床面積 5,428 m<sup>2</sup> 学童保育室 あり

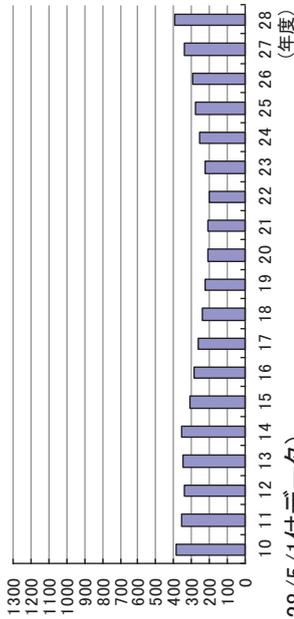
設計基準強度 18N/mm<sup>2</sup>

2 これまでの学校規模の推移(各年度とも5/1付データ)

年度	10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年	27年	28年
在籍人数	384	356	338	351	355	311	289	266	241	221	209	211	204	221	255	280	295	344	398
学級	12	12	12	12	11	10	9	8	7	6	6	6	7	8	9	10	10	12	14

①これまでの学校規模の推移について

平成23年度以降増加傾向にあり、7学級から14学級で推移しています。児童数・学級数とも適正な学級規模となつていきます。

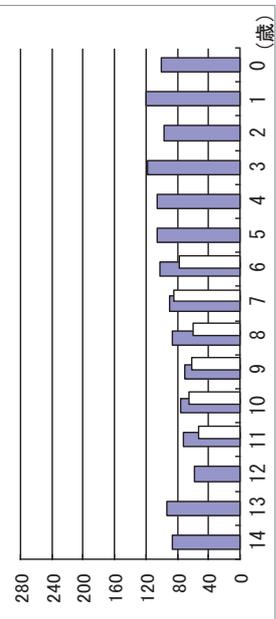


3 学区内の学齢・学齢前人口(H28/5/1付データ)

年齢	14歳	13歳	12歳	11歳	10歳	9歳	8歳	7歳	6歳	5歳	4歳	3歳	2歳	1歳	0歳
H28学年				6年	5年	4年	3年	2年	1年						
居住人数	87	93	58	73	76	70	86	90	103	105	106	118	96	120	100
H28児童数				52	64	61	60	84	77						
H28学級数				2	2	2	2	3	3						

①今後の児童数の推移について

学区内に住む学齢前人口は増加傾向にあり、3学級から4学級規模で推移する見込みです。集合住宅等の建設の影響がみられます。



4 適正規模・適正配置の方向性

適正規模で推移していくことが見込まれます。

1 学校基礎データ

学校名 西保木間小学校 所在地 121-0812 足立区西保木間4-2-1  
 交通 竹ノ塚駅(東武線)下車徒歩15分

開校年月日 平成9年4月1日 敷地面積 9,945 m<sup>2</sup> 特別支援学級  
 建築年 昭和44年 延床面積 5,569 m<sup>2</sup> 学童保育室 あり

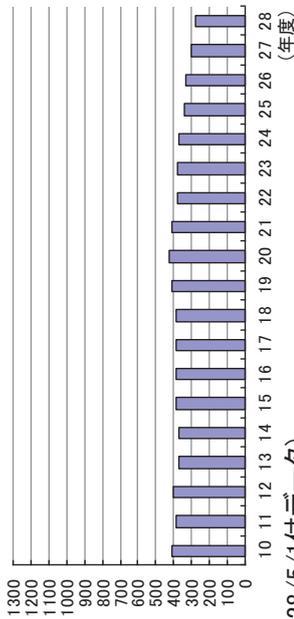
設計基準強度 18N/mm<sup>2</sup>

2 これまでの学校規模の推移(各年度とも5/1付データ)

年度	10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年	27年	28年
在籍人数	413	386	402	375	375	385	389	387	389	411	422	407	381	378	368	344	331	302	276
学級	12	12	12	12	12	12	12	12	12	13	12	12	12	12	12	12	12	12	10

①これまでの学校規模の推移について

平成21年度以降、児童数は減少傾向にあります。学級数は12学級で一定していましたが、平成28年度に10学級となりました。

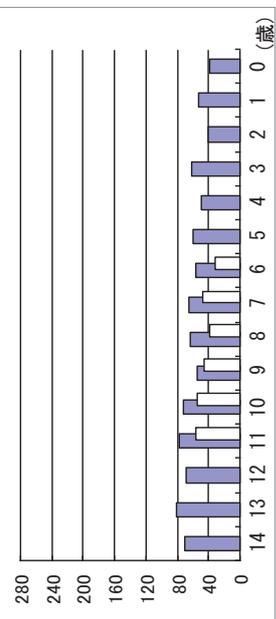


3 学区内の学齢・学齢前人口(H28/5/1付データ)

年齢	14歳	13歳	12歳	11歳	10歳	9歳	8歳	7歳	6歳	5歳	4歳	3歳	2歳	1歳	0歳
H28学年				6年	5年	4年	3年	2年	1年						
居住人数	70	81	68	77	72	54	63	65	56	60	49	62	41	52	38
H28児童数				56	55	46	39	48	32						
H28学級数				2	2	2	1	2	1						

①今後の児童数の推移について

学区内に住む学齢前人口には減少傾向がみられ、1学級から2学級規模で推移する見込みです。



4 適正規模・適正配置の方向性

今後、緩やかに人口が減少する見込みです。児童数の増減によっては改善策の検討が必要です。

1 学校基礎データ

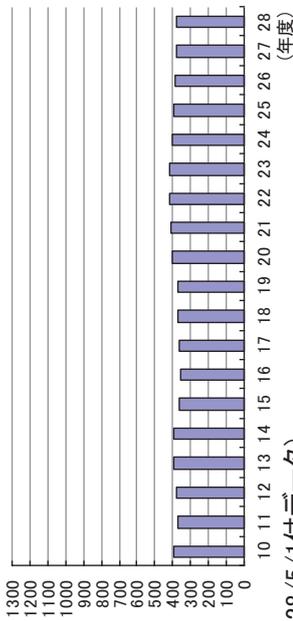
学校名	花畑小学校	所在地	121-0062 足立区南花畑3-22-1
交通	北千住駅(東武線等)・五反野駅(東武線)・綾瀬駅(千代田線)から東武バス花畑車庫下車徒歩4分 綾瀬駅(千代田線)から東武バス神明町下車徒歩5分 六町駅(つくばエクスプレス)下車徒歩15分		
開校年月日	明治33年11月28日	敷地面積	10,867㎡
建築年	昭和38年	延床面積	6,043㎡
設計基準強度	18N/mm <sup>2</sup>		

2 これまでの学校規模の推移(各年度とも5/1付データ)

年度	10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年	27年	28年
在籍人数	392	375	376	394	394	367	356	363	369	368	404	412	414	420	405	398	390	381	378
学級	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	13	12	13	12	12	12	12	12

①これまでの学校規模の推移について

平成21年度以降、12学級から13学級で推移しており、児童数・学級数ともに適正規模で推移しています。

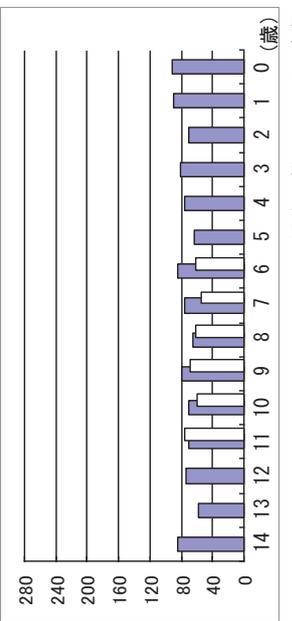


3 学区内の学齢・学齢前人口(H28/5/1付データ)

年齢	14歳	13歳	12歳	11歳	10歳	9歳	8歳	7歳	6歳	5歳	4歳	3歳	2歳	1歳	0歳
H28学年				6年	5年	4年	3年	2年	1年						
居住人数	85	58	74	70	71	80	66	76	84	63	76	81	71	90	91
H28児童数				75	59	68	61	54	61						
H28学級数				2	2	2	2	2	2						

①今後の児童数の推移について

学区内に住む学齢前人口は2学級から3学級規模で推移する見込みです。



4 適正規模・適正配置の方向性

適正規模で推移していくことが見込まれます。最も古い校舎は昭和38年に建てられ、施設更新の検討が必要と見込まれます。

1 学校基礎データ

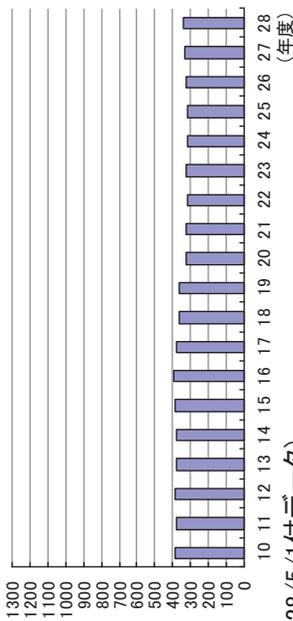
学校名	花畑第一小学校	所在地	121-0061 足立区花畑1-29-1
交通	竹ノ塚駅(東武線)から東武バス南花畑特別支援学校前下車徒歩1分		
開校年月日	昭和40年4月1日	敷地面積	10,480㎡
建築年	昭和38年	延床面積	6,155㎡
設計基準強度	18N/mm <sup>2</sup>		

2 これまでの学校規模の推移(各年度とも5/1付データ)

年度	10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年	27年	28年
在籍人数	385	378	388	376	379	384	397	381	366	361	328	326	315	322	320	314	326	336	338
学級	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12

①これまでの学校規模の推移について

平成21年度以降、児童数は横ばいとなっており、学級数は12学級で一定しています。

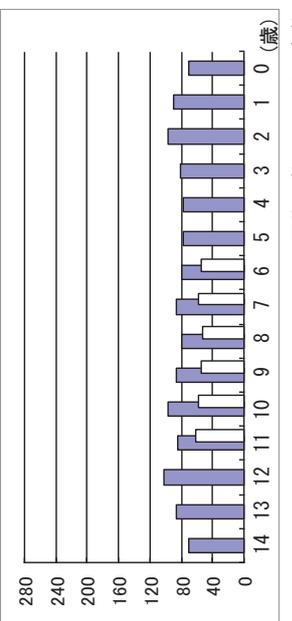


3 学区内の学齢・学齢前人口(H28/5/1付データ)

年齢	14歳	13歳	12歳	11歳	10歳	9歳	8歳	7歳	6歳	5歳	4歳	3歳	2歳	1歳	0歳
H28学年				6年	5年	4年	3年	2年	1年						
居住人数	71	86	102	84	96	86	80	86	80	78	81	96	89	70	
H28児童数				62	57	55	52	57	55						
H28学級数				2	2	2	2	2	2						

①今後の児童数の推移について

学区内に住む学齢前人口は2学級から3学級規模で推移する見込みです。



4 適正規模・適正配置の方向性

近隣の小学校に入学者の児童が多くみられ、今後、児童数の動向に注視していく必要があります。最も古い校舎は昭和38年に建てられ、施設更新の検討が必要です。

1 学校基礎データ

学校名 花畑西小学校 所在地 121-0061 足立区花畑4-21-1  
 交通 竹ノ塚駅(東武線)から東武バス団地入口下車徒歩5分

開校年月日 昭和46年4月1日 敷地面積 10,537 m<sup>2</sup> 特別支援学級  
 建築年 昭和45年 延床面積 6,412 m<sup>2</sup> 学童保育室

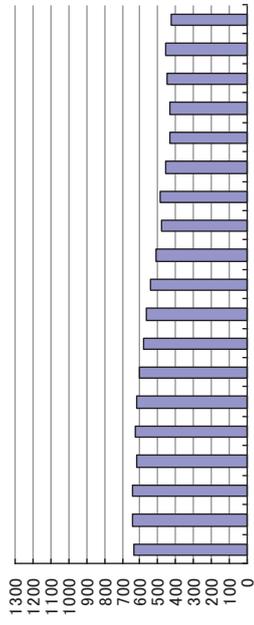
設計基準強度 18N/mm<sup>2</sup>

2 これまでの学校規模の推移(各年度とも5/1付データ)

年度	10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年	27年	28年
在籍人数	631	639	644	617	623	617	603	584	568	544	510	477	484	456	435	435	452	453	422
学級	18	18	18	18	18	17	17	17	17	15	14	14	13	13	14	14	15	15	13

①これまでの学校規模の推移について

平成21年度以降、13学級から15学級で推移しており、児童数・学級数ともに適正な学校規模となっています。

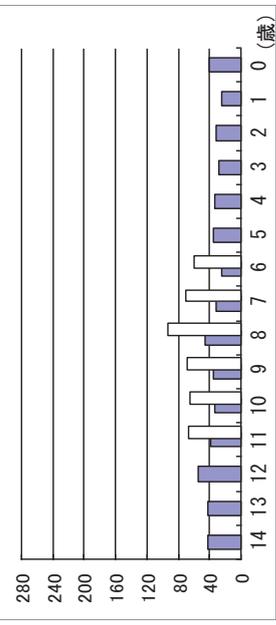


3 学区内の学齢・学齢前人口(H28/5/1付データ)

年齢	14歳	13歳	12歳	11歳	10歳	9歳	8歳	7歳	6歳	5歳	4歳	3歳	2歳	1歳	0歳
H28学年															
居住人数	42	42	54	39	34	36	46	32	25	36	34	28	32	24	40
H28児童数				67	65	68	92	70	60						
H28学級数				2	2	2	3	2	2						

①今後の児童数の推移について

学区域内に住む学齢前人口は1学級から2学級規模で推移する見込みですが、学区域外からの入学者が多くなります。



4 適正規模・適正配置の方向性

学区域外からの入学者が多くなりますが、学区域内の学齢前人口が減少傾向にあるため、児童数の推移を注視していく必要があります。

1 学校基礎データ

学校名 花保小学校 所在地 121-0062 足立区南花畑2-19-1  
 交通 竹ノ塚駅(東武線)または綾瀬駅(千代田線)から東武バス東保木間下車徒歩1分  
 六町駅(つくばエクスプレス)から徒歩12分

開校年月日 昭和48年4月1日 敷地面積 9,718 m<sup>2</sup> 特別支援学級  
 建築年 昭和47年 延床面積 5,639 m<sup>2</sup> 学童保育室

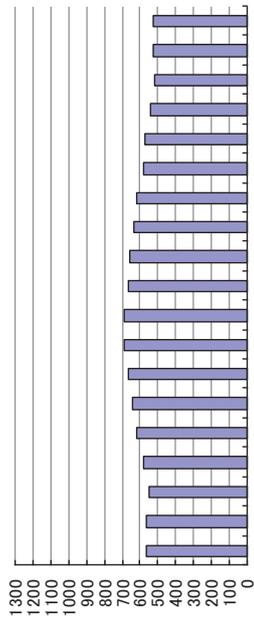
設計基準強度 18N/mm<sup>2</sup>

2 これまでの学校規模の推移(各年度とも5/1付データ)

年度	10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年	27年	28年
在籍人数	562	564	549	582	622	645	668	687	692	669	658	632	621	584	571	545	522	527	530
学級	18	18	18	19	20	21	21	20	20	20	19	18	19	19	18	17	17	17	17

①これまでの学校規模の推移について

平成21年度以降、17学級から19学級で推移しており、児童数・学級数ともに適正な学校規模となっています。

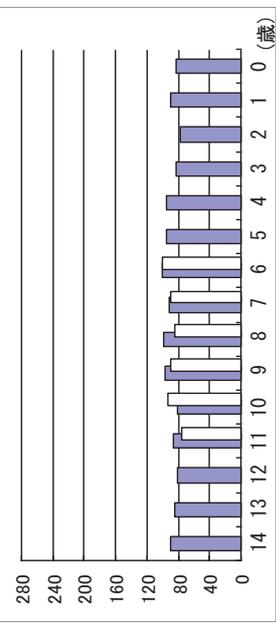


3 学区内の学齢・学齢前人口(H28/5/1付データ)

年齢	14歳	13歳	12歳	11歳	10歳	9歳	8歳	7歳	6歳	5歳	4歳	3歳	2歳	1歳	0歳
H28学年															
居住人数	90	85	81	86	81	96	98	92	100	95	82	78	90	83	
H28児童数				75	93	89	84	89	100						
H28学級数				2	3	3	3	3	3						

①今後の児童数の推移について

学区域内に住む学齢前人口は3学級規模で推移する見込みです。



4 適正規模・適正配置の方向性

適正規模で推移していくことが見込まれます。

1 学校基礎データ

学校名 東綾瀬小学校 所在地 120-0004 足立区東綾瀬2-15-15  
 交通 綾瀬駅(千代田線)下車徒歩13分

開校年月日 昭和51年4月1日 敷地面積 7,073 m<sup>2</sup> 特別支援学級  
 建築年 昭和51年 延床面積 4,881 m<sup>2</sup> 学童保育室

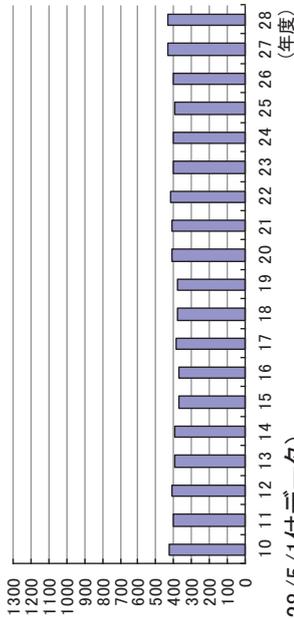
設計基準強度 21N/mm<sup>2</sup>

2 これまでの学校規模の推移(各年度とも5/1付データ)

年度	10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年	27年	28年
在籍人数	423	400	411	392	395	369	375	388	377	379	407	407	416	402	402	391	403	436	430
学級	13	13	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	13	12	12	12	13	14	15

①これまでの学校規模の推移について

平成21年度以降、12学級から15学級で推移しており、児童数・学級数とも適正な学校規模となっています。



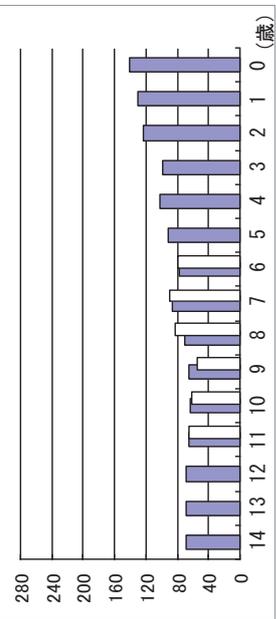
(年度)

3 学区内の学齢・学齢前人口(H28/5/1付データ)

年齢	14歳	13歳	12歳	11歳	10歳	9歳	8歳	7歳	6歳	5歳	4歳	3歳	2歳	1歳	0歳
H28学年				6年	5年	4年	3年	2年	1年						
居住人数	69	69	68	66	64	66	71	87	77	92	103	98	124	130	141
H28児童数				64	62	54	83	89	78						
H28学級数				2	2	2	3	3	3						

①今後の児童数の推移について

学区内に住む学齢前人口は3学級から5学級規模で推移する見込みです。



(年度)

4 適正規模・適正配置の方向性

集合住宅が建設されたため一時的な人口増加が見られますが、適正規模で推移していくことが見込まれます。

1 学校基礎データ

学校名 東伊興小学校 所在地 121-0801 足立区東伊興1-4-15  
 交通 竹ノ塚駅(東武線)下車徒歩15分

開校年月日 昭和46年4月1日 敷地面積 10,350 m<sup>2</sup> 特別支援学級  
 建築年 昭和46年 延床面積 5,877 m<sup>2</sup> 学童保育室

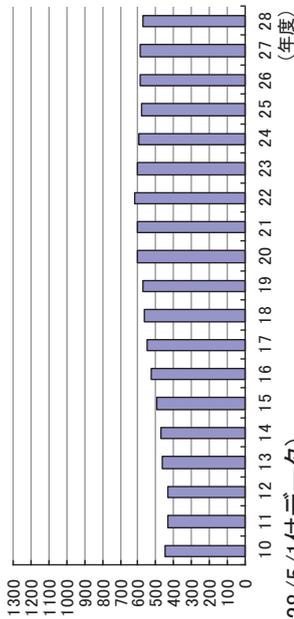
設計基準強度 21N/mm<sup>2</sup>

2 これまでの学校規模の推移(各年度とも5/1付データ)

年度	10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年	27年	28年
在籍人数	449	432	434	462	471	498	524	548	568	574	605	606	617	605	592	584	586	587	572
学級	14	13	13	14	14	16	17	16	17	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18

①これまでの学校規模の推移について

平成19年度以降、18学級で一定しており、児童数・学級数とも適正な学校規模となっています。



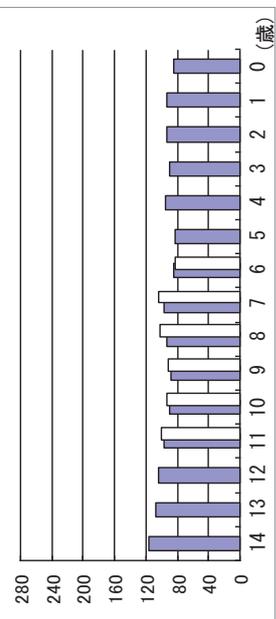
(年度)

3 学区内の学齢・学齢前人口(H28/5/1付データ)

年齢	14歳	13歳	12歳	11歳	10歳	9歳	8歳	7歳	6歳	5歳	4歳	3歳	2歳	1歳	0歳
H28学年				6年	5年	4年	3年	2年	1年						
居住人数	116	108	104	97	89	88	93	96	84	82	95	90	94	93	85
H28児童数				100	92	91	102	104	83						
H28学級数				3	3	3	3	3	3						

①今後の児童数の推移について

学区内に住む学齢前人口は3学級規模で推移する見込みです。



(年度)

4 適正規模・適正配置の方向性

適正規模で推移していくことが見込まれます。

1 学校基礎データ

学校名 東加平小学校 所在地 121-0055 足立区加平1-12-12  
 交通 北綾瀬駅(千代田線)下車徒歩5分

綾瀬駅(千代田線)から東武バス加平橋下車徒歩3分

開校年月日 昭和44年4月1日 敷地面積 10,110 m<sup>2</sup> 特別支援学級  
 建築年 昭和44年 延床面積 5,593 m<sup>2</sup> 学童保育室

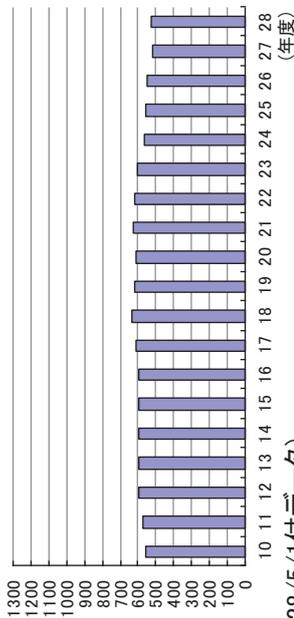
設計基準強度 18N/mm<sup>2</sup>

2 これまでの学校規模の推移(各年度とも5/1付データ)

年度	10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年	27年	28年
在籍人数	560	575	592	594	594	592	595	615	631	620	612	623	618	607	562	561	548	521	530
学級	17	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	17	17	17

①これまでの学校規模の推移について

平成22年度以降、児童数・学級数ともに減少傾向にあり、18学級から17学級で推移しています。適正な学校規模となっています。



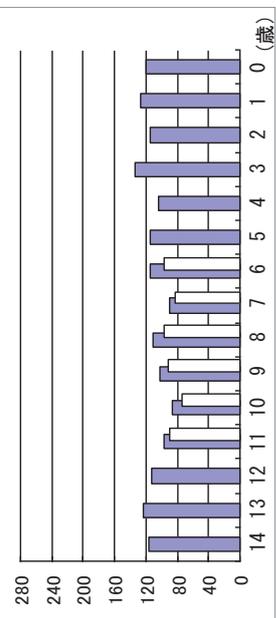
(年度)

3 学区内の学齢・学齢前人口(H28/5/1付データ)

年齢	14歳	13歳	12歳	11歳	10歳	9歳	8歳	7歳	6歳	5歳	4歳	3歳	2歳	1歳	0歳
H28学年				6年	5年	4年	3年	2年	1年						
居住人数	117	124	112	97	86	103	111	90	114	114	104	133	115	126	119
H28児童数				90	74	91	97	82	96						
H28学級数				3	2	3	3	3	3						

①今後の児童数の推移について

学区内に住む学齢前人口は3学級から4学級規模で推移する見込みです。



(年度)

4 適正規模・適正配置の方向性

適正規模で推移していくことが見込まれます。

1 学校基礎データ

学校名 東栗原小学校 所在地 121-0075 足立区一ツ家3-20-1  
 交通 竹ノ塚駅(東武線)から東武バス都営住宅下車徒歩5分 六町駅(つくばエクスプレス)から徒歩12分

綾瀬駅(千代田線)から東武バス青井六丁目下車徒歩5分

開校年月日 昭和45年4月1日 敷地面積 10,963 m<sup>2</sup> 特別支援学級  
 建築年 昭和45年 延床面積 5,723 m<sup>2</sup> 学童保育室 あり

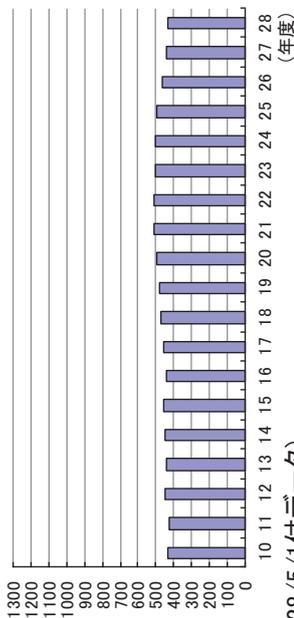
設計基準強度 18N/mm<sup>2</sup>

2 これまでの学校規模の推移(各年度とも5/1付データ)

年度	10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年	27年	28年
在籍人数	436	425	448	438	448	455	444	454	472	480	499	510	514	501	505	499	467	441	434
学級	13	13	13	13	13	14	13	14	15	15	15	16	17	17	17	16	15	13	13

①これまでの学校規模の推移について

平成23年度以降、児童数・学級数ともに減少傾向にあり、17学級から13学級で推移しています。適正な学校規模となっています。



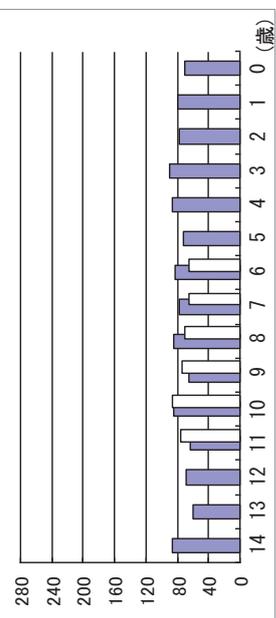
(年度)

3 学区内の学齢・学齢前人口(H28/5/1付データ)

年齢	14歳	13歳	12歳	11歳	10歳	9歳	8歳	7歳	6歳	5歳	4歳	3歳	2歳	1歳	0歳
H28学年				6年	5年	4年	3年	2年	1年						
居住人数	87	59	68	64	85	66	85	77	82	73	87	89	77	79	70
H28児童数				76	86	73	70	65	64						
H28学級数				2	3	2	2	2	2						

①今後の児童数の推移について

学区内に住む学齢前人口は2学級から3学級規模で推移する見込みです。



(年度)

4 適正規模・適正配置の方向性

適正規模で推移していくことが見込まれます。

1 学校基礎データ

学校名 東洲江小学校 所在地 123-0003 足立区東和3-20-11  
 交通 亀有駅(JR)から東武バス東和五丁目下車徒歩1分

開校年月日 明治44年8月1日 敷地面積 9,134㎡ 特別支援学級 知的障がい  
 建築年 昭和38年 延床面積 6,667㎡ 学童保育室

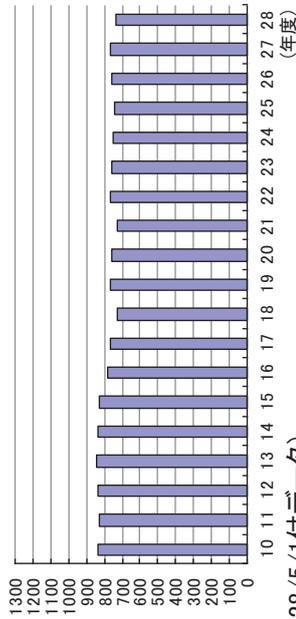
設計基準強度 18N/mm<sup>2</sup>

2 これまでの学校規模の推移(各年度とも5/1付データ)

年度	10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年	27年	28年
在籍人数	836	827	839	847	835	828	781	765	726	767	757	730	767	758	750	746	758	769	738
学級	24	24	24	24	23	22	22	22	22	21	21	21	21	21	21	21	21	21	22

①これまでの学校規模の推移について

平成18年度以降、21学級から22学級で推移しており、児童数・学級数とも適正な学校規模となっております。



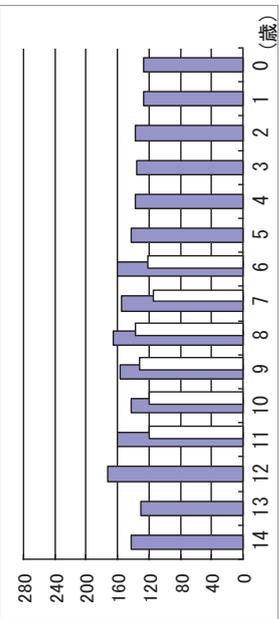
3 学区内の学齢・学齢前人口(H28/5/1付データ)

年齢	14歳	13歳	12歳	11歳	10歳	9歳	8歳	7歳	6歳	5歳	4歳	3歳	2歳	1歳	0歳
H28学年	143	131	173	160	143	156	166	155	161	142	138	135	138	126	127
居住人数	119	119	131	136	113	120									
H28児童数	3	3	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4

①今後の児童数の推移について

学区内に住む学齢前人口は、4学級から5学級規模で推移する見込みです。

②学区内の学齢・学齢前人口の推移グラフ



■ 居住人数 □ H28児童数

4 適正規模・適正配置の方向性

適正規模で推移していくことが見込まれますが、児童数の増加が見られた場合は、大規模校になる場合も考えられます。今後の児童数や学区域外からの入学者数の推移を注視していく必要があります。最も古い校舎は、昭和38年に建てられ、施設更新の検討が必要です。

1 学校基礎データ

学校名 平野小学校 所在地 121-0076 足立区平野3-6-3  
 交通 北千住駅(東武線等)または竹ノ塚駅(東武線)から都営バス鳥根町下車徒歩7分

開校年月日 昭和52年4月1日 敷地面積 8,384㎡ 特別支援学級 知的障がい  
 建築年 昭和52年 延床面積 6,068㎡ 学童保育室 あり

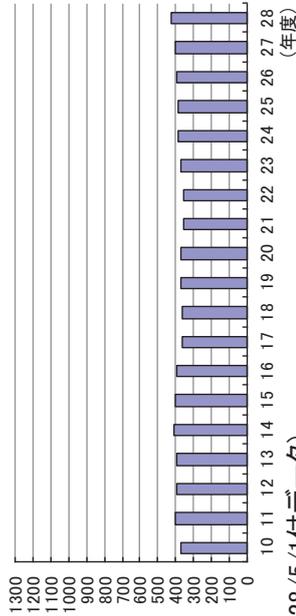
設計基準強度 21N/mm<sup>2</sup>

2 これまでの学校規模の推移(各年度とも5/1付データ)

年度	10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年	27年	28年
在籍人数	373	402	395	393	410	406	391	366	360	369	357	354	368	386	384	391	406	423	
学級	12	13	13	12	12	12	12	12	12	12	13	12	12	12	12	12	12	12	

①これまでの学校規模の推移について

12学級から13学級で推移しており、児童数・学級数とも適正な学校規模となっております。



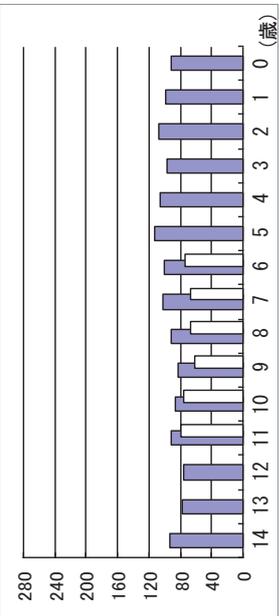
3 学区内の学齢・学齢前人口(H28/5/1付データ)

年齢	14歳	13歳	12歳	11歳	10歳	9歳	8歳	7歳	6歳	5歳	4歳	3歳	2歳	1歳	0歳
H28学年	93	77	76	92	86	82	92	102	101	113	105	96	107	98	92
居住人数	79	76	61	67	73										
H28児童数	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2

①今後の児童数の推移について

学区内に住む学齢前人口は3学級から4学級規模で推移する見込みです。

②学区内の学齢・学齢前人口の推移グラフ



■ 居住人数 □ H28児童数

4 適正規模・適正配置の方向性

適正規模で推移していくことが見込まれます。

1 学校基礎データ

学校名 湖江小学校 所在地 121-0812 足立区西保木間1-10-3  
 交通 竹ノ塚駅(東武線)下車徒歩10分

開校年月日 明治34年5月1日 敷地面積 9,729 m<sup>2</sup> 特別支援学級 知的障がい  
 建築年 昭和41年 延床面積 6,351 m<sup>2</sup> 学童保育室

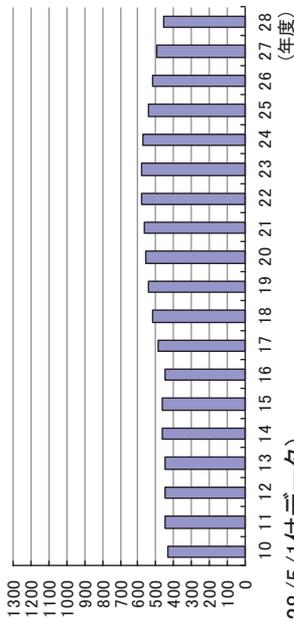
設計基準強度 18N/mm<sup>2</sup>

2 これまでの学校規模の推移(各年度とも5/1付データ)

年度	10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年	27年	28年
在籍人数	437	450	446	452	468	464	452	487	519	538	557	568	583	579	576	545	517	492	456
学級	13	14	13	14	14	14	14	15	17	17	17	18	18	18	18	18	17	17	16

①これまでの学校規模の推移について

平成23年度以降、児童数・学級数ともに減少傾向にあり、18学級から16学級で推移しています。適正な学級規模となっています。

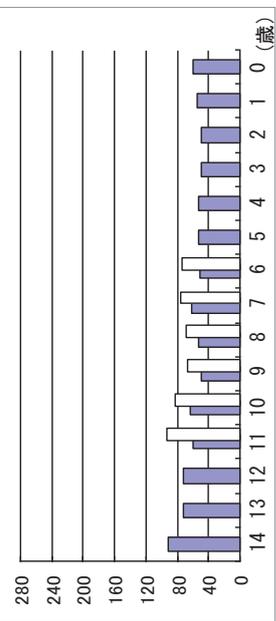


3 学区内の学齢・学齢前人口(H28/5/1付データ)

年齢	14歳	13歳	12歳	11歳	10歳	9歳	8歳	7歳	6歳	5歳	4歳	3歳	2歳	1歳	0歳
H28学年															
居住人数	91	72	72	60	64	50	53	61	51	53	52	49	49	55	60
H28児童数				92	82	66	68	75	73						
H28学級数				3	3	2	2	3	3						

①今後の児童数の推移について

学区内に住む学齢前人口は2学級規模で推移する見込みです。学区域外からの入学者が多くみられます。



4 適正規模・適正配置の方向性

適正規模で推移していくことが見込まれます。

1 学校基礎データ

学校名 湖江第一小学校 所在地 121-0064 足立区保木間3-27-1  
 交通 竹ノ塚駅(東武線)または綾瀬駅(千代田線)から東武バス東武江第一小学校前下車徒歩1分

開校年月日 昭和42年4月1日 敷地面積 12,989 m<sup>2</sup> 特別支援学級  
 建築年 昭和42年 延床面積 6,197 m<sup>2</sup> 学童保育室 あり

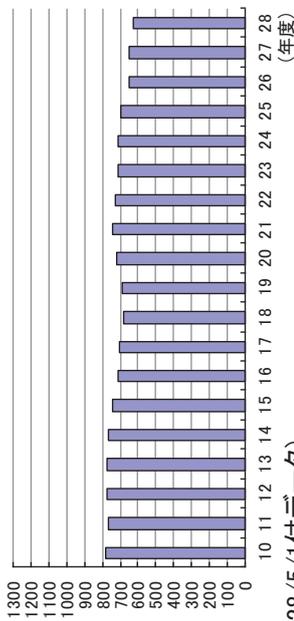
設計基準強度 18N/mm<sup>2</sup>

2 これまでの学校規模の推移(各年度とも5/1付データ)

年度	10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年	27年	28年
在籍人数	779	766	777	774	765	745	713	702	678	692	721	741	727	712	715	698	648	651	623
学級	23	22	23	22	22	22	20	21	20	20	21	22	22	21	22	20	19	20	19

①これまでの学校規模の推移について

平成22年度以降、児童数・学級数ともに減少傾向にあり、22学級から19学級で推移しています。適正な学級規模となっています。

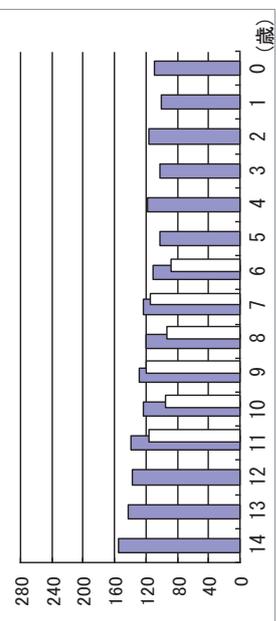


3 学区内の学齢・学齢前人口(H28/5/1付データ)

年齢	14歳	13歳	12歳	11歳	10歳	9歳	8歳	7歳	6歳	5歳	4歳	3歳	2歳	1歳	0歳
H28学年															
居住人数	155	142	137	140	124	129	120	123	111	103	118	102	117	101	109
H28児童数				115	95	119	93	113	88						
H28学級数				3	3	3	3	4	3						

①今後の児童数の推移について

学区内に住む学齢前人口は3学級から4学級規模で推移する見込みです。



4 適正規模・適正配置の方向性

適正規模で推移していくことが見込まれます。

1 学校基礎データ

学校名 保木間小学校 所在地 121-0813 足立区竹の塚3-6-3  
 交通 竹ノ塚駅(東武線)下車徒歩13分

開校年月日 昭和34年9月1日 敷地面積 13,277㎡ 特別支援学級 情緒障がい等  
 建築年 昭和48年 延床面積 6,277㎡ 学童保育室

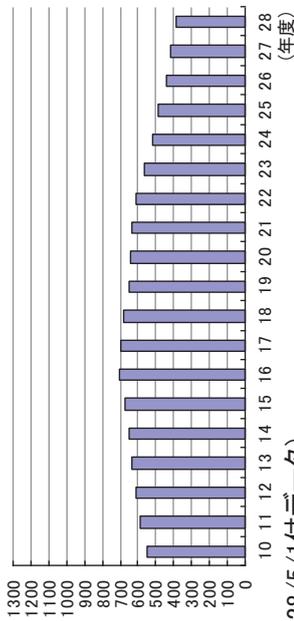
設計基準強度 18N/mm<sup>2</sup>

2 これまでの学校規模の推移(各年度とも5/1付データ)

年度	10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年	27年	28年
在籍人数	549	587	610	634	649	670	701	696	684	647	639	636	609	564	520	488	438	417	384
学級	18	18	18	19	19	20	20	19	18	18	18	17	16	15	14	13	12		

①これまでの学校規模の推移について

平成17年度以降、児童数・学級数ともに減少傾向にあり、20学級から12学級で推移しています。適正な学校規模となっています。



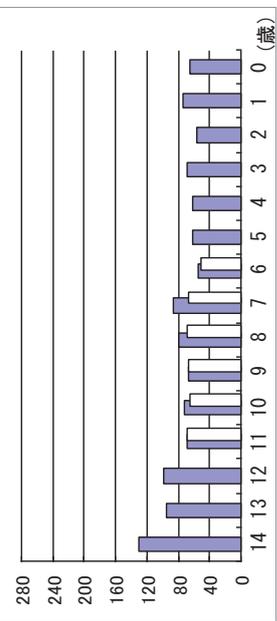
(年度)

3 学区内の学齢・学齢前人口(H28/5/1付データ)

年齢	14歳	13歳	12歳	11歳	10歳	9歳	8歳	7歳	6歳	5歳	4歳	3歳	2歳	1歳	0歳
H28学年															
居住人数	130	95	99	69	72	67	80	86	54	62	62	69	57	74	66
H28児童数				69	65	66	68	66	50						
H28学級数				2	2	2	2	2	2						

①今後の児童数の推移について

学区内に住む学齢前人口は2学級から3学級規模で推移する見込みです。



(年度)

4 適正規模・適正配置の方向性

適正規模で推移していくことが見込まれます。

1 学校基礎データ

学校名 宮城小学校 所在地 120-0047 足立区宮城1-27-25  
 交通 西新井駅(東武線)から都営バス宮城二丁目下車徒歩3分

開校年月日 昭和22年4月1日 敷地面積 8,496㎡ 特別支援学級 知的障がい  
 建築年 昭和39年 延床面積 6,264㎡ 学童保育室

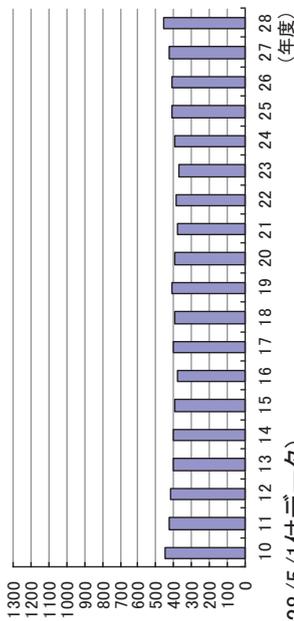
設計基準強度 18N/mm<sup>2</sup>

2 これまでの学校規模の推移(各年度とも5/1付データ)

年度	10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年	27年	28年
在籍人数	448	425	421	404	402	392	381	404	395	408	393	377	385	375	395	408	409	428	456
学級	14	13	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	13	13	14

①これまでの学校規模の推移について

12学級から15学級で推移しており、児童数・学級数ともに適正な学校規模となっています。



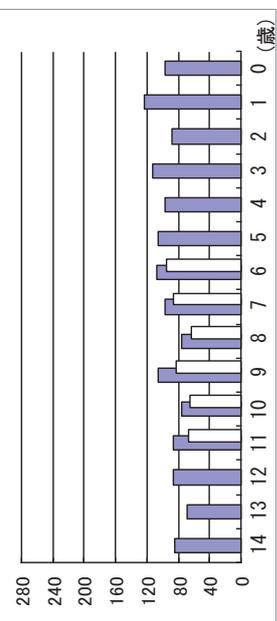
(年度)

3 学区内の学齢・学齢前人口(H28/5/1付データ)

年齢	14歳	13歳	12歳	11歳	10歳	9歳	8歳	7歳	6歳	5歳	4歳	3歳	2歳	1歳	0歳
H28学年															
居住人数	85	69	86	87	75	105	76	97	108	105	96	112	88	124	96
H28児童数				67	65	82	63	85	94						
H28学級数				2	2	3	2	3	3						

①今後の児童数の推移について

学区内に住む学齢前人口は3学級から4学級規模で推移する見込みです。



(年度)

4 適正規模・適正配置の方向性

適正規模で推移していくことが見込まれます。周囲を河川に囲まれていることから、適正規模・適正配置の検討が困難な地域です。最も古い校舎は、昭和39年に建てられ、施設更新の検討が必要です。

1 学校基礎データ

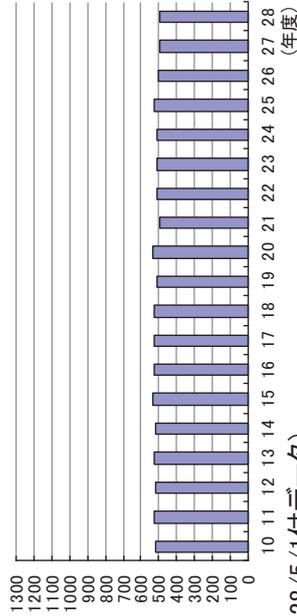
学校名	六木小学校	所在地	121-0052 足立区六木3-21-11
交通	綾瀬駅(千代田線)または亀有駅(JR)から東武バスまたははるかぜ六木小学校前下車徒歩1分 八潮駅(つくばエクスプレス)下車徒歩15分 朝日バス(はるかぜ)六木小学校前下車徒歩1分		
開校年月日	昭和54年4月1日	敷地面積	11,581 m <sup>2</sup>
建築年	昭和54年	延床面積	6,063 m <sup>2</sup>
設計基準強度	21N/mm <sup>2</sup>	特別支援学級	知的障がい
		学童保育室	

2 これまでの学校規模の推移(各年度とも5/1付データ)

年度	10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	17年	17年	17年	15年	15年	16年	16年	17年	17年	18年	28年
在籍人数	519	524	520	528	521	534	527	527	524	511	531	499	508	510	512	526	502	499	494
学級	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	15	15	16	16	17	17	18

①これまでの学校規模の推移について

15学級から18学級で推移しており、児童数・学級数ともに適正な学校規模となっています。

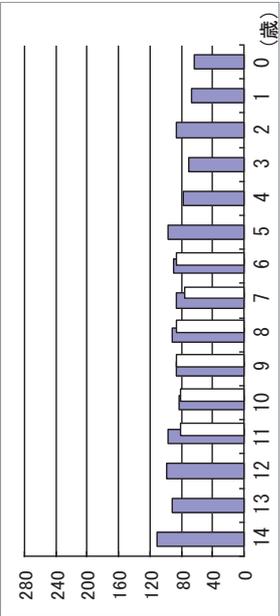


3 学区内の学齢・学齢前人口(H28/5/1付データ)

年齢	14歳	13歳	12歳	11歳	10歳	9歳	8歳	7歳	6歳	5歳	4歳	3歳	2歳	1歳	0歳
H28学年	6年	5年	4年	3年	2年	1年									
居住人数	111	91	98	96	83	86	92	86	89	96	77	71	86	67	63
H28児童数	81	81	85	86	76	85									
H28学級数	3	3	3	3	3	3									

①今後の児童数の推移について

学区内に住む学齢前人口は2学級から3学級規模で推移する見込みです。



4 適正規模・適正配置の方向性

適正規模で推移していくことが見込まれます。

1 学校基礎データ

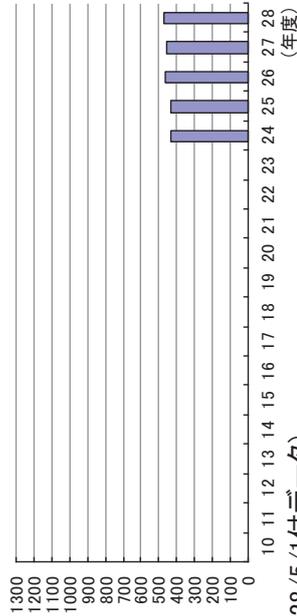
学校名	本木小学校	所在地	123-0857 足立区本木北町7-1
交通	北千住駅(東武線等)または大師前駅(東武大師線)から東武バス本木小学校前下車徒歩1分		
開校年月日	明治10年3月10日	敷地面積	6,527 m <sup>2</sup>
建築年	平成26年	延床面積	7,962 m <sup>2</sup>
設計基準強度	36N/mm <sup>2</sup>	特別支援学級	知的障がい
		学童保育室	

2 これまでの学校規模の推移(各年度とも5/1付データ)

年度	10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年	27年	28年
在籍人数														435	437	461	459	469	
学級																13	14	15	15

①これまでの学校規模の推移について

平成24年4月の統合後は13学級から15学級で推移しており、児童数・学級数ともに適正な学校規模となっています。

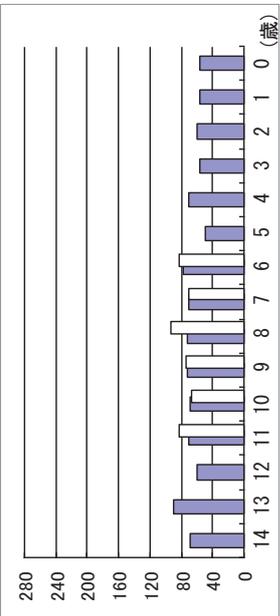


3 学区内の学齢・学齢前人口(H28/5/1付データ)

年齢	14歳	13歳	12歳	11歳	10歳	9歳	8歳	7歳	6歳	5歳	4歳	3歳	2歳	1歳	0歳
H28学年	6年	5年	4年	3年	2年	1年									
居住人数	68	90	60	70	68	72	71	77	49	70	57	60	57	60	56
H28児童数	83	67	74	93	70	82									
H28学級数	3	2	2	3	2	3									

①今後の児童数の推移について

学区内に住む学齢前人口は2学級規模で推移する見込みです。



4 適正規模・適正配置の方向性

平成24年4月に本木小学校と本木東小学校を統合しました。適正規模で推移していくことが見込まれます。

# 1 学校基礎データ

学校名	弥生小学校	所在地	120-0011 足立区中央本町2-5-1
交通	五反野駅(東武線)下車徒歩7分		
開校年月日	昭和28年4月1日	敷地面積	12,865 m <sup>2</sup>
建築年	昭和41年	延床面積	6,635 m <sup>2</sup>
設計基準強度	18N/mm <sup>2</sup>	特別支援学級	難聴・言語障がい
		学童保育室	あり

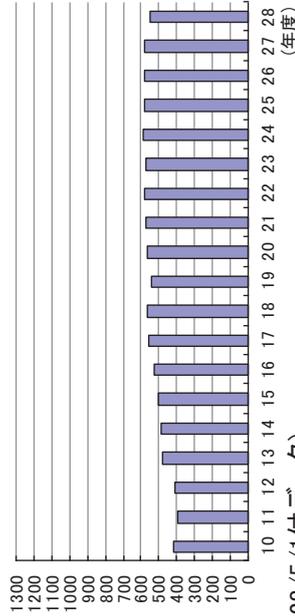
## 2 これまでの学校規模の推移(各年度とも5/1付データ)

年度	10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年	27年	28年
在籍人数	417	394	407	477	489	505	527	558	567	541	567	571	580	570	591	581	577	578	553
学級	13	12	12	15	15	17	17	18	18	17	18	18	18	18	18	18	18	18	18

\* 普通学級の人数です。

### ①これまでの学校規模の推移について

平成20年度以降、18学級で一定しており、児童数・学級数ともに適正な学校規模となっています。



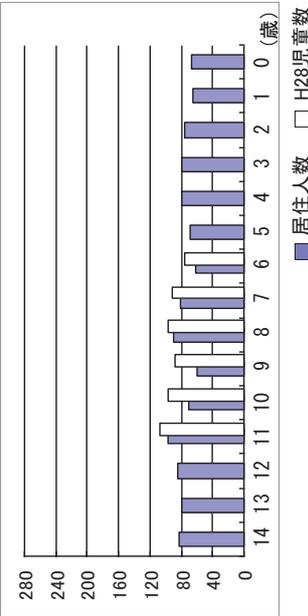
### 3 学区内の学齢・学齢前人口(H28/5/1付データ)

年齢	14歳	13歳	12歳	11歳	10歳	9歳	8歳	7歳	6歳	5歳	4歳	3歳	2歳	1歳	0歳
H28学年	6年	5年	4年	3年	2年	1年									
居住人数	82	79	84	97	71	59	89	81	62	69	79	79	76	66	67
H28児童数	106	96	88	96	91	76									
H28学級数	3	3	3	3	3	3									

### ①今後の児童数の推移について

学区内に住む学齢前人口は2学級から3学級規模で推移する見込みです。

### ②学区内の学齢・学齢前人口の推移グラフ



■ 居住人数 □ H28児童数

### 4 適正規模・適正配置の方向性

隣接する千寿第五小学校が平成25年度に統合しました。適正規模で推移していくことが見込まれます。

## 資料6 平成28年度 足立区立中学校基礎データ

学校名	ページ
1 青井中学校	80
2 伊興中学校	80
3 入谷中学校	81
4 入谷南中学校	81
5 扇中学校	82
6 加賀中学校	82
7 蒲原中学校	83
8 上沼田中学校	83
9 栗島中学校	84
10 江南中学校	84
11 江北中学校	85
12 鹿浜菜の花中学校	85
13 新田中学校	86
14 千寿青葉中学校	86
15 千寿桜堤中学校	87
16 第一中学校	87
17 第四中学校	88
18 第五中学校	88
19 第六中学校	89
20 第七中学校	89
21 第九中学校	90
22 第十中学校	90
23 第十一中学校	91
24 第十二中学校	91
25 第十三中学校	92
26 第十四中学校	92
27 竹の塚中学校	93
28 西新井中学校	93
29 花畑中学校	94
30 花畑北中学校	94
31 花保中学校	95
32 東綾瀬中学校	95
33 東島根中学校	96
34 淵江中学校	96
35 谷中中学校	97
36 六月中学校	97

1 学校基礎データ

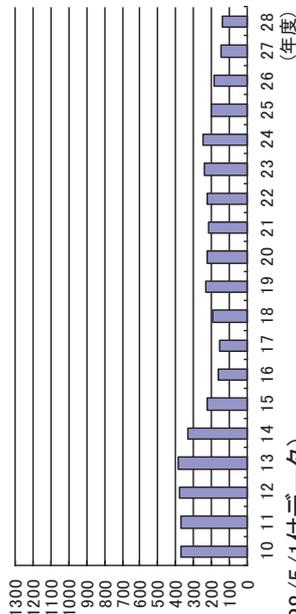
学校名 青井中学校 所在地 121-0012 足立区青井4-19-1  
 交通 青井駅(つくばエクスプレス)下車徒歩5分

開校年月日 昭和48年4月1日 敷地面積 15,701 m<sup>2</sup> 特別支援学級  
 建築年 昭和48年 延床面積 5,532 m<sup>2</sup>  
 設計基準強度 18N/mm<sup>2</sup>

2 これまでの学校規模の推移(各年度とも5/1付データ)

年度	10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年	27年	28年
在籍人数	373	373	380	387	329	223	160	153	197	230	221	214	228	238	247	203	188	150	140
学級	11	11	11	12	10	7	5	5	6	7	7	7	7	8	8	7	6	5	5

①これまでの学校規模の推移について  
 生徒数・学級数ともに減少傾向がみられます。平成21年度以降、5学級から8学級で推移しています。

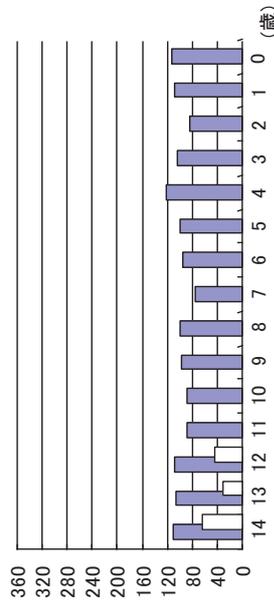


3 学区内の学齢・学齢前人口(H28/5/1付データ)

年齢	14歳	13歳	12歳	11歳	10歳	9歳	8歳	7歳	6歳	5歳	4歳	3歳	2歳	1歳	0歳
H28学年	3年	2年	1年												
居住人数	110	105	109	88	88	98	100	74	94	99	121	103	85	109	112
H28生徒数	65	31	44												
H28学級数	2	1	2												

①今後の生徒数の推移について

学区内に住む入学前人口は、2学級から4学級規模で推移する見込みです。近隣の中学校へ入学する生徒が多くみられます。



4 適正規模・適正配置の方向性

平成28年度現在、5学級となっています。近隣の中学校へ入学する生徒が多く、減少傾向が続いています、隣接する栗島中学校も小規模傾向にあり、この地域全体の適正規模・適正配置の検討が必要です。

1 学校基礎データ

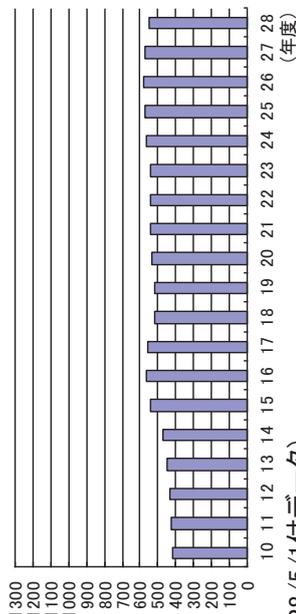
学校名 伊興中学校 所在地 121-0823 足立区伊興5-17-1  
 交通 竹ノ塚駅(東武線)下車徒歩15分

開校年月日 昭和53年4月1日 敷地面積 13,640 m<sup>2</sup> 特別支援学級 知的障がい  
 建築年 昭和53年 延床面積 6,939 m<sup>2</sup>  
 設計基準強度 21N/mm<sup>2</sup>

2 これまでの学校規模の推移(各年度とも5/1付データ)

年度	10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年	27年	28年
在籍人数	416	428	430	452	475	543	562	559	515	517	531	539	540	542	565	571	578	576	548
学級	12	12	12	12	13	15	16	16	14	15	15	15	15	15	15	16	16	16	16

①これまでの学校規模の推移について  
 平成21年度以降、15学級から16学級で推移しており、生徒数・学級数ともに適正な学校規模となっています。

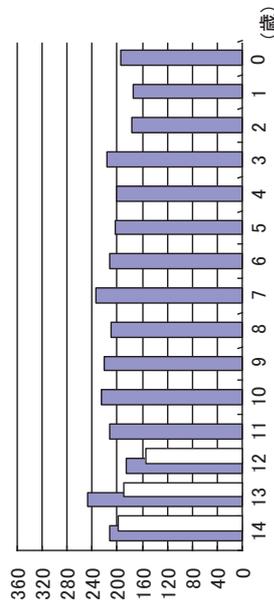


3 学区内の学齢・学級前人口(H28/5/1付データ)

年齢	14歳	13歳	12歳	11歳	10歳	9歳	8歳	7歳	6歳	5歳	4歳	3歳	2歳	1歳	0歳
H28学年	3年	2年	1年												
居住人数	211	247	186	213	226	220	209	234	213	204	202	216	176	174	195
H28生徒数	201	191	156												
H28学級数	6	5	5												

①今後の生徒数の推移について

学区内に住む入学前人口は、5学級から7学級規模で推移する見込みです。



4 適正規模・適正配置の方向性

適正規模で推移していくことが見込まれます。

# 1 学校基礎データ

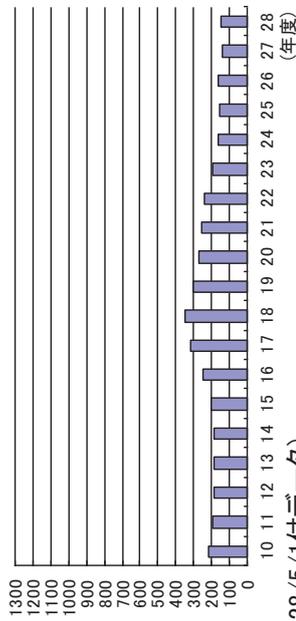
学校名	入谷中学校	所在地	121-0836 足立区入谷3-6-1
交通	竹ノ塚駅(東武線)から東武バス入谷三丁目下車徒歩3分		
開校年月日	昭和51年4月1日	敷地面積	14,686 m <sup>2</sup>
建築年	昭和51年	延床面積	6,388 m <sup>2</sup>
設計基準強度	21N/mm <sup>2</sup>		

## 2 これまでの学校規模の推移(各年度とも5/1付データ)

年度	10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年	27年	28年
在籍人数	216	196	186	187	187	201	249	316	349	300	267	255	238	192	160	157	163	141	149
学級	7	6	6	6	6	6	7	9	10	9	8	8	8	7	6	6	6	6	5

### ①これまでの学校規模の推移について

平成19年度以降、生徒数・学級数ともに減少傾向が続いており、10学級から5学級で推移しています。平成24年度以降は、6学級以下で推移しています。



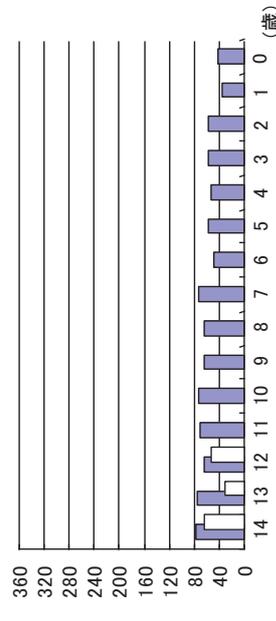
(年度)

## 3 学区内の学齢・学齢前人口(H28/5/1付データ)

年齢	14歳	13歳	12歳	11歳	10歳	9歳	8歳	7歳	6歳	5歳	4歳	3歳	2歳	1歳	0歳
H28学年	3年	2年	1年												
居住人数	77	76	65	70	73	65	64	72	48	57	52	57	58	36	43
H28生徒数	65	31	53												
H28学級数	2	1	2												

### ①今後の生徒数の推移について

学区内に住む入学前人口は、1学級から3学級規模で推移する見込みです。近隣の中学校へ入学する生徒が多くみられます。



(歳)

## 4 適正規模・適正配置の方向性

平成28年度現在、5学級となっています。近隣の中学校へ入学する生徒も多く、減少傾向が続いています。隣接する入谷南中学校も小規模傾向にあり、この地域全体の適正規模・適正配置の検討が必要です。

# 1 学校基礎データ

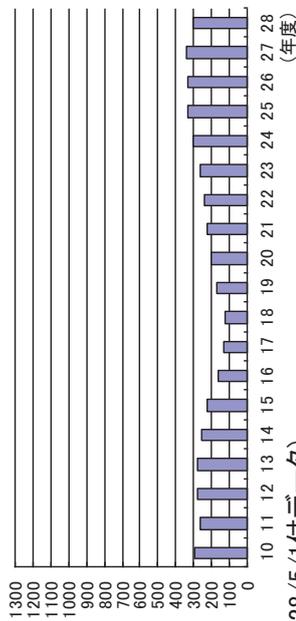
学校名	入谷南中学校	所在地	121-0836 足立区入谷1-24-1
交通	竹ノ塚駅(東武線)から東武バス入谷新道下車徒歩5分		
開校年月日	昭和61年4月1日	敷地面積	14,249 m <sup>2</sup>
建築年	平成2年	延床面積	7,373 m <sup>2</sup>
設計基準強度	21N/mm <sup>2</sup>		

## 2 これまでの学校規模の推移(各年度とも5/1付データ)

年度	10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年	27年	28年
在籍人数	291	265	276	275	254	222	160	133	122	174	201	223	239	265	301	336	329	343	300
学級	8	8	9	9	8	7	6	5	5	6	7	7	8	9	10	10	10	11	9

### ①これまでの学校規模の推移について

平成19年度以降、生徒数・学級数ともに増加傾向にあり、6学級から11学級で推移しています。



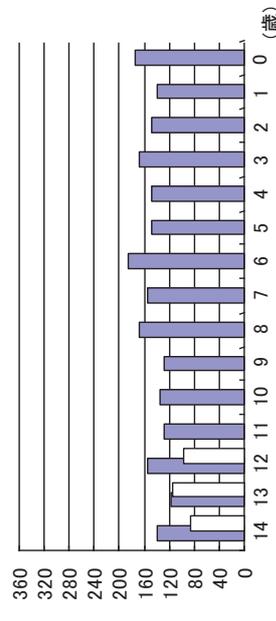
(年度)

## 3 学区内の学齢・学齢前人口(H28/5/1付データ)

年齢	14歳	13歳	12歳	11歳	10歳	9歳	8歳	7歳	6歳	5歳	4歳	3歳	2歳	1歳	0歳
H28学年	3年	2年	1年												
居住人数	139	117	155	128	134	128	167	155	186	149	148	167	148	139	174
H28生徒数	87	115	98												
H28学級数	3	3	3												

### ①今後の生徒数の推移について

学区内に住む入学前人口は、4学級から5学級規模で推移する見込みです。日暮里・舎人ライナー沿線のため、今後の開発状況等に注視していく必要があります。



(歳)

## 4 適正規模・適正配置の方向性

平成28年度現在、9学級となっています。隣接する入谷中学校も小規模傾向にあり、この地域全体での適正規模・適正配置の検討が必要です。また、校舎は平成2年に建てられ、新耐震構造基準に適合した新しい校舎です。

# 1 学校基礎データ

**学校名** 扇中学校 **所在地** 123-0873 足立区扇3-18-14  
**交通** 西新井駅(東武線)から都営バス阿弥陀橋下車徒歩3分  
 江北駅(日暮里・舎人ライナー)下車徒歩3分

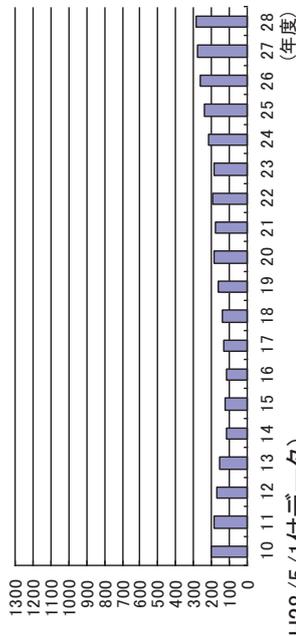
**開校年月日** 昭和57年4月1日 **敷地面積** 15,852 m<sup>2</sup> **特別支援学級**  
**建築年** 昭和57年 **延床面積** 5,614 m<sup>2</sup>  
**設計基準強度** 21N/mm<sup>2</sup>

## 2 これまでの学校規模の推移(各年度とも5/1付データ) \*普通学級の人数です。

年度	10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年	27年	28年
在籍人数	199	185	169	152	116	121	116	133	140	160	187	181	190	187	219	240	265	277	284
学級	6	6	6	6	5	5	5	5	5	6	6	6	6	6	6	6	7	8	9

### ①これまでの学校規模の推移について

平成24年度以降、生徒数・学級数ともに増加傾向にあり、6学級から9学級で推移しています。

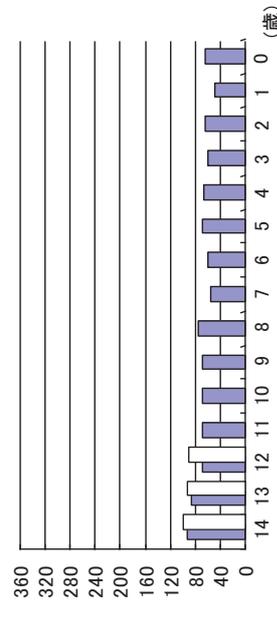


## 3 学区内の学齢・学齢前人口(H28/5/1付データ)

年齢	14歳	13歳	12歳	11歳	10歳	9歳	8歳	7歳	6歳	5歳	4歳	3歳	2歳	1歳	0歳
H28学年	3年	2年	1年												
居住人数	93	86	69	69	68	69	75	56	60	67	60	64	49	65	
H28生徒数	99	93	92												
H28学級数	3	3	3												

### ①今後の生徒数の推移について

学区内に住む入学前人口は、2学級から3学級規模で推移する見込みです。学区外からの入学者も多くなります。



## 4 適正規模・適正配置の方向性

学区域外からの入学者が多くみられ、生徒数・学級数は今後は横ばいで推移すると見込まれます。興本小学校との小中一貫校のため、適正規模・適正配置の検討することが難しい地域です。

# 1 学校基礎データ

**学校名** 加賀中学校 **所在地** 123-0861 足立区加賀2-25-22  
**交通** 西新井駅(東武線)から東武バス加賀一丁目下車徒歩5分

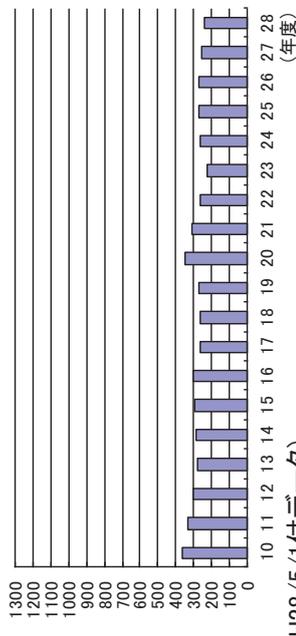
**開校年月日** 昭和59年4月1日 **敷地面積** 11,459 m<sup>2</sup> **特別支援学級**  
**建築年** 昭和59年 **延床面積** 8,098 m<sup>2</sup>  
**設計基準強度** 21N/mm<sup>2</sup>

## 2 これまでの学校規模の推移(各年度とも5/1付データ) \*普通学級の人数です。

年度	10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年	27年	28年
在籍人数	360	335	298	278	290	292	302	261	263	274	352	310	264	228	260	267	272	253	243
学級	11	10	9	9	9	9	9	8	8	8	10	9	8	7	8	9	8	8	7

### ①これまでの学校規模の推移について

平成21年度以降、生徒数・学級数ともに減少傾向にあり、9学級から7学級で推移しています。

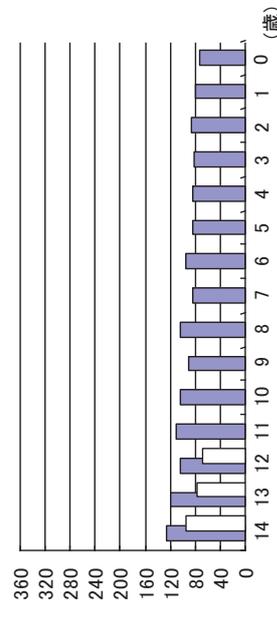


## 3 学区内の学齢・学齢前人口(H28/5/1付データ)

年齢	14歳	13歳	12歳	11歳	10歳	9歳	8歳	7歳	6歳	5歳	4歳	3歳	2歳	1歳	0歳
H28学年	3年	2年	1年												
居住人数	125	119	104	110	104	104	104	85	94	85	83	81	86	79	72
H28生徒数	96	77	70												
H28学級数	3	2	2												

### ①今後の生徒数の推移について

学区内に住む入学前人口は、2学級から4学級規模で推移する見込みです。



## 4 適正規模・適正配置の方向性

生徒数・学級数ともに減少傾向は見られますが、周囲の学校と適正な距離が保たれており、直ちに適正規模・適正配置の検討をすることはありません。

# 1 学校基礎データ

学校名 浦原中学校 所在地 120-0003 足立区東和3-17-15  
 交通 綾瀬駅(千代田線)からはるかぜ蒲原中学校入り口下車徒歩2分

開校年月日 昭和32年4月1日 敷地面積 15,133 m<sup>2</sup> 特別支援学級  
 建築年 昭和47年 延床面積 7,576 m<sup>2</sup>

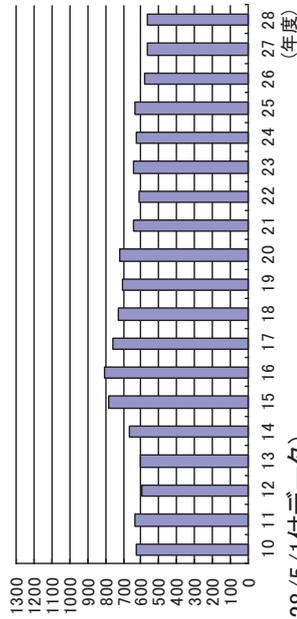
設計基準強度 18N/mm<sup>2</sup>

## 2 これまでの学校規模の推移(各年度とも5/1付データ)

\* 普通学級の人数です。

年度	10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年	27年	28年
在籍人数	630	633	597	600	664	783	802	761	729	705	718	645	613	643	630	635	580	567	564
学級	17	17	16	16	18	21	22	21	20	19	19	17	16	18	17	18	17	15	16

①これまでの学校規模の推移について  
 平成21年度以降、15学級から18学級で推移しており、生徒数・学級数とも適正な学校規模となっています。



(年度)

(年度)

14歳 13歳 12歳 11歳 10歳 9歳 8歳 7歳 6歳 5歳 4歳 3歳 2歳 1歳 0歳

H28学年 3年 2年 1年

居住人数 237 221 244 265 233 226 253 257 261 251 254 238 264 262 281

H28生徒数 197 173 194

H28学級数 5 5 6

①今後の生徒数の推移について

学区域内に住む入学前人口は6学級から8学級で推移する見込みです。

学区域内に住む入学前人口は、2学級規模で推移する見込みです。

②学区域内の学齢・学齢前人口の推移グラフ

360 320 280 240 200 160 120 80 40 0

14 13 12 11 10 9 8 7 6 5 4 3 2 1 0 (歳)

■ 居住人数 □ H28生徒数

4 適正規模・適正配置の方向性

適正規模で推移していくことが見込まれます。学区域内で集合住宅の建設があり、今後の人口増加に注視する必要があります。

# 1 学校基礎データ

学校名 上沼田中学校 所在地 123-0872 足立区江北5-14-1  
 交通 西新井駅(東武線)から都営バス・国際興業バス江北陸橋下下車徒歩7分  
 江北駅・西新井大師西駅(日暮里・舎人ライナー)下車徒歩10分

開校年月日 昭和52年4月1日 敷地面積 7,666 m<sup>2</sup> 特別支援学級  
 建築年 昭和52年 延床面積 4,476 m<sup>2</sup>

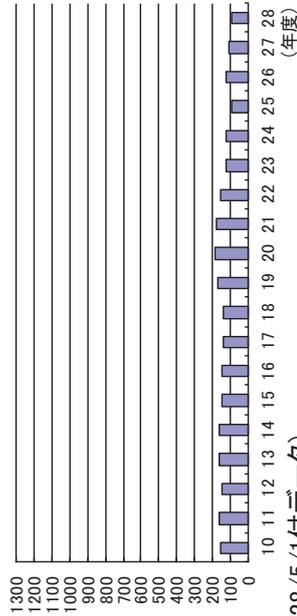
設計基準強度 21N/mm<sup>2</sup>

## 2 これまでの学校規模の推移(各年度とも5/1付データ)

\* 普通学級の人数です。

年度	10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年	27年	28年
在籍人数	153	160	148	166	159	147	150	141	142	171	182	175	153	120	121	91	125	112	96
学級	6	5	5	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	5	5	4	5	4

①これまでの学校規模の推移について  
 生徒数・学級数ともに減少傾向がみられます。平成23年度以降は、4学級から5学級で推移し、学年によっては単学級となっています。



(年度)

(年度)

14歳 13歳 12歳 11歳 10歳 9歳 8歳 7歳 6歳 5歳 4歳 3歳 2歳 1歳 0歳

H28学年 3年 2年 1年

居住人数 65 65 35 46 52 49 58 59 66 53 70 67 65 67 61

H28生徒数 58 29 9

H28学級数 2 1 1

①今後の生徒数の推移について

学区域内に住む入学前人口は、2学級規模で推移する見込みです。

②学区域内の学齢・学齢前人口の推移グラフ

360 320 280 240 200 160 120 80 40 0

14 13 12 11 10 9 8 7 6 5 4 3 2 1 0 (歳)

■ 居住人数 □ H28生徒数

4 適正規模・適正配置の方向性

小規模傾向の改善と施設更新の課題を解決するため、平成29年度に江北中学校との統合を予定しています。

# 1 学校基礎データ

学校名	栗島中学校	所在地	121-0011 足立区中央本町5-23-1
交通	五反野駅(東武線)下車徒歩20分 西新井駅(東武線)からはるかぜ栗島中学校前下車徒歩1分		
開校年月日	昭和56年4月1日	敷地面積	11,859 m <sup>2</sup>
建築年	昭和56年	延床面積	6,759 m <sup>2</sup>
設計基準強度	21N/mm <sup>2</sup>		

特別支援学級 知的障がい

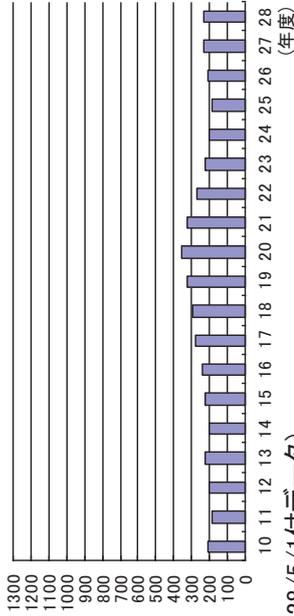
## 2 これまでの学校規模の推移(各年度とも5/1付データ)

\* 普通学級の人数です。

年度	10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年	27年	28年
在籍人数	211	188	202	223	205	228	243	282	293	325	354	325	271	223	200	183	209	232	236
学級	6	6	7	7	8	8	9	9	10	10	9	7	7	6	6	7	8	8	8

### ①これまでの学校規模の推移について

平成26年度以降、生徒数・学級数ともに増加傾向にあり、7学級から8学級で推移しています。

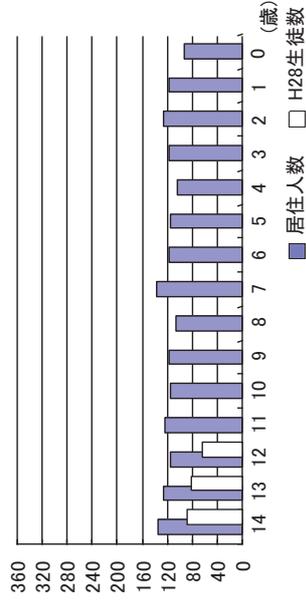


## 3 学区内の学齢・学齢前人口(H28/5/1付データ)

年齢	14歳	13歳	12歳	11歳	10歳	9歳	8歳	7歳	6歳	5歳	4歳	3歳	2歳	1歳	0歳
H28学年	3年	2年	1年												
居住人数	134	126	115	123	115	116	107	136	117	114	103	117	126	117	93
H28生徒数	89	82	65												
H28学級数	3	3	2												

### ①今後の生徒数の推移について

学区内に住む入前人口は、3学級から4学級規模で推移する見込みです。近隣の中学校へ入学する生徒が多くみられます。



### 4 適正規模・適正配置の方向性

平成28年度現在、8学級となっています。隣接する青井中学校も小規模傾向にあり、この地域全体での適正規模・適正配置の検討が必要です。

# 1 学校基礎データ

学校名	江南中学校	所在地	120-0047 足立区宮城1-8-4
交通	西新井駅(東武線)から都営バス宮城二丁目下車徒歩7分 田端駅(JR)から都営バス宮城都営住宅前下車徒歩3分		
開校年月日	昭和28年4月1日	敷地面積	9,243 m <sup>2</sup>
建築年	昭和42年	延床面積	5,458 m <sup>2</sup>
設計基準強度	18N/mm <sup>2</sup>		

特別支援学級

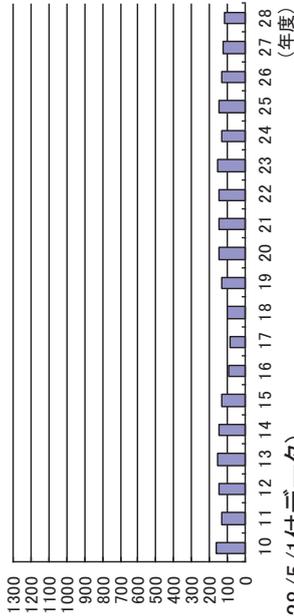
## 2 これまでの学校規模の推移(各年度とも5/1付データ)

\* 普通学級の人数です。

年度	10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年	27年	28年
在籍人数	163	135	146	152	150	135	95	87	99	129	145	150	148	151	129	145	134	127	113
学級	6	6	6	6	6	6	5	4	4	5	6	6	6	6	6	5	5	4	4

### ①これまでの学校規模の推移について

生徒数・学級数は、ほぼ横ばいの状態です。4学級から6学級で推移しています。

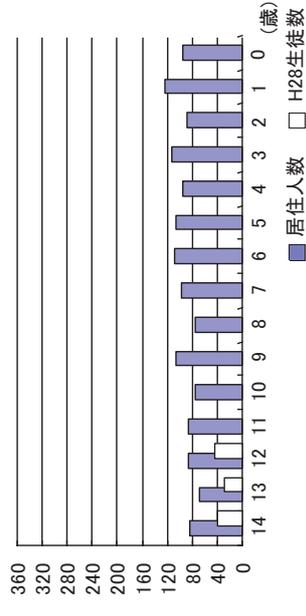


## 3 学区内の学齢・学齢前人口(H28/5/1付データ)

年齢	14歳	13歳	12歳	11歳	10歳	9歳	8歳	7歳	6歳	5歳	4歳	3歳	2歳	1歳	0歳
H28学年	3年	2年	1年												
居住人数	85	69	86	87	75	105	76	97	108	105	96	112	88	124	96
H28生徒数	40	28	45												
H28学級数	1	1	2												

### ②学区内の学齢・学齢前人口の推移グラフ

学区内に住む入前人口は、2学級から4学級規模で推移する見込みです。近隣の中学校へ入学する生徒が多くみられます。



### 4 適正規模・適正配置の方向性

平成28年度現在、4学級となっています。周囲を河川に囲まれていることから、適正規模・適正配置の検討が困難な地域です。



# 1 学校基礎データ

学校名 **新田中学校** 所在地 **123-0865 足立区新田3-34-2**  
 交通 **北千住駅(東武線等)から都営バスハートアイランド西下車1分**

王子駅(JR等)から都営バスハートアイランド南下車徒歩3分

開校年月日 **昭和34年9月1日** 敷地面積 **16,000 m<sup>2</sup>** 特別支援学級  
 建築年 **平成22年** 延床面積 **12,340 m<sup>2</sup>**

設計基準強度 **30N/mm<sup>2</sup>**

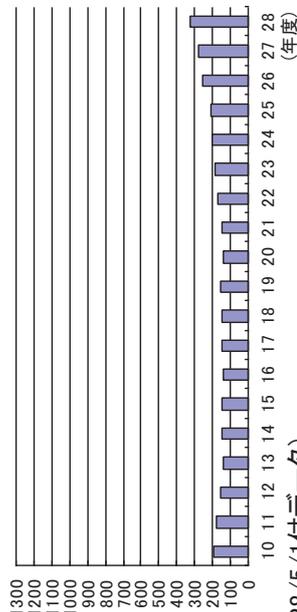
## 2 これまでの学校規模の推移(各年度とも5/1付データ)

\* 普通学級の人数です。

年度	10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年	27年	28年	
在籍人数	192	175	151	138	146	144	143	149	147	155	137	147	167	189	201	212	256	276	324	
学級	6	5	5	6	6	6	6	6	6	6	5	5	5	5	6	6	7	8	9	10

### ①これまでの学校規模の推移について

平成21年度以降、生徒数・学級数ともに増加傾向がみられます。5学級から10学級で推移しています。

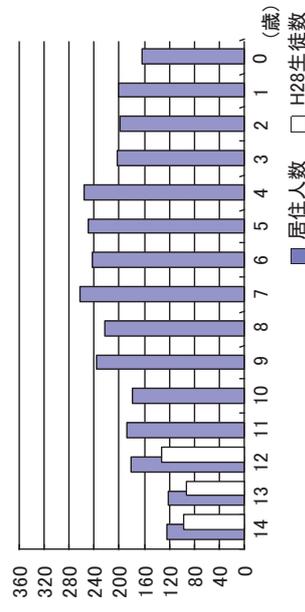


## 3 学区内の学齢・学齢前人口(H28/5/1付データ)

年齢	14歳	13歳	12歳	11歳	10歳	9歳	8歳	7歳	6歳	5歳	4歳	3歳	2歳	1歳	0歳	
H28学年	3年	2年	1年													
居住人数	123	122	181	187	178	237	224	262	243	250	257	203	198	202	164	
H28生徒数	97	93	134													
H28学級数	3	3	4													

### ①今後の生徒数の推移について

学区内に住む入前人口は、増加傾向がみられます。学級数は5学級から8学級規模で推移し、現状よりも増加する見込みです。



## 4 適正規模・適正配置の方向性

学区内に住む入前人口は増加傾向にあります。しかし、周囲を河川に囲まれていることから、適正規模・適正配置の検討が困難な地域です。

# 1 学校基礎データ

学校名 **千寿青葉中学校** 所在地 **120-0043 足立区千住宮元町27-6**  
 交通 **北千住駅(東武線等)下車徒歩13分**

開校年月日 **平成15年4月1日** 敷地面積 **10,390 m<sup>2</sup>** 特別支援学級  
 建築年 **昭和37年** 延床面積 **6,281 m<sup>2</sup>**

設計基準強度 **18N/mm<sup>2</sup>**

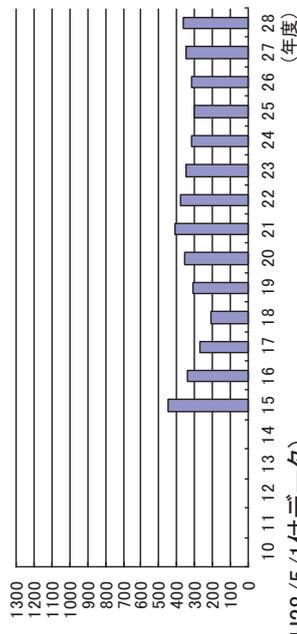
## 2 これまでの学校規模の推移(各年度とも5/1付データ)

\* 普通学級の人数です。

年度	10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年	27年	28年
在籍人数					450	338	271	207	306	357	408	379	348	319	300	315	345	362	362
学級					12	10	9	7	10	11	12	11	10	9	9	10	10	10	12

### ①これまでの学校規模の推移について

平成26年度以降、生徒数・学級数ともに増加傾向にあり、10学級から12学級で推移しています。

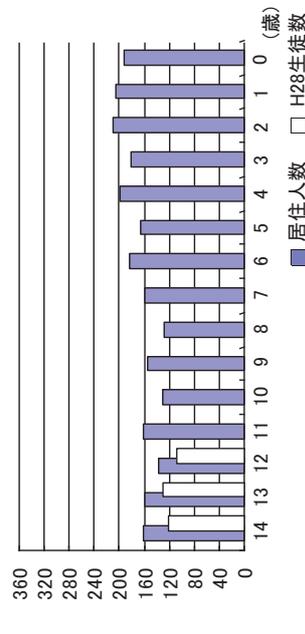


## 3 学区内の学齢・学齢前人口(H28/5/1付データ)

年齢	14歳	13歳	12歳	11歳	10歳	9歳	8歳	7歳	6歳	5歳	4歳	3歳	2歳	1歳	0歳	
H28学年	3年	2年	1年													
居住人数	161	160	138	162	131	154	129	159	184	165	199	182	209	206	193	
H28生徒数	122	132	108													
H28学級数	4	4	4													

### ①今後の生徒数の推移について

学区内に住む入前人口は、4学級から6学級規模で推移する見込みです。



## 4 適正規模・適正配置の方向性

学区内に住む入前人口は増加傾向にあります。大規模開発による影響を注視していく必要があります。最も古い校舎は昭和37年に建てられ、施設更新の検討が必要です。

1 学校基礎データ

学校名 千寿桜堤中学校 所在地 120-0022 足立区柳原2-49-1  
 交通 北千住駅(東武線等)下車徒歩10分

開校年月日 平成17年4月1日 敷地面積 7,756 m<sup>2</sup> 特別支援学級  
 建築年 平成17年 延床面積 8,120 m<sup>2</sup>

設計基準強度 27N/mm<sup>2</sup>

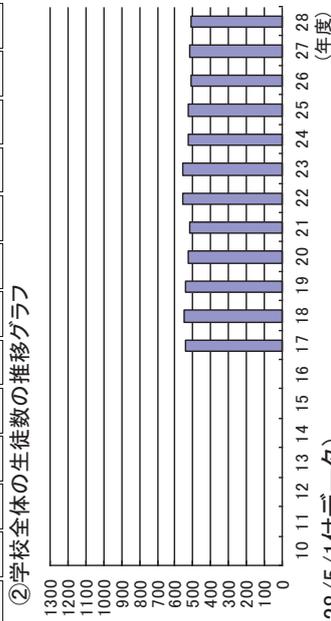
2 これまでの学校規模の推移(各年度とも5/1付データ)

\* 普通学級の数です。

年度	10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年	27年	28年
在籍人数								539	552	545	529	522	560	558	529	523	512	520	509
学級							15	15	15	14	14	15	15	15	15	16	15	15	15

①これまでの学校規模の推移について

開校以来、14学級から16学級で推移しており、生徒数・学級数とも適正な学校規模となっています。

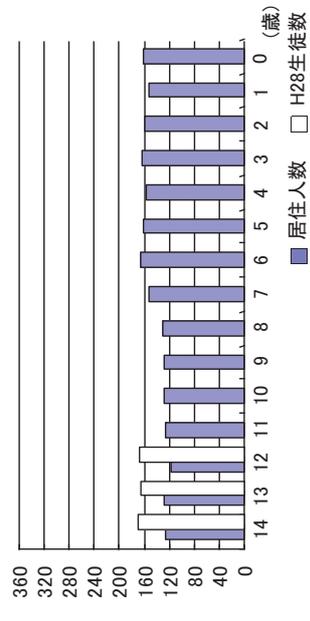


3 学区内の学齢・学齢前人口(H28/5/1付データ)

年齢	14歳	13歳	12歳	11歳	10歳	9歳	8歳	7歳	6歳	5歳	4歳	3歳	2歳	1歳	0歳
H28学年	3年	2年	1年												
居住人数	125	128	118	125	129	129	130	153	166	161	157	163	159	153	162
H28生徒数	172	167	170												
H28学級数	5	5	5												

①今後の生徒数の推移について

学区内に住む入学前人口は、4学級から5学級規模で推移する見込みです。学区外からの入学者も多くなります。



4 適正規模・適正配置の方向性

適正規模で推移していくことが見込まれます。

1 学校基礎データ

学校名 第一中学校 所在地 120-0037 足立区千住河原町4-7  
 交通 北千住駅(東武線等)下車徒歩15分  
 千住大橋駅(京成線)下車徒歩2分

開校年月日 昭和22年4月1日 敷地面積 9,270 m<sup>2</sup> 特別支援学級 知的障がい  
 建築年 平成17年 延床面積 7,853 m<sup>2</sup>

設計基準強度 21N/mm<sup>2</sup>

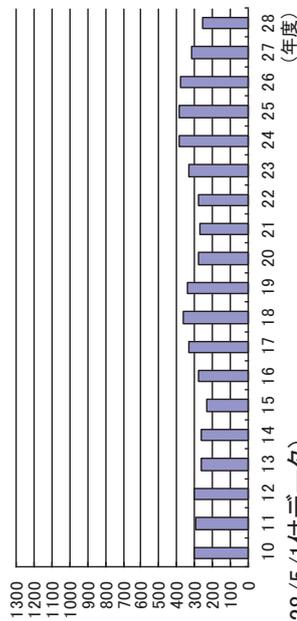
2 これまでの学校規模の推移(各年度とも5/1付データ)

\* 普通学級の数です。

年度	10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年	27年	28年
在籍人数	299	297	299	266	264	231	276	331	367	343	280	267	278	334	387	390	382	318	252
学級	9	9	9	8	8	7	9	10	11	10	8	8	10	11	12	12	10	10	7

①これまでの学校規模の推移について

平成27年度以降、生徒数・学級数ともに減少傾向にあり、10学級から7学級で推移しています。

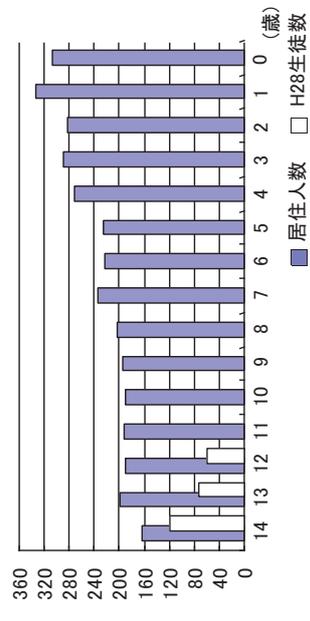


3 学区内の学齢・学齢前人口(H28/5/1付データ)

年齢	14歳	13歳	12歳	11歳	10歳	9歳	8歳	7歳	6歳	5歳	4歳	3歳	2歳	1歳	0歳
H28学年	3年	2年	1年												
居住人数	163	199	190	192	191	195	203	235	222	226	272	290	282	333	306
H28生徒数	119	74	59												
H28学級数	3	2	2												

①今後の生徒数の推移について

学区内に住む入学前人口は増加傾向にあり、5学級から10学級規模で推移する見込みです。近隣の中学校へ入学する生徒が多くなります。



4 適正規模・適正配置の方向性

平成28年度現在、7学級となっていますが、大規模開業により急激な人口増加が見込まれます。今後の生徒数や学区内に住む入学前人口の推移を注視していく必要があります。

# 1 学校基礎データ

学校名 第四中学校 所在地 121-0816 足立区梅島1-2-33  
 交通 梅島駅(東武線)下車徒歩7分

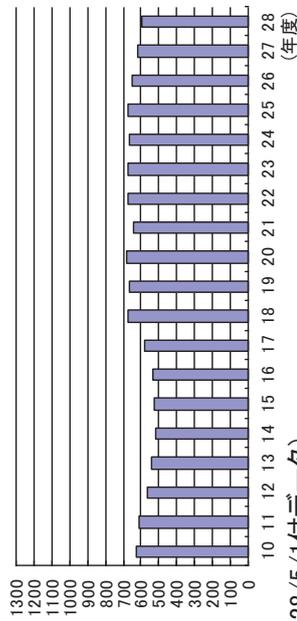
開校年月日 昭和22年4月1日 敷地面積 13,863 m<sup>2</sup> 特別支援学級  
 建築年 昭和36年 (H22大規模改修) 延床面積 7,407 m<sup>2</sup>  
 設計基準強度 18N/mm<sup>2</sup>

## 2 これまでの学校規模の推移(各年度とも5/1付データ) \*普通学級の数です。

年度	10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年	27年	28年
在籍人数	626	610	566	538	517	523	533	579	675	669	684	640	673	672	669	673	647	619	592
学級	18	17	15	15	15	15	15	16	18	18	17	18	18	18	18	19	18	17	17

### ①これまでの学校規模の推移について

平成21年度以降、17学級から19学級で推移しており、生徒数・学級数とも適正な学校規模となっています。



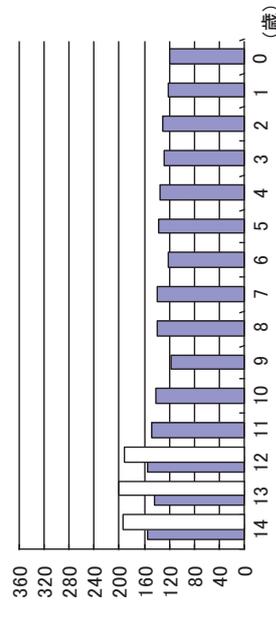
(年度)

## 3 学区内の学齢・学齢前人口(H28/5/1付データ)

年齢	14歳	13歳	12歳	11歳	10歳	9歳	8歳	7歳	6歳	5歳	4歳	3歳	2歳	1歳	0歳
H28学年	3年	2年	1年												
居住人数	154	144	154	149	141	116	140	139	121	136	135	129	130	121	120
H28生徒数	195	203	194												
H28学級数	5	6	6												

### ①今後の生徒数の推移について

学区内に住む入学前人口は、3学級から5学級規模で推移する見込みです。学区外からの入学者も多くみられます。



(歳)

## 4 適正規模・適正配置の方向性

適正規模で推移していくことがと見込まれます。

# 1 学校基礎データ

学校名 第五中学校 所在地 123-0845 足立区西新井本町2-3-1  
 交通 大師前駅(東武大師線)下車徒歩5分

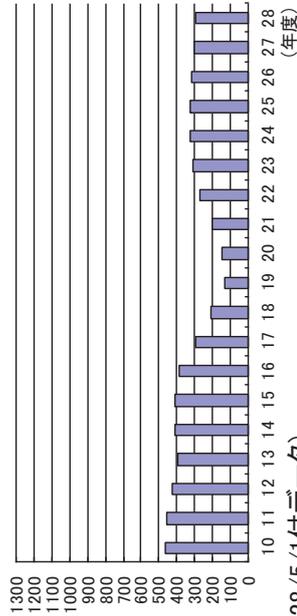
開校年月日 昭和22年4月1日 敷地面積 11,803 m<sup>2</sup> 特別支援学級  
 建築年 昭和43年 延床面積 7,294 m<sup>2</sup>  
 設計基準強度 18N/mm<sup>2</sup>

## 2 これまでの学校規模の推移(各年度とも5/1付データ) \*普通学級の数です。

年度	10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年	27年	28年
在籍人数	464	454	426	394	407	412	386	294	206	132	149	202	269	309	326	328	315	302	292
学級	13	13	13	12	12	12	11	9	7	5	5	7	9	9	9	9	9	9	9

### ①これまでの学校規模の推移について

平成20年度以降、生徒数・学級数とも増加傾向にあり、近年は9学級で一定しています。



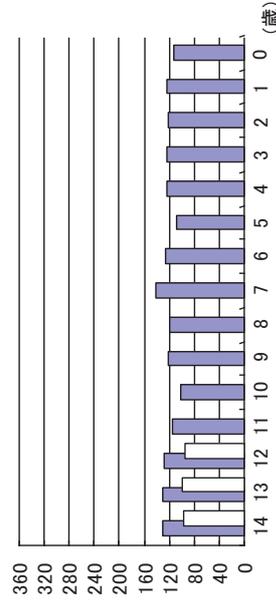
(年度)

## 3 学区内の学齢・学齢前人口(H28/5/1付データ)

年齢	14歳	13歳	12歳	11歳	10歳	9歳	8歳	7歳	6歳	5歳	4歳	3歳	2歳	1歳	0歳
H28学年	3年	2年	1年												
居住人数	131	131	128	114	101	122	120	141	126	109	124	124	121	123	112
H28生徒数	97	99	96												
H28学級数	3	3	3												

### ①今後の生徒数の推移について

学区内に住む入学前人口は、3学級から5学級規模で推移する見込みです。近隣の中学校へ入学する生徒が多くみられます。



(歳)

## 4 適正規模・適正配置の方向性

平成28年度現在、9学級となっています。近隣の中学校に入学する生徒が多く見られます。今後の生徒数や学区内に住む入学前人口の推移を注視していく必要があります。

# 1 学校基礎データ

学校名 第六中学校 所在地 123-0856 足立区本木西町16-1  
 交通 北千住駅(東武線等)から東武バス本木小学校前下車徒歩3分

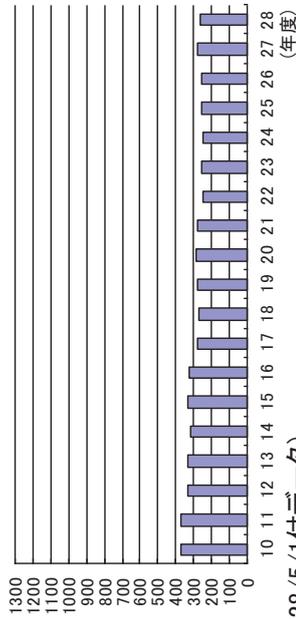
開校年月日 昭和22年4月19日 敷地面積 10,609 m<sup>2</sup> 特別支援学級 知的障がい  
 建築年 昭和47年 延床面積 7,162 m<sup>2</sup>  
 設計基準強度 18N/mm<sup>2</sup> \*普通学級の人数です。

## 2 これまでの学校規模の推移(各年度とも5/1付データ)

年度	10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年	27年	28年
在籍人数	373	369	334	331	321	334	325	276	273	279	290	275	245	253	246	255	257	280	265
学級	11	10	10	10	9	9	8	8	8	8	8	7	8	8	8	9	9	10	9

### ①これまでの学校規模の推移について

平成21年度以降、生徒数・学級数は、ほぼ横ばいの状態です。7学級から10学級で推移しています。



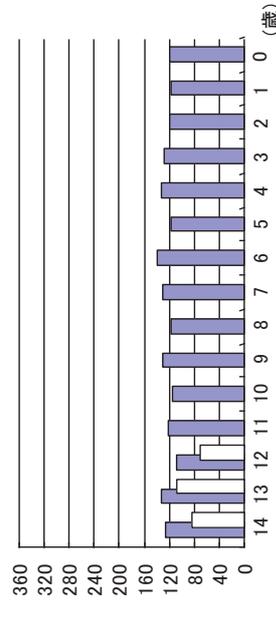
(年度)

## 3 学区内の学齢・学齢前人口(H28/5/1付データ)

年齢	14歳	13歳	12歳	11歳	10歳	9歳	8歳	7歳	6歳	5歳	4歳	3歳	2歳	1歳	0歳	
H28学年	3年	2年	1年													
居住人数	126	133	109	121	114	130	118	130	140	118	133	128	120	118	119	
H28生徒数	84	110	71													
H28学級数	3	3	3													

### ①今後の生徒数の推移について

学区内に住む入学前人口は、3学級から4学級規模で推移する見込みです。大規模住宅の建設が予定されています。



(歳)

## 4 適正規模・適正配置の方向性

大規模住宅建設の状況によっては、生徒数が増える可能性があります。今後の生徒数や学区内に住む入学前人口の推移を注視していく必要があります。

# 1 学校基礎データ

学校名 第七中学校 所在地 123-0852 足立区関原3-32-14  
 交通 西新井駅(東武線)下車徒歩10分

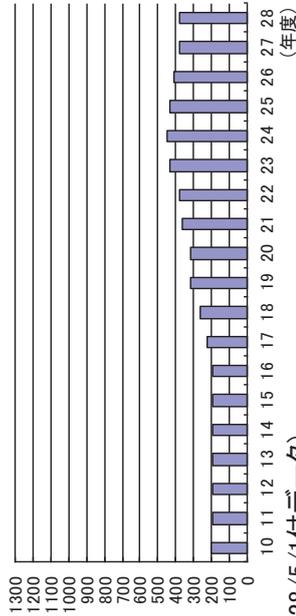
開校年月日 昭和22年4月1日 敷地面積 10,955 m<sup>2</sup> 特別支援学級 知的障がい  
 建築年 昭和39年(H22大規模改修) 延床面積 6,158 m<sup>2</sup>  
 設計基準強度 18N/mm<sup>2</sup> \*普通学級の人数です。

## 2 これまでの学校規模の推移(各年度とも5/1付データ)

年度	10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年	27年	28年
在籍人数	204	193	191	197	195	196	190	223	265	317	319	363	382	431	449	431	409	383	380
学級	6	6	6	6	6	6	6	6	7	8	10	9	11	11	12	12	12	12	12

### ①これまでの学校規模の推移について

平成23年度以降、12学級で一定していますが、生徒数は減少傾向にあります。平成24年度に第十中学校との学区変更を行いました。



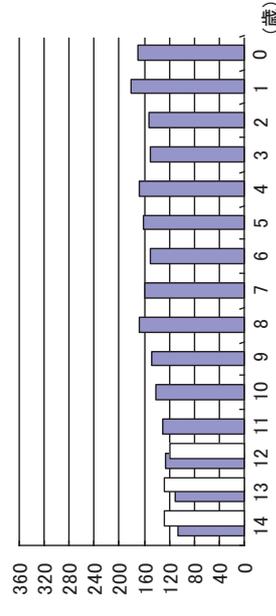
(年度)

## 3 学区内の学齢・学齢前人口(H28/5/1付データ)

年齢	14歳	13歳	12歳	11歳	10歳	9歳	8歳	7歳	6歳	5歳	4歳	3歳	2歳	1歳	0歳	
H28学年	3年	2年	1年													
居住人数	107	110	126	131	142	149	167	158	151	161	167	151	153	182	169	
H28生徒数	130	129	121													
H28学級数	4	4	4													

### ①今後の生徒数の推移について

学区内に住む入学前人口は、4学級から6学級規模で推移する見込みです。学区外からの入学者も多くなります。



(歳)

## 4 適正規模・適正配置の方向性

適正規模で推移していくことが見込まれます。

# 1 学校基礎データ

学校名 第九中学校 所在地 123-0851 足立区梅田6-32-1  
交通 梅島駅(東武線)下車徒歩3分

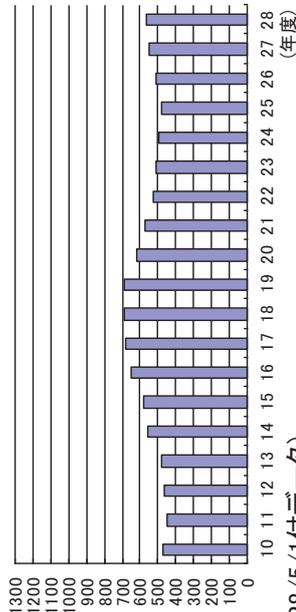
開校年月日 昭和22年4月1日 敷地面積 13,970 m<sup>2</sup> 特別支援学級  
建築年 昭和36年 (H22大規模改修) 延床面積 6,884 m<sup>2</sup>  
設計基準強度 18N/mm<sup>2</sup>

## 2 これまでの学校規模の推移(各年度とも5/1付データ)

年度	10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年	27年	28年
在籍人数	475	451	461	482	554	583	647	682	691	692	620	569	524	509	495	477	508	548	564
学級	14	13	13	14	16	16	17	19	19	19	17	16	15	14	14	14	15	16	16

①これまでの学校規模の推移について  
平成21年度以降、14学級から16学級で推移しており、生徒数・学級数ともに適正な学校規模となっています。

## ②学区全体の生徒数の推移グラフ



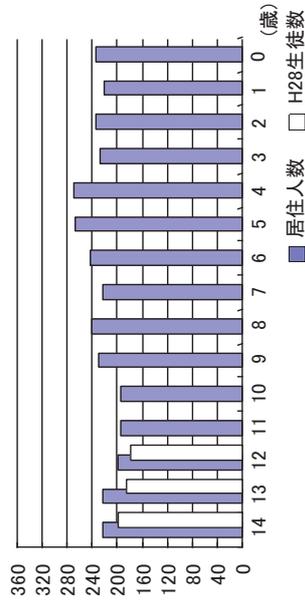
## 3 学区内の学齢・学齢前人口(H28/5/1付データ)

年齢	14歳	13歳	12歳	11歳	10歳	9歳	8歳	7歳	6歳	5歳	4歳	3歳	2歳	1歳	0歳
H28学年	3年	2年	1年												
居住人数	223	224	199	195	194	230	240	224	244	268	269	228	235	221	235
H28生徒数	199	186	179												
H28学級数	5	5	6												

## ①今後の生徒数の推移について

学区内に住む入前人口は増加傾向にあり、5学級から8学級規模で推移する見込みです。

## ②学区内の学齢・学齢前人口の推移グラフ



## 4 適正規模・適正配置の方向性

適正規模で推移していくことが見込まれます。

# 1 学校基礎データ

学校名 第十中学校 所在地 121-0816 足立区梅島3-23-3  
交通 西新井駅(東武線)下車徒歩5分

開校年月日 昭和22年4月19日 敷地面積 11,212 m<sup>2</sup> 特別支援学級 情緒障がい等  
建築年 昭和37年 (H25大規模改修) 延床面積 7,812 m<sup>2</sup>  
設計基準強度 18N/mm<sup>2</sup>

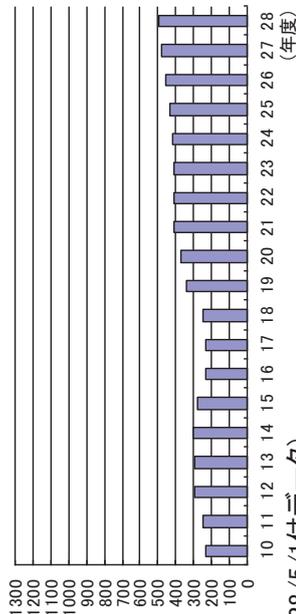
## 2 これまでの学校規模の推移(各年度とも5/1付データ)

年度	10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年	27年	28年
在籍人数	231	244	291	291	299	275	229	231	249	342	369	409	411	421	432	453	477	494	494
学級	7	8	9	9	9	9	8	8	8	10	11	12	12	12	12	13	13	14	15

## ①これまでの学校規模の推移について

平成21年度以降、12学級から15学級で推移しており、生徒数・学級数ともに適正規模となっています。平成24年度に第七中学校との学区変更を行いました。

## ②学区全体の生徒数の推移グラフ



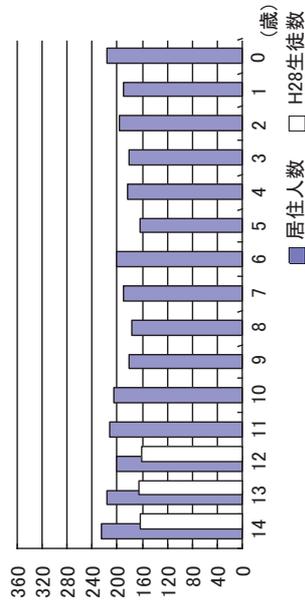
## 3 学区内の学齢・学齢前人口(H28/5/1付データ)

年齢	14歳	13歳	12歳	11歳	10歳	9歳	8歳	7歳	6歳	5歳	4歳	3歳	2歳	1歳	0歳
H28学年	3年	2年	1年												
居住人数	225	217	200	212	206	182	177	189	201	164	184	182	197	189	217
H28生徒数	165	167	162												
H28学級数	5	5	5												

## ①今後の生徒数の推移について

学区内に住む入前人口は、5学級から7学級規模で推移する見込みです。

## ②学区内の学齢・学齢前人口の推移グラフ



## 4 適正規模・適正配置の方向性

適正規模で推移していくことが見込まれます。

# 1 学校基礎データ

学校名 第十一中学校 所在地 120-0013 足立区弘道1-38-15  
交通 五反野駅(東武線)下車徒歩10分

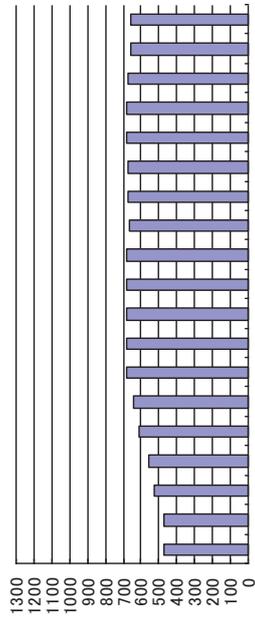
開校年月日 昭和22年4月1日 敷地面積 13,227 m<sup>2</sup> 特別支援学級  
建築年 昭和55年 延床面積 7,817 m<sup>2</sup>  
設計基準強度 21N/mm<sup>2</sup>

## 2 これまでの学校規模の推移(各年度とも5/1付データ) \*普通学級の人数です。

年度	10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年	27年	28年
在籍人数	469	470	523	554	614	645	682	683	684	680	680	669	670	670	682	679	672	654	661
学級	13	13	15	15	16	17	18	18	18	18	18	18	18	18	18	19	19	19	19

### ①これまでの学校規模の推移について

平成21年度以降、18学級から19学級で推移しており、生徒数・学級数ともに適正な学校規模となっております。



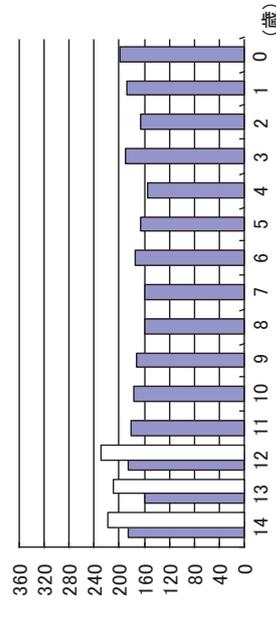
(年度)

## 3 学区内の学齢・学齢前人口(H28/5/1付データ)

年齢	14歳	13歳	12歳	11歳	10歳	9歳	8歳	7歳	6歳	5歳	4歳	3歳	2歳	1歳	0歳
H28学年	3年	2年	1年												
居住人数	186	160	186	182	177	173	158	159	174	165	155	189	165	188	199
H28生徒数	219	211	231												
H28学級数	6	6	7												

### ①今後の生徒数の推移について

学区内に住む入学前人口は、4学級から6学級規模で推移する見込みです。近隣の中学校からの入学者が多くみられます。



■ 居住人数 □ H28生徒数

## 4 適正規模・適正配置の方向性

適正規模で推移していくことが見込まれます。

# 1 学校基礎データ

学校名 第十二中学校 所在地 120-0001 足立区大谷田1-37-1  
交通 亀有駅(JR)から東武バス大谷田下車徒歩5分

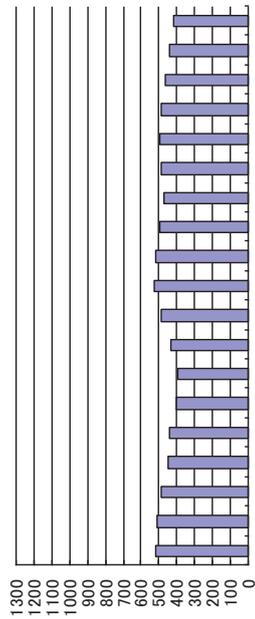
開校年月日 昭和22年4月1日 敷地面積 13,835 m<sup>2</sup> 特別支援学級  
建築年 昭和35年(H25大規模改修) 延床面積 7,066 m<sup>2</sup>  
設計基準強度 18N/mm<sup>2</sup>

## 2 これまでの学校規模の推移(各年度とも5/1付データ) \*普通学級の人数です。

年度	10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年	27年	28年
在籍人数	517	508	488	448	443	402	395	430	490	529	522	492	469	486	493	491	466	444	415
学級	15	14	13	12	12	11	11	12	14	15	15	14	13	13	13	14	13	12	12

### ①これまでの学校規模の推移について

平成21年度以降、12学級から14学級で推移しており、生徒数・学級数ともに適正な学校規模となっております。



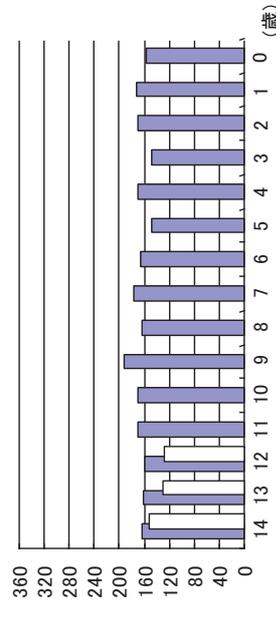
(年度)

## 3 学区内の学齢・学齢前人口(H28/5/1付データ)

年齢	14歳	13歳	12歳	11歳	10歳	9歳	8歳	7歳	6歳	5歳	4歳	3歳	2歳	1歳	0歳
H28学年	3年	2年	1年												
居住人数	164	162	160	170	169	193	163	177	165	148	169	149	171	172	157
H28生徒数	154	131	130												
H28学級数	4	4	4												

### ①今後の生徒数の推移について

学区内に住む入学前人口は、4学級から6学級規模で推移する見込みです。



■ 居住人数 □ H28生徒数

## 4 適正規模・適正配置の方向性

適正規模で推移していくことが見込まれます。

# 1 学校基礎データ

学校名 第十三中学校 所在地 121-0057 足立区神明南1-16-1  
交通 綾瀬駅(千代田線)から東武バス神明南下車徒歩5分またははるかぜ雪見橋南詰下車徒歩5分

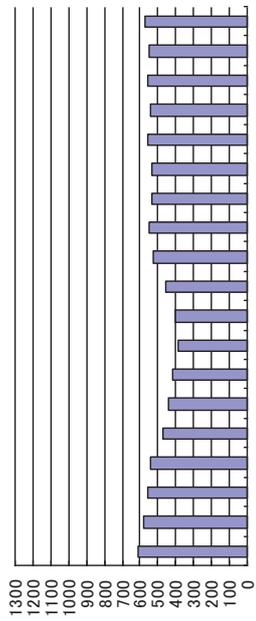
開校年月日 昭和22年4月1日 敷地面積 11,840 m<sup>2</sup> 特別支援学級 知的障がい  
建築年 昭和42年 延床面積 8,111 m<sup>2</sup>  
設計基準強度 18N/mm<sup>2</sup>

## 2 これまでの学校規模の推移(各年度とも5/1付データ)

年度	10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年	27年	28年
在籍人数	609	583	555	538	474	440	414	387	404	460	525	553	533	537	554	541	560	552	575
学級	17	16	15	15	14	13	12	11	11	13	15	16	15	15	15	15	16	16	16

### ①これまでの学校規模の推移について

平成20年度以降、15学級から16学級で推移しており、生徒数・学級数ともに適正な学校規模となっています。

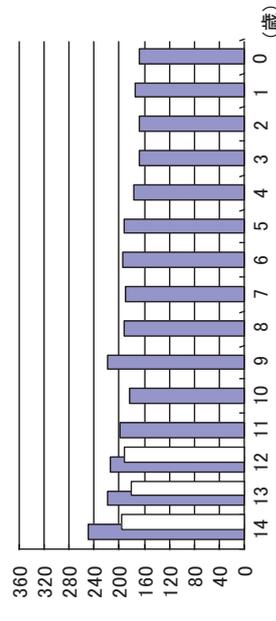


3 学区内の学齢・学齢前人口(H28/5/1付データ)

年齢	14歳	13歳	12歳	11歳	10歳	9歳	8歳	7歳	6歳	5歳	4歳	3歳	2歳	1歳	0歳
H28学年	3年	2年	1年												
居住人数	250	218	214	198	183	219	192	189	195	192	176	168	168	175	168
H28生徒数	198	183	194												
H28学級数	5	5	6												

### ①今後の生徒数の推移について

学区内に住む入前人口は、5学級から7学級規模で推移する見込みです。



## 4 適正規模・適正配置の方向性

適正規模で推移していくことが見込まれます。

# 1 学校基礎データ

学校名 第十四中学校 所在地 121-0822 足立区西竹の塚1-8-1  
交通 竹ノ塚駅(東武線)下車徒歩3分

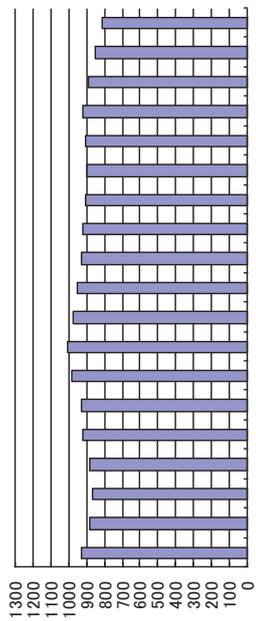
開校年月日 昭和22年4月1日 敷地面積 14,828 m<sup>2</sup> 特別支援学級  
建築年 昭和39年 延床面積 8,092 m<sup>2</sup>  
設計基準強度 18N/mm<sup>2</sup>

## 2 これまでの学校規模の推移(各年度とも5/1付データ)

年度	10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年	27年	28年
在籍人数	928	881	864	882	917	932	986	1006	975	953	927	923	906	899	904	919	890	850	813
学級	24	24	23	24	25	25	27	27	26	25	24	24	24	24	24	25	24	23	22

### ①これまでの学校規模の推移について

これまで大規模校となっていました。平成27年度以降、生徒数・学級数ともに適正規模となっています。

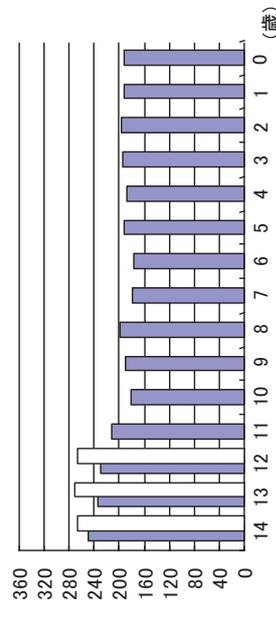


## 3 学区内の学齢・学齢前人口(H28/5/1付データ)

年齢	14歳	13歳	12歳	11歳	10歳	9歳	8歳	7歳	6歳	5歳	4歳	3歳	2歳	1歳	0歳
H28学年	3年	2年	1年												
居住人数	249	234	229	213	182	190	198	178	176	192	188	195	196	192	192
H28生徒数	270	273	270												
H28学級数	7	7	8												

### ①今後の生徒数の推移について

学区内に住む入前人口は、5学級から6学級規模で推移する見込みです。学区外からの入学者が多い傾向を意味すると、今後とも横ばいで推移すると見込まれます。



## 4 適正規模・適正配置の方向性

学区外からの入希望者が多いため、居住人数よりも生徒数が多くなる傾向にありますが、適正規模で推移していくことが見込まれます。最も古い校舎は昭和39年に建てられ、施設更新の検討が必要です。

# 1 学校基礎データ

**学校名** 竹の塚中学校 **所在地** 121-0812 足立区西保木間4-12-13  
**交通** 竹ノ塚駅(東武線)から都営バスまたは東武バス足立清掃工場下車徒歩3分

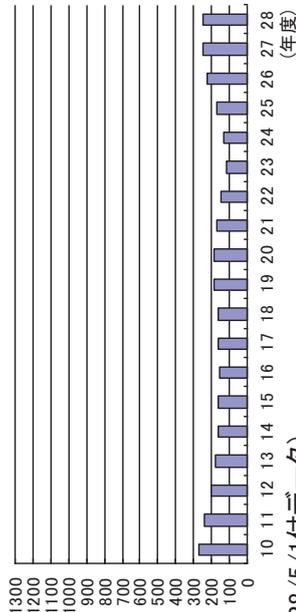
**開校年月日** 昭和45年4月1日 **敷地面積** 11,120 m<sup>2</sup> **特別支援学級**  
**建築年** 昭和45年 **延床面積** 7,383 m<sup>2</sup>  
**設計基準強度** 18N/mm<sup>2</sup>

## 2 これまでの学校規模の推移(各年度とも5/1付データ) \*普通学級の人数です。

年度	10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年	27年	28年
在籍人数	270	237	202	177	164	164	156	166	165	186	170	148	113	133	171	227	245	246	
学級	9	8	7	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	5	5	6	8	9	8

### ①これまでの学校規模の推移について

平成23年度以降、生徒数・学級数ともに増加傾向にあり、5学級から9学級で推移しています。

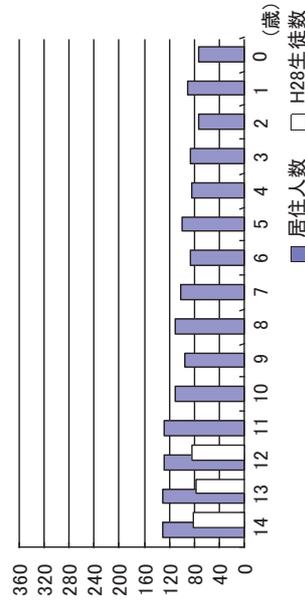


## 3 学区内の学齢・学齢前人口(H28/5/1付データ)

年齢	14歳	13歳	12歳	11歳	10歳	9歳	8歳	7歳	6歳	5歳	4歳	3歳	2歳	1歳	0歳
H28学年	3年	2年	1年												
居住人数	130	131	129	128	110	95	110	101	87	99	84	87	72	90	72
H28生徒数	83	78	85												
H28学級数	3	2	3												

### ①今後の生徒数の推移について

学区内に住む入学前人口は、2学級から4学級規模で推移する見込みです。近隣の中学校に入学する生徒が多くみられます。



### 4 適正規模・適正配置の方向性

平成28年度現在、8学級となっています。隣接する中学校へ入学する生徒も多くみられるため、今後の生徒数や学区内の入学前人口の推移を注視していく必要があります。

# 1 学校基礎データ

**学校名** 西新井中学校 **所在地** 123-0841 足立区西新井7-22-1  
**交通** 大師前駅(東武大師線)下車徒歩15分  
 西新井大師西駅(日暮里・舎人ライナー)下車徒歩3分

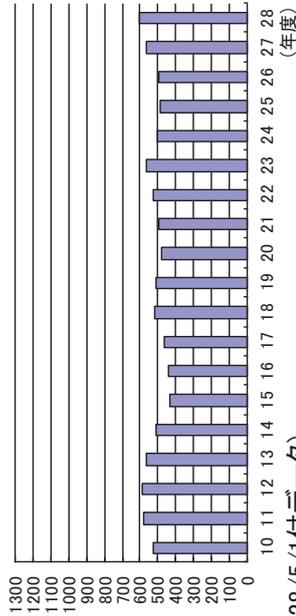
**開校年月日** 昭和50年4月1日 **敷地面積** 10,830 m<sup>2</sup> **特別支援学級**  
**建築年** 昭和50年 **延床面積** 7,367 m<sup>2</sup>  
**設計基準強度** 21N/mm<sup>2</sup>

## 2 これまでの学校規模の推移(各年度とも5/1付データ) \*普通学級の人数です。

年度	10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年	27年	28年
在籍人数	528	583	591	565	507	432	440	463	522	510	479	497	523	565	503	486	499	566	602
学級	15	16	16	15	14	12	12	14	14	14	13	14	14	15	14	14	14	15	16

### ①これまでの学校規模の推移について

平成21年度以降、14学級から16学級の学級数で推移しており、生徒数・学級数ともに適正な学校規模となっています。平成26年度以降は鹿浜地域で実施した統合の影響から、生徒数が増加しています。

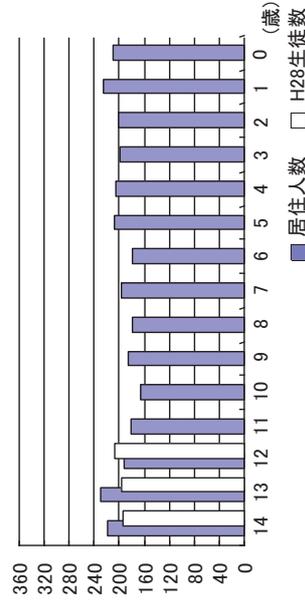


## 3 学区内の学齢・学齢前人口(H28/5/1付データ)

年齢	14歳	13歳	12歳	11歳	10歳	9歳	8歳	7歳	6歳	5歳	4歳	3歳	2歳	1歳	0歳
H28学年	3年	2年	1年												
居住人数	219	230	193	182	165	185	178	197	178	208	205	198	200	226	210
H28生徒数	195	198	209												
H28学級数	5	5	6												

### ①今後の生徒数の推移について

学区内に住む入学前人口は、5学級から7学級規模で推移する見込みです。一時的に減少傾向にありましたが、学区内で集合住宅の建設がみられるため、入学前人口は回復しつつあります。



### 4 適正規模・適正配置の方向性

適正規模で推移していくことが見込まれます。

# 1 学校基礎データ

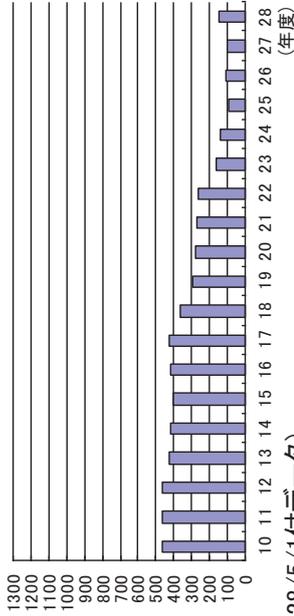
学校名	花畑中学校	所在地	121-0061 足立区花畑1-31-1
交通	竹ノ塚駅(東武線)から東武バス第五都営住宅下車徒歩5分 六町駅(つくばエクスプレス)から東武バス南花畑特別支援学校前下車徒歩5分		
開校年月日	昭和41年4月1日	敷地面積	14,122 m <sup>2</sup>
建築年	昭和38年	延床面積	6,769 m <sup>2</sup>
設計基準強度	18N/mm <sup>2</sup>	特別支援学級	

## 2 これまでの学校規模の推移(各年度とも5/1付データ)

年度	10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年	27年	28年
在籍人数	468	463	467	426	416	406	418	426	362	295	275	270	260	165	139	93	109	97	147
学級	13	13	13	12	12	12	12	12	11	9	8	8	8	5	5	4	5	4	5

### ①これまでの学校規模の推移について

生徒数・学級数ともに減少傾向がみられます。平成23年度以降、4学級から5学級で推移しています。



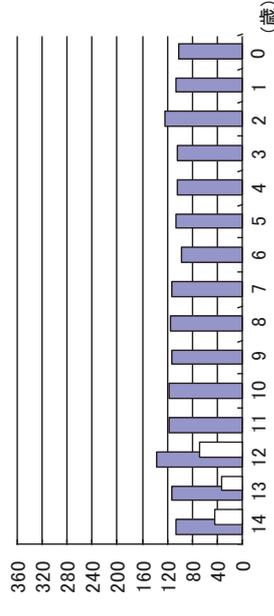
(年度)

## 3 学区内の学齢・学齢前人口(H28/5/1付データ)

年齢	14歳	13歳	12歳	11歳	10歳	9歳	8歳	7歳	6歳	5歳	4歳	3歳	2歳	1歳	0歳
H28学年	3年	2年	1年												
居住人数	107	112	137	117	116	113	115	112	97	105	104	103	124	107	101
H28生徒数	44	33	70												
H28学級数	2	1	2												

### ①今後の生徒数の推移について

学区内に住む入学前人口は、3学級から4学級規模で推移する見込みです。近隣の中学校へ入学する生徒が多くみられます。



(歳)

## 4 適正規模・適正配置の方向性

平成28年度現在、5学級となっています。近隣の中学校へ入学する生徒が多くみられます。隣接する花畑北中学校も小規模傾向にあり、この地域全体での適正規模・適正配置の検討が必要です。最も古い校舎は昭和38年に建てられ、施設更新の検討が必要です。

# 1 学校基礎データ

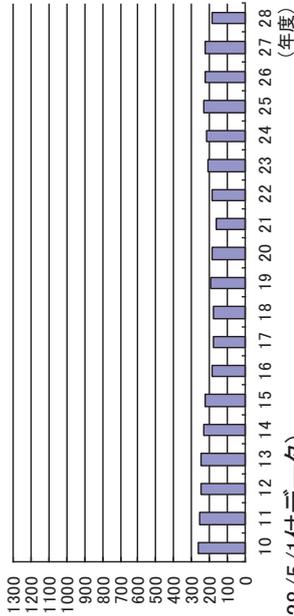
学校名	花畑北中学校	所在地	121-0061 足立区花畑6-12-35
交通	竹ノ塚駅(東武線)から東武バス花畑団地下車徒歩5分		
開校年月日	昭和53年4月1日	敷地面積	13,223 m <sup>2</sup>
建築年	昭和53年	延床面積	7,387 m <sup>2</sup>
設計基準強度	21N/mm <sup>2</sup>	特別支援学級	

## 2 これまでの学校規模の推移(各年度とも5/1付データ)

年度	10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年	27年	28年
在籍人数	266	256	247	249	229	224	186	179	179	193	183	165	185	207	217	234	225	224	182
学級	9	9	8	9	8	7	6	6	6	6	6	6	7	7	7	7	7	7	6

### ①これまでの学校規模の推移について

生徒数・学級数はほぼ横ばいの状態です。平成21年度以降、6学級から7学級で推移しています。



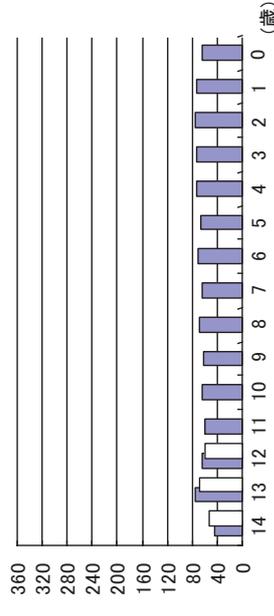
(年度)

## 3 学区内の学齢・学齢前人口(H28/5/1付データ)

年齢	14歳	13歳	12歳	11歳	10歳	9歳	8歳	7歳	6歳	5歳	4歳	3歳	2歳	1歳	0歳
H28学年	3年	2年	1年												
居住人数	45	75	63	59	64	61	68	65	71	67	72	72	76	72	63
H28生徒数	54	69	59												
H28学級数	2	2	2												

### ①今後の生徒数の推移について

学区内に住む入学前人口は2学級から3学級規模で推移する見込みです。



(歳)

## 4 適正規模・適正配置の方向性

平成28年度現在、6学級となっています。隣接する花畑中学校も小規模傾向にあることから、この地域全体での適正規模・適正配置の検討が必要です。

1 学校基礎データ

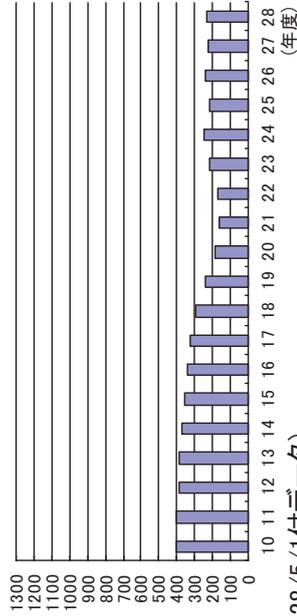
学校名	花保中学校	所在地	121-0062 足立区南花畑2-41-1
交通	六町駅(つくばエクスプレス)または綾瀬駅(千代田線)から東武バス東保木間下車徒歩2分 竹ノ塚駅(東武線)から東武バス南花畑下車徒歩2分		
開校年月日	昭和54年4月1日	敷地面積	12,451 m <sup>2</sup>
建築年	昭和54年	延床面積	7,403 m <sup>2</sup>
設計基準強度	21N/mm <sup>2</sup>		

2 これまでの学校規模の推移(各年度とも5/1付データ) \*普通学級の人数です。

年度	10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年	27年	28年
在籍人数	402	404	386	389	372	355	340	322	292	239	185	159	172	218	244	213	240	227	231
学級	12	12	11	11	11	10	10	10	9	7	5	5	6	7	8	7	8	8	7

①これまでの学校規模の推移について

平成21年度以降、増減を繰り返しながら、5学級から8学級で推移しています。



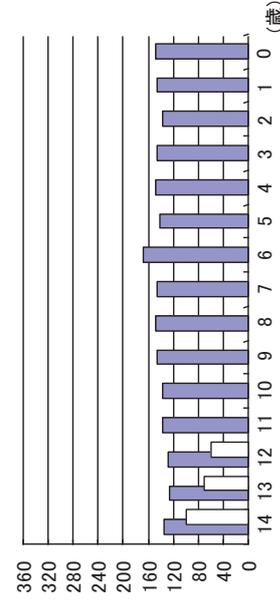
(年度)

3 学区内の学齢・学齢前人口(H28/5/1付データ)

年齢	14歳	13歳	12歳	11歳	10歳	9歳	8歳	7歳	6歳	5歳	4歳	3歳	2歳	1歳	0歳
H28学年	3年	2年	1年												
居住人数	135	126	129	136	137	146	147	146	168	141	149	145	138	146	149
H28生徒数	101	71	59												
H28学級数	3	2	2												

①今後の生徒数の推移について

学区内に住む入学前人口は、4学級から5学級規模で推移する見込みです。近隣の中学校へ入学する生徒が多くみられます。



(歳)

4 適正規模・適正配置の方向性

平成28年度現在、7学級となっています。隣接する中学校も小規模傾向にあることから、今後の生徒数や学区内の入学前人口の推移を注視していく必要があります。

1 学校基礎データ

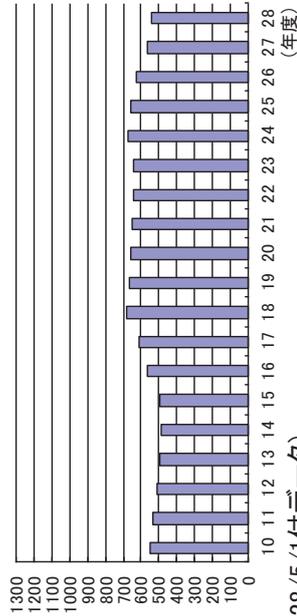
学校名	東綾瀬中学校	所在地	120-0005 足立区綾瀬3-23-14
交通	綾瀬駅(千代田線)下車徒歩5分		
開校年月日	昭和39年4月1日	敷地面積	12,658 m <sup>2</sup>
建築年	昭和38年	延床面積	7,912 m <sup>2</sup>
設計基準強度	18N/mm <sup>2</sup>		

2 これまでの学校規模の推移(各年度とも5/1付データ) \*普通学級の人数です。

年度	10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年	27年	28年
在籍人数	553	535	511	498	490	493	563	615	678	666	661	652	646	645	670	658	630	563	545
学級	15	15	15	15	14	15	16	17	18	18	18	18	18	18	18	19	18	16	16

①これまでの学校規模の推移について

平成21年度以降、16学級から19学級で推移しており、生徒数・学級数ともに適正な学校規模になっています。



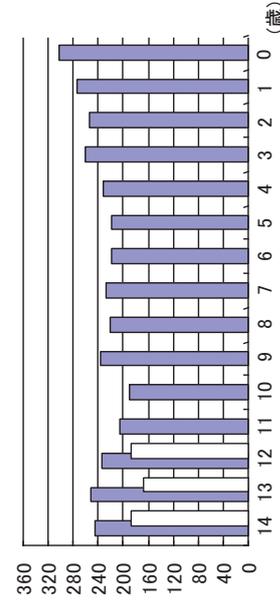
(年度)

3 学区内の学齢・学齢前人口(H28/5/1付データ)

年齢	14歳	13歳	12歳	11歳	10歳	9歳	8歳	7歳	6歳	5歳	4歳	3歳	2歳	1歳	0歳
H28学年	3年	2年	1年												
居住人数	245	252	235	205	189	236	221	218	218	231	260	253	273	303	
H28生徒数	188	168	189												
H28学級数	5	5	6												

①今後の生徒数の推移について

学区内に住む入学前人口は、5学級から9学級で推移する見込みです。



(歳)

4 適正規模・適正配置の方向性

適正規模で推移していくことが見込まれます。学区内で集合住宅の建設がみられるため、今後の人口増加に注視する必要があります。最も古い校舎は、昭和38年に建てられ、施設更新の検討が必要です。

1 学校基礎データ

学校名 東島根中学校 所在地 121-0076 足立区平野1-27-2  
 交通 梅島駅(東武線)下車徒歩20分

総瀬駅(千代田線)から東武バスツツサ二丁目下車徒歩4分

開校年月日 昭和35年9月1日 敷地面積 12,387 m<sup>2</sup> 特別支援学級  
 建築年 昭和34年 (H25大規模改修) 延床面積 7,269 m<sup>2</sup>

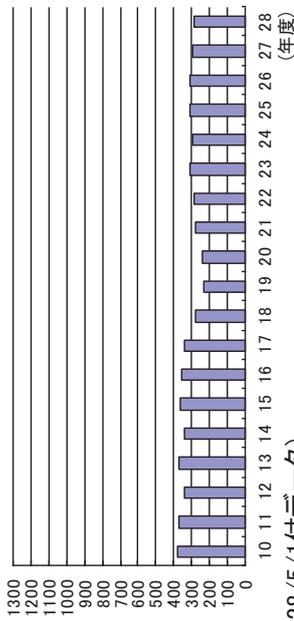
設計基準強度 18N/mm<sup>2</sup>

2 これまでの学校規模の推移(各年度とも5/1付データ) \*普通学級の人数です。

年度	10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年	27年	28年
在籍人数	377	368	339	368	343	365	354	341	276	235	237	275	283	306	295	311	307	293	283
学級	11	11	10	11	10	11	11	11	9	8	9	9	9	9	9	10	9	9	9

①これまでの学校規模の推移について

生徒数・学級数ともほぼ横ばいで推移しています。平成21年度以降、9学級から10学級で推移しています。

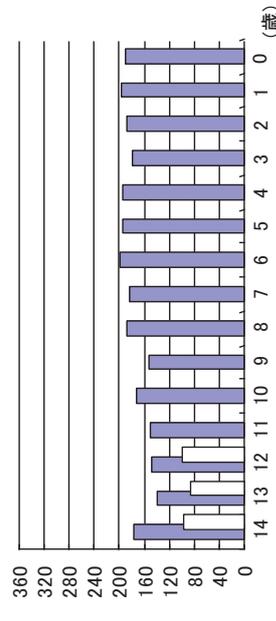


3 学区内の学齢・学齢前人口(H28/5/1付データ)

年齢	14歳	13歳	12歳	11歳	10歳	9歳	8歳	7歳	6歳	5歳	4歳	3歳	2歳	1歳	0歳
H28学年	3年	2年	1年												
居住人数	177	139	148	151	172	152	188	183	198	195	194	180	187	197	190
H28生徒数	98	86	99												
H28学級数	3	3	3												

①今後の生徒数の推移について

学区内に住む入学前人口は、4学級から6学級規模で推移する見込みです。近隣の中学校へ入学する生徒が多くみられます。



4 適正規模・適正配置の方向性

平成28年度現在、9学級となっています。隣接する中学校も小規模傾向にあることから、今後の生徒数や学区内の入学前人口の推移を注視していく必要があります。

1 学校基礎データ

学校名 洲江中学校 所在地 121-0064 足立区保木間3-6-6  
 交通 竹ノ塚駅(東武線)下車徒歩20分または東武バス保木間三丁目下車徒歩1分

開校年月日 昭和35年4月1日 敷地面積 12,814 m<sup>2</sup> 特別支援学級  
 建築年 昭和37年 延床面積 8,692 m<sup>2</sup>

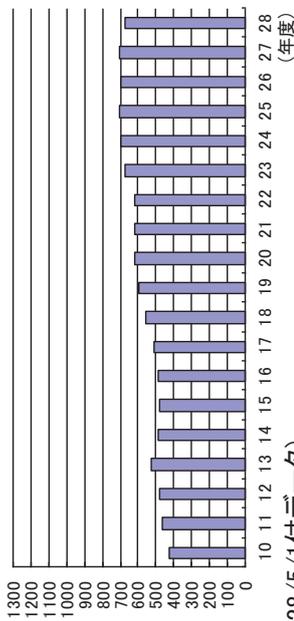
設計基準強度 18N/mm<sup>2</sup>

2 これまでの学校規模の推移(各年度とも5/1付データ) \*普通学級の人数です。

年度	10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年	27年	28年
在籍人数	422	462	477	523	484	481	490	511	556	599	620	619	621	674	698	702	699	703	672
学級	12	13	14	15	14	14	14	13	14	16	17	17	17	17	18	18	19	19	19

①これまでの学校規模の推移について

平成21年度以降、17学級から19学級で推移しており、生徒数・学級数とも適正な学校規模となっています。

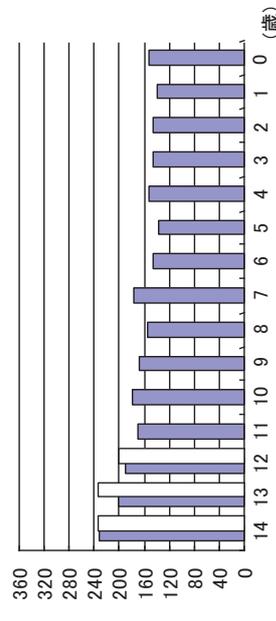


3 学区内の学齢・学齢前人口(H28/5/1付データ)

年齢	14歳	13歳	12歳	11歳	10歳	9歳	8歳	7歳	6歳	5歳	4歳	3歳	2歳	1歳	0歳
H28学年	3年	2年	1年												
居住人数	231	202	189	171	178	168	154	177	146	137	153	146	139	153	
H28生徒数	235	235	202												
H28学級数	6	6	6												

①今後の生徒数の推移について

学区内に住む入学前人口は4学級から6学級規模で推移する見込みです。



4 適正規模・適正配置の方向性

適正規模で推移していくことが見込まれます。最も古い校舎は昭和37年に建てられ、施設更新の検討が必要です。

# 1 学校基礎データ

学校名 谷中学校 所在地 120-0006 足立区谷中3-14-1  
 交通 北綾瀬駅(千代田線)下車徒歩7分

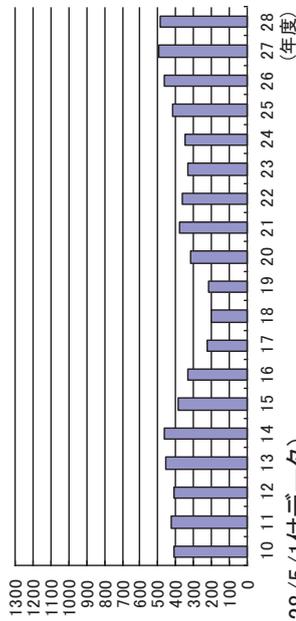
開校年月日 昭和54年4月1日 敷地面積 13,195 m<sup>2</sup> 特別支援学級  
 建築年 昭和54年 延床面積 6,957 m<sup>2</sup>  
 設計基準強度 21N/mm<sup>2</sup>

## 2 これまでの学校規模の推移(各年度とも5/1付データ) \*普通学級の人数です。

年度	10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年	27年	28年
在籍人数	412	422	413	453	463	389	329	227	200	220	314	382	362	330	350	421	467	498	490
学級	12	12	12	13	11	9	7	7	7	9	10	10	9	10	10	12	14	15	15

### ①これまでの学校規模の推移について

平成25年度以降、12学級から15学級で推移しており、生徒数・学級数ともに適正な学校規模となっています。



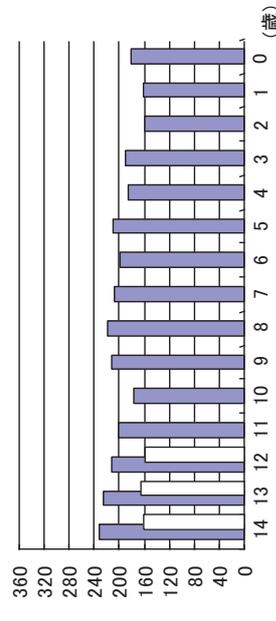
(年度)

## 3 学区内の学齢・学齢前人口(H28/5/1付データ)

年齢	14歳	13歳	12歳	11歳	10歳	9歳	8歳	7歳	6歳	5歳	4歳	3歳	2歳	1歳	0歳
H28学年	3年	2年	1年												
居住人数	231	226	212	202	177	213	218	207	199	210	185	191	158	162	181
H28生徒数	163	167	160												
H28学級数	5	5	5												

### ①今後の生徒数の推移について

学区内に住む入学前人口は4学級から7学級規模で推移する見込みです。



(歳)

## 4 適正規模・適正配置の方向性

適正規模で推移していくことが見込まれます。今後予定される北綾瀬駅から千代田線の都心方面への直通化により、利便性向上による学区内の人口増加を注視していく必要があります。

# 1 学校基礎データ

学校名 六月中学校 所在地 121-0814 足立区六月1-30-1  
 交通 竹ノ塚駅(東武線)下車徒歩15分または都営バス六甲町下車徒歩3分

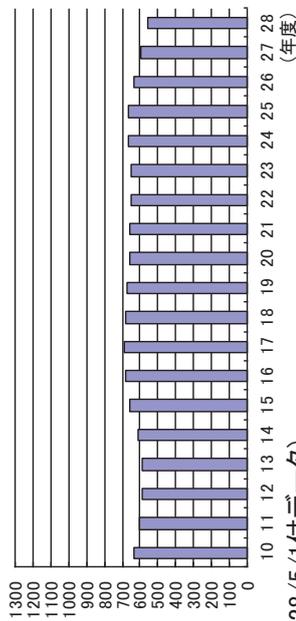
開校年月日 昭和62年4月1日 敷地面積 16,084 m<sup>2</sup> 特別支援学級  
 建築年 昭和62年 延床面積 8,433 m<sup>2</sup>  
 設計基準強度 21N/mm<sup>2</sup>

## 2 これまでの学校規模の推移(各年度とも5/1付データ) \*普通学級の人数です。

年度	10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年	27年	28年
在籍人数	634	605	588	587	615	660	683	686	684	672	655	655	647	652	664	669	636	597	560
学級	17	16	16	16	17	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	19	18	17

### ①これまでの学校規模の推移について

平成21年度以降、16学級から19学級で推移しており、生徒数・学級数ともに適正な学校規模となっています。



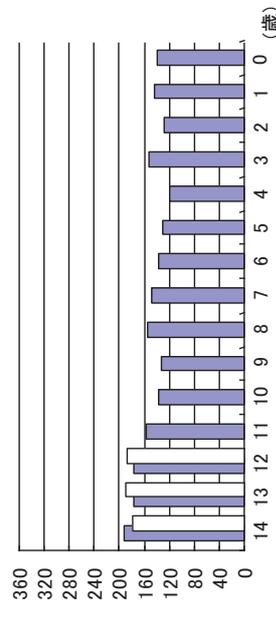
(年度)

## 3 学区内の学齢・学齢前人口(H28/5/1付データ)

年齢	14歳	13歳	12歳	11歳	10歳	9歳	8歳	7歳	6歳	5歳	4歳	3歳	2歳	1歳	0歳
H28学年	3年	2年	1年												
居住人数	193	177	177	156	138	132	155	149	137	130	119	153	128	144	140
H28生徒数	179	191	190												
H28学級数	5	5	6												

### ①今後の生徒数の推移について

学区内に住む入学前人口は3学級から5学級規模で推移する見込みです。



(歳)

## 4 適正規模・適正配置の方向性

学区域外からの入学者が多くみられますが、適正規模で推移していくことが見込まれます。

資料7 昭和54年度以降の区内人口および児童・生徒数等の推移

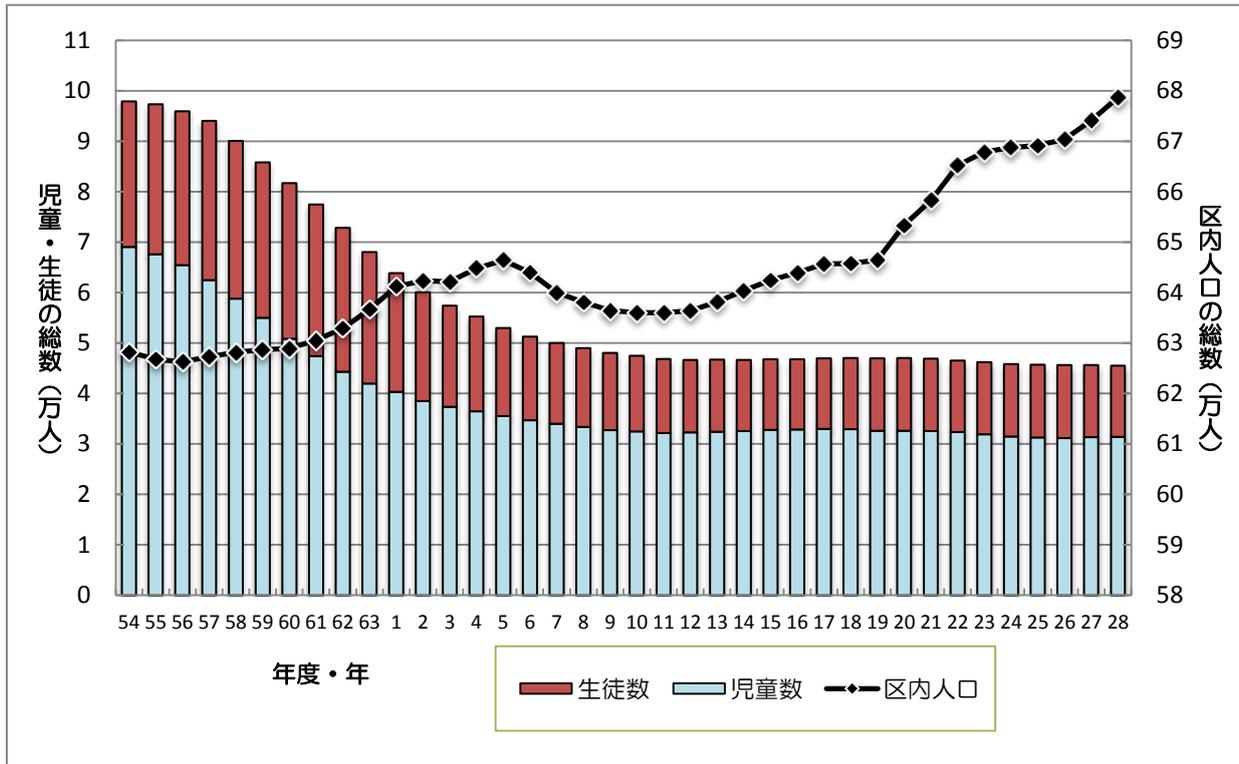
◆昭和54年度以降の児童・生徒数等の推移

年	児童・生徒数			人口比 (a)/(b)	学校数			区内人口 (b)
	児童数	生徒数	合計(a)		小学校	中学校	合計	
54	69,033	28,836	97,869	15.6%	76	34	110	628,213
55	67,590	29,713	97,303	15.5%	77	34	111	626,781
56	65,430	30,493	95,923	15.3%	77	35	112	626,250
57	62,457	31,566	94,023	15.0%	79	36	115	627,276
58	58,814	31,234	90,048	14.3%	79	36	115	628,148
59	55,004	30,832	85,836	13.7%	79	37	116	628,653
60	50,824	30,853	81,677	13.0%	79	37	116	628,923
61	47,383	30,094	77,477	12.3%	80	38	118	630,556
62	44,306	28,558	72,864	11.5%	80	39	119	632,922
63	41,972	26,077	68,049	10.7%	80	39	119	636,661
1	40,315	23,548	63,863	10.0%	80	39	119	641,224
2	38,518	21,568	60,086	9.4%	80	39	119	642,347
3	37,364	20,022	57,386	8.9%	79	39	118	642,177
4	36,436	18,820	55,256	8.6%	78	39	117	644,827
5	35,520	17,447	52,967	8.2%	78	39	117	646,395
6	34,714	16,549	51,263	8.0%	78	39	117	644,005
7	33,992	16,006	49,998	7.8%	78	39	117	640,005
8	33,381	15,592	48,973	7.7%	78	39	117	638,099
9	32,711	15,361	48,072	7.6%	76	39	115	636,427
10	32,459	15,005	47,464	7.5%	76	39	115	636,035
11	32,190	14,668	46,858	7.4%	76	39	115	636,041
12	32,293	14,331	46,624	7.3%	76	39	115	636,370
13	32,441	14,288	46,729	7.3%	75	39	114	638,157
14	32,536	14,127	46,663	7.3%	73	39	112	640,387
15	32,769	14,037	46,806	7.3%	73	38	111	642,460
16	32,846	13,932	46,778	7.3%	73	38	111	643,909
17	32,989	13,970	46,959	7.3%	72	37	109	645,678
18	32,919	14,120	47,039	7.3%	72	37	109	645,770
19	32,602	14,366	46,968	7.3%	72	37	109	646,461
20	32,633	14,386	47,019	7.2%	72	37	109	653,323
21	32,550	14,347	46,897	7.1%	72	37	109	658,302
22	32,343	14,169	46,512	7.0%	72	37	109	665,179
23	31,902	14,298	46,200	6.9%	72	37	109	667,891
24	31,462	14,393	45,855	6.9%	71	37	108	668,730
25	31,264	14,425	45,689	6.8%	70	37	107	669,143
26	31,145	14,477	45,622	6.8%	70	37	107	670,385
27	31,322	14,307	45,629	6.8%	69	37	106	674,111
28	31,434	14,070	45,504	6.7%	69	36	105	678,623

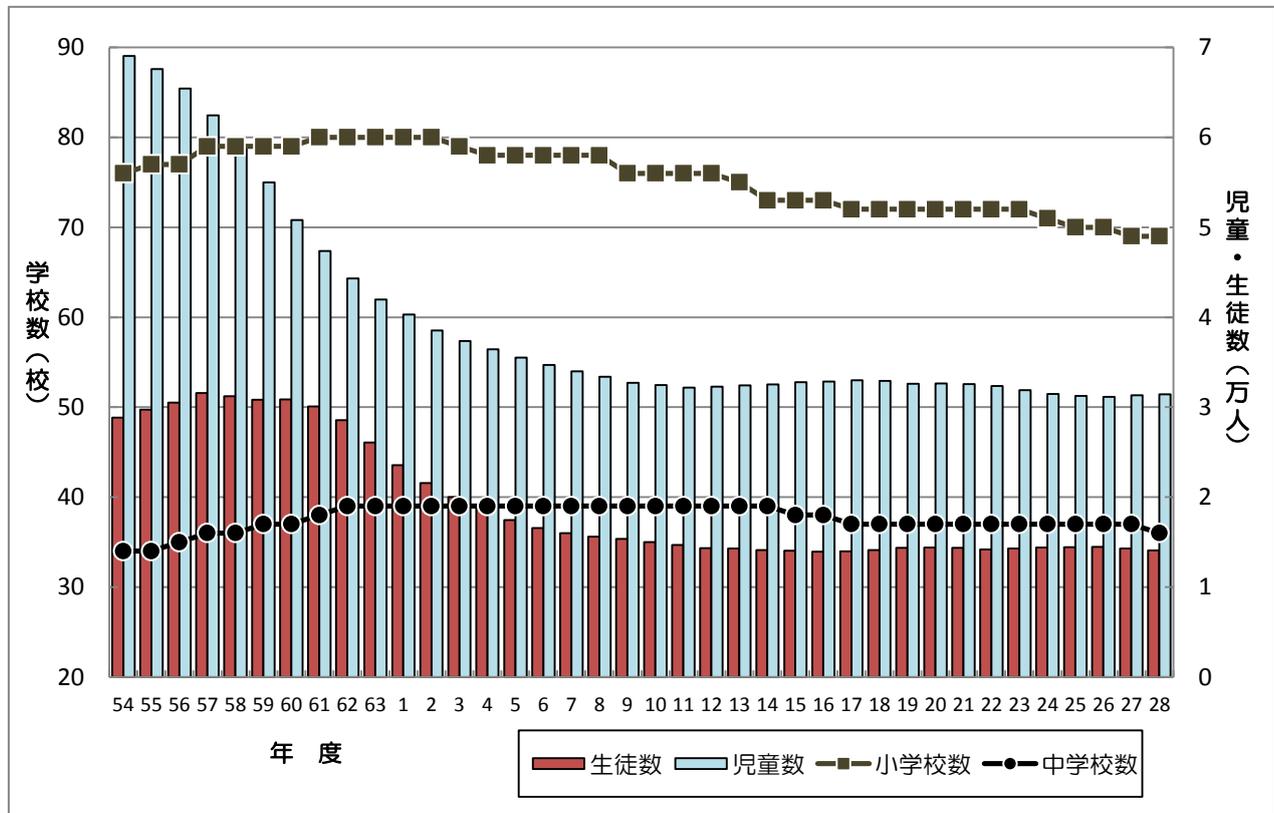
[数値の基準日]

- ・児童・生徒数は、各年5月1日現在の数値です。
- ・児童・生徒数には、特別支援学級（固定）の人数が含まれます。
- ・生徒数には、第四中学校（夜間）の人数が含まれます。
- ・区内人口は、各年1月1日現在の数値です。
- ・区内人口には、外国人登録人数を含みます。
- ・人口比は、小数点以下第二位を四捨五入しています。

◆昭和54年度以降の児童・生徒の総数と区内人口の推移

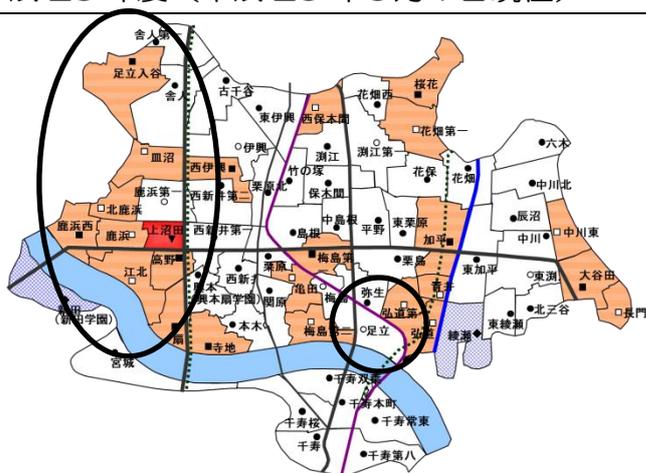


◆昭和54年度以降の学校数の推移



資料 8 足立区立小学校の学校規模の推移（平成 25～27 年度）

平成 25 年度（平成 25 年 5 月 1 日現在）

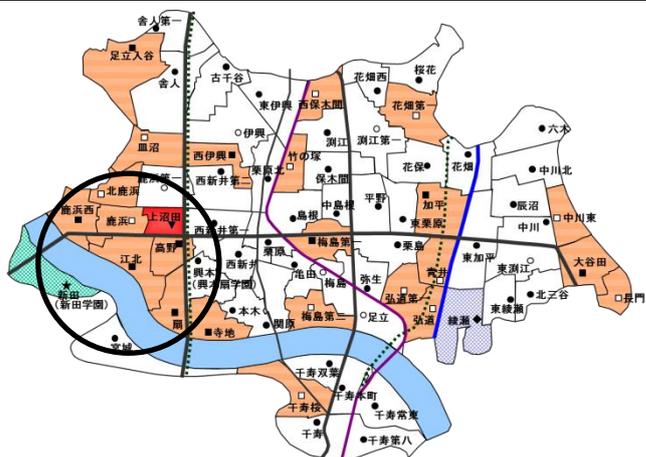


千寿第五小学校と五反野小学校を統合し、足立小学校が開校しました。

平成 25 年 1 月に決定した施設更新計画を基に、小規模傾向がみられる「江北・鹿浜エリア」の適正化に取り組みました。

また、入谷エリアでも小規模化がみられます。

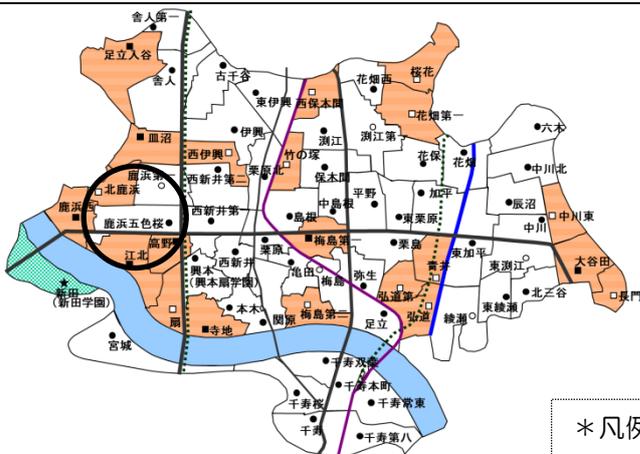
平成 26 年度（平成 26 年 5 月 1 日現在）



花畑エリアの小規模傾向が改善をみせはじめました。一方、江北エリアは江北小学校が 11 学級以下になるなど、小規模傾向が顕著となりました。また、25 年度は 9 学級規模であった足立入谷小学校が 7 学級規模となり、入谷エリアの小規模傾向も強まっています。

なお、新田小学校は、大規模開発により児童数が増加しました。

平成 27 年度（平成 27 年 5 月 1 日現在）



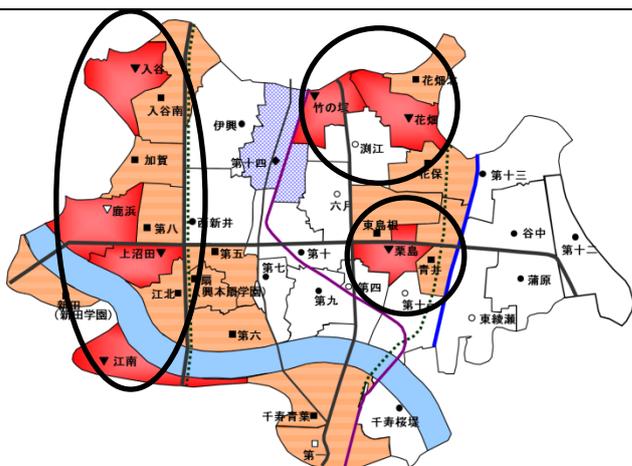
上沼田小学校と鹿浜小学校を統合し、鹿浜五色桜小学校が開校しました。一方、同じ鹿浜エリアにある鹿浜西小学校は、25 年度には 11 学級規模でしたが、8 学級となり、年々学級数が減ってきています。

\* 凡例

	過小規模		小規模
	大規模		過大規模

資料9 足立区立中学校の学校規模の推移（平成25～27年度）

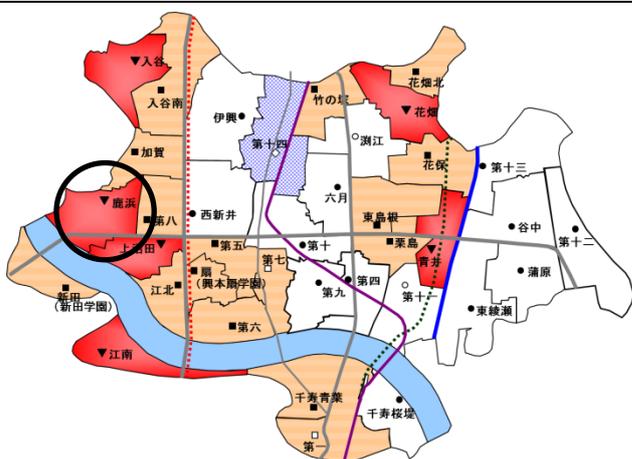
平成25年度（平成25年5月1日現在）



平成25年1月に決定した施設更新計画を基に、小規模傾向がみられる「江北・鹿浜エリア」の適正化に取り組みました。

また、入谷・花畑・青井エリアでも小規模化がみられます。

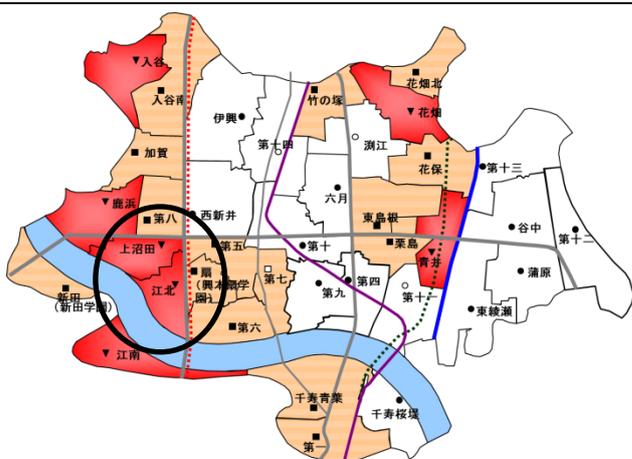
平成26年度（平成26年5月1日現在）



「江北・鹿浜・入谷エリア」の小規模傾向に変わりはなく、鹿浜中学校は前年度よりも学級数が少ない6学級規模となりました。小規模化が進んでいます。

また、青井中学校と花畑中学校でも小規模化が進んでいます。

平成27年度（平成27年5月1日現在）



江北中学校が6学級規模となり、小規模化がみられます。また、入谷中学校と青井中学校が5学級規模になりました。さらに、花畑中学校と江南中学校が4学級規模となり、クラス替えのできない学年が発生しています。入谷・青井・花畑エリアの小規模化も顕著となっています。

* 凡例	<span style="color: red;">■</span> 過小規模	<span style="background-color: orange;">■</span> 小規模
	<span style="background-color: lightblue;">■</span> 大規模	<span style="background-color: lightgreen;">■</span> 過大規模

# 概要版

## 足立区立小・中学校の 適正規模・適正配置の実現に向けて

— これからの25年を考える適正規模・適正配置のガイドライン —

発行：足立区教育委員会事務局 学校適正配置担当  
電話：03-3880-5111 (代表) 内線 3535

### 2 適正規模・適正配置に向けたこれまでの取り組み

足立区教育委員会では、昭和63年2月に東京都足立区立小中学校適正規模及び適正配置審議会から答申された「足立区立小・中学校における適正規模ならびに適正配置について」を受けて、小・中学校の適正規模・適正配置の事業展開を進めてきました。

平成7年12月には、平成10年度から平成44年度までの35年におよぶ長期計画である「足立区立小・中学校の適正規模・適正配置計画及び改築計画に関する報告書」を策定しました。この報告書では、計画期間を前期10年・中期17年・後期8年としており、平成20年度は前期の10年を終了し、中期17年の最初の年度となっています。

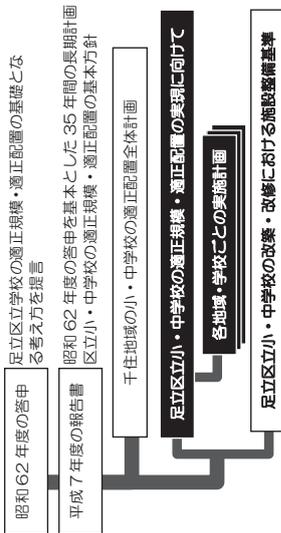
◇主な適正規模・適正配置に関する計画および統合実施校

年度	区分	計画・報告書等の名称および統合を実施した小・中学校
昭和62	計画	足立区立小・中学校における適正規模ならびに適正配置について(答申)
平成元	計画	足立区立小中学校適正配置計画
平成3	統合	千寿本町小学校の閉校(千寿第一小学校と千寿旭小学校を統合)
平成4	統合	千寿桜小学校の閉校(千寿第六小学校と千寿第七小学校を統合)
平成5	計画	足立区立学校の適正規模・適正配置ならびに改築計画について
平成7	計画	足立区立小・中学校の適正規模・適正配置計画及び改築計画に関する報告書
平成9	統合	桜花小学校の閉校(花畑東小学校と桑袋小学校を統合)
平成12	計画	西保木間小学校の閉校(洲江第二小学校と竹の塚北小学校を統合)
平成13	統合	千住地域の小・中学校の適正配置全体計画—改築・適正配置5カ年計画—
平成14	統合	足立区立小中学校の閉校(入谷小学校と入谷南小学校を統合)
平成14	統合	千寿小学校の閉校(千寿小学校と千寿第二小学校を統合)
平成15	統合	千寿常東小学校の閉校(千寿第四小学校と柳原小学校を統合)
平成15	統合	千寿青葉中学校の閉校(第三中学校と第十五中学校を統合)
平成17	統合	千寿双葉小学校の閉校(千寿第三小学校と元宿小学校を統合)
平成17	統合	千寿桜堤中学校の閉校(第二中学校と第十六中学校を統合)

### 3 適正規模・適正配置の基準等の見直しと「ガイドライン」の位置づけ

足立区ではこれまで、昭和62年度の答申で示された学校規模や通学距離の考え方を中心として、小・中学校の適正規模・適正配置を進めてきました。しかし、平成7年度の報告書の策定から13年を経過した今、時代とともに学校を取り巻く環境は大きく変化しており、これまでの基準や計画内容をもう一度見直す時期であると考えました。

この「足立区立小・中学校の適正規模・適正配置の実現に向けて」では、主にこれまでの適正規模・適正配置の基準が現状にあっているか、将来必要となる小・中学校の校数は何校かなどについて再確認し、その結果、基本的な考え方などについて引き続き基本方針として推進できると判断し、このたび、今後の事業の進め方のルールとする「ガイドライン」をまとめました。

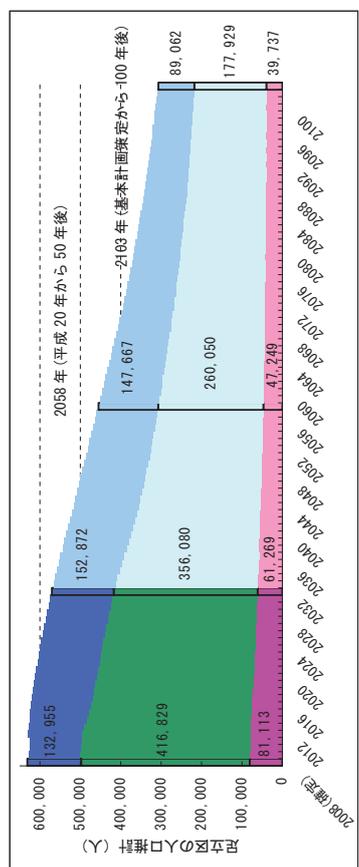
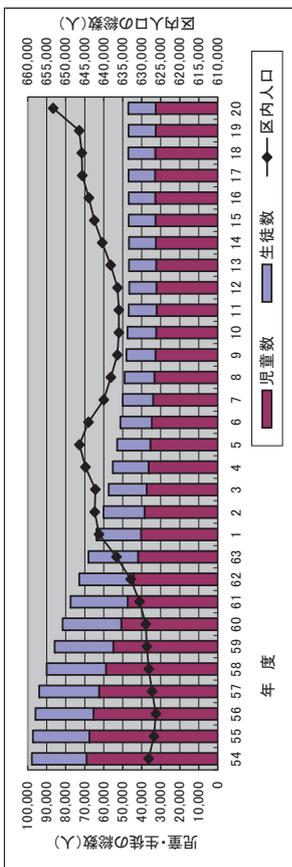


### 1 区立小・中学校の児童・生徒数の推移と将来予測

足立区では、昭和30年代の後半から都営住宅と公団住宅が大量に建設されたことから、急激な人口増加に対応するために多くの区立小・中学校を建設してきました。

児童・生徒数の推移を見ると、昭和54年度に児童数が69,033人、昭和57年度に生徒数が31,566人となりピークを迎えました。しかし、この時期を境に児童・生徒数の減少が始まり、ピーク時と平成20年5月1日現在の比較では、児童数は32,633人で約52.7%減、生徒数は14,386人で約54.4%減となっています。

また、平成17年3月に策定した「足立区基本計画」では、0歳～14歳までの学齢および学齢前人口は、平成44年(西暦2032年)には61,269人(約24.4%減)となり、その後も減少は止まらず、今から50年後の西暦2058年には47,249人で約41.7%も減少すると予測しています。



下段：0～14歳 中段：15～64歳 上段：65歳以上

5 今後の適正規模・適正配置に向けた事業展開

①適正規模・適正配置の検討の進め方

第一に、「適正規模化」を検討します。

原則として、11 学級以下の小規模校となっている小・中学校の検討を進めます。その中でも、学校全体で6 学級以下の過小規模校となっている小・中学校の検討を早急に進めます。

適正規模化の方法は、主に複数学校の統合により行います。また、統合後の学校の規模は、原則として12 学級～24 学級とし、その中でも、区として最も望ましいと考えられる12 学級～18 学級となるように検討を進めます。

第二に、「適正配置化」を検討します。

適正配置化は、区内全体の小・中学校の配置バランスと、地域の特性などを考慮しながら、「徒歩で毎日無理なく通学できる距離」となるように適正配置を検討していきます。

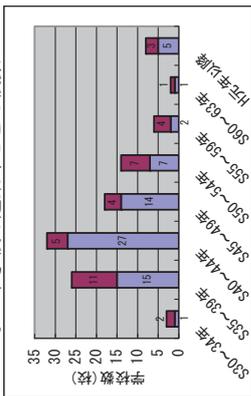
また、統合にあわせて、周辺校を含めて必要に応じて学区区域を調整します。

「建物の建築年」を考慮します。

老朽化は安全上の問題が生じる可能性が高いため、適正規模・適正配置を進めるにあたり、建築年を考慮します。小規模の度合いが比較的低い場合でも、建築年の古さにより適正規模・適正配置の検討時期を早める可能性があります。

また、建築年が比較的新しい場合でも、近接校が小規模校となった場合や、その他の建替え要因が生じた場合などは、適正規模・適正配置の検討時期を早める可能性があります。

小・中学校の建築年ごとの校数

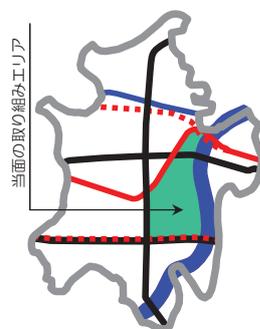


「統合地域協議会」を開催しながら議論を進めていきます。

教育委員会で統合に関する素案を作成し、保護者・学校関係者・地域のみなさんとの協議を進めます。協議の進捗状況をみながら、適切な時期に「統合地域協議会」を立ち上げて議論を深めていきます。

②当面の取り組み

本木小学校	平成10年度以降、学校全体で6 学級規模が続いています。学区域内に住んでいる学齢前人口も複数学級を確保できない人数であり、早急な検討が必要と考えます。
千寿第五小学校	校舎は一番古いもので昭和35年に建築され、老朽化が進んでいます。また、平成14年度以降は11 学級以下の小規模校となっています。
栗原小学校	大規模な集合住宅の開発により、児童数が増え始めています。児童数の増加に反して、小学校の中で延床面積は3 番目、敷地面積は最も小さい学校で、許容可能人数を超える可能性があります。
第七中学校	学校の北側で大規模な集合住宅の開発が進んでいます。通学距離を考え、第十中学校の学区域から第七中学校の学区域への編入を検討します。



現在この地域では、西新井小学校、第四、第七、第九中学校の改築・改修が進められています。地域全体の適正規模・適正配置を進めるために、この4 つの小・中学校を中心として、周辺の学校の学区域変更を含めて最も良い解決策を検討していきます。

※この資料は、平成21年5月に決定した「適正規模・適正配置のガイドライン」をまとめたものです。

4 足立区の主な適正規模・適正配置の考え方

【適正規模の基準】

	小学校	中学校
適正規模	12～24 学級(標準児童数370～840人)	12～24 学級(標準生徒数420～880人)
過小規模校	6 学級以下もしくは180 人以下	6 学級以下もしくは200 人以下
小規模校	7～11 学級もしくは181～369 人	7～11 学級もしくは201～419 人
大規模校	25～29 学級もしくは841～999 人	25～29 学級もしくは881～1099 人
過大規模校	30 学級以上もしくは1000 人以上	30 学級以上もしくは1100 人以上

【12 学級から 24 学級】を適正規模とします。

小学校では、クラス替えができる各学年2 学級以上が最低限必要であるため「1 学年2 学級～3 学級で12 学級～18 学級」を望ましい学校規模とします。中学校では、同じ地域の小学校2 校程度から1 つの中学校に進学することを想定して「1 学年4 学級～6 学級で12～18 学級」を望ましい学校規模とします。なお、学校教育法施行規則でも、小・中学校ともに「12 学級以上18 学級以下」を標準と定めており、法令上も望ましい学校規模となっています。

また、義務教育諸学校等の施設費の国庫負担等に関する法律施行令では「5 学級以下の学校と12 学級～18 学級の学校を統合する場合には24 学級までを適正とする」と定めており、「19 学級～24 学級」は適正な学校規模の範囲内であると考えます。

【適正配置の基準】

	小学校	中学校
通学距離	800m以内が望ましい	1200m以内が望ましい
通学区域	小学校と中学校の通学区域は、交友関係や地域との結びつきなどを考慮し、できるだけ整合性を持たせることが望ましい。1 中学校あたり2～3 の小学校が理想的と思われる。	
通学区域の境界	地域との十分な協力関係のもと、その地域の特性をいかした学校づくりを進めていくため、原則として13ブロック、町丁目の区域を分断しない配慮が必要である。一方、町会・自治会の区域でもできる限り分断しない配慮が必要である。また通学区域と青少年対策地区委員会の区域についてはできる限り整合性を図る必要がある。	
通学路	特に小学校の府舎の安全性を重要視し、主要道路(国道4号線ほか)、鉄道および河川により通学路が原則として分断しないことが望ましい。	

【小学校800m以内・中学校1200m以内】を一つの目安とします。

義務教育諸学校等の施設費の国庫負担等に関する法律施行令では、適正な通学距離として、小学校はおおむね4km 以内、中学校はおおむね6km 以内と定められています。しかしこれは公共交通機関などを利用する地方を含めた全国一律の基準であり、東京都を始めとする都市部では、小学校1 年生から中学校3 年生までのすべての児童・生徒が、毎日無理なく徒歩で通学できる範囲とすることが大切です。そのため、昭和62 年度の答申では、当時行った児童・生徒に対する通学距離の調査結果や特別区を対象にした統計等をもとにして、小学校は半径800m以内、中学校は半径1200m以内を区として望ましいと考ええる通学距離としています。

しかし、すべての通学区域で学校を中心付近に配置することは極めて困難です。適正規模化の効果を最優先して考えた場合には、やや基準を上回ることもありえるため、通学距離の基準は、今後著しく長距離にならないための一つの目安として活用していきます。

足立区立小・中学校の適正規模・適正配置の実現に向けて（案）  
～子どもの未来を創る適正規模・適正配置のガイドライン～

発 行 足立区教育委員会  
編 集 足立区教育委員会事務局  
学校教育部 副参事（学校適正配置担当）  
住所：足立区中央本町一丁目 17 番 1 号  
電話：03-3880-5111（代表） 内線 3535  
発行年月 平成 28 年 10 月